

新たな総合計画策定にあたっての 県民意識調査報告書

平成 29 年 3 月



目 次

この冊子のみかた

I	調査の概要	1
1	調査の概要	1
2	調査対象の特性	2
II	調査結果の要約	5
1	意識調査の結果	5
2	選好度調査の結果	6
III	意識調査	15
IV	選好度調査	31
1	選好度調査の概要	31
2	重要度意識	36
3	未充足度意識	49
4	ニーズ得点	62
V	総合計画全般に対する意見	91
VI	使用した調査票	123

☆ この報告書のみかた ☆

- 1 結果は百分比で表示した。その百分比は少数第2位を四捨五入した。したがって、個々の比率の合計と全体を示す数値とは一致しないことがある。
- 2 本文中で「ニーズ得点 (=重要度得点 × 未充足度得点)」を計算しているが、重要度得点および未充足度得点の両方ともに、少数第3位を四捨五入した数値が表示されている。一方、ニーズ得点は、両者の四捨五入前の数値で掛けた値としているため、図表上の数値を掛けても合わない場合がある。
- 3 図表中に「N」と記してあるのは、質問に対する回答者総数で、回答比率 (%) が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
- 4 図表中に「M.T. (Multiple Total)」と記してあるのは、1つの質問に対して2つ以上の回答(複数回答)があった場合の回答数の合計を回答者数(N)で割った比率であり、その値は100%を超えることがある。

I 調査の概要

調査の概要

1. 調査の概要（標本抽出）

（1）調査の目的

この調査は、総合計画の見直しにあたり、県民参加の一環として幅広く県民の意見を集め、計画に反映させることを目的とする。

（2）調査の項目

ア．意識調査

（ア）10年後の県民生活のイメージ

イ．選好度調査

（ア）重要度調査

（イ）充足度調査

ウ．総合計画全般に対する意見

（3）調査の設計

ア．調査地域

富山県全域

イ．調査対象

満18歳以上の男女

ウ．標本数

2,000

エ．抽出方法

各市町村の人口（平成28年10月1日現在の18歳以上の人口）に基づいて、市町村ごとに抽出数を割り当て、住民基本台帳により無作為抽出を行った。

オ．調査期間

平成29年1月27日～2月8日

カ．調査方法

郵送による配布回収

キ．その他

県政モニター193人に対しても調査票を送付し、標本に加えた。

（4）調査機関

株式会社ラックス

（5）回収の結果

ア．標本数

2,193（100.0%）

イ．回収数

985（44.9%）

なお、本文中の『前回調査』は、平成22年8月実施の「第41回県政世論調査」である。

2. 調査対象の特性

(1) 性別	(%)	(N)
男性	46.3	456
女性	53.1	523
無回答	0.6	6
計	100.0	985

(2) 年齢	(%)	(N)
18, 19 歳	1.1	11
20～29 歳	6.0	59
30～39 歳	11.0	108
40～49 歳	18.8	185
50～59 歳	18.3	180
60～69 歳	30.4	299
70 歳以上	13.9	137
無回答	0.6	6
計	100.0	985

(3) 本人職業	(%)	(N)
農林漁業	2.7	27
商工サービス業	4.6	45
自由業	4.5	44
管理職	7.4	73
事務職	10.6	104
技術職	14.6	144
労務職	7.8	77
パート・アルバイト	15.4	152
学生	1.9	19
主夫・主婦	14.8	146
その他の無職	13.0	128
無回答	2.6	26
計	100.0	985

(4) 世帯主職業

農林漁業	4.3	42
商工サービス業	6.6	65
自由業	6.2	61
管理職	12.5	123
事務職	9.4	93
技術職	21.1	208
労務職	10.2	100
パート・アルバイト	5.5	54
学生	0.0	0
主夫・主婦	4.3	42
その他の無職	16.2	160
無回答	3.8	37
計	100.0	985

(5) 家族構成

1人(単身)	5.6	55
夫婦のみ(1世代)	22.9	226
夫婦と子供または親と自分(たち)(2世代)	45.0	443
親と子供と孫(3世代)	17.3	170
その他	6.6	65
無回答	2.6	26
計	100.0	985

(6) 地域

富山地域	46.4	457
高岡・射水地域	26.5	261
新川地域	11.0	108
砺波地域	14.1	139
無回答	2.0	20
計	100.0	985

※富山地域：富山市、滑川市、舟橋村、上市町、立山町

高岡・射水地域：高岡市、射水市、氷見市

新川地域：魚津市、黒部市、入善町、朝日町

砺波地域：砺波市、小矢部市、南砺市

Ⅱ 調査結果の要約

調査結果の要約

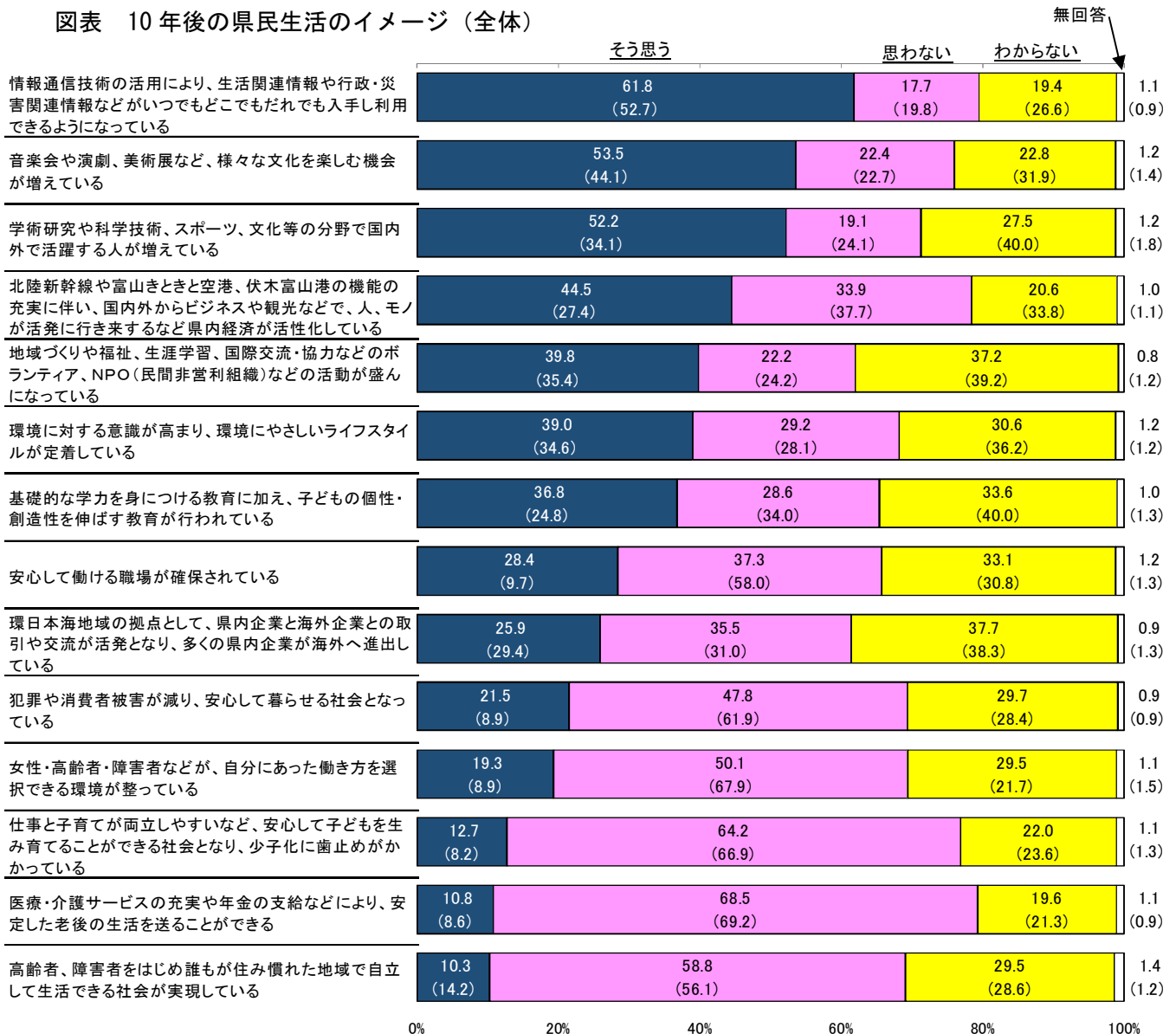
【I 意識調査】

問：10年後の県民生活のイメージについて、2026年頃の県民生活は、どのようになるとお考えですか。 ※「そう思う」、「思わない」、「わからない」から1つ選択。

「情報化が更に進展している」「様々な文化を楽しむ機会が増加している」「学術研究や科学技術、スポーツ・文化等の分野で活躍する人が増えている」と思う人がいずれも50%を超え、情報化が更に進展するとともに、文化に親しむ機会や各分野で活躍する県民が増加していると考えられる人が多い。

「誰もが住み慣れた地域で自立した生活ができる社会が実現している」「医療・介護サービスの充実や年金の支給などにより、安定した老後を送ることができる」「仕事と子育ての両立がしやすいなど、安心して子どもを産み育てることができる社会となり、少子化に歯止めがかかっている」「誰もが自分にあった働き方を選択できる環境が整っている」と思わない人がいずれも50%を超え、今後の少子高齢化の進展や社会保障などに対する不透明感や不安感等を反映。

図表 10年後の県民生活のイメージ（全体）



() 内は前回調査（2010（H22））の割合

【Ⅱ 選好度調査】

問 次にあげる項目について、その重要度と充足度をおたずねします。

1. 重要度

重要度は、現行の総合計画の項目について、どの程度重要であるかという「重要である度合い」について、「きわめて重要である」から「全く重要でない」までの5段階で尋ねたもの。

【調査結果】

ア. 重要度が高い項目

「子どもの健全な育成」が最も高く、次いで「家庭・地域・職場における子育て支援」、「子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進」となるなど、**子育て・教育の領域が上位1～3位までを占めている**。また、健康・福祉に関する項目も、「医療提供体制の充実」が4位、「地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成」が6位と高くなっている。

図表 重要度が高い項目（上位10項目）

順位	区分	領域	項目	今回得点	参考:H22調査	
					前回得点	前回順位
1	未来	子育て・教育	25 家庭・地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	4.47	4.08	13
2	未来	子育て・教育	24 家庭・地域・職場における子育て支援	4.46	4.34	4
3	未来	子育て・教育	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	4.36	4.18	8
4	安心	健康・福祉	44 医療提供体制の充実	4.33	4.38	1
5	未来	子育て・教育	26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	4.33	4.18	8
6	安心	健康・福祉	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	4.27	4.12	12
(7)	人づくり		63 子ども	4.24	—	—
8	活力	産業	1 景気対策	4.23	4.27	5
9	安心	健康・福祉	46 高齢者福祉の充実	4.22	4.13	11
9	安心	安全・安心	55 生活交通の確保	4.22	3.97	21

※重要度の得点は「重要である度合い」を得点化したもので、重要度の5段階それぞれに「きわめて重要である」=5点から「まったく重要でない」=1点までの得点を与え、項目ごとに回答者数で加重した平均得点を求め、重要度に関する人々の評価を指標化したもの。

イ. 重要度が前回(H22調査)に比べて高くなった項目

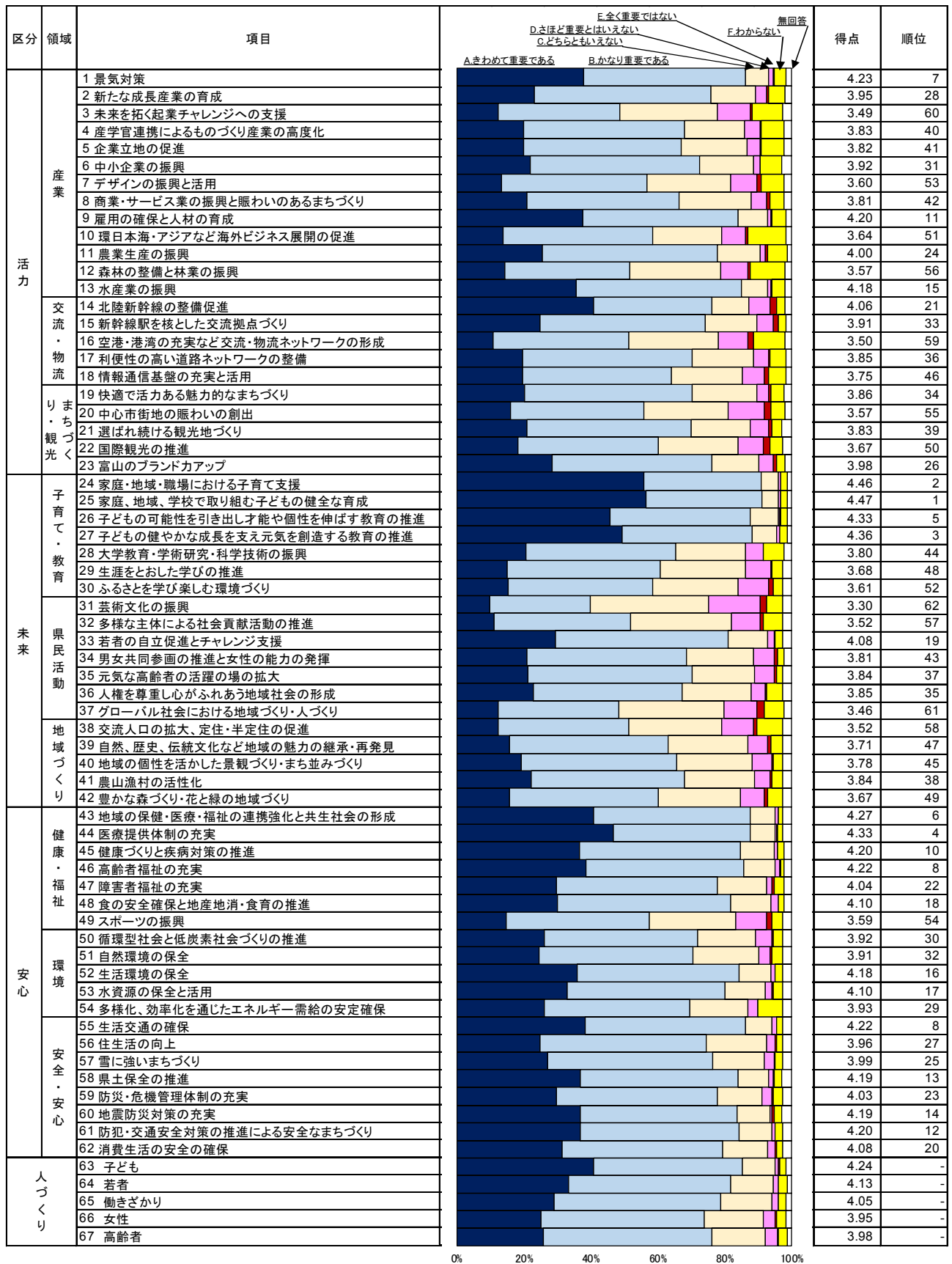
前回に比べて重要度が高くなった項目は、「新幹線駅を核とした交流拠点づくり」「北陸新幹線の整備促進」となり、**新幹線に関連する項目が上位を占めた**。次いで重要度が最も高い「子どもの健全な育成」や、「交流人口の拡大、定住・半定住の促進」も重要と感じる県民が多くなっている。

図表 重要度が前回に比べて高くなった項目（上位5項目）

区分	領域	項目	差	今回得点	前回得点
活力	交流・物流	15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり	0.48	3.91	3.42
活力	交流・物流	14 北陸新幹線の整備促進	0.40	4.06	3.66
未来	子育て・教育	25 家庭・地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	0.38	4.47	4.08
未来	地域づくり	38 交流人口の拡大、定住・半定住の促進	0.35	3.52	3.17
安心	健康・福祉	45 健康づくりと疾病対策の推進	0.31	4.20	3.89

※前回の差を計算する際、端数処理の関係で数字にずれが生じる場合がある。

図表 項目別の重要度



※項目番号 63～67 の「人づくり」の 5 項目については、施策横断的な項目であることから、他分野との順位比較を行っていない。

ウ. 地域別重要度

地域別にみると、全ての地域で「家庭・地域・職場における子育て支援」、「家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成」が上位2項目となっている。

「子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進」も「富山地域」で4位、他の地域で3位と、子育て・子どもの教育関連が上位を占めている。

図表 地域別重要度（各地域上位10項目）

順位	項目	富山地域	順位	項目	高岡・ 射水地域	順位	項目	新川地域	順位	項目	順位	項目	砺波地域
1	25 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	4.48	1	25 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	4.44	1	24 家庭・地域・職場における子育て支援	4.50	1	25 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	4.51		
2	24 家庭・地域・職場における子育て支援	4.46	1	24 家庭・地域・職場における子育て支援	4.44	2	25 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	4.49	2	24 家庭・地域・職場における子育て支援	4.48		
3	44 医療提供体制の充実	4.35	3	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	4.37	3	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	4.42	3	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	4.38		
4	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	4.35	4	44 医療提供体制の充実	4.33	4	26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	4.38	4	26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	4.36		
5	26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	4.33	5	26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	4.32	4	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	4.38	5	44 医療提供体制の充実	4.30		
6	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	4.30	6	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	4.29	6	44 医療提供体制の充実	4.34	6	55 生活交通の確保	4.25		
7	46 高齢者福祉の充実	4.27	7	9 雇用の確保と人材の育成	4.28	7	52 生活環境の保全	4.25	7	1 景気対策	4.25		
8	55 生活交通の確保	4.23	8	1 景気対策	4.28	8	46 高齢者福祉の充実	4.24	8	60 地震防災対策の充実	4.24		
9	9 雇用の確保と人材の育成	4.22	9	55 生活交通の確保	4.26	9	45 健康づくりと疾病対策の推進	4.23	9	52 生活環境の保全	4.22		
10	1 景気対策	4.22	10	61 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり	4.26	10	58 県土保全の推進	4.21	10	45 健康づくりと疾病対策の推進	4.22		

※ 全体で1～5位の項目 全体で6～10位の項目

エ. 年齢別重要度

年齢別にみると、すべての年代で「家庭・地域・職場における子育て支援」、「家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成」が上位2項目となっており、「子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進」も「50～59歳」以外の年代で3位となっている。

「18～49歳」で「防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり」、「30～59歳」で「雇用の確保と人材の育成」が上位10項目に入っている。

図表 年齢別重要度（各上位10項目）

順位	項目	29歳以下	順位	項目	30～39歳	順位	項目	40～49歳	順位	項目	50～59歳	順位	項目	60～69歳	順位	項目	70歳以上
1	24 家庭・地域・職場における子育て支援	4.58	1	25 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	4.59	1	25 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	4.56	1	24 家庭・地域・職場における子育て支援	4.45	1	25 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	4.41	1	25 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	4.47
2	25 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	4.50	2	24 家庭・地域・職場における子育て支援	4.57	2	24 家庭・地域・職場における子育て支援	4.53	2	25 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	4.40	2	24 家庭・地域・職場における子育て支援	4.38	2	24 家庭・地域・職場における子育て支援	4.40
3	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	4.50	3	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	4.48	3	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	4.50	3	44 医療提供体制の充実	4.33	3	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	4.30	3	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	4.29
4	44 医療提供体制の充実	4.46	4	44 医療提供体制の充実	4.46	4	26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	4.46	4	9 雇用の確保と人材の育成	4.32	4	44 医療提供体制の充実	4.27	4	1 景気対策	4.28
5	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	4.43	5	26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	4.42	5	44 医療提供体制の充実	4.40	5	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	4.32	5	26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	4.25	5	26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	4.25
6	26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	4.39	6	1 景気対策	4.38	6	9 雇用の確保と人材の育成	4.32	6	26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	4.31	6	58 県土保全の推進	4.23	6	46 高齢者福祉の充実	4.24
6	55 生活交通の確保	4.39	7	9 雇用の確保と人材の育成	4.33	7	45 健康づくりと疾病対策の推進	4.30	7	55 生活交通の確保	4.30	7	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	4.22	7	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	4.23
8	61 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり	4.38	8	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	4.30	8	61 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり	4.30	8	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	4.29	8	1 景気対策	4.18	8	44 医療提供体制の充実	4.21
9	46 高齢者福祉の充実	4.37	9	61 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり	4.28	9	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	4.28	9	1 景気対策	4.26	9	46 高齢者福祉の充実	4.18	9	14 北陸新幹線の整備促進	4.20
10	45 健康づくりと疾病対策の推進	4.37	10	46 高齢者福祉の充実	4.27	10	55 生活交通の確保	4.27	10	46 高齢者福祉の充実	4.24	10	52 生活環境の保全	4.18	10	53 水資源の保全と活用	4.20

※ 全体で1～5位の項目 全体で6～10位の項目

2. 充足度

充足度は、現行の総合計画の項目について、どの程度充足しているかという「充足している度合い」について「十分充足されている」から「ほとんど充足されていない」までの5段階で尋ねたもの。

【調査結果】

ア. 未充足度が高い（充足度が低い）項目

未充足度は、「商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり」が最も高い。次いで「雇用の確保と人材の育成」、「中心市街地の賑わいの創出」、「生活交通の確保」の順などとなっており、まちの活力に関する項目が目立つ。

図表 未充足度が高い項目（上位10項目）

順位	区分	領域	項目	今回得点	参考：H22調査	
					前回得点	前回順位
1	活力	産 業	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	3.79	3.41	11
2	活力	産 業	9 雇用の確保と人材の育成	3.56	3.64	3
3	活力	まちづくり・観光	20 中心市街地の賑わいの創出	3.52	3.61	4
4	安心	安 全 ・ 安 心	55 生活交通の確保	3.49	3.41	12
5	活力	産 業	12 森林の整備と林業の振興	3.48	3.15	42
6	未来	県 民 活 動	33 若者の自立促進とチャレンジ支援	3.43	3.29	22
7	活力	まちづくり・観光	19 快適で活力ある魅力的なまちづくり	3.43	3.67	2
8	活力	まちづくり・観光	21 選ばれ続ける観光地づくり	3.42	3.18	37
9	安心	安 全 ・ 安 心	59 防災・危機管理体制の充実	3.40	3.25	29
10	未来	県 民 活 動	34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮	3.39	3.22	34

※充足度得点は「充足されている度合い」を得点化したもので、充足度の5段階それぞれに「十分充足されている」=5点から「ほとんど充足されていない」=1点までの得点を与え、項目ごとに回答者数で加重した平均得点を求め、充足度に関する人々の評価を指標化したもの。未充足度得点は、6-充足度得点として算出し、得点が高いほど、充足されていない項目であると考えられる。

イ. 未充足度が前回(H22調査)に比べて高くなった項目

前回に比べて最も未充足度が高くなった項目は、「商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり」であった。また、「森林の整備と林業の振興」「農業生産の振興」については、担い手の不足などが影響しているものと考えられる。

図表 未充足度が前回に比べて高くなった項目（上位5項目）

区分	領域	項目	差	今回得点	前回得点
活力	産 業	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	0.38	3.79	3.41
活力	産 業	12 森林の整備と林業の振興	0.33	3.48	3.15
活力	産 業	11 農業生産の振興	0.31	3.26	2.94
安心	安 全 ・ 安 心	56 住生活の向上	0.28	3.35	3.07
活力	まちづくり・観光	21 選ばれ続ける観光地づくり	0.23	3.42	3.18

※前回との差を計算する際、端数処理の関係で数字にずれが生じる場合がある。

図表 項目別の未充足度

区分	領域	項目	未充足度					得点	順位
			A.十分充足されている	B.かなり充足されている	C.どちらともいえない	D.あまり充足されていない	E.ほとんど充足されていない	F.わからない	無回答
活力	産業	1 景気対策	[Bar chart]					3.31	19
		2 新たな成長産業の育成	[Bar chart]					2.94	59
		3 未来を拓く起業チャレンジへの支援	[Bar chart]					3.34	17
		4 産学官連携によるものづくり産業の高度化	[Bar chart]					3.05	55
		5 企業立地の促進	[Bar chart]					3.25	27
		6 中小企業の振興	[Bar chart]					3.30	20
		7 デザインの振興と活用	[Bar chart]					3.23	35
		8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	[Bar chart]					3.79	1
		9 雇用の確保と人材の育成	[Bar chart]					3.56	2
		10 環日本海・アジアなど海外ビジネス展開の促進	[Bar chart]					3.21	38
		11 農業生産の振興	[Bar chart]					3.26	26
		12 森林の整備と林業の振興	[Bar chart]					3.48	5
		13 水産業の振興	[Bar chart]					2.63	62
	交流・物流	14 北陸新幹線の整備促進	[Bar chart]					3.22	37
		15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり	[Bar chart]					3.31	18
		16 空港・港湾の充実など交流・物流ネットワークの形成	[Bar chart]					3.30	20
		17 利便性の高い道路ネットワークの整備	[Bar chart]					2.96	58
		18 情報通信基盤の充実と活用	[Bar chart]					3.01	56
		19 快適で活力ある魅力的なまちづくり	[Bar chart]					3.43	7
	まちづくり・観光	20 中心市街地の賑わいの創出	[Bar chart]					3.52	3
		21 選ばれ続ける観光地づくり	[Bar chart]					3.42	8
		22 国際観光の推進	[Bar chart]					3.25	31
		23 富山のブランド力アップ	[Bar chart]					3.08	50
24 家庭・地域・職場における子育て支援		[Bar chart]					3.37	13	
未来	子育て・教育	25 家庭・地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	[Bar chart]					3.27	25
		26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	[Bar chart]					3.21	39
		27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	[Bar chart]					3.25	30
		28 大学教育・学術研究・科学技術の振興	[Bar chart]					3.27	24
		29 生涯をとおした学びの推進	[Bar chart]					3.23	36
		30 ふるさとを学び楽しむ環境づくり	[Bar chart]					3.25	29
	県民活動	31 芸術文化の振興	[Bar chart]					3.25	28
		32 多様な主体による社会貢献活動の推進	[Bar chart]					3.24	32
		33 若者の自立促進とチャレンジ支援	[Bar chart]					3.43	6
		34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮	[Bar chart]					3.39	10
		35 元気な高齢者の活躍の場の拡大	[Bar chart]					3.30	22
		36 人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成	[Bar chart]					3.35	15
		37 グローバル社会における地域づくり・人づくり	[Bar chart]					3.37	14
		38 交流人口の拡大、定住・半定住の促進	[Bar chart]					3.38	11
地域づくり	39 自然、歴史、伝統文化など地域の魅力の継承・再発見	[Bar chart]					3.24	32	
	40 地域の個性を活かした景観づくり・まち並みづくり	[Bar chart]					3.16	43	
	41 農山漁村の活性化	[Bar chart]					3.18	41	
	42 豊かな森づくり・花と緑の地域づくり	[Bar chart]					3.12	46	
	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	[Bar chart]					3.28	23	
	44 医療提供体制の充実	[Bar chart]					3.10	48	
安心	健康・福祉	45 健康づくりと疾病対策の推進	[Bar chart]					3.09	49
		46 高齢者福祉の充実	[Bar chart]					3.15	45
		47 障害者福祉の充実	[Bar chart]					3.37	12
		48 食の安全確保と地産地消・食育の推進	[Bar chart]					2.96	57
		49 スポーツの振興	[Bar chart]					3.06	53
		50 循環型社会と低炭素社会づくりの推進	[Bar chart]					3.19	40
	環境	51 自然環境の保全	[Bar chart]					3.08	51
		52 生活環境の保全	[Bar chart]					2.76	60
		53 水資源の保全と活用	[Bar chart]					2.72	61
		54 多様化、効率化を通じたエネルギー需給の安定確保	[Bar chart]					3.06	52
	安全・安心	55 生活交通の確保	[Bar chart]					3.49	4
		56 住生活の向上	[Bar chart]					3.35	16
		57 雪に強いまちづくり	[Bar chart]					3.11	47
		58 県土保全の推進	[Bar chart]					3.06	54
59 防災・危機管理体制の充実		[Bar chart]					3.40	9	
60 地震防災対策の充実		[Bar chart]					3.24	34	
人づくり	61 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり	[Bar chart]					3.18	42	
	62 消費生活の安全の確保	[Bar chart]					3.16	44	
	63 子ども	[Bar chart]					3.14	-	
	64 若者	[Bar chart]					3.22	-	
	65 働きざかり	[Bar chart]					3.28	-	
	66 女性	[Bar chart]					3.36	-	
	67 高齢者	[Bar chart]					3.35	-	

*項目番号 63～67 の「人づくり」の 5 項目については、施策横断的な項目であることから、他分野との順位比較を行っていない。

ウ. 地域別未充足度

地域別に未充足度をみると、すべての地域で「商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり」が最も高くなっている。「雇用の確保と人材の育成」が富山地域で2位、それ以外の地域で3位となっているほか、「中心市街地の賑わいの創出」が高岡・射水地域と新川地域で2位となっている。

図表 地域別未充足度（各地域上位10項目）

順位	項目	富山地域	順位	項目	高岡・射水地域	順位	項目	新川地域	順位	項目	砺波地域
1	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	3.81	1	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	3.79	1	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	3.74	1	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	3.81
2	9 雇用の確保と人材の育成	3.59	2	20 中心市街地の賑わいの創出	3.67	2	20 中心市街地の賑わいの創出	3.67	2	55 生活交通の確保	3.55
3	12 森林の整備と林業の振興	3.50	3	9 雇用の確保と人材の育成	3.54	3	9 雇用の確保と人材の育成	3.56	3	9 雇用の確保と人材の育成	3.53
4	55 生活交通の確保	3.49	4	55 生活交通の確保	3.48	4	33 若者の自立促進とチャレンジ支援	3.50	4	12 森林の整備と林業の振興	3.52
5	21 選ばれ続ける観光地づくり	3.45	5	19 快適で活力ある魅力的なまちづくり	3.47	5	38 交流人口の拡大、定住・半定住の促進	3.48	5	20 中心市街地の賑わいの創出	3.48
6	59 防災・危機管理体制の充実	3.44	6	12 森林の整備と林業の振興	3.44	6	24 家庭・地域・職場における子育て支援	3.47	6	33 若者の自立促進とチャレンジ支援	3.43
7	33 若者の自立促進とチャレンジ支援	3.44	7	21 選ばれ続ける観光地づくり	3.44	7	12 森林の整備と林業の振興	3.47	7	56 住生活の向上	3.42
8	47 障害者福祉の充実	3.44	8	15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり	3.43	8	34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮	3.44	8	19 快適で活力ある魅力的なまちづくり	3.40
9	34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮	3.43	9	56 住生活の向上	3.37	9	25 家庭・地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	3.42	9	59 防災・危機管理体制の充実	3.39
10	24 家庭・地域・職場における子育て支援	3.42	10	59 防災・危機管理体制の充実	3.37	10	19 快適で活力ある魅力的なまちづくり	3.40	10	36 人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成	3.37

※ 全体で1～5位の項目 全体で6～10位の項目

エ. 年齢別未充足度

年齢別に未充足度をみると、すべての年代で「商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり」が最も未充足度が高くなっている。それ以外の項目では、「雇用の確保と人材の育成」「30～69歳」で2位、「防災・危機管理体制の充実」が「29歳以下」で2位、「30～39歳」で3位、「森林の整備と林業の振興」が「50～69歳」で3位、「70歳以上」で2位、「中心市街地の賑わいの創出」が「29歳以下」と「40～49歳」、「70歳以上」で3位となっている。

図表 年齢別重要度（各上位10項目）

順位	項目	29歳以下	順位	項目	30～39歳	順位	項目	40～49歳	順位	項目	50～59歳	順位	項目	60～69歳	順位	項目	70歳以上
1	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	3.71	1	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	3.83	1	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	3.94	1	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	3.92	1	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	3.78	1	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	3.50
2	59 防災・危機管理体制の充実	3.51	2	9 雇用の確保と人材の育成	3.60	2	9 雇用の確保と人材の育成	3.75	2	9 雇用の確保と人材の育成	3.62	2	9 雇用の確保と人材の育成	3.57	2	12 森林の整備と林業の振興	3.48
3	20 中心市街地の賑わいの創出	3.46	3	59 防災・危機管理体制の充実	3.51	3	20 中心市街地の賑わいの創出	3.66	3	12 森林の整備と林業の振興	3.61	3	12 森林の整備と林業の振興	3.54	3	20 中心市街地の賑わいの創出	3.41
4	14 北陸新幹線の整備促進	3.44	4	38 交流人口の拡大、定住・半定住の促進	3.51	4	55 生活交通の確保	3.65	4	55 生活交通の確保	3.61	4	20 中心市街地の賑わいの創出	3.54	4	19 快適で活力ある魅力的なまちづくり	3.37
5	50 循環型社会と低炭素社会づくりの推進	3.41	5	37 グローバル社会における地域づくり・人づくり	3.50	5	19 快適で活力ある魅力的なまちづくり	3.55	5	19 快適で活力ある魅力的なまちづくり	3.55	5	55 生活交通の確保	3.41	5	56 住生活の向上	3.35
6	25 家庭・地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	3.40	6	55 生活交通の確保	3.49	6	21 選ばれ続ける観光地づくり	3.53	6	33 若者の自立促進とチャレンジ支援	3.53	6	24 家庭・地域・職場における子育て支援	3.40	6	34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮	3.34
7	9 雇用の確保と人材の育成	3.40	7	33 若者の自立促進とチャレンジ支援	3.46	7	33 若者の自立促進とチャレンジ支援	3.52	7	20 中心市街地の賑わいの創出	3.50	7	21 選ばれ続ける観光地づくり	3.39	7	47 障害者福祉の充実	3.33
8	55 生活交通の確保	3.40	8	20 中心市街地の賑わいの創出	3.45	8	59 防災・危機管理体制の充実	3.50	8	59 防災・危機管理体制の充実	3.47	8	37 グローバル社会における地域づくり・人づくり	3.37	8	37 グローバル社会における地域づくり・人づくり	3.32
9	38 交流人口の拡大、定住・半定住の促進	3.39	9	50 循環型社会と低炭素社会づくりの推進	3.44	9	5 企業立地の促進	3.47	9	34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮	3.46	9	36 人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成	3.37	9	24 家庭・地域・職場における子育て支援	3.31
10	21 選ばれ続ける観光地づくり	3.37	10	47 障害者福祉の充実	3.44	10	1 景気対策	3.47	10	47 障害者福祉の充実	3.45	10	19 快適で活力ある魅力的なまちづくり	3.37	10	33 若者の自立促進とチャレンジ支援	3.31

※ 全体で1～5位の項目 全体で6～10位の項目

3. ニーズ得点

現行の総合計画の各項目について、重要度の平均得点と未充足度平均得点をかけ合わせることで、各項目のニーズ得点を算出した。

【調査結果】

ア. ニーズ得点が高い項目

ニーズ得点は、「家庭・地域・職場における子育て支援」が最も高い。次いで「雇用の確保と人材の育成」、「生活交通の確保」、「家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成」の順などとなっている。

図表 ニーズ得点が高い項目（上位10項目）

順位	区分	領域	項目	今回得点	参考:H22調査	
					前回得点	前回順位
1	未来	子育て・教育	24 家庭・地域・職場における子育て支援	15.01	14.80	3
2	活力	産 業	9 雇用の確保と人材の育成	14.96	15.23	2
3	安心	安 全 ・ 安 心	55 生活交通の確保	14.72	13.54	11
4	未来	子育て・教育	25 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	14.58	13.52	12
5	活力	産 業	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	14.46	13.09	20
6	未来	子育て・教育	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	14.16	13.69	7
7	安心	健 康 ・ 福 祉	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	13.99	13.56	10
8	未来	県 民 活 動	33 若者の自立促進とチャレンジ支援	13.98	12.44	29
9	活力	産 業	1 景気対策	13.98	15.77	1
10	未来	子育て・教育	26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	13.87	13.69	7

※ニーズ得点は「充足されている度合い」を得点化したもので、得点が高いほど、充足されていない項目であると考えられる。

イ. ニーズ得点が前回（H22 調査）に比べて高くなった項目

前回に比べて最もニーズ得点が上昇した項目は、「男女共同参画の推進と女性の能力の発揮」であり、次いで「若者の自立促進とチャレンジ支援」となるなど、若者や女性の活躍に関する項目のニーズが増している。

図表 ニーズ得点が前回に比べて高くなった項目（上位5項目）

区分	領域	項目	差	今回得点	前回得点
未来	県 民 活 動	34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮	1.61	12.90	11.29
未来	県 民 活 動	33 若者の自立促進とチャレンジ支援	1.54	13.98	12.44
活力	まちづくり・観光	21 選ばれ続ける観光地づくり	1.38	13.08	11.70
未来	地 域 づ くり	38 交流人口の拡大、定住・半定住の促進	1.37	11.89	10.52
活力	産 業	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	1.37	14.46	13.09

※前回との差を計算する際、端数処理の関係で数字にずれが生じる場合がある。

図表 項目別のニーズ得点

順位	区分	領域	項目	今回得点
1	未来	子育て・教育	24 家庭・地域・職場における子育て支援	15.01
2	活力	産 業	9 雇用の確保と人材の育成	14.96
3	安心	安 全・安 心	55 生活交通の確保	14.72
4	未来	子育て・教育	25 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	14.58
5	活力	産 業	8 商業・サービスの振興と賑わいのあるまちづくり	14.46
6	未来	子育て・教育	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	14.16
7	安心	健康・福祉	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	13.99
8	未来	県民活動	33 若者の自立促進とチャレンジ支援	13.98
9	活力	産 業	1 景気対策	13.98
10	未来	子育て・教育	26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	13.87
11	安心	安 全・安 心	59 防災・危機管理体制の充実	13.70
12	安心	健康・福祉	47 障害者福祉の充実	13.63
13	安心	安 全・安 心	60 地震防災対策の充実	13.56
14	安心	健康・福祉	44 医療提供体制の充実	13.41
15	安心	安 全・安 心	61 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり	13.34
16	安心	健康・福祉	46 高齢者福祉の充実	13.31
17	安心	安 全・安 心	56 住生活の向上	13.26
18	活力	まちづくり・観光	19 快適で活力ある魅力的なまちづくり	13.23
19	活力	まちづくり・観光	21 選ばれ続ける観光地づくり	13.08
20	活力	交 流・物 流	14 北陸新幹線の整備促進	13.06
21	活力	産 業	11 農業生産の振興	13.03
22	安心	健康・福祉	45 健康づくりと疾病対策の推進	12.98
23	活力	産 業	6 中小企業の振興	12.93
24	活力	交 流・物 流	15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり	12.92
25	未来	県民活動	36 人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成	12.91
26	未来	県民活動	34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮	12.90
27	安心	安 全・安 心	62 消費生活の安全の確保	12.88
28	安心	安 全・安 心	58 県土保全の推進	12.80
29	未来	県民活動	35 元気な高齢者の活躍の場の拡大	12.66
30	活力	まちづくり・観光	20 中心市街地の賑わいの創出	12.55

順位	区分	領域	項目	今回得点
31	安心	環 境	50 循環型社会と低炭素社会づくりの推進	12.52
32	活力	産 業	5 企業立地の促進	12.44
33	未来	子育て・教育	28 大学教育・学術研究・科学技術の振興	12.44
34	活力	産 業	12 森林の整備と林業の振興	12.43
35	安心	安 全・安 心	57 雪に強いまちづくり	12.42
36	活力	まちづくり・観光	23 富山のブランド力アップ	12.27
37	未来	地 域 づ くり	41 農山漁村の活性化	12.23
38	安心	健康・福祉	48 食の安全確保と地産地消・食育の推進	12.12
39	安心	環 境	51 自然環境の保全	12.04
40	未来	地 域 づ くり	39 自然、歴史、伝統文化など地域の魅力の継承・再発見	12.02
41	安心	環 境	54 多様化、効率化を通じたエネルギー需給の安定確保	12.01
42	未来	地 域 づ くり	40 地域の個性を活かした景観づくり・まち並みづくり	11.94
43	活力	まちづくり・観光	22 国際観光の推進	11.91
44	未来	地 域 づ くり	38 交流人口の拡大、定住・半定住の促進	11.89
45	未来	子育て・教育	29 生涯をとおした学びの推進	11.88
46	未来	子育て・教育	30 ふるさとを学び楽しむ環境づくり	11.72
47	活力	産 業	10 環日本海・アジアなど海外ビジネス展開の促進	11.69
48	活力	産 業	4 産学官連携によるものづくり産業の高度化	11.66
49	活力	産 業	3 未来を拓く起業チャレンジへの支援	11.65
50	活力	産 業	7 デザインの振興と活用	11.65
51	未来	県民活動	37 グローバル社会における地域づくり・人づくり	11.65
52	活力	産 業	2 新たな成長産業の育成	11.60
53	活力	交 流・物 流	16 空港・港湾の充実など交流・物流ネットワークの形成	11.55
54	安心	環 境	52 生活環境の保全	11.53
55	未来	地 域 づ くり	42 豊かな森づくり・花と緑の地域づくり	11.46
56	未来	県民活動	32 多様な主体による社会貢献活動の推進	11.43
57	活力	交 流・物 流	17 利便性の高い道路ネットワークの整備	11.38
58	活力	交 流・物 流	18 情報通信基盤の充実と活用	11.27
59	安心	環 境	53 水資源の保全と活用	11.14
60	安心	健康・福祉	49 スポーツの振興	10.98
61	活力	産 業	13 水産業の振興	10.98
62	未来	県民活動	31 芸術文化の振興	10.74
-	人 づ くり		63 子ども	13.31
-	人 づ くり		64 若者	13.29
-	人 づ くり		65 働きざかり	13.26
-	人 づ くり		66 女性	13.24
-	人 づ くり		67 高齢者	13.34

ウ. 地域別ニーズ得点

地域別にみると、「家庭・地域・職場における子育て支援」が富山地域と新川地域で1位、高岡・射水地域で3位、砺波地域で4位、「雇用の確保と人材の育成」が高岡・射水地域で1位、富山地域と砺波地域で2位、新川地域で3位、「生活交通の確保」が砺波地域で1位、高岡・射水地域で2位、富山地域で4位となっている。

図表 地域別ニーズ得点（各地域上位10項目）

順位	項目	富山地域	順位	項目	高岡・射水地域	順位	項目	新川地域	順位	項目	砺波地域
1	24 家庭・地域・職場における子育て支援	15.26	1	9 雇用の確保と人材の育成	15.15	1	24 家庭・地域・職場における子育て支援	15.63	1	55 生活交通の確保	15.08
2	9 雇用の確保と人材の育成	15.12	2	55 生活交通の確保	14.82	2	25 家庭・地域・学校で取り組む子どもの健全な育成	15.34	2	9 雇用の確保と人材の育成	14.59
3	25 家庭・地域・学校で取り組む子どもの健全な育成	14.79	3	24 家庭・地域・職場における子育て支援	14.72	3	9 雇用の確保と人材の育成	14.74	3	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	14.41
4	55 生活交通の確保	14.76	4	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	14.58	4	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	14.74	4	24 家庭・地域・職場における子育て支援	14.32
5	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	14.58	5	25 家庭・地域・学校で取り組む子どもの健全な育成	14.25	5	33 若者の自立促進とチャレンジ支援	14.62	5	33 若者の自立促進とチャレンジ支援	14.18
6	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	14.19	6	1 景気対策	14.16	6	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	14.53	6	25 家庭・地域・学校で取り組む子どもの健全な育成	14.16
7	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	14.16	7	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	14.07	7	26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	14.30	7	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	13.75
8	1 景気対策	14.11	8	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	13.81	8	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	14.22	8	26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	13.73
9	47 障害者福祉の充実	13.96	9	33 若者の自立促進とチャレンジ支援	13.77	9	55 生活交通の確保	14.13	9	60 地震防災対策の充実	13.61
10	59 防災・危機管理体制の充実	13.95	10	26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	13.76	10	47 障害者福祉の充実	13.98	10	56 住生活の向上	13.61

※ 全体で1～5位の項目 全体で6～10位の項目

エ. 年齢別ニーズ得点

年齢別にみると、「家庭・地域・職場における子育て支援」が「60歳以上」で1位、「30～39歳」で2位、「40～49歳」で3位、「雇用の確保と人材の育成」が「30～59歳」で1位、「60～69歳」で2位、「家庭・地域・学校で取り組む子どもの健全な育成」が「29歳以下」で1位、「70歳以上」で2位、「30～39歳」で3位となっている。

図表 年齢別ニーズ得点（各上位10項目）

順位	項目	29歳以下	順位	項目	30～39歳	順位	項目	40～49歳	順位	項目	50～59歳	順位	項目	60～69歳	順位	項目	70歳以上
1	25 家庭・地域・学校で取り組む子どもの健全な育成	15.29	1	9 雇用の確保と人材の育成	15.58	1	9 雇用の確保と人材の育成	16.18	1	9 雇用の確保と人材の育成	15.64	1	24 家庭・地域・職場における子育て支援	14.89	1	24 家庭・地域・職場における子育て支援	14.57
2	59 防災・危機管理体制の充実	14.93	2	24 家庭・地域・職場における子育て支援	15.49	2	55 生活交通の確保	15.61	2	55 生活交通の確保	15.49	2	9 雇用の確保と人材の育成	14.58	2	25 家庭・地域・学校で取り組む子どもの健全な育成	14.33
3	55 生活交通の確保	14.89	3	25 家庭・地域・学校で取り組む子どもの健全な育成	14.90	3	24 家庭・地域・職場における子育て支援	15.38	3	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	14.99	3	25 家庭・地域・学校で取り組む子どもの健全な育成	14.41	3	55 生活交通の確保	13.82
4	24 家庭・地域・職場における子育て支援	14.80	4	1 景気対策	14.83	4	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	15.21	4	24 家庭・地域・職場における子育て支援	14.92	4	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	14.36	4	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	13.76
5	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	14.64	5	55 生活交通の確保	14.59	5	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	14.95	5	1 景気対策	14.49	5	55 生活交通の確保	14.17	5	26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	13.47
6	9 雇用の確保と人材の育成	14.36	6	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	14.58	6	26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	14.79	6	25 家庭・地域・学校で取り組む子どもの健全な育成	14.46	6	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	13.92	6	9 雇用の確保と人材の育成	13.45
7	60 地震防災対策の充実	14.31	7	33 若者の自立促進とチャレンジ支援	14.40	7	25 家庭・地域・学校で取り組む子どもの健全な育成	14.75	7	33 若者の自立促進とチャレンジ支援	14.33	7	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	13.84	7	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	13.42
8	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	14.27	8	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	14.27	8	33 若者の自立促進とチャレンジ支援	14.62	8	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	14.04	8	26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	13.56	8	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	13.40
9	14 北陸新幹線の整備促進	14.26	9	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	14.26	9	1 景気対策	14.56	9	19 快適で活力ある魅力的なまちづくり	14.00	9	1 景気対策	13.52	9	33 若者の自立促進とチャレンジ支援	13.35
10	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	14.22	10	60 地震防災対策の充実	14.23	10	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	14.11	10	47 障害者福祉の充実	13.96	10	33 若者の自立促進とチャレンジ支援	13.43	10	47 障害者福祉の充実	13.31

※ 全体で1～5位の項目 全体で6～10位の項目

Ⅲ 意識調査

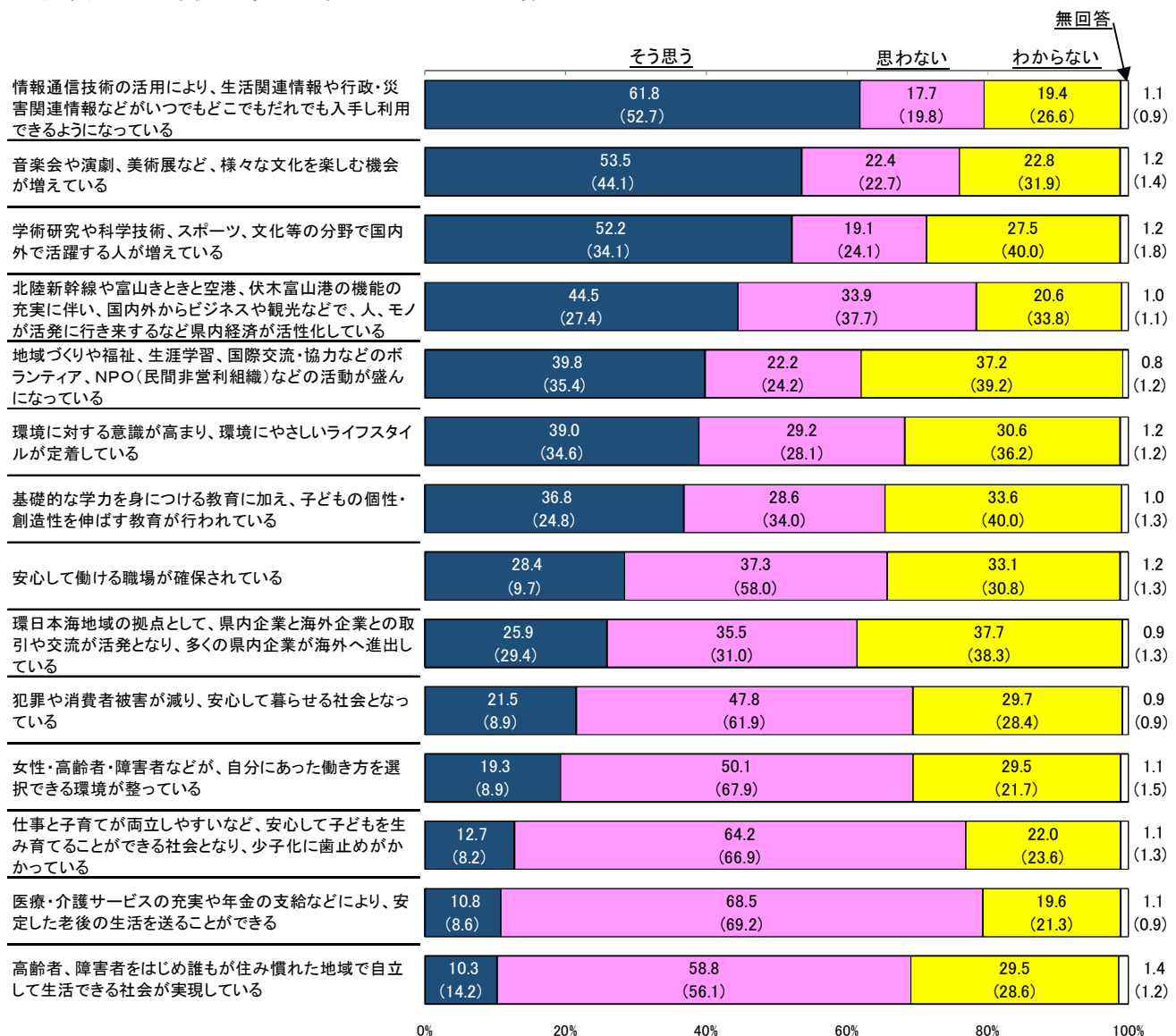
Ⅲ 意識調査

問：10年後の県民生活のイメージについておたずねします。

2026年頃の県民生活は、どのようになるとお考えですか。次のそれぞれの項目について、あなたのお考えに最も近いものを右の欄の1～3の中から1つずつ選んで○をつけて下さい。

10年後の県民生活のイメージについて、「そう思う」とした人の割合は、「情報通信技術の活用により、生活関連情報や行政・災害関連情報などがいつでもどこでもだれでも入手し利用できるようになっていく」が61.8%と最も多く、次いで「音楽会や演劇、美術展など、様々な文化を楽しむ機会が増えている」が53.5%、「学術研究や科学技術、スポーツ、文化等の分野で国内外で活躍する人が増えている」が52.2%の順となっている。

図表1 10年後の県民生活のイメージ（全体）



()内は前回調査（2010（H22））の割合

反対に、「思わない」とした人の割合は、「医療・介護サービスの充実や年金の支給などにより、安定した老後の生活を送ることができる」が68.5%と最も多く、次いで「仕事と子育てが両立しやすいなど、安心して子どもを育てることができる社会となり、少子化に歯止めがかかっている」が64.2%、「高齢者、障害者をはじめ誰もが住み慣れた地域で自立して生活できる社会が実現している」が58.8%の順となっており、医療・介護・年金等の高齢者の問題、子育て・少子化、福祉などに対して不安感を持っていることがうかがえる。

前回調査と比較すると、「そう思う」と回答した人の割合が高くなった項目は、「安心して働ける職場が確保されている」が+18.7ポイント、「学術研究や科学技術、スポーツ、文化等の分野で国内外で活躍する人が増えている」が+18.1ポイント、「北陸新幹線や富山きときと空港、伏木富山港の機能の充実に伴い、国内外からビジネスや観光などで、人、モノが活発に行き来するなど県内経済が活性化している」が+17.1ポイントなどとなっている。

一方、「そう思う」と回答した人の割合が低くなった項目は、「高齢者、障害者をはじめ誰もが住み慣れた地域で自立して生活できる社会が実現している」が▲3.9ポイント、「環日本海地域の拠点として、県内企業と海外企業との取引や交流が活発となり、多くの県内企業が海外へ進出している」が▲3.5ポイントとなっている。

「思わない」と回答した人の割合が高くなった項目は、「環日本海地域の拠点として、県内企業と海外企業との取引や交流が活発となり、多くの県内企業が海外へ進出している」が+4.5ポイント、「高齢者、障害者をはじめ誰もが住み慣れた地域で自立して生活できる社会が実現している」が+2.7ポイントなどとなっている。

「思わない」と回答した人の割合が低くなった項目は、「安心して働ける職場が確保されている」が▲20.7ポイント、「女性・高齢者・障害者などが、自分にあった働き方を選択できる環境が整っている」が▲17.8ポイント、「犯罪や消費者被害が減り、安心して暮らせる社会となっている」が▲14.1ポイント、などとなっている。

次ページ以降で、設問ごとに属性別など、詳しくみていく。

(1) 人やモノの交流が盛んで経済が活性化している

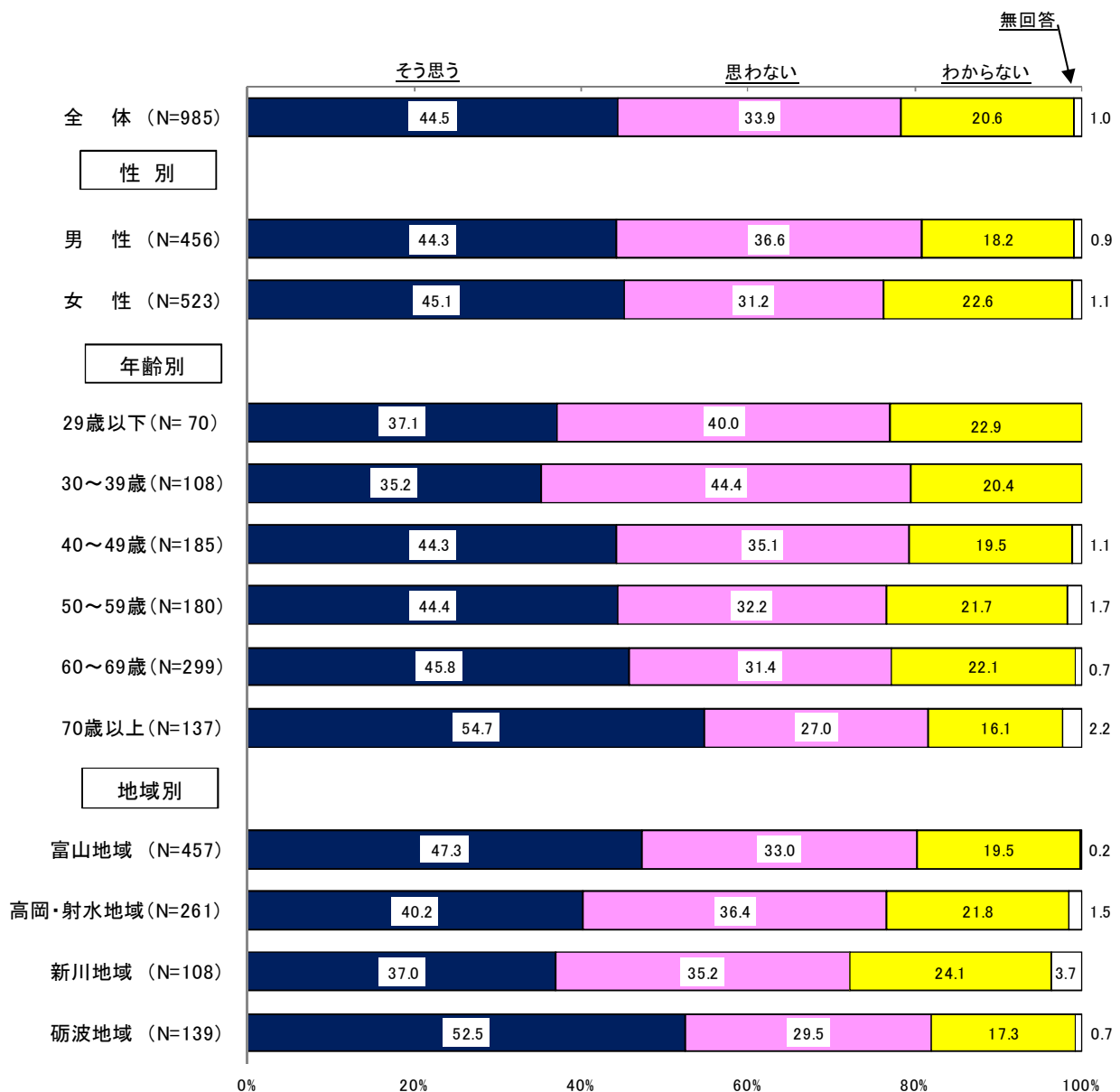
北陸新幹線や富山きときと空港、伏木富山港の機能の充実に伴い、国内外からビジネスや観光などで、人、モノが活発に行き来するなど県内経済が活性化していると思うかきいたところ、「そう思う」が44.5%、「思わない」が33.9%、「わからない」が20.6%となっている。

男女別にみると、男性は「思わない」が36.6%と女性に比べてやや多くなっている。

年齢別にみると、年齢が高いほど「そう思う」とする人が多い傾向にある。

地域別にみると、砺波地域で「そう思う」が52.5%と、他の地域に比べて多くなっている。

図表 人やモノの交流が盛んで経済が活性化している



(2) 安心して働ける職場が確保されている

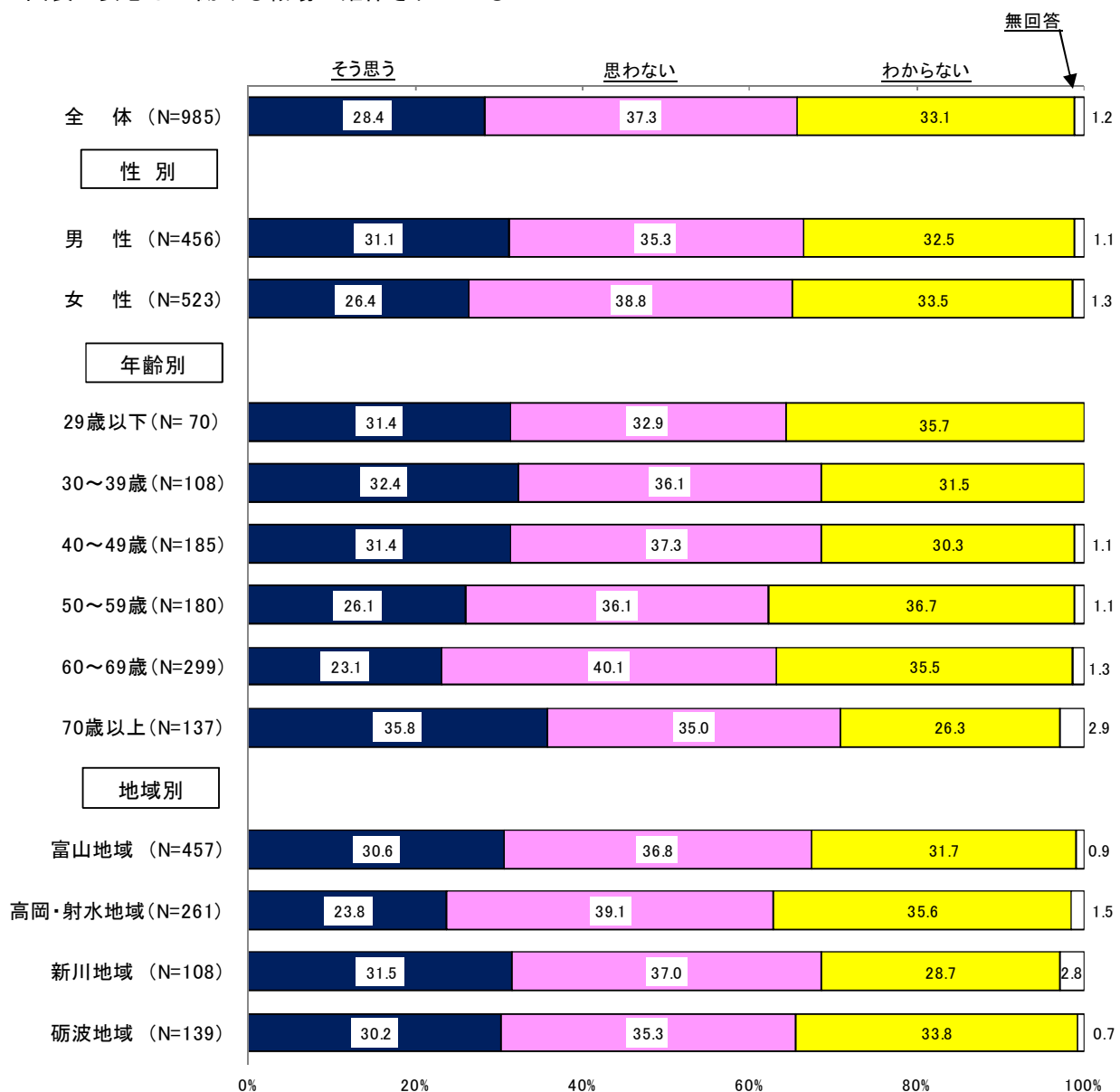
安心して働ける職場が確保されていると思うかきいたところ、「そう思う」が28.4%、「思わない」が37.3%、「わからない」が33.1%となっている。

男女別にみると、男性は「そう思う」が31.1%と女性に比べてやや多くなっている。

年齢別にみると、「49歳以下」と「70歳以上」で「そう思う」が3割台であるのに対し、「60～69歳」は23.1%と少なくなっている。

地域別にみると、高岡・射水地域で「そう思う」が23.8%と、他の地域に比べて少なくなっている。

図表 安心して働ける職場が確保されている



(3) 自分にあつた働き方を選択できる

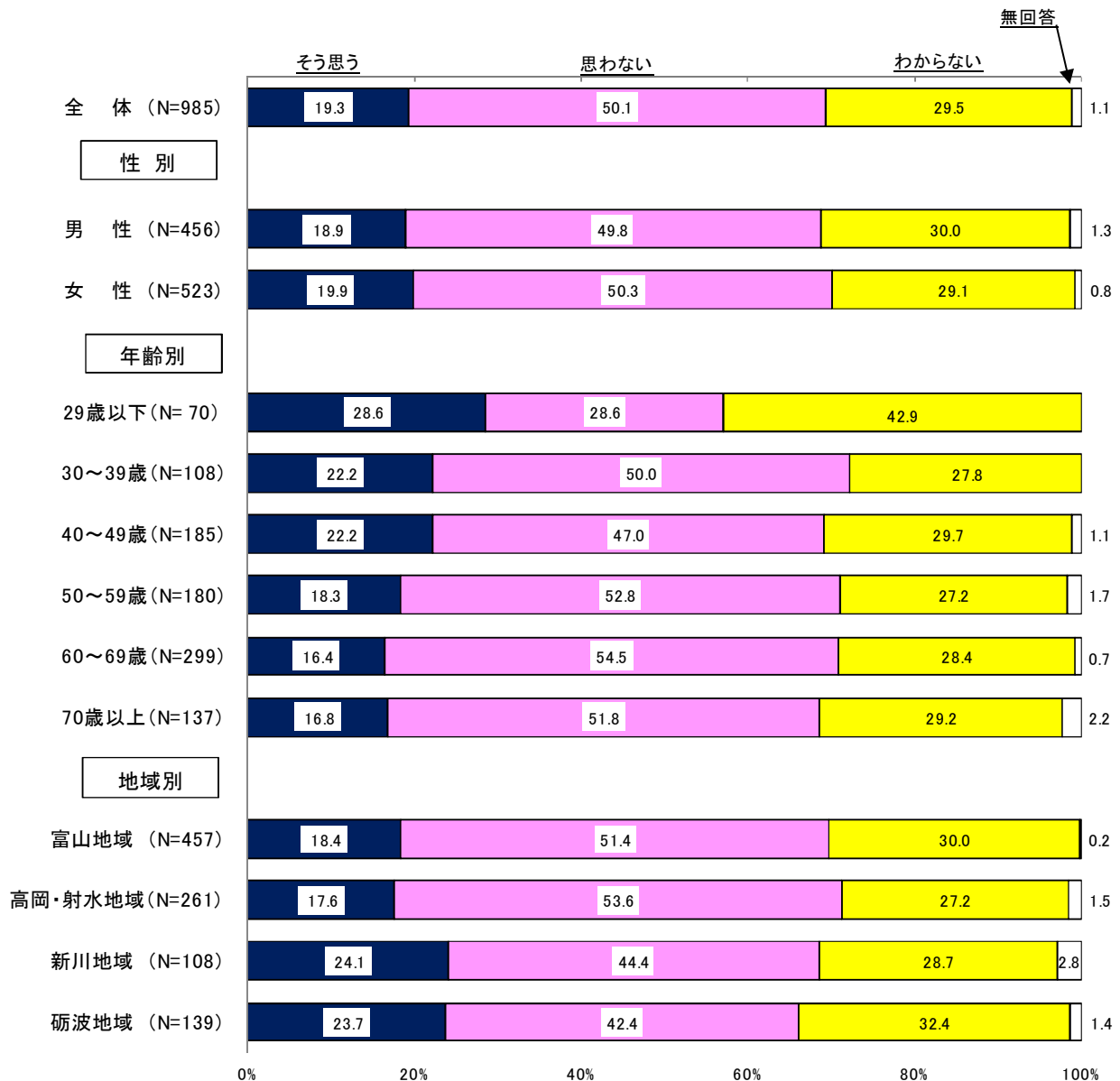
女性・高齢者・障害者などが、自分にあつた働き方を選択できる環境が整っていると思うかきいたところ、「そう思う」が19.3%、「思わない」が50.1%、「わからない」が29.5%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、年齢が高くなるにつれ「そう思う」とする人が少なくなる傾向にある。

地域別にみると、新川地域と砺波地域で「そう思う」が約24%となっている。

図表 自分にあつた働き方を選択できる



(4) 環日本海地域の拠点として県内企業と海外との交流が活発化している

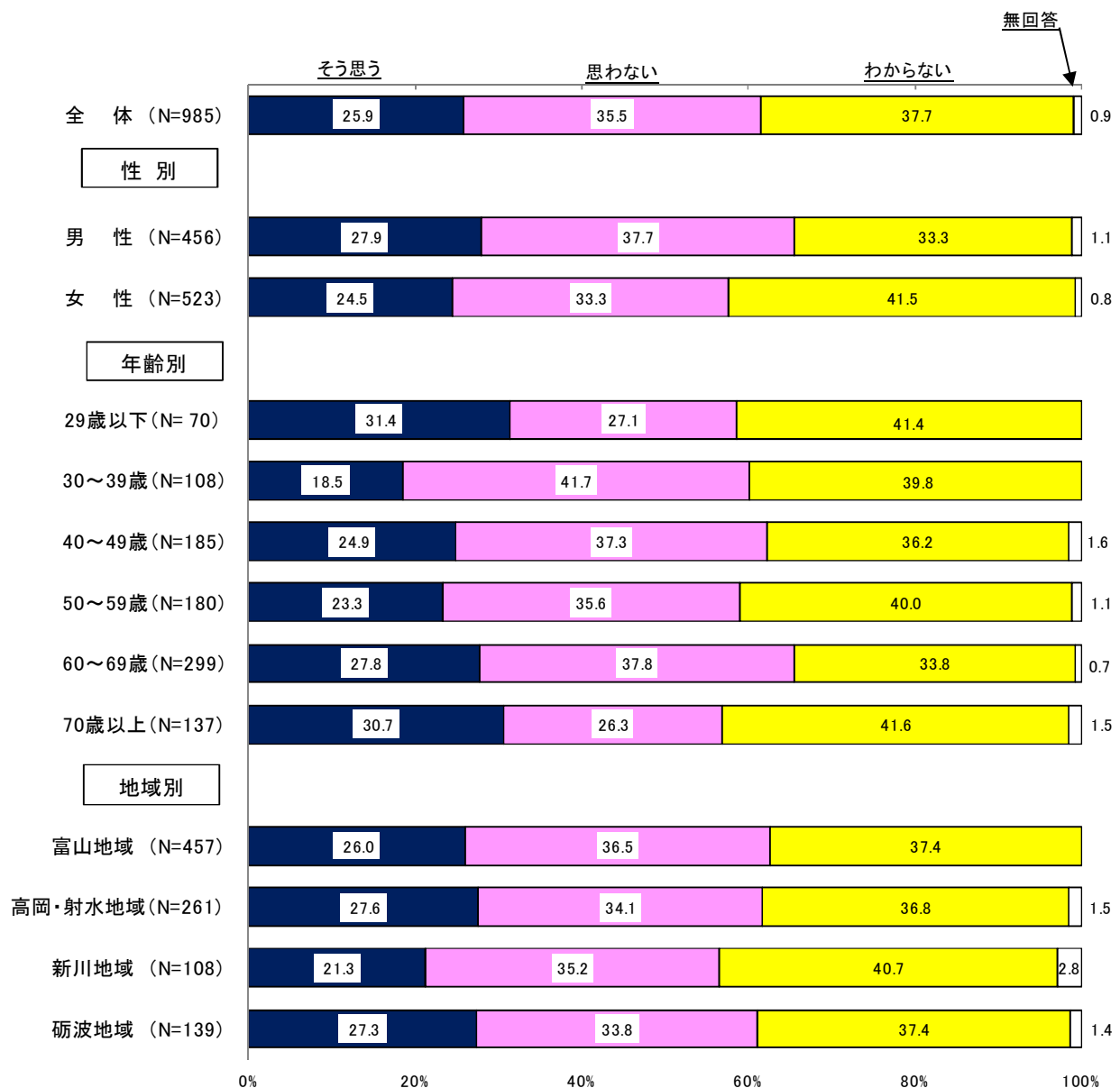
環日本海地域の拠点として県内企業と海外との取引や交流が活発となり、多くの県外企業が海外へ進出していると思うかきいたところ、「そう思う」が25.9%、「思わない」が35.5%、「わからない」が37.7%となっている。

男女別にみると、女性は「わからない」が41.5%と男性に比べてやや多くなっている。

年齢別にみると、「29歳以下」と「70歳以上」で「そう思う」が3割を超えている。

地域別にみると、新川地域で「そう思う」が21.3%と、他の地域に比べて少なくなっている。

図表 環日本海地域の拠点として県内企業と海外との交流が活発化している



(5) 情報をたやすく入手し利用できる

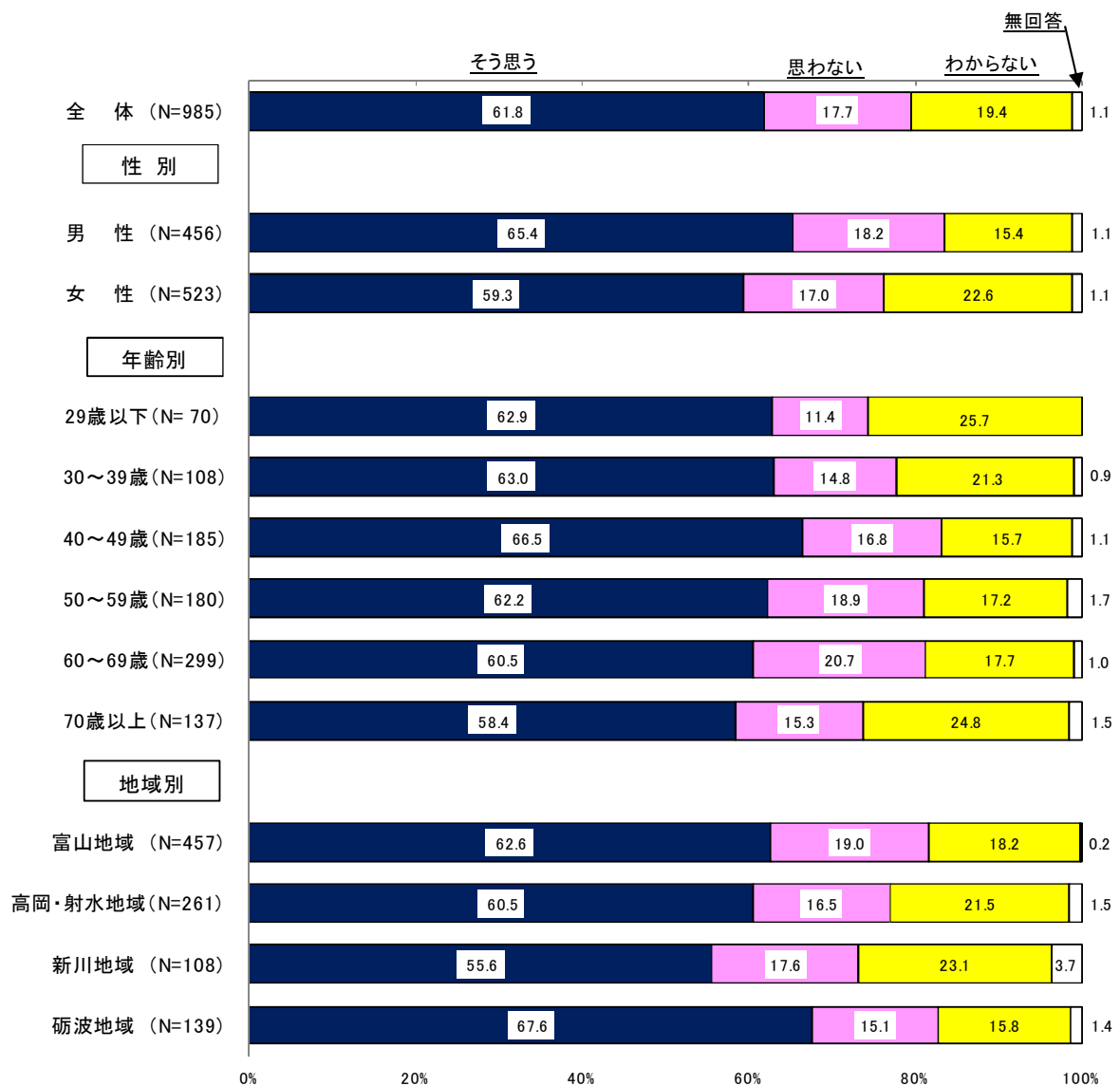
情報通信技術の活用により、生活関連情報や行政・災害関連情報などがいつでもどこでもだれでも入手し利用できるようになっていると思うかきいたところ、「そう思う」が61.8%、「思わない」が17.7%、「わからない」が19.4%となっている。

男女別にみると、男性は「そう思う」が65.4%と女性に比べてやや多くなっている。

年齢別にみると、「40～49歳」で「そう思う」が66.5%と多くなっている。

地域別にみると、砺波地域で「そう思う」が67.6%と、他の地域に比べて多くなっている。

図表 情報をたやすく入手し利用できる



(6) 安心して子どもを生育てられる社会になっている

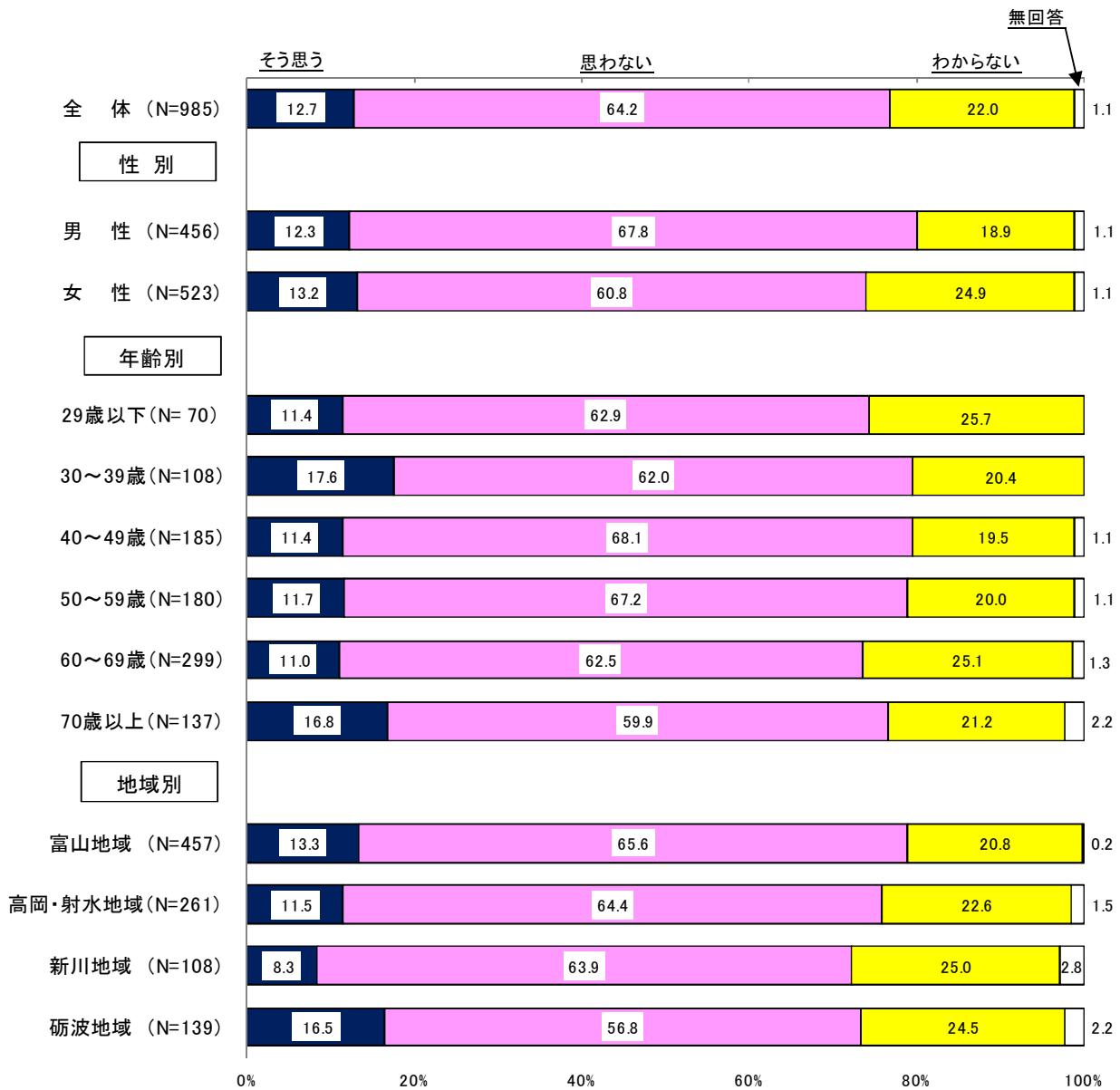
仕事と子育てが両立しやすいなど、安心して子どもを生育てることができる社会となり、少子化に歯止めがかかっていると思うかきいたところ、「そう思う」が12.7%、「思わない」が64.2%、「わからない」が22.0%となっている。

男女別にみると、男性は「思わない」が67.8%と女性に比べてやや多くなっている。

年齢別にみると、「30～39歳」と「70歳以上」で「そう思う」とする人が16～17%台と他の年代に比べてやや多くなっている。

地域別にみると、砺波地域で「そう思う」が16.5%と、他の地域に比べて多くなっている。

図表 安心して子どもを生育てられる社会になっている



(7) 子どもの個性・創造性を伸ばす教育が行われている

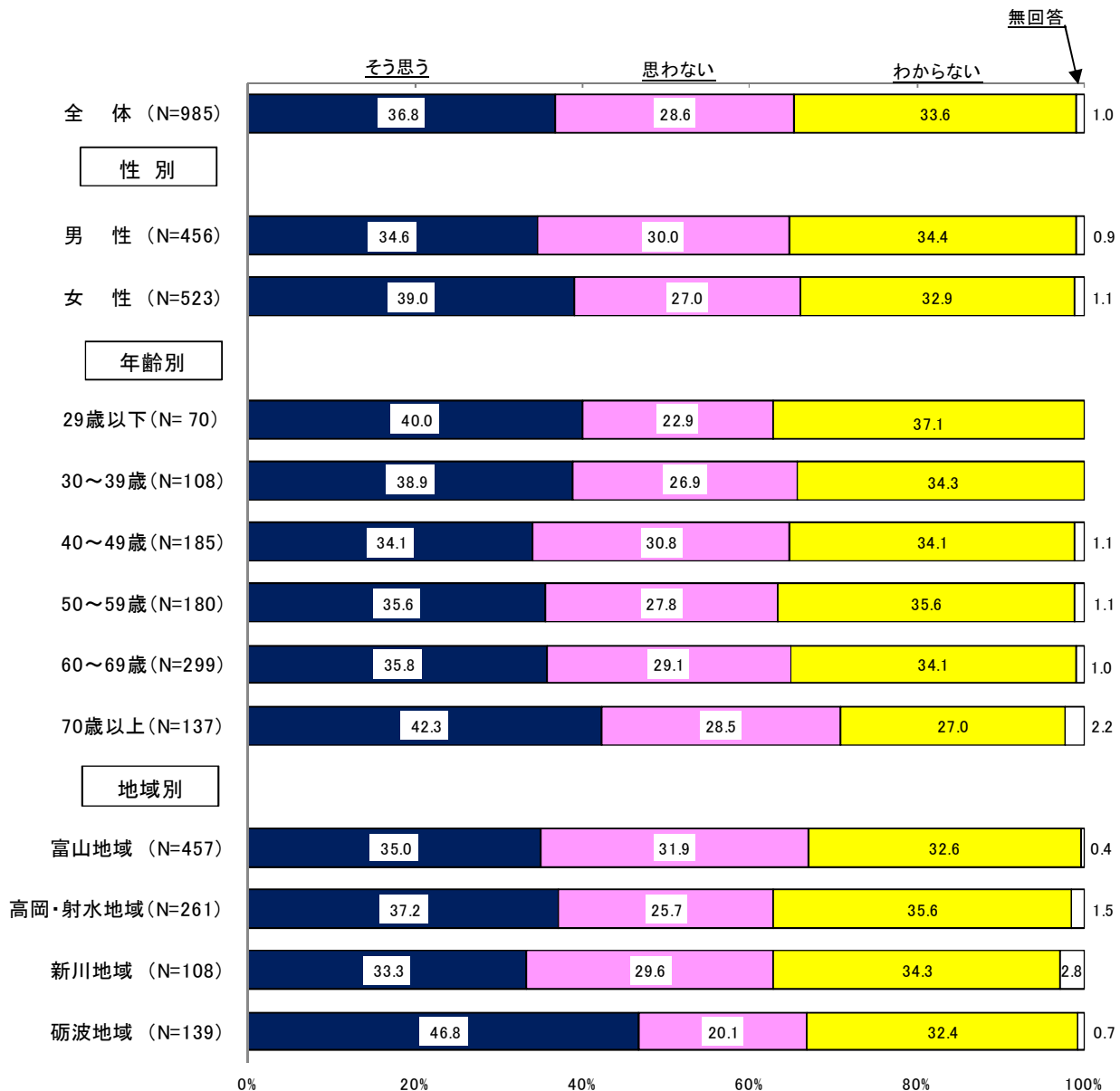
基礎的な学力を身につける教育に加え、子どもの個性・創造性を伸ばす教育が行われていると思うか
きいたところ、「そう思う」が36.8%、「思わない」が28.6%、「わからない」が33.6%となっている。

男女別にみると、女性は「そう思う」が39.0%と男性に比べてやや多くなっている。

年齢別にみると、「70歳以上」で「そう思う」が42.3%と、他の年代に比べて多くなっている。

地域別にみると、砺波地域で「そう思う」が46.8%と、他の地域に比べて多くなっている。

図表 子どもの個性・創造性を伸ばす教育が行われている



(8) 学術研究や科学技術、スポーツ、文化等の分野で国内外で活躍する人が増えている

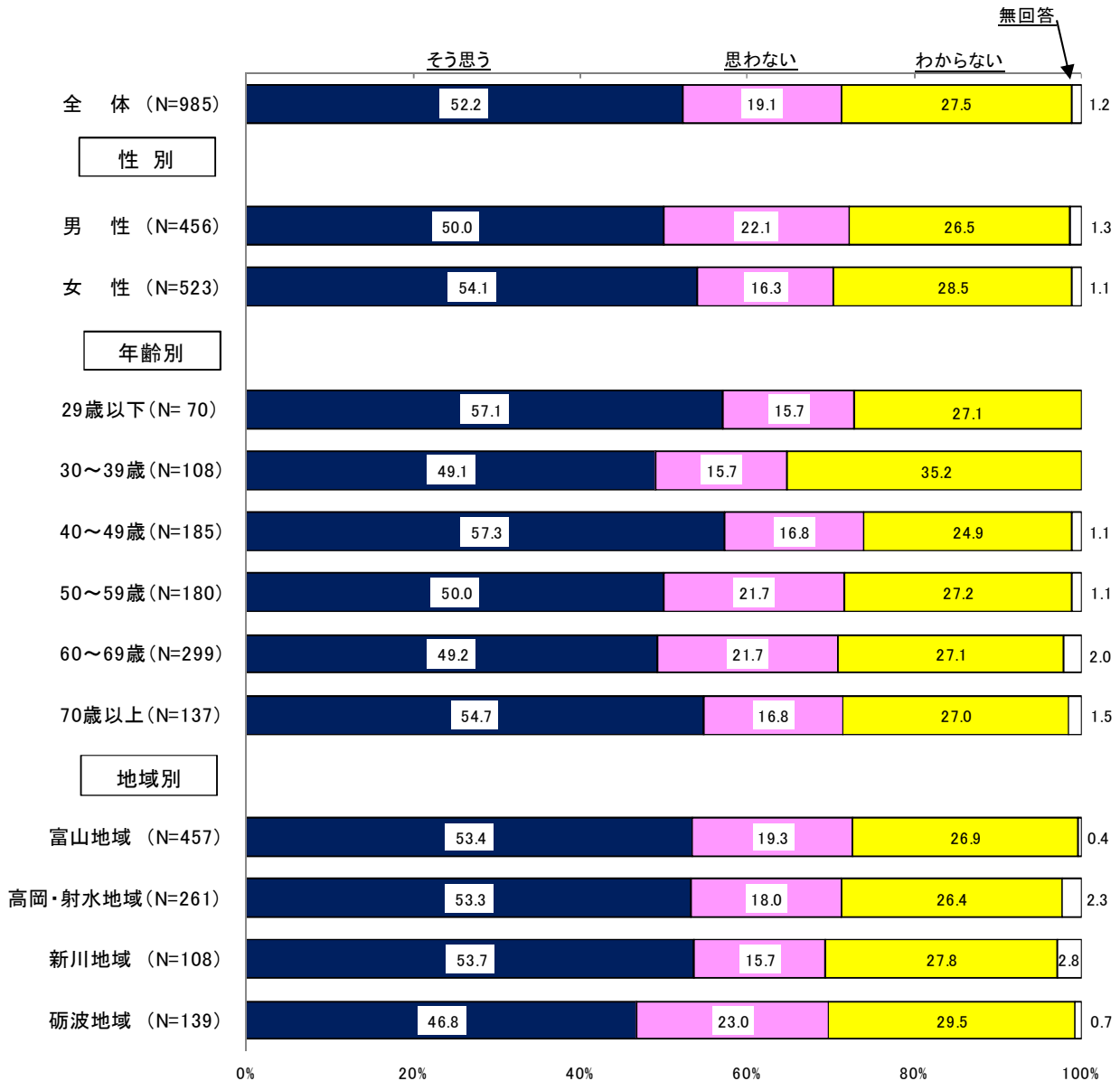
学術研究や科学技術、スポーツ、文化等の分野で国内外で活躍する人が増えていると思うかきいたところ、「そう思う」が52.2%、「思わない」が19.1%、「わからない」が27.5%となっている。

男女別にみると、女性は「そう思う」が54.1%と男性に比べてやや多くなっている。

年齢別にみると、「29歳以下」と「40～49歳」で「そう思う」とする人が57%台と多くなっている。

地域別にみると、砺波地域で「そう思う」が46.8%と、他の地域に比べて少なくなっている。

図表 学術研究や科学技術、スポーツ、文化等の分野で国内外で活躍する人が増えている



(9) 様々な文化を楽しむ機会が増えている

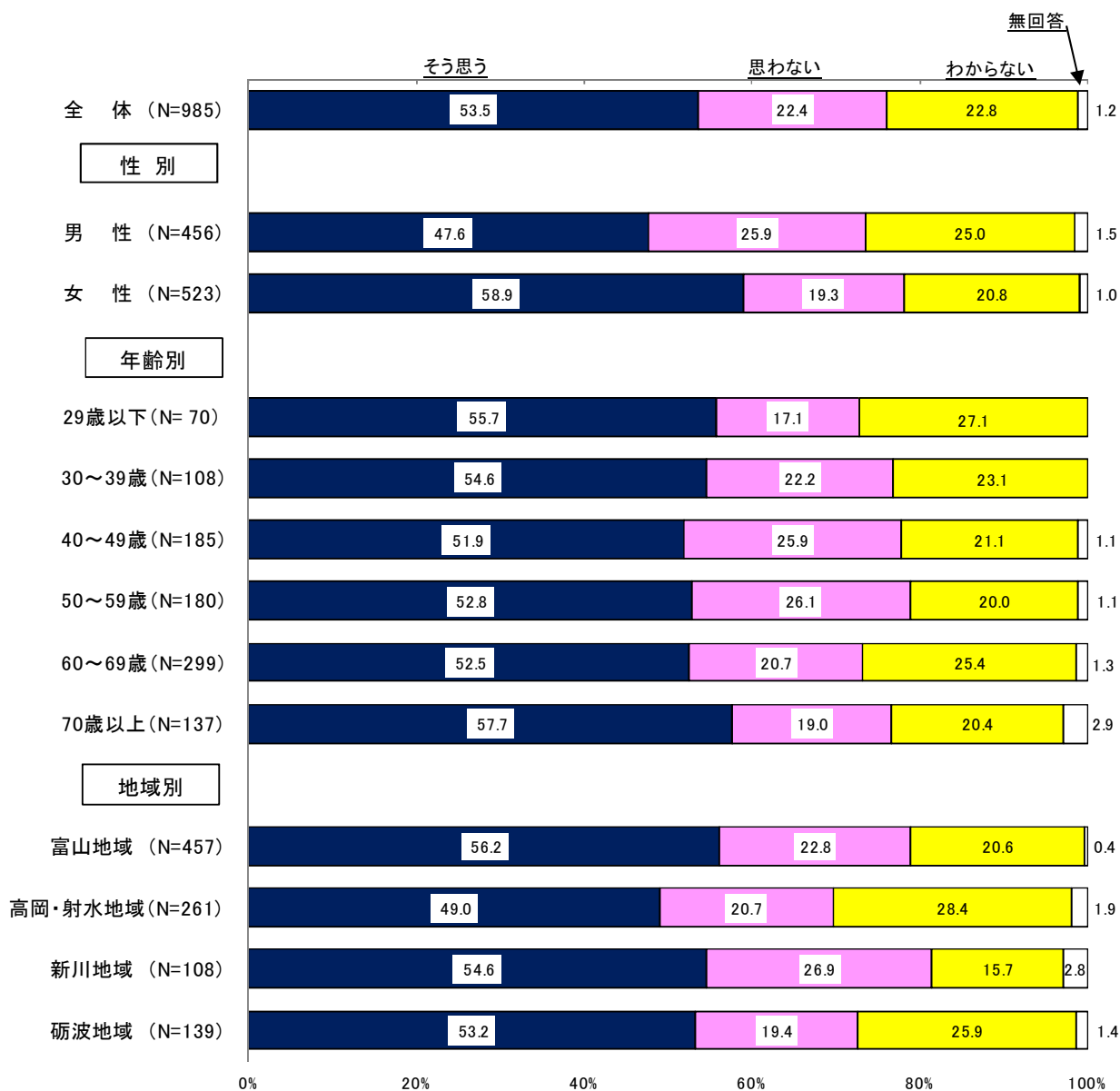
音楽会や演劇、美術展など、様々な文化を楽しむ機会が増えていると思うかきいたところ、「そう思う」が53.5%、「思わない」が22.4%、「わからない」が22.8%となっている。

男女別にみると、女性は「そう思う」が58.9%と男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、大きな差はみられなかった。

地域別にみると、富山地域で「そう思う」が56.2%と、他の地域に比べてやや多く、高岡・射水地域で49.0%とやや少なくなっている。

図表 様々な文化を楽しむ機会が増えている



(10) 地域づくりやボランティア、NPOなどの活動が盛んになっている

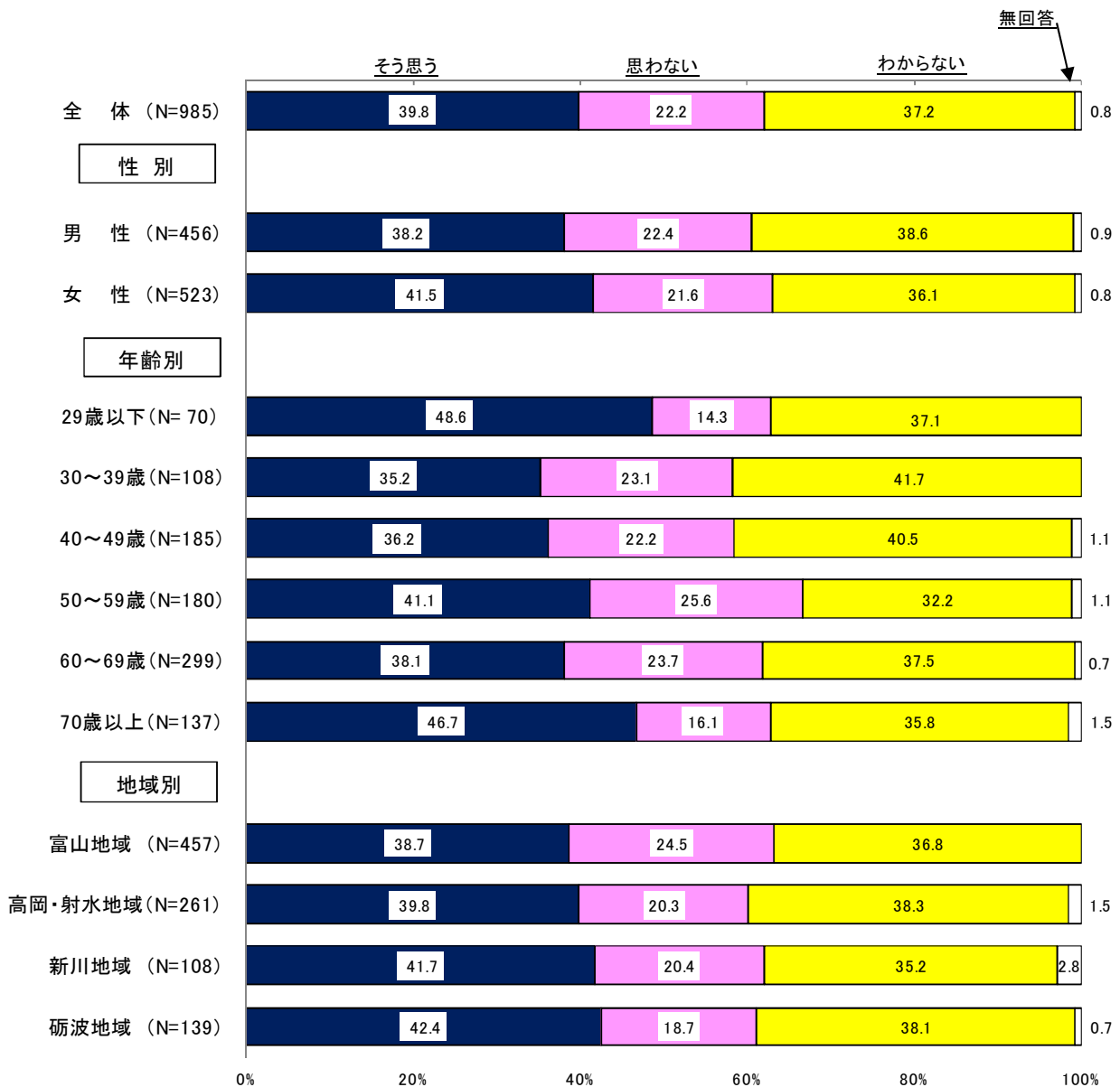
地域づくりや福祉、生涯学習、国際交流・協力などのボランティア、NPO（民間非営利組織）などの活動が盛んになっていると思うかきいたところ、「そう思う」が39.8%、「思わない」が22.2%、「わからない」が37.2%となっている。

男女別にみると、女性は「そう思う」が41.5%と男性に比べてやや多くなっている。

年齢別にみると、「29歳以下」と「70歳以上」で「そう思う」とする人が約半数と多くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられなかった。

図表 地域づくりやボランティア、NPOなどの活動が盛んになっている



(11) 安定した老後の生活を送ることができる

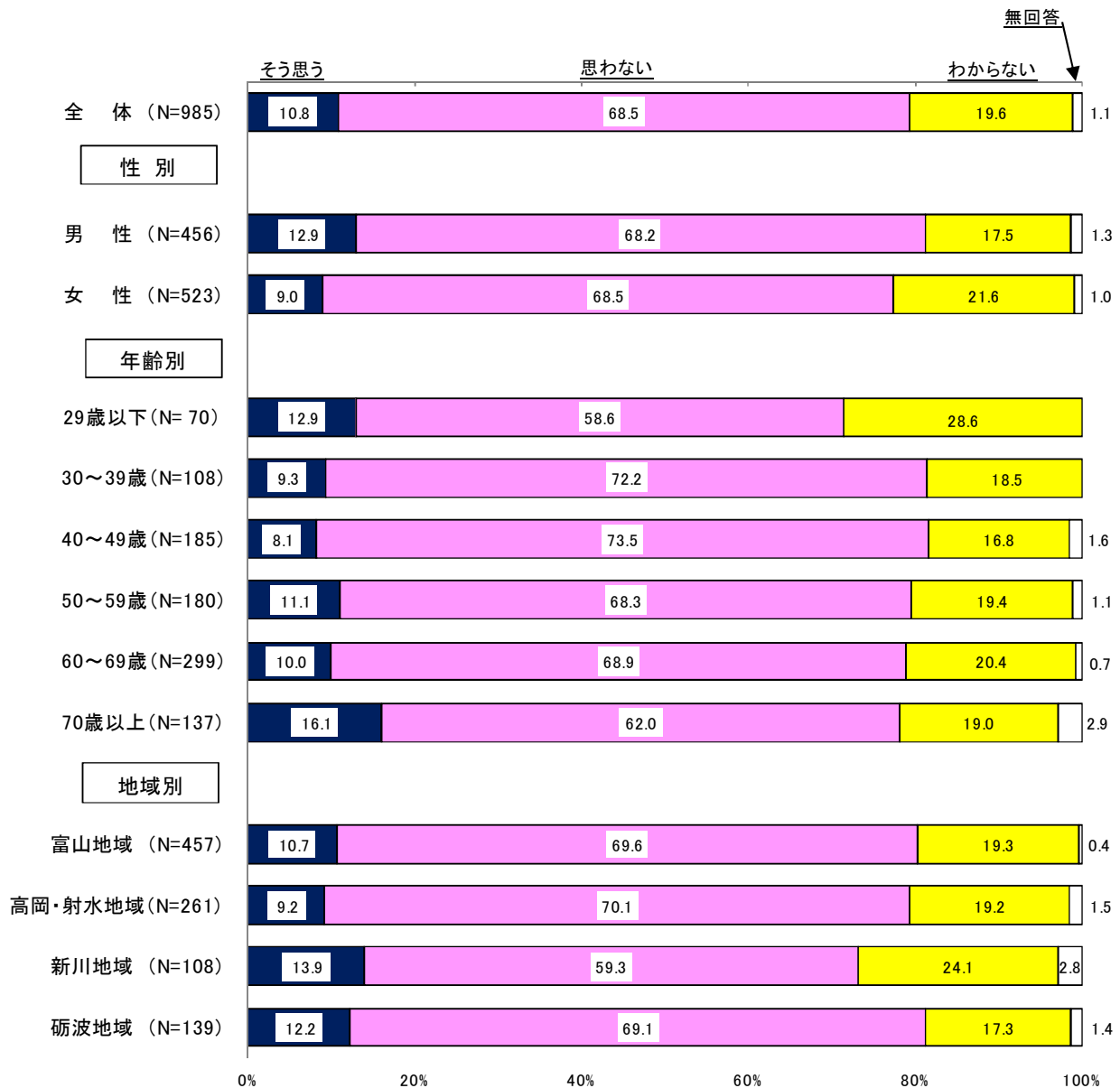
医療・介護サービスの充実や年金の支給などにより、安定した老後の生活を送ることができると思うかきいたところ、「そう思う」が10.8%、「思わない」が68.5%、「わからない」が19.6%となっている。

男女別にみると、男性は「そう思う」が12.9%と女性に比べてやや多くなっている。

年齢別にみると、「70歳以上」は「そう思う」が16.1%と他の年代に比べてやや多くなっている。

地域別にみると、新川地域で「そう思う」が13.9%と、他の地域に比べてやや多くなっている。

図表 安定した老後の生活を送ることができる



(12) 誰もが住み慣れた地域で自立して生活できる社会が実現している

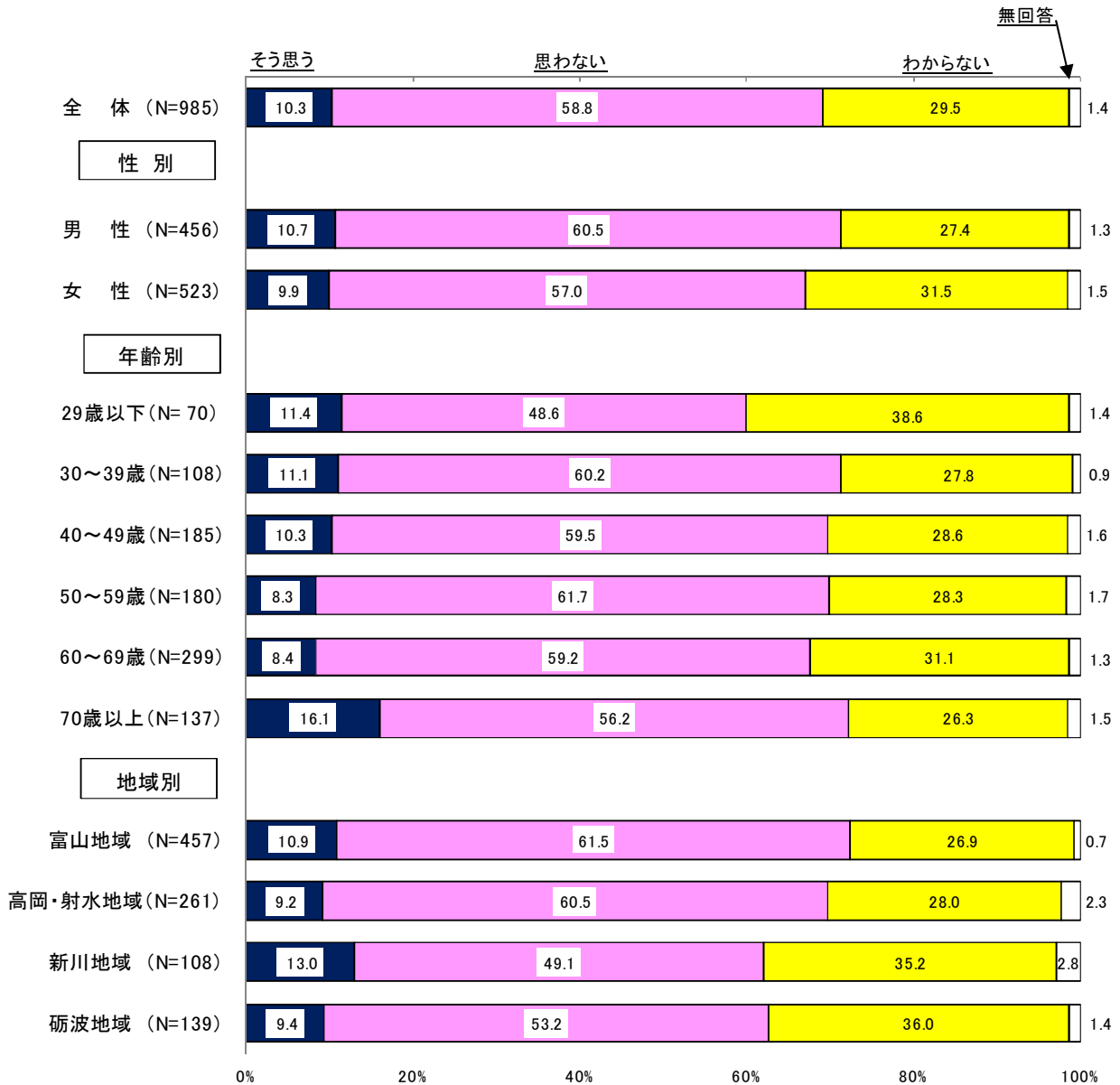
高齢者、障害者をはじめ誰もが住み慣れた地域で自立して生活できる社会が実現していると思うかきいたところ、「そう思う」が10.3%、「思わない」が58.8%、「わからない」が29.5%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、「70歳以上」は「そう思う」が16.1%と他の年代に比べてやや多くなっている。

地域別にみると、新川地域で「そう思う」が13.0%と、他の地域に比べてやや多くなっている。

図表 誰もが住み慣れた地域で自立して生活できる社会が実現している



(13) 環境にやさしいライフスタイルが定着している

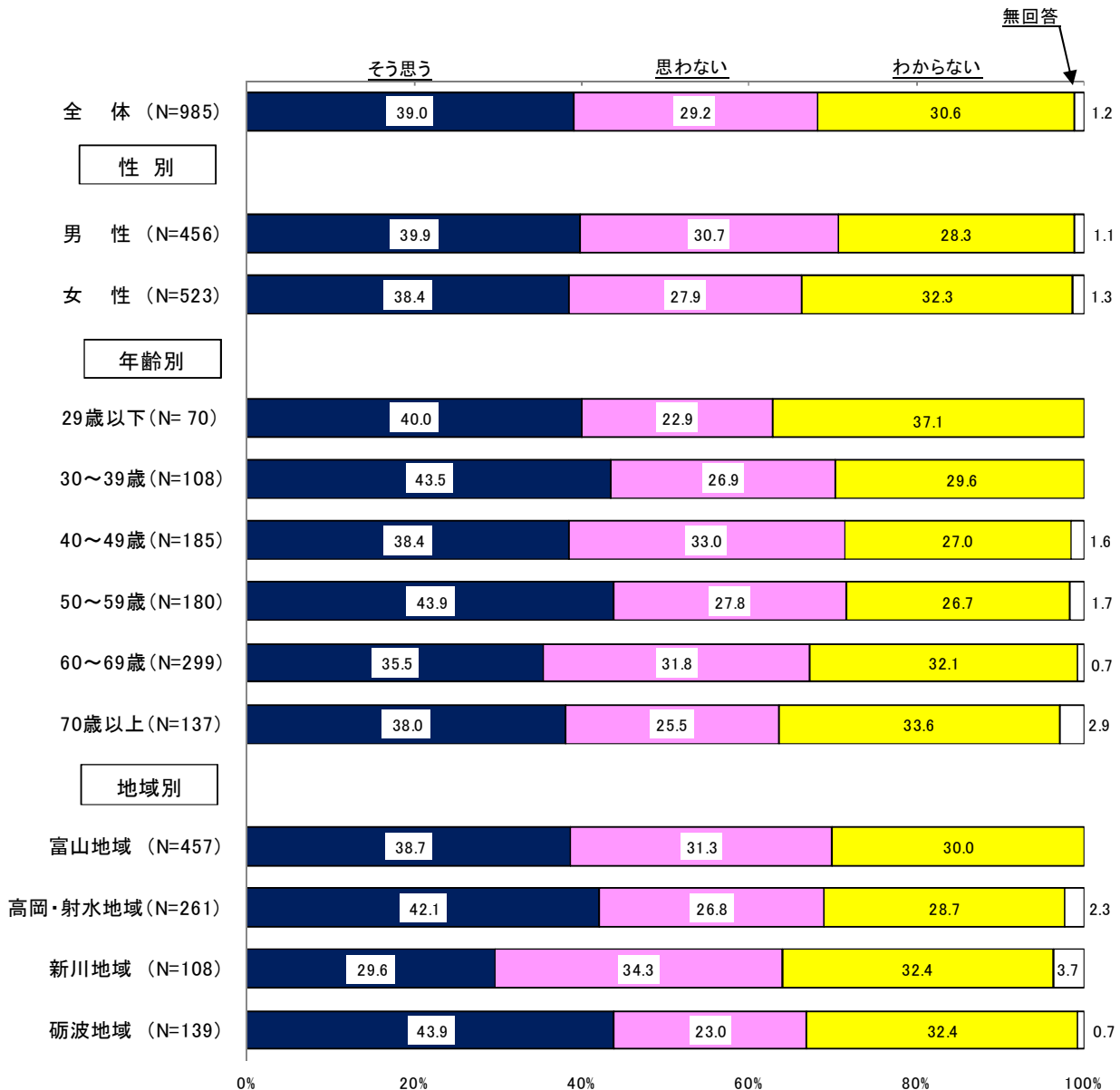
環境に対する意識が高まり、環境にやさしいライフスタイルが定着していると思うかきいたところ、「そう思う」が39.0%、「思わない」が29.2%、「わからない」が30.6%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、「30～39歳」と「50～59歳」で「そう思う」が43%台と他の年代に比べてやや多くなっている。

地域別にみると、新川地域で「そう思う」が29.6%と、他の地域に比べて少なくなっている。

図表 環境にやさしいライフスタイルが定着している



(14) 犯罪や消費者被害が減り、安心して暮らせる社会となっている

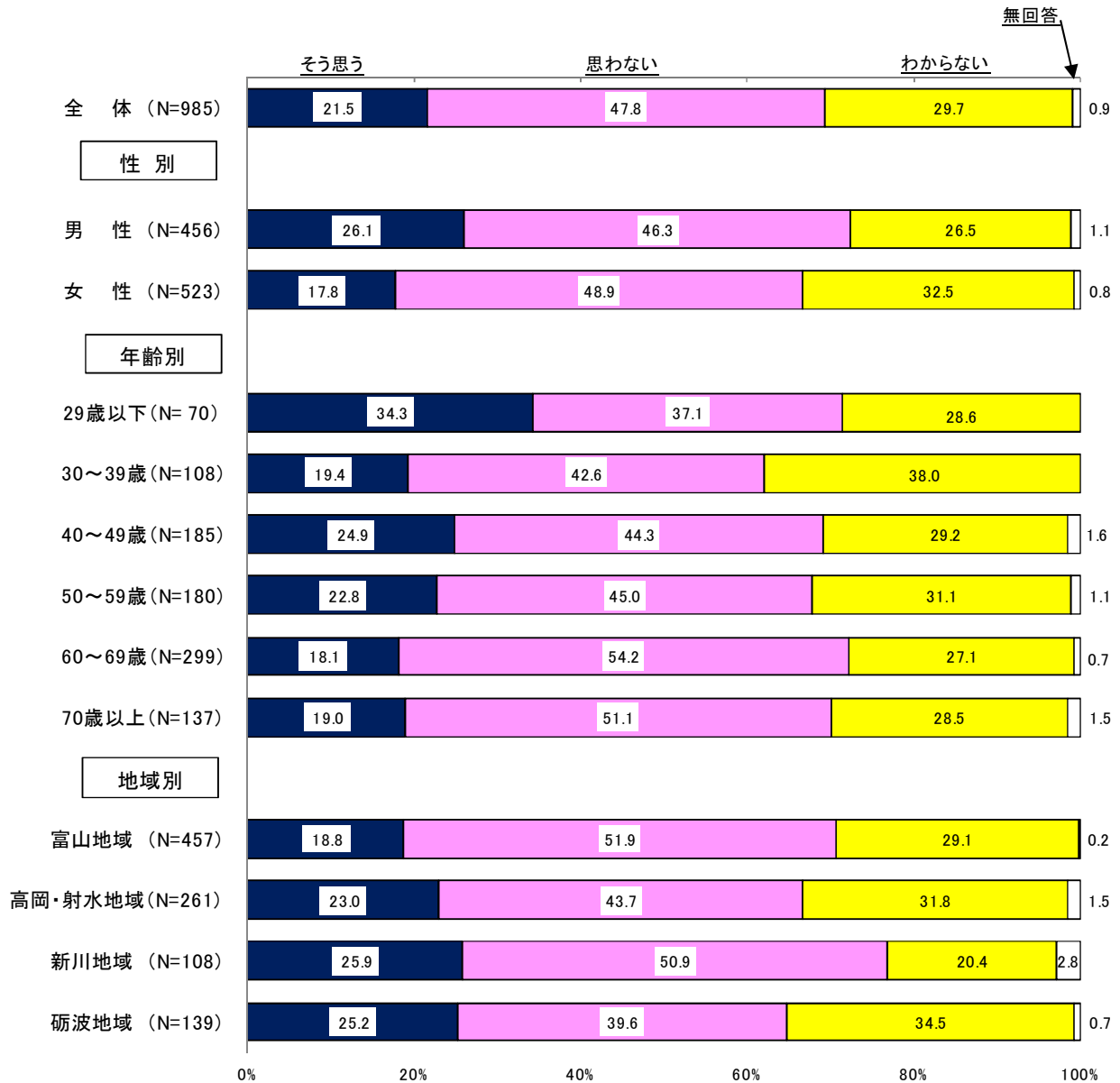
犯罪や消費者被害が減り、安心して暮らせる社会となっていると思うかきいたところ、「そう思う」が21.5%、「思わない」が47.8%、「わからない」が29.7%となっている。

男女別にみると、男性は「そう思う」が26.1%と女性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、「29歳以下」で「そう思う」が34.3%と他の年代に比べて多くなっている。

地域別にみると、富山地域で「そう思う」が18.8%と、他の地域に比べてやや少なくなっている。

図表 犯罪や消費者被害が減り、安心して暮らせる社会となっている



IV 選好度調査

IV 選好度調査

1. 選好度調査の概要

(1) 選好度調査とは

選好度調査は、県民生活に関係のある各分野の中から指標となるような質問項目を設定し、各々の項目について県民が「どの程度重要と考えているか」、また、それが「どの程度充足されているか」を調査し、この2つの調査結果から各々の項目に対する県民ニーズを把握することを目的としている。

調査項目については、前回調査（平成 22 年度）との比較を重視し、原則として前回の調査項目をベースとして、社会情勢の変化や県政の新たな動きにあわせて項目の追加や表現の修正を行った結果、67 項目（前回 61 項目）を設定した。

また、67 項目を「活力」「未来」「安心」「人づくり」の 4 区分に大別した。

さらに、分析にあたっては、67 項目を「産業」「観光・物流」「まちづくり・観光」「子育て・教育」「県民活動」「地域づくり」「健康・福祉」「環境」「安全・安心」「人づくり」の 10 領域に再編成した。

県民生活に関係のある生活領域の中から設定したこれらの 67 項目について、重要度、充足度を 5 段階に分け、それぞれ 1 つずつ選択してもらい、その結果を集計した。各生活領域及び 67 項目は図表のとおりである。

※「人づくり」の項目について

項目番号 63～67 の「人づくり」の 5 項目については、施策横断的な項目であることから、前回との比較や順位づけ等を行わず、独立して取り扱う。

(2) 重要度とは

重要度とは、各質問項目について、どの程度重要であるかという「重要である度合い」について、「きわめて重要である」から「まったく重要でない」までの 5 段階で尋ねたものである。

また、重要度得点とは「重要である度合い」を得点化したもので、重要度の 5 段階それぞれに「きわめて重要である」＝5 点から「まったく重要でない」＝1 点までの得点を与え、項目ごとに回答者数で加重した平均得点を求め、重要度に関する人々の評価を指標化したものである。

(3) 充足度・未充足度とは

充足度とは、各質問項目について、どの程度充足しているかという「充足している度合い」について「十分充足されている」から「ほとんど充足されていない」までの 5 段階で尋ねたものである。

また、充足度得点とは「充足されている度合い」を得点化したもので、充足度の 5 段階それぞれに「十分充足されている」＝5 点から「ほとんど充足されていない」＝1 点までの得点を与え、項目ごとに回答者数で加重した平均得点を求め、充足度に関する人々の評価を指標化したものである。

一方、未充足度得点は、(6－充足度得点)として算出し、得点が高いほど、充足されていない項目であると考えられる。本調査においては、未充足度得点を中心に分析を行う。

(4) ニーズ得点とは

ニーズ得点とは、県民生活に対するニーズを、重要度と未充足度の両者を組み合わせて考えたものであり、次のように定義される。

$$\begin{aligned}(\text{ニーズ得点}) &= (\text{重要度得点}) \times (\text{未充足度得点}) \\ &= (\text{重要度得点}) \times (6 - \text{充足度得点})\end{aligned}$$

例えば、ある項目について、重要度が高く未充足度が高ければ、ニーズが高いことを意味し、逆に、重要度が低く未充足度が低ければ、ニーズが低いことを意味する。

すなわち、「重要であり、かつ充足されていない」項目ほど何らかの対応が必要とされていると考えられ、ニーズ得点とは、そのような「対応の必要性」を指標化したものである。

○集計方法について

この調査では、67項目それぞれについて、重要度と充足度を、次のように6段階に分けて回答を求めた。また、集計にあたっては、無回答を含めた7段階それぞれに、次のような配点をした。

重要度		充足度		未充足度
区分	得点	区分	得点	得点
1. きわめて重要である	5点	1. 十分充足されている	5点	1点
2. かなり重要である	4点	2. かなり充足されている	4点	2点
3. どちらともいえない	3点	3. どちらともいえない	3点	3点
4. さほど重要とはいえない	2点	4. あまり充足されていない	2点	4点
5. 全く重要ではない	1点	5. ほとんど充足されていない	1点	5点
6. わからない	3点	6. わからない	3点	3点
無回答	3点	無回答	3点	3点

なお、集計手順は、次のとおりである。

1. 重要度、未充足度の項目ごとに回答者数で加重した平均得点を求めた。
2. (ニーズ得点) = (重要度平均得点) × (未充足度平均得点) として、各項目のニーズ得点を算出した。

図表 重要度及び充足度意識 67 項目及び前回設問との対応表

区分	領域	項目	今回設問	前回設問
活力	産業	1 景気対策	適切な景気対策により、県内経済が安定し、いきいきと働くことができる状況にあること	1 適切な景気対策により、県内経済が安定し、いきいきと働くことができる状況にあること
		2 新たな成長産業の育成	高いものづくり技術などの本県の強みを活かして、県内企業が新たな成長産業への参入に挑戦していること	2 企業が新しい分野に進出し、活力ある産業活動が展開されていること
		3 未来を拓く起業チャレンジへの支援	多様な起業家が生まれ、成長し、国内外で意欲的に事業展開していること	3 新たに会社や店をつくる人が増え、県内産業が活性化していること
		4 産学官連携によるものづくり産業の高度化	産学官共同研究や大学からの企業への技術移転により、新技術や新商品が数多く開発、実用化され、本県のものづくり技術が高度化していること	4 企業、大学等の共同研究開発により、優れた製品が生まれていること
		5 企業立地の促進	企業の立地環境が充実し、成長性が高く地域経済の発展に貢献する企業が数多く本県に進出してきていること	5 成長性が高い企業の誘致により、県内経済が活気に満ちていること
		6 中小企業の振興	本県産業を支える中小企業が、新たなニーズに的確に対応し、活発に企業活動を展開していること	6 優れた技術、商品を持った中小企業が、各分野で活発に活動していること
		7 デザインの振興と活用	デザイン性に優れ、高機能で、消費者の感性に合致した製品が数多く開発され、販路が開拓されていること	7 デザインの活用により、魅力的な商品が数多く開発されていること
		8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	地域の特徴を活かした魅力あふれる商店街が賑わっているとともに、新しいニーズに対応したサービス業が活発に展開されていること	8 商業・サービス業が活発に展開され、地域における豊かな暮らしを支えていること
		9 雇用の確保と人材の育成	意欲と能力に応じた多様な雇用の機会の確保と、本県産業の発展を支える人材の育成が図られ、誰もがいきいきと働いていること	働きがいのある職場が確保され、安心して働くことができ、生涯にわたる職業能力の開発が図られること
		10 環日本海・アジアなど海外ビジネス展開の促進	県内企業の環日本海・アジア地域などでのビジネス展開や販路開拓が進むとともに、幅広い分野で取引が活発になり、物流ネットワークや経済交流が拡大していること	10 中国、韓国、ロシアなどとの活発な取引により、県内企業が活性化していること
		11 農業生産の振興	次世代を担う経営感覚の優れた担い手により、消費者ニーズに対応した安全で高品質な県産農産物や農産加工品が、安定して供給されていること	11 新鮮な県内農産物が安定的に生産供給されていること
		12 森林の整備と林業の振興	地域林業の担い手により、持続可能な森林経営が行われているとともに、県産材等の林産物や木材製品が安定的に供給されていること	12 森林が適正に保全・整備されていること
		13 水産業の振興	富山湾及びその周辺海域の多様な水産資源が持続的に利用され、豊かな食生活を支える安全で良質な水産物が供給されていること	13 新鮮な水産物が安定的に供給されていること
まちなみ・観光	交流・物流	14 北陸新幹線の整備促進	北陸新幹線の金沢・敦賀間の早期開業、大阪までの全線整備が促進されていること。	16 北陸新幹線や高速道路網などの早期整備・充実により、活発に人、モノが行き来していること
		15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり	北陸新幹線や新幹線駅からの交通ネットワークにより、新幹線駅を核とした交流拠点が形成され、人の交流が活発になっていること	18 新幹線駅を中心に交流拠点が形成され、活発に人が行き来していること
		16 空港・港湾などの充実による交通・物流ネットワークの推進	環日本海地域やアジアの交流・物流拠点として、空港・港湾機能やネットワークの充実が図られ、国内外との人、モノの交流が活発になっていること	17 空港や港湾の機能が充実し、国内外から活発に人、モノが行き来していること
		17 利便性の高い道路ネットワークの整備	高速道路から身近な生活道路に至るまで、安全で快適な道路ネットワークが形成され、人、モノの交流が活発になっていること	16 北陸新幹線や高速道路網などの早期整備・充実により、活発に人、モノが行き来していること
		18 情報通信基盤の充実と活用	あらゆる分野において情報通信技術を活用し、いつでもどこでも誰でも、情報の取得・発信や各種の手続き・取引が行え、様々なサービスが享受できること	21 いつでもどこでも様々な情報・サービスが利用できること
		19 快適で活力ある魅力的なまちづくり	地域の個性を活かし、公共交通ネットワークが充実し、都市機能が適正に集積、配置された、快適で活力ある魅力的なまちが形成されていること	19 まちなみや駅周辺などに店舗や病院などの様々な施設が集まり、マイカーに頼らなくても不自由なく快適に暮らせること
		20 中心市街地の賑わいの創出	中心市街地に、居住、商業、業務、文化、福祉など多様な機能が集積され、賑わいが創出されていること	20 中心市街地に買い物や文化・娯楽などを楽しめる都市機能が集まり、賑わっていること
		21 選ばれ続ける観光地づくり	魅力ある観光資源を活かした観光地づくりやおもてなし環境の整備が進み、多くの観光客が繰り返し訪れ、滞在していること	14 国内外からの観光客が増加し、観光産業が振興・活性化していること
まちなみ・観光	交流・物流	22 国際観光の推進	本県の観光の魅力が国際的に認識され、年間を通じて海外の様々な国・地域から、多くの観光客が訪れていること	14 国内外からの観光客が増加し、観光産業が振興・活性化していること
		23 富山のブランド力アップ	富山ならではの優れた商品・サービスや食の魅力が、「とやまブランド」として広く認知され、評価が高まっているとともに、地域のイメージや好感度が向上していること	15 県内産品や県内観光地・富山の暮らしぶりが全国にアピールされ、富山県に対するイメージが向上していること

設問を分離

設問を分離

区分	領域	項目	今回設問	前回設問
未来	子育て・教育	24 家庭・地域・職場における子育て支援	子どもを持ちたいと願うすべての人が、家庭や地域、職場の人々に支えられながら、安心して子どもを生み、育て、子どもを持つ喜びを実感できること	22 安心して家庭を築き、子どもを生み育てられる環境が整っていること
		25 学校、家庭、地域で取り組む子どもの成長支援	子どもたちが、いじめなどを受けることなく、健やかに成長しているとともに、学校・家庭・地域の連携・協力のもと、基本的な生活習慣や社会性を身につけ、豊かな人間性を育てていること	23 子ども同士で遊んだり、自然とのふれあいや地域での活動に参加する機会があること
		26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	子どもたちが、知識・技能を身につけるとともに、それを基盤としながら自らの可能性を發揮して、未来を切り拓いていく力を育む教育が行われていること	24 小・中学校で子どもの自立に必要な力を培い、個性と創造性を伸ばす教育や豊かな心を育む教育が受けられること
		27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	子どもたちが、豊かな心を身につけ、たくましく生きるための健やかな体を育む教育や、特別な支援が必要な子どもが、自立し、社会参加するための力を育む教育が行われていること	24 小・中学校で子どもの自立に必要な力を培い、個性と創造性を伸ばす教育や豊かな心を育む教育が受けられること
		28 大学教育・学術研究・科学技術の振興	大学等の高等教育機関を中核として、個性豊かで創造的な人材育成の拠点や学術研究の拠点が形成されているとともに、高等教育機関と連携した地域振興の取組みが進められていること	26 大学・試験研究機関等が、人材育成や学術研究の拠点となり、他の機関と連携した地域振興の取組みが推進されること
		29 生涯をととした学びの推進	すべての世代の県民が、それぞれの目的、コースや社会の新たな課題に応じて、自由に学習の機会や場を選択して学ぶことができること	27 生涯を通じて学ぶ機会が確保されており、教養を高め、趣味を広げられること
		30 ふるさとを学び楽しむ環境づくり	県民一人ひとりがふるさとの自然、歴史・文化、産業等について学び、理解を深めることにより、ふるさとへの誇りと愛着を育てていること	新規
	県民活動	31 芸術文化の振興	県民一人ひとりが幅広く芸術文化に親しみ、身近な活動に参加するとともに、世界に誇ることのできる芸術文化が創造・発信されていること	32 音楽や演劇、美術など芸術・文化に親しむ機会があること
		32 多様な主体による社会貢献活動の推進	NPOやボランティアが幅広い人々の参加のもと、地域づくりや公共サービスの新たな担い手として、様々な分野において活発に活動していること	28 ボランティア・NPOが活発に活動できる環境が整っていること
		33 若者の自立促進とチャレンジ支援	若者が社会の一員として自立しているとともに、元気な職場づくり・地域社会づくりの中心となって、いきいきと活躍していること	30 若者、中高年世代が、地域社会の一員として積極的な活動を行えること
		34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮	男女がともに、個性と能力を十分に発揮する機会が確保されるとともに、経済・社会の活性化に向けてあらゆる分野で女性が活躍していること	29 男女が社会のあらゆる分野の活動に対等に参画していること
		35 元気な高齢者の活躍の場の拡大	元気な高齢者が、年齢にとらわれることなく、意欲と能力に応じて、生涯を通じて活躍することができ、職場や地域社会において積極的な役割を担っていること	新規
		36 人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成	誰もが互いの人権や多様な価値観を尊重し、相互の信頼や連帯感のもと自立意識の高い地域社会が形成されていること	31 県民一人ひとりの人権が守られ、心豊かな生活が送れること
		37 グローバル社会における地域づくり・人づくり	外国人にとっても県民にとっても暮らしやすい地域づくりが進み、各国地域との幅広い交流・協力のもと、グローバルに活躍する人材が集い、育っていること	33 国際交流や国際協力、地域の在住外国人への理解などを通じ、国際感覚豊かな人材の育成が進んでいること
	地域づくり	38 交流人口の拡大、定住・半定住の促進	首都圏をはじめとした大都市圏等との交流人口が拡大し、UIJターンなどの県内への移住や、季節滞在などの半定住（交流居住）が増大していること	34 大都市圏等との交流が活発になり、県内への移住や季節滞在などの半定住をする人が増えていること
		39 自然、歴史、伝統文化など地域の魅力の継承・再発見	県内各地において育まれてきた自然、歴史や伝統文化などの魅力を発掘、再発見するとともに、さらに磨き上げ、次の世代へ継承する活動が活発に行われていること	35 文化遺産や伝統文化を守り伝える活動が活発で、地域の魅力が再認識されていること
		40 地域の個性を活かした景観づくり・まち並みづくり	豊かで美しい自然景観や田園景観が守り育てられ、良好な都市景観づくりが行われているとともに、歴史や文化を活かしたまち並みづくりが進められていること	36 美しい景観や歴史と文化を活かしたまち並みが守り育てられていること
		41 農山漁村の活性化	かけがえのない自然、新鮮で安全な食、伝統文化などの地域資源の活用や都市住民との交流などにより、個性豊かな魅力ある農山漁村が形成されていること	37 個性豊かな魅力ある農山漁村が形成されていること
42 豊かな森づくり・花と緑の地域づくり		県民の参加により、豊かで多様な「とやまの森」が整備・保全されているとともに、四季折々の花と緑が満ちあふれた快適な生活環境が形成されていること	38 豊かな森づくりが推進され、花と緑があふれる、うるおいある生活環境が実感できること	

←..... 設問を分離

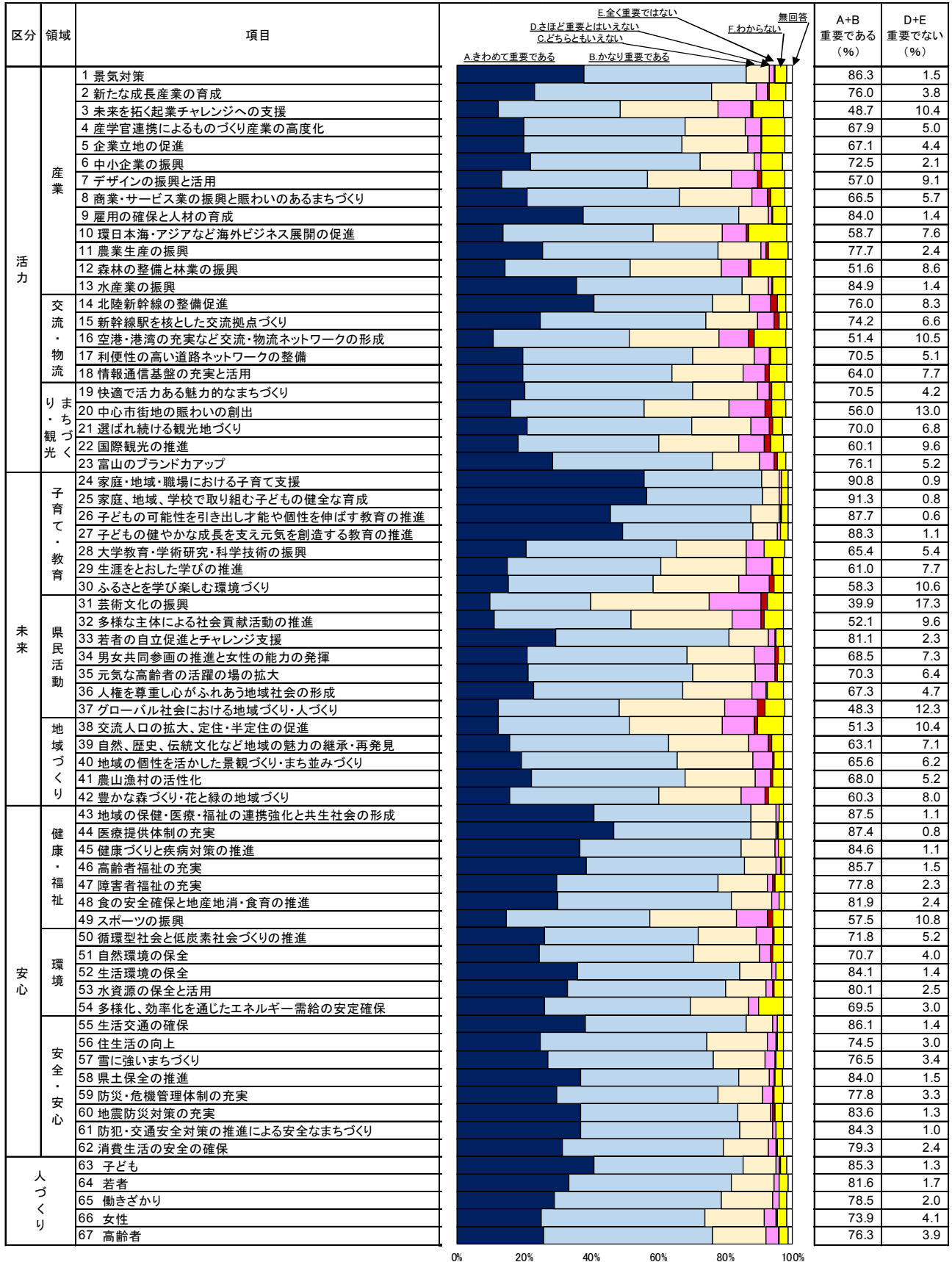
区分	領域	項目	今回設問	前回設問	
安心	健康・福祉	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	高齢者、障害者、子どもなど県民だれもが、住み慣れた地域でいきいきと健康に生活でき、共に支え合う共生社会が形成されていること	43 地域住民による支え合いや福祉サービスの充実に よって、子どもや高齢者、障害者など誰もが、住み慣れた地域で安心して生活ができること	
		44 医療提供体制の充実	すべての県民が、けがや病気の状況に応じて、必要ときに安心して質の高い、患者本位の医療を受けることができること	39 休日、夜間などの救急医療体制が充実していること	
		45 健康づくりと疾病対策の推進	望ましい生活習慣の実践や適切な疾病対策などにより、県民一人ひとりが心身ともに健康な生活を送っていること	40 健康に関する相談・指導が容易に受けられ、健康づくりに取り組みやすい環境が整備されること	
		46 高齢者福祉の充実	高齢者が健康で生きがいのある生活を送り、できるだけ住み慣れた地域で安心して暮らし続けられること	44 高齢者が健康で生きがいをもって暮らし続けられること	
		47 障害者福祉の充実	障害の有無にかかわらず、すべての人が相互に人格と個性を尊重しながら支え合うとともに、障害者一人ひとりが住み慣れた地域で自立した日常生活や社会生活を営んでいること	48 障害者が、社会参加や就労等を通じて、自立した生活ができること	
		48 食の安全確保と地産地消・食育の推進	安全な食品が供給され、誰もが食品の安全性に関する情報を適時的確に入手することができ、県民自らが地場産食材を積極的に活用し、「食」に関する知識と理解を深めていること	41 食品の安全性が確保され、食に関する情報が入手できること	
		49 スポーツの振興	県民一人ひとりが、それぞれの体力や年齢、興味、目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができるとともに、本県の選手が全国や世界の檜舞台で活躍していること	42 スポーツクラブの充実などにより、だれもが気軽にスポーツに親しむことができること	
	環境	50 循環型社会と低炭素社会づくりの推進	県民一人ひとりが、廃棄物の排出抑制や循環の利用などに積極的に取り組むとともに、温室効果ガス排出量の削減に向けた行動を実践していること	ごみの排出量が減るとともにリサイクルや省エネルギー対策、新エネルギーの導入が進んでいること	設問を分離
		51 自然環境の保全	自然に対する理解が深まるとともに、生物多様性の確保や、人と自然との共生の取組みが進み、豊かで美しい自然が保全されていること	46 山、森、川、海などの自然環境が保たれ、生物多様性の確保や野生動物との共生が図られていること	
		52 生活環境の保全	多くの県民の実践により、きれいでさわやかな大気、豊かで清らかな水などで健康な生活環境が確保されていること	47 大気汚染、水質汚濁、騒音、悪臭や土壌汚染などの公害がないこと	
		53 水資源の保全と活用	空から山、平野、川等を経て富山湾に至る水の循環と県民の諸活動との調和が図られ、水資源が有効に活用されるとともに、地域に根ざした水文化が継承されていること	49 河川や地下水が、適切に保全され、有効利用されていること	
		54 多様な県民生活や活発な産業経済活動を支えるため、多様なエネルギー源のベストミックス（最適な組み合わせ）や省エネルギー構造への転換により、エネルギー需給の安定が図られていること	ごみの排出量が減るとともにリサイクルや省エネルギー対策、新エネルギーの導入が進んでいること	設問を分離	
		55 生活交通の確保	県民の生活を支える身近な公共交通サービスが安定的に確保され、高齢者、障害者など誰もが安全で快適に移動できること		
		安全・安心	56 住生活の向上	耐震性やバリアフリー性能等を備えた地球環境にやさしい住まいで、それぞれのライフステージに応じて安全で快適な住生活が営まれていること	
	57 雪に強いまちづくり		降積雪時においても、県民生活に支障がなく、産業経済活動が円滑に進められるとともに、豊かな雪の文化が継承・創造されていること	52 雪が多く降っても、企業の活動や県民の暮らしに支障が生じないこと	
	58 県土保全の推進		水害や土砂災害などから県民の生命や財産を守るための施設等が整備され、災害に強い県土が形成されていること	53 治山治水等の防災対策の推進により、美しい県土が保全され、県民の安全、安心な暮らしが守られていること	
	59 防災・危機管理体制の充実		県民一人ひとりが、高い防災意識を持ち、地域での防災力が向上しているとともに、火災や自然災害はもとより、大規模テロ等の新たな危機が万一発生した場合への備えが整えられていること	54 地震、風水害、火災や大規模テロなどへの体制が整備されていること	
	60 地震防災対策の充実		災害に備えた施設整備や体制づくりが進み、県民の生命、身体及び財産が守られているとともに、災害発生時には、速やかで的確な応急対策や復旧・復興対策が行われる体制が整備されていること	54 地震、風水害、火災や大規模テロなどへの体制が整備されていること	
	61 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり		犯罪や交通事故が発生しにくく、万が一被害等に遭っても必要な支援が受けられる環境づくりが進み、県民が安全で安心して暮らすことのできる社会が実現していること	55 犯罪被害に遭うことなく、安全で安心して暮らせること	
	62 消費生活の安全の確保		県民誰もが、消費者トラブルに巻き込まれず、また、医薬品の安全性などに不安を感じることなく、安心して生活を送っていること	56 交通事故、悪徳商法や医薬品の安全性などに不安を感じることなく、安全で安心して暮らせること	
	人づくり	63 子ども	ふるさとに誇りと愛着を持ち、家族や地域の絆を大切にすることが育されていること	/	
		64 若者	就業に必要な知識・技能の習得や起業へのチャレンジを支援することにより、若者が職業的に自立し、活躍していること		
		65 働きざかり	教育や子育て、まちづくり、介護や福祉、防災や防犯など、身近な分野でコミュニティを支え、地域活性化の中心となる人材が育成されていること		
		66 女性	女性が仕事、家庭、地域生活など、多様な活動を自らの意欲と希望に応じた形で展開し、様々な分野でのチャレンジやキャリア形成が可能となっていること		
		67 高齢者	高齢者と子ども・若者など異世代との交流を促進し、高齢者が長年培った知識や経験、技能が失われることなく次世代への継承が進んでいること		

注：本文中は原則として簡略化した項目名を使用する。前回調査から設問を分離した項目については、前回との比較を行う際、前回調査の数値を今回の設問項目に同様にそれぞれ割り当てている。

2. 重要度意識

項目別にどれほど重要であると考えているかをグラフ化すると、下図のとおりである。

図表 項目別の重要度



(1) 得点の分布状況（領域別、項目別）

32 ページに記載のとおり、項目ごとに平均得点を求め、重要度に関する県民の評価の指標（重要度得点）とした。

項目別に重要度について高いものから順位づけするとともに、前回との比較を行うと、下図のとおりである。

図表 重要度順位と前回との比較

順位	区分	領域	項目	今回得点	前回得点	前回順位	前回との差
1	未来	子育て・教育	25 家庭・地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	4.47	4.08	13	0.38
2	未来	子育て・教育	24 家庭・地域・職場における子育て支援	4.46	4.34	4	0.12
3	未来	子育て・教育	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	4.36	4.18	8	0.19
4	安心	健康・福祉	44 医療提供体制の充実	4.33	4.38	1	▲ 0.06
5	未来	子育て・教育	26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	4.33	4.18	8	0.15
6	安心	健康・福祉	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	4.27	4.12	12	0.15
7	活力	産 業	1 景気対策	4.23	4.27	5	▲ 0.05
8	安心	健康・福祉	46 高齢者福祉の充実	4.22	4.13	11	0.09
8	安心	安全・安心	55 生活交通の確保	4.22	3.97	21	0.25
10	安心	健康・福祉	45 健康づくりと疾病対策の推進	4.20	3.89	27	0.31
11	活力	産 業	9 雇用の確保と人材の育成	4.20	4.19	7	0.01
12	安心	安全・安心	61 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり	4.20	4.34	3	▲ 0.14
13	安心	安全・安心	58 県土保全の推進	4.19	4.00	20	0.19
14	安心	安全・安心	60 地震防災対策の充実	4.19	4.15	9	0.04
15	活力	産 業	13 水産業の振興	4.18	3.97	22	0.21
16	安心	環 境	52 生活環境の保全	4.18	4.35	2	▲ 0.17
17	安心	環 境	53 水資源の保全と活用	4.10	4.01	19	0.09
18	安心	健康・福祉	48 食の安全確保と地産地消・食育の推進	4.10	3.92	25	0.18
19	未来	県民活動	33 若者の自立促進とチャレンジ支援	4.08	3.78	35	0.30
20	安心	安全・安心	62 消費生活の安全の確保	4.08	4.22	6	▲ 0.14
21	活力	交 流 ・ 物 流	14 北陸新幹線の整備促進	4.06	3.66	44	0.40
22	安心	健康・福祉	47 障害者福祉の充実	4.04	3.96	23	0.08
23	安心	安全・安心	59 防災・危機管理体制の充実	4.03	4.15	9	▲ 0.12
24	活力	産 業	11 農業生産の振興	4.00	4.06	15	▲ 0.06
25	安心	安全・安心	57 雪に強いまちづくり	3.99	4.05	16	▲ 0.06
26	活力	まちづくり・観光	23 富山のブランド力アップ	3.98	3.84	29	0.14
27	安心	安全・安心	56 住生活の向上	3.96	4.01	18	▲ 0.06
28	活力	産 業	2 新たな成長産業の育成	3.95	3.76	38	0.19
29	安心	環 境	54 多様化、効率化を通じたエネルギー需給の安定確保	3.93	4.14	10	▲ 0.21
30	安心	環 境	50 循環型社会と低炭素社会づくりの推進	3.92	4.14	10	▲ 0.21

順位	区分	領域	項目	今回得点	前回得点	前回順位	前回との差
31	活力	産 業	6 中小企業の振興	3.92	3.94	24	▲ 0.03
32	安心	環 境	51 自然環境の保全	3.91	3.80	34	0.11
33	活力	交 流 ・ 物 流	15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり	3.91	3.42	58	0.48
34	活力	まちづくり・観光	19 快適で活力ある魅力的なまちづくり	3.86	3.83	30	0.03
35	未来	県 民 活 動	36 人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成	3.85	4.07	14	▲ 0.22
36	活力	交 流 ・ 物 流	17 利便性の高い道路ネットワークの整備	3.85	3.66	44	0.19
37	未来	県 民 活 動	35 元気な高齢者の活躍の場の拡大	3.84	—	—	—
38	未来	地 域 づ くり	41 農山漁村の活性化	3.84	3.59	48	0.25
39	活力	まちづくり・観光	21 選ばれ続ける観光地づくり	3.83	3.68	42	0.15
40	活力	産 業	4 産学官連携によるものづくり産業の高度化	3.83	3.74	39	0.08
41	活力	産 業	5 企業立地の促進	3.82	3.81	33	0.02
42	活力	産 業	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	3.81	3.84	28	▲ 0.03
43	未来	県 民 活 動	34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮	3.81	3.51	51	0.30
44	未来	子 育 て ・ 教 育	28 大学教育・学術研究・科学技術の振興	3.80	3.77	37	0.03
45	未来	地 域 づ くり	40 地域の個性を活かした景観づくり・まち並みづくり	3.78	3.66	43	0.11
46	活力	交 流 ・ 物 流	18 情報通信基盤の充実と活用	3.75	3.59	47	0.16
47	未来	地 域 づ くり	39 自然、歴史、伝統文化など地域の魅力の継承・再発見	3.71	3.54	49	0.16
48	未来	子 育 て ・ 教 育	29 生涯をととした学びの推進	3.68	3.68	41	▲ 0.00
49	未来	地 域 づ くり	42 豊かな森づくり・花と緑の地域づくり	3.67	3.74	40	▲ 0.06
50	活力	まちづくり・観光	22 国際観光の推進	3.67	3.68	42	▲ 0.01
51	活力	産 業	10 環日本海・アジアなど海外ビジネス展開の促進	3.64	3.44	56	0.20
52	未来	子 育 て ・ 教 育	30 ふるさとを学び楽しむ環境づくり	3.61	—	—	—
53	活力	産 業	7 デザインの振興と活用	3.60	3.31	60	0.29
54	安心	健 康 ・ 福 祉	49 スポーツの振興	3.59	3.45	55	0.14
55	活力	まちづくり・観光	20 中心市街地の賑わいの創出	3.57	3.51	52	0.06
56	活力	産 業	12 森林の整備と林業の振興	3.57	3.82	31	▲ 0.25
57	未来	県 民 活 動	32 多様な主体による社会貢献活動の推進	3.52	3.49	53	0.03
58	未来	地 域 づ くり	38 交流人口の拡大、定住・半定住の促進	3.52	3.17	61	0.35
59	活力	交 流 ・ 物 流	16 空港・港湾の充実など交流・物流ネットワークの形成	3.50	3.52	50	▲ 0.02
60	活力	産 業	3 未来を拓く起業チャレンジへの支援	3.49	3.64	46	▲ 0.14
61	未来	県 民 活 動	37 グローバル社会における地域づくり・人づくり	3.46	3.44	57	0.02
62	未来	県 民 活 動	31 芸術文化の振興	3.30	3.36	59	▲ 0.06

—	人 づ くり	63 子ども	4.24	—	—	—
—	人 づ くり	64 若者	4.13	—	—	—
—	人 づ くり	65 働きざかり	4.05	—	—	—
—	人 づ くり	66 女性	3.95	—	—	—
—	人 づ くり	67 高齢者	3.98	—	—	—

※網かけは前回との差で±0.2ポイント以上の差があった項目

重要度の高い項目をみると、「25 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成」が 4.47 と最も高く、次いで「24 家庭・地域・職場における子育て支援」が 4.46、「27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進」が 4.36、「44 医療提供体制の充実」と「26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進」が 4.33 の順となっている。

一方、重要度の低かった項目をみると、「31 芸術文化の振興」が 3.30、「37 グローバル社会における地域づくり・人づくり」が 3.46、「3 未来を拓く起業チャレンジへの支援」が 3.49 などとなっている。

重要度の平均は生活領域別に重要度得点を平均すると、最も得点の高い領域は「健康・福祉」と「安心・安全」の 4.11 であり、次いで「子育て・教育」が 4.10、「環境」が 4.01 の順となっている。「人づくり」においては、「子ども」が 4.24、「若者」が 4.13 と重要度が高くなっている。

- 「健康・福祉」では、「44 医療提供体制の充実」が 4.33、「43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成」が 4.27 と高くなっている。
- 「安全・安心」では、「55 生活交通の確保」が 4.22、「61 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり」が 4.20 と高くなっている。
- 「子育て・教育」では、「25 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成」が 4.47、「24 家庭・地域・職場における子育て支援」が 4.46、「27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進」が 4.36 と全体の 1 位から 3 位を占めており、特に子育て支援、子どもの教育に関する項目が高くなっている。

図表 重要度の区分別・領域別の平均値

	平均値
全体	3.93
【区分別】	
活力	3.84
未来	3.85
安心	4.08
人づくり	4.07

【領域別】	
産業	3.86
交流・物流	3.81
まちづくり・観光	3.78
子育て・教育	4.10
県民活動	3.70
地域づくり	3.70
健康・福祉	4.11
環境	4.01
安全・安心	4.11

(2) 前回調査との比較

前回との比較では、全体平均では、平成22年度 3.83 → 今回 3.93 とやや高くなっている。

項目別にみると、前回と比べて最も重要度が高くなった項目は、「15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり」(+0.48)であり、次いで「14 北陸新幹線の整備促進」(+0.40)、「25 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成」(+0.38)、「38 交流人口の拡大、定住・半定住の促進」(+0.35)の順となっている。

一方、前回と比べて重要度が低くなった項目は「12 森林の整備と林業の振興」(▲0.25)、「36 人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成」(▲0.22)、「50 循環型社会と低炭素社会づくりの推進」(▲0.21)、「54 多様化、効率化を通じたエネルギー需給の安定確保」(▲0.21)などである。

図表 重要度が前回に比べて高くなった項目（上位10項目）

順位	区分	領域	項目	今回順位	今回得点	前回得点	前回順位	差
1	活力	交 流 ・ 物 流	15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり	33	3.91	3.42	58	0.48
2	活力	交 流 ・ 物 流	14 北陸新幹線の整備促進	21	4.06	3.66	44	0.40
3	未来	子 育 て ・ 教 育	25 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	1	4.47	4.08	13	0.38
4	未来	地 域 づ くり	38 交流人口の拡大、定住・半定住の促進	58	3.52	3.17	61	0.35
5	安心	健 康 ・ 福 祉	45 健康づくりと疾病対策の推進	10	4.20	3.89	27	0.31
6	未来	県 民 活 動	34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮	43	3.81	3.51	51	0.30
7	未来	県 民 活 動	33 若者の自立促進とチャレンジ支援	19	4.08	3.78	35	0.30
8	活力	産 業	7 デザインの振興と活用	53	3.60	3.31	60	0.29
9	未来	地 域 づ くり	41 農山漁村の活性化	38	3.84	3.59	48	0.25
10	安心	安 全 ・ 安 心	55 生活交通の確保	9	4.22	3.97	21	0.25

図表 重要度が前回に比べて低くなった項目（下位10項目）

順位	区分	領域	項目	今回順位	今回得点	前回得点	前回順位	差
60	活力	産 業	12 森林の整備と林業の振興	56	3.57	3.82	31	▲ 0.25
59	未来	県 民 活 動	36 人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成	35	3.85	4.07	14	▲ 0.22
58	安心	環 境	50 循環型社会と低炭素社会づくりの推進	30	3.92	4.14	10	▲ 0.21
57	安心	環 境	54 多様化、効率化を通じたエネルギー需給の安定確保	29	3.93	4.14	10	▲ 0.21
56	安心	環 境	52 生活環境の保全	16	4.18	4.35	2	▲ 0.17
55	活力	産 業	3 未来を拓く起業チャレンジへの支援	60	3.49	3.64	46	▲ 0.14
54	安心	安 全 ・ 安 心	61 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり	12	4.20	4.34	3	▲ 0.14
53	安心	安 全 ・ 安 心	62 消費生活の安全の確保	20	4.08	4.22	6	▲ 0.14
52	安心	安 全 ・ 安 心	59 防災・危機管理体制の充実	23	4.03	4.15	9	▲ 0.12
51	未来	地 域 づ くり	42 豊かな森づくり・花と緑の地域づくり	49	3.67	3.74	40	▲ 0.06

(3) 県民属性からみた重要度意識

属性別の重要度をみていく。

男女別にみると、男性は「10 環日本海・アジアなど海外ビジネス展開の促進」、「18 情報通信基盤の充実と活用」、「2 新たな成長産業の育成」が女性に比べて重要度が高くなっている。一方、女性は「35 元気な高齢者の活躍の場の拡大」、「27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進」、「43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成」、「32 社会貢献活動の推進」が男性に比べて重要度高くなっている。

地域別にみると、富山地域は「4 産学官連携によるものづくり産業の高度化」や「46 高齢者福祉の充実」が他の地域に比べて重要度高くなっている。高岡・射水地域は「20 中心市街地の賑わいの創出」、「16 空港・港湾の充実など交流・物流ネットワークの形成」、「3 未来を拓く起業チャレンジへの支援」が他の地域に比べて高くなっている。新川地域は「30 ふるさとを学び楽しむ環境づくり」、「50 循環型社会と低炭素社会づくりの推進」、「34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮」、「22 国際観光の推進」が、砺波地域は「51 自然環境の保全」、「36 人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成」が他の地域に比べて重要度高くなっている。

図表 属性別の重要度（性別・地域別）

順位	区分	領域	項目	全体	男性	女性	富山地域	高岡・射水地域	新川地域	砺波地域
1	未来	子育て・教育	25 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	4.47	4.40	4.53	4.48	4.44	4.49	4.51
2	未来	子育て・教育	24 家庭・地域・職場における子育て支援	4.46	4.46	4.46	4.46	4.44	4.50	4.48
3	未来	子育て・教育	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	4.36	4.27	4.45	4.35	4.37	4.42	4.38
4	安心	健康・福祉	44 医療提供体制の充実	4.33	4.27	4.38	4.35	4.33	4.34	4.30
5	未来	子育て・教育	26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	4.33	4.30	4.36	4.33	4.32	4.38	4.36
6	安心	健康・福祉	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	4.27	4.19	4.35	4.30	4.29	4.38	4.16
7	活力	産 業	1 景気対策	4.23	4.22	4.24	4.22	4.28	4.13	4.25
8	安心	健康・福祉	46 高齢者福祉の充実	4.22	4.16	4.29	4.27	4.18	4.24	4.19
8	安心	安全・安心	55 生活交通の確保	4.22	4.18	4.28	4.23	4.26	4.17	4.25
10	安心	健康・福祉	45 健康づくりと疾病対策の推進	4.20	4.12	4.27	4.21	4.19	4.23	4.22
11	活力	産 業	9 雇用の確保と人材の育成	4.20	4.23	4.19	4.22	4.28	4.14	4.14
12	安心	安全・安心	61 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり	4.20	4.15	4.25	4.19	4.26	4.19	4.20
13	安心	安全・安心	58 県土保全の推進	4.19	4.15	4.23	4.21	4.19	4.21	4.18
14	安心	安全・安心	60 地震防災対策の充実	4.19	4.13	4.25	4.19	4.22	4.12	4.24
15	活力	産 業	13 水産業の振興	4.18	4.17	4.21	4.21	4.22	4.21	4.09
16	安心	環 境	52 生活環境の保全	4.18	4.13	4.24	4.16	4.20	4.25	4.22
17	安心	環 境	53 水資源の保全と活用	4.10	4.11	4.10	4.13	4.09	4.15	4.04
18	安心	健康・福祉	48 食の安全確保と地産地消・食育の推進	4.10	4.06	4.12	4.09	4.12	4.19	4.02
19	未来	県民活動	33 若者の自立促進とチャレンジ支援	4.08	4.01	4.15	4.06	4.10	4.18	4.14
20	安心	安全・安心	62 消費生活の安全の確保	4.08	4.04	4.11	4.08	4.11	4.08	4.03
21	活力	交 流 ・ 物 流	14 北陸新幹線の整備促進	4.06	4.05	4.08	4.08	4.13	3.97	3.97
22	安心	健康・福祉	47 障害者福祉の充実	4.04	3.98	4.11	4.07	4.06	4.15	3.92
23	安心	安全・安心	59 防災・危機管理体制の充実	4.03	3.98	4.09	4.06	4.05	4.08	4.00
24	活力	産 業	11 農業生産の振興	4.00	3.96	4.04	4.02	4.00	3.99	4.00
25	安心	安全・安心	57 雪に強いまちづくり	3.99	3.94	4.06	4.03	4.01	3.85	4.04
26	活力	まちづくり・観光	23 富山のブランドカアップ	3.98	3.98	4.00	3.95	4.06	3.95	4.01
27	安心	安全・安心	56 住生活の向上	3.96	3.89	4.03	3.96	3.99	3.92	3.98
28	活力	産 業	2 新たな成長産業の育成	3.95	4.01	3.90	3.96	4.02	3.88	3.89
29	安心	環 境	54 多様化、効率化を通じたエネルギー需給の安定確保	3.93	3.97	3.90	3.90	3.96	3.95	3.94
30	安心	環 境	50 循環型社会と低炭素社会づくりの推進	3.92	3.85	4.00	3.91	3.90	4.07	3.94

順位	区分	領域	項目	全体	男性	女性	富山地域	高岡・ 射水地域	新川地域	砺波地域
31	活力	産 業	6 中小企業の振興	3.92	3.95	3.90	3.96	3.97	3.80	3.86
32	安心	環 境	51 自然環境の保全	3.91	3.85	3.96	3.87	3.92	3.97	4.00
33	活力	交 流 ・ 物 流	15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり	3.91	3.89	3.93	3.91	3.98	3.88	3.85
34	活力	まちづくり・観光	19 快適で活力ある魅力的なまちづくり	3.86	3.88	3.85	3.90	3.88	3.83	3.78
35	未来	県 民 活 動	36 人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成	3.85	3.85	3.87	3.83	3.90	3.84	3.91
36	活力	交 流 ・ 物 流	17 利便性の高い道路ネットワークの整備	3.85	3.88	3.82	3.81	3.92	3.87	3.84
37	未来	県 民 活 動	35 元気な高齢者の活躍の場の拡大	3.84	3.74	3.94	3.86	3.88	3.78	3.84
38	未来	地 域 づ くり	41 農山漁村の活性化	3.84	3.83	3.86	3.84	3.88	3.92	3.78
39	活力	まちづくり・観光	21 選ばれ続ける観光地づくり	3.83	3.86	3.81	3.82	3.86	3.89	3.78
40	活力	産 業	4 産学官連携によるものづくり産業の高度化	3.83	3.87	3.80	3.91	3.82	3.71	3.74
41	活力	産 業	5 企業立地の促進	3.82	3.87	3.79	3.86	3.87	3.78	3.67
42	活力	産 業	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	3.81	3.82	3.82	3.83	3.85	3.81	3.78
43	未来	県 民 活 動	34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮	3.81	3.75	3.87	3.76	3.85	3.95	3.88
44	未来	子 育 て ・ 教 育	28 大学教育・学術研究・科学技術の振興	3.80	3.81	3.81	3.82	3.84	3.86	3.68
45	未来	地 域 づ くり	40 地域の個性を活かした景観づくり・まち並みづくり	3.78	3.75	3.82	3.76	3.76	3.90	3.83
46	活力	交 流 ・ 物 流	18 情報通信基盤の充実と活用	3.75	3.82	3.69	3.73	3.81	3.74	3.71
47	未来	地 域 づ くり	39 自然、歴史、伝統文化など地域の魅力の継承・再発見	3.71	3.64	3.77	3.71	3.67	3.75	3.76
48	未来	子 育 て ・ 教 育	29 生涯をととした学びの推進	3.68	3.63	3.73	3.68	3.65	3.80	3.70
49	未来	地 域 づ くり	42 豊かな森づくり・花と緑の地域づくり	3.67	3.64	3.71	3.67	3.67	3.79	3.65
50	活力	まちづくり・観光	22 国際観光の推進	3.67	3.71	3.64	3.63	3.69	3.82	3.66
51	活力	産 業	10 環日本海・アジアなど海外ビジネス展開の促進	3.64	3.72	3.58	3.60	3.72	3.70	3.58
52	未来	子 育 て ・ 教 育	30 ふるさとを学び楽しむ環境づくり	3.61	3.61	3.63	3.59	3.60	3.79	3.65
53	活力	産 業	7 デザインの振興と活用	3.60	3.62	3.59	3.60	3.64	3.53	3.64
54	安心	健 康 ・ 福 祉	49 スポーツの振興	3.59	3.58	3.62	3.59	3.63	3.63	3.56
55	活力	まちづくり・観光	20 中心市街地の賑わいの創出	3.57	3.58	3.56	3.53	3.67	3.61	3.56
56	活力	産 業	12 森林の整備と林業の振興	3.57	3.56	3.59	3.57	3.57	3.57	3.59
57	未来	県 民 活 動	32 多様な主体による社会貢献活動の推進	3.52	3.44	3.60	3.52	3.56	3.55	3.53
58	未来	地 域 づ くり	38 交流人口の拡大、定住・半定住の促進	3.52	3.55	3.50	3.51	3.49	3.63	3.60
59	活力	交 流 ・ 物 流	16 空港・港湾の充実など交流・物流ネットワークの形成	3.50	3.55	3.46	3.46	3.59	3.55	3.47
60	活力	産 業	3 未来を拓く起業チャレンジへの支援	3.49	3.54	3.47	3.47	3.58	3.38	3.56
61	未来	県 民 活 動	37 グローバル社会における地域づくり・人づくり	3.46	3.42	3.50	3.44	3.46	3.62	3.46
62	未来	県 民 活 動	31 芸術文化の振興	3.30	3.25	3.35	3.29	3.27	3.47	3.34
-		人 づ くり	63 子ども	4.24	4.19	4.29	4.24	4.25	4.34	4.20
-		人 づ くり	64 若者	4.13	4.09	4.17	4.11	4.17	4.15	4.14
-		人 づ くり	65 働きざかり	4.05	3.99	4.12	4.03	4.07	4.12	4.11
-		人 づ くり	66 女性	3.95	3.86	4.02	3.96	3.95	3.95	3.96
-		人 づ くり	67 高齢者	3.98	3.92	4.04	3.99	3.99	3.94	4.00

※県平均（全体）より高い項目は網かけ

年齢別にみると、「29歳以下」は「34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮」、「57 雪に強いまちづくり」、「35 元気な高齢者の活躍の場の拡大」が他の年代に比べて重要度が高くなっている。

「30～39歳」は「25 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成」、「1 景気対策」が他の年代に比べて重要度が高くなっている。

「40～49歳」は「27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進」、「26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進」、「15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり」が他の年代に比べて重要度が高くなっている。

「50～59歳」は「48 食の安全確保と地産地消・食育の推進」、「18 情報通信基盤の充実と活用」が他の年代に比べて重要度が高くなっている。

「60～69歳」は「32 多様な主体による社会貢献活動の推進」、「50 循環型社会と低炭素社会づくりの推進」、「3 未来を拓く起業チャレンジへの支援」が他の年代に比べて重要度が高くなっている。

「70歳以上」は「10 環日本海・アジアなど海外ビジネス展開の促進」、「4 産学官連携によるものづくり産業の高度化」、「30 ふるさとを学び楽しむ環境づくり」が他の年代に比べて重要度が高くなっている。

図表 属性別の重要度（年齢別）

順位	区分	領域	項目	全体	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
1	未来	子育て・教育	25 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	4.47	4.50	4.59	4.56	4.40	4.41	4.47
2	未来	子育て・教育	24 家庭・地域・職場における子育て支援	4.46	4.58	4.57	4.53	4.45	4.38	4.40
3	未来	子育て・教育	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	4.36	4.50	4.48	4.50	4.29	4.30	4.29
4	安心	健康・福祉	44 医療提供体制の充実	4.33	4.46	4.46	4.40	4.33	4.27	4.21
5	未来	子育て・教育	26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	4.33	4.39	4.42	4.46	4.31	4.25	4.25
6	安心	健康・福祉	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	4.27	4.43	4.30	4.28	4.32	4.22	4.23
7	活力	産 業	1 景気対策	4.23	4.07	4.38	4.20	4.26	4.18	4.28
8	安心	健康・福祉	46 高齢者福祉の充実	4.22	4.37	4.27	4.22	4.24	4.18	4.24
8	安心	安全・安心	55 生活交通の確保	4.22	4.39	4.18	4.27	4.30	4.16	4.18
10	安心	健康・福祉	45 健康づくりと疾病対策の推進	4.20	4.37	4.26	4.30	4.20	4.13	4.12
11	活力	産 業	9 雇用の確保と人材の育成	4.20	4.23	4.33	4.32	4.32	4.08	4.09
12	安心	安全・安心	61 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり	4.20	4.38	4.28	4.30	4.16	4.12	4.15
13	安心	安全・安心	58 県土保全の推進	4.19	4.26	4.18	4.21	4.11	4.23	4.18
14	安心	安全・安心	60 地震防災対策の充実	4.19	4.31	4.25	4.16	4.21	4.16	4.18
15	活力	産 業	13 水産業の振興	4.18	4.23	4.26	4.21	4.18	4.17	4.15
16	安心	環 境	52 生活環境の保全	4.18	4.33	4.14	4.24	4.19	4.18	4.10
17	安心	環 境	53 水資源の保全と活用	4.10	4.10	4.04	4.12	4.06	4.10	4.20
18	安心	健康・福祉	48 食の安全確保と地産地消・食育の推進	4.10	4.13	4.09	4.15	4.20	4.06	3.97
19	未来	県民活動	33 若者の自立促進とチャレンジ支援	4.08	4.23	4.16	4.15	4.06	4.02	4.03
20	安心	安全・安心	62 消費生活の安全の確保	4.08	4.30	4.19	4.13	4.06	4.00	4.02
21	活力	交 流 ・ 物 流	14 北陸新幹線の整備促進	4.06	4.14	3.87	3.99	4.13	4.06	4.20
22	安心	健康・福祉	47 障害者福祉の充実	4.04	4.14	4.05	4.10	4.05	4.02	4.00
23	安心	安全・安心	59 防災・危機管理体制の充実	4.03	4.25	4.03	4.01	3.98	4.05	4.05
24	活力	産 業	11 農業生産の振興	4.00	4.13	4.04	3.96	4.04	3.96	4.03
25	安心	安全・安心	57 雪に強いまちづくり	3.99	4.27	3.92	4.07	4.01	3.98	3.89
26	活力	まちづくり・観光	23 富山のブランドカアップ	3.98	4.09	3.83	4.08	4.00	3.96	3.97
27	安心	安全・安心	56 住生活の向上	3.96	4.12	4.02	4.03	3.98	3.89	3.85
28	活力	産 業	2 新たな成長産業の育成	3.95	3.97	3.88	3.88	3.92	3.99	4.06
29	安心	環 境	54 多様化、効率化を通じたエネルギー需給の安定確保	3.93	4.02	3.82	3.91	3.95	3.96	3.90
30	安心	環 境	50 循環型社会と低炭素社会づくりの推進	3.92	3.98	3.80	3.79	3.90	3.99	4.09

順位	区分	領域	項目	全体	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
31	活力	産 業	6 中小企業の振興	3.92	3.87	3.96	4.00	3.96	3.87	3.89
32	安心	環 境	51 自然環境の保全	3.91	4.12	3.88	3.91	3.84	3.94	3.85
33	活力	交 流・物 流	15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり	3.91	3.99	3.86	4.03	3.98	3.82	3.86
34	活力	まちづくり・観光	19 快適で活力ある魅力的なまちづくり	3.86	3.80	3.75	3.89	3.95	3.84	3.89
35	未来	県 民 活 動	36 人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成	3.85	4.10	3.98	3.93	3.82	3.75	3.80
36	活力	交 流・物 流	17 利便性の高い道路ネットワークの整備	3.85	3.87	3.74	3.87	3.85	3.86	3.86
37	未来	県 民 活 動	35 元気な高齢者の活躍の場の拡大	3.84	4.13	3.89	3.86	3.82	3.75	3.90
38	未来	地 域 づ くり	41 農山漁村の活性化	3.84	3.85	3.83	3.92	3.80	3.82	3.88
39	活力	まちづくり・観光	21 選ばれ続ける観光地づくり	3.83	3.81	3.93	3.90	3.76	3.83	3.78
40	活力	産 業	4 産学官連携によるものづくり産業の高度化	3.83	3.80	3.66	3.75	3.81	3.87	4.06
41	活力	産 業	5 企業立地の促進	3.82	3.70	3.82	3.81	3.91	3.78	3.90
42	活力	産 業	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	3.81	3.83	3.73	3.86	3.83	3.80	3.83
43	未来	県 民 活 動	34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮	3.81	4.12	3.98	3.77	3.78	3.78	3.72
44	未来	子 育 て・教 育	28 大学教育・学術研究・科学技術の振興	3.80	4.03	3.73	3.92	3.66	3.77	3.87
45	未来	地 域 づ くり	40 地域の個性を活かした景観づくり・まち並みづくり	3.78	3.91	3.75	3.74	3.81	3.78	3.77
46	活力	交 流・物 流	18 情報通信基盤の充実と活用	3.75	3.63	3.67	3.84	3.86	3.72	3.68
47	未来	地 域 づ くり	39 自然、歴史、伝統文化など地域の魅力の継承・再発見	3.71	3.65	3.71	3.71	3.69	3.71	3.76
48	未来	子 育 て・教 育	29 生涯をとおした学びの推進	3.68	3.84	3.71	3.74	3.60	3.64	3.71
49	未来	地 域 づ くり	42 豊かな森づくり・花と緑の地域づくり	3.67	3.78	3.72	3.67	3.58	3.68	3.72
50	活力	まちづくり・観光	22 国際観光の推進	3.67	3.73	3.73	3.69	3.54	3.68	3.75
51	活力	産 業	10 環日本海・アジアなど海外ビジネス展開の促進	3.64	3.54	3.44	3.56	3.63	3.68	3.91
52	未来	子 育 て・教 育	30 ふるさとを学び楽しむ環境づくり	3.61	3.57	3.54	3.61	3.48	3.64	3.84
53	活力	産 業	7 デザインの振興と活用	3.60	3.57	3.49	3.62	3.56	3.63	3.71
54	安心	健 康・福 祉	49 スポーツの振興	3.59	3.80	3.56	3.61	3.50	3.61	3.63
55	活力	まちづくり・観光	20 中心市街地の賑わいの創出	3.57	3.71	3.62	3.49	3.57	3.54	3.65
56	活力	産 業	12 森林の整備と林業の振興	3.57	3.60	3.54	3.57	3.52	3.54	3.73
57	未来	県 民 活 動	32 多様な主体による社会貢献活動の推進	3.52	3.60	3.44	3.48	3.46	3.60	3.56
58	未来	地 域 づ くり	38 交流人口の拡大、定住・半定住の促進	3.52	3.56	3.44	3.55	3.54	3.52	3.52
59	活力	交 流・物 流	16 空港・港湾の充実など交流・物流ネットワークの形成	3.50	3.50	3.28	3.46	3.47	3.53	3.72
60	活力	産 業	3 未来を拓く起業チャレンジへの支援	3.49	3.41	3.29	3.47	3.48	3.56	3.64
61	未来	県 民 活 動	37 グローバル社会における地域づくり・人づくり	3.46	3.73	3.41	3.54	3.36	3.45	3.43
62	未来	県 民 活 動	31 芸術文化の振興	3.30	3.41	3.08	3.27	3.24	3.36	3.44
-		人 づ くり	63 子ども	4.24	4.33	4.26	4.23	4.23	4.24	4.28
-		人 づ くり	64 若者	4.13	4.20	4.17	4.16	4.16	4.09	4.10
-		人 づ くり	65 働きざかり	4.05	4.12	4.09	4.11	3.94	4.05	4.11
-		人 づ くり	66 女性	3.95	4.24	4.00	4.00	3.91	3.91	3.81
-		人 づ くり	67 高齢者	3.98	4.17	4.03	3.99	3.96	3.92	3.98

※県平均（全体）より高い項目は網かけ

(4) 「きわめて重要である」とした人の割合

重要度における回答のうち、「きわめて重要である」と答えた人の割合をみると、「25 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成」が 56.4%と最も高く、次いで「24 家庭・地域・職場における子育て支援」が 55.9%、「27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進」が 49.2%と、「子育て・教育」に関する項目が上位 3 項目を占め、「26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進」も 5 位となっている。また、「44 医療提供体制の充実」(46.8%) が 4 位、「43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成」(40.9%) が 6 位と「健康・福祉」に関する項目も高くなっている。

男女別にみると、男性は「24 子育て支援」が 55.5%、女性は「25 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成」が 60.4%と最も高くなっており、上位 5 項目は順位の違いはあるが、同じである。

地域別にみると、新川地域で「48 食の安全確保と地産地消・食育の推進」が 38.9%と多く、加えて「52 生活環境の保全」が 40.7%、「50 循環型社会と低炭素社会づくりの推進」が 34.3%、「51 自然環境の保全」が 33.3%など、「環境」領域の項目が高い傾向にある。

図表 「きわめて重要である」とした割合（性別・地域別）

(単位：%)

順位	区分	領域	項目	全体	男性	女性	富山地域	高岡・射水地域	新川地域	砺波地域
1	未来	子育て・教育	25 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	56.4	52.0	60.4	57.8	52.9	58.3	58.3
2	未来	子育て・教育	24 家庭・地域・職場における子育て支援	55.9	55.5	56.4	56.9	54.4	58.3	55.4
3	未来	子育て・教育	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	49.2	43.4	54.5	48.8	49.8	52.8	48.2
4	安心	健康・福祉	44 医療提供体制の充実	46.8	42.3	50.7	47.5	47.9	46.3	43.9
5	未来	子育て・教育	26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	45.9	44.3	47.4	46.0	44.4	48.1	48.2
6	安心	健康・福祉	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	40.9	35.5	45.7	41.6	42.1	47.2	34.5
7	活力	交流・物流	14 北陸新幹線の整備促進	40.8	40.8	40.7	42.7	42.5	35.2	35.3
8	安心	健康・福祉	46 高齢者福祉の充実	38.6	35.7	41.1	40.7	36.8	37.0	38.1
9	活力	産業	1 景気対策	38.1	39.3	37.1	39.2	40.6	30.6	36.0
9	安心	安全・安心	55 生活交通の確保	38.1	35.5	40.2	37.9	41.8	33.3	36.0
11	活力	産業	9 雇用の確保と人材の育成	37.7	38.4	37.5	40.5	38.7	34.3	32.4
12	安心	安全・安心	58 県土保全の推進	36.9	35.1	38.6	38.7	35.6	39.8	33.1
12	安心	安全・安心	60 地震防災対策の充実	36.9	32.5	40.9	37.4	37.2	36.1	38.8
14	安心	健康・福祉	45 健康づくりと疾病対策の推進	36.8	32.0	40.7	37.2	36.8	39.8	34.5
14	安心	安全・安心	61 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり	36.8	33.6	39.8	36.8	39.5	39.8	31.7
16	安心	環境	52 生活環境の保全	35.9	31.4	39.8	35.2	35.6	40.7	36.0
17	活力	産業	13 水産業の振興	35.6	34.4	36.9	37.6	36.0	37.0	28.8
18	安心	環境	53 水資源の保全と活用	33.1	34.0	32.3	34.8	31.0	38.0	30.2
19	安心	安全・安心	62 消費生活の安全の確保	31.3	29.8	32.5	31.1	34.1	31.5	27.3
20	安心	健康・福祉	48 食の安全確保と地産地消・食育の推進	30.1	28.9	31.0	30.0	31.0	38.9	23.7
21	安心	健康・福祉	47 障害者福祉の充実	29.6	27.0	32.1	32.2	29.5	37.0	19.4
21	安心	安全・安心	59 防災・危機管理体制の充実	29.6	28.7	30.4	30.0	32.2	32.4	24.5
23	未来	県民活動	33 若者の自立促進とチャレンジ支援	29.5	25.7	32.9	28.0	31.0	35.2	29.5
24	活力	まちづくり・観光	23 富山のブランドカアップ	28.4	28.1	28.7	26.7	28.7	28.7	33.1
25	安心	安全・安心	57 雪に強いまちづくり	27.2	25.2	29.1	29.1	25.7	24.1	28.1
26	安心	環境	50 循環型社会と低炭素社会づくりの推進	26.3	24.6	27.9	24.7	27.2	34.3	25.2
27	安心	環境	54 多様化、効率化を通じたエネルギー需給の安定確保	26.1	28.1	24.5	26.0	26.8	27.8	24.5
28	活力	産業	11 農業生産の振興	25.4	22.8	27.9	27.4	25.3	21.3	24.5
29	活力	交流・物流	15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり	24.9	24.8	24.9	26.5	25.3	18.5	25.2
30	安心	安全・安心	56 住生活の向上	24.8	21.9	27.2	25.4	25.7	21.3	25.2

順位	区分	領域	項目	全体	男性	女性	富山地域	高岡・射水地域	新川地域	砺波地域
31	安心	環境	51 自然環境の保全	24.6	21.7	27.2	21.4	25.7	33.3	28.1
32	活力	産業	2 新たな成長産業の育成	23.4	28.1	19.5	24.5	28.0	18.5	17.3
33	未来	県民活動	36 人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成	23.0	24.6	21.8	21.4	26.8	19.4	25.9
34	未来	地域づくり	41 農山漁村の活性化	22.1	20.8	23.3	21.0	23.8	27.8	20.1
35	活力	産業	6 中小企業の振興	21.8	23.2	20.8	24.1	22.6	16.7	18.0
36	未来	県民活動	35 元気な高齢者の活躍の場の拡大	21.3	17.5	24.5	21.0	23.8	18.5	21.6
37	活力	まちづくり・観光	21 選ばれ続ける観光地づくり	21.1	21.3	20.8	21.2	21.8	21.3	19.4
38	活力	産業	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	21.0	21.7	20.7	22.5	22.2	17.6	18.7
38	未来	県民活動	34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮	21.0	17.8	23.7	18.8	22.2	26.9	23.0
40	未来	子育て・教育	28 大学教育・学術研究・科学技術の振興	20.5	20.6	20.3	20.8	20.7	25.9	15.8
41	活力	まちづくり・観光	19 快適で活力ある魅力的なまちづくり	20.3	19.5	21.0	23.0	18.0	19.4	18.0
42	活力	産業	4 産学官連携によるものづくり産業の高度化	20.1	22.8	18.0	23.6	19.5	15.7	15.1
42	活力	産業	5 企業立地の促進	20.1	22.6	18.2	22.5	21.5	16.7	12.9
44	活力	交流・物流	18 情報通信基盤の充実と活用	19.7	20.8	18.7	21.0	19.9	14.8	19.4
45	活力	交流・物流	17 利便性の高い道路ネットワークの整備	19.6	21.1	18.4	19.9	19.2	16.7	22.3
46	未来	地域づくり	40 地域の個性を活かした景観づくり・まち並みづくり	19.2	18.9	19.5	17.9	18.4	25.0	22.3
47	活力	まちづくり・観光	22 国際観光の推進	18.5	20.0	17.2	18.4	16.5	22.2	20.1
48	活力	まちづくり・観光	20 中心市街地の賑わいの創出	16.0	16.0	16.1	15.3	19.2	16.7	13.7
49	未来	地域づくり	42 豊かな森づくり・花と緑の地域づくり	15.8	16.2	15.5	14.9	17.2	19.4	15.1
50	未来	地域づくり	39 自然、歴史、伝統文化など地域の魅力の継承・再発見	15.7	14.5	16.6	15.5	17.2	14.8	14.4
51	未来	子育て・教育	30 ふるさとを学び楽しむ環境づくり	15.3	16.7	14.0	15.8	14.6	19.4	12.2
52	未来	子育て・教育	29 生涯をおとした学びの推進	15.0	13.2	16.6	13.3	16.5	16.7	18.0
53	安心	健康・福祉	49 スポーツの振興	14.8	14.9	14.7	14.0	16.5	16.7	13.7
54	活力	産業	12 森林の整備と林業の振興	14.4	14.3	14.7	15.5	14.6	12.0	13.7
55	活力	産業	10 環日本海・アジアなど海外ビジネス展開の促進	13.7	16.0	11.7	14.4	14.9	13.0	10.1
56	活力	産業	7 デザインの振興と活用	13.6	14.7	12.8	14.0	14.2	7.4	15.1
57	未来	県民活動	37 グローバル社会における地域づくり・人づくり	12.6	11.6	13.2	12.7	12.3	11.1	14.4
58	未来	地域づくり	38 交流人口の拡大、定住・半定住の促進	12.4	13.4	11.5	12.9	10.0	13.0	15.8
59	活力	産業	3 未来を拓く起業チャレンジへの支援	12.3	13.8	10.9	12.7	13.4	9.3	12.2
60	未来	県民活動	32 多様な主体による社会貢献活動の推進	11.3	9.6	12.6	10.3	12.6	13.0	11.5
61	活力	交流・物流	16 空港・港湾の充実など交流・物流ネットワークの形成	10.9	11.8	9.9	10.9	11.5	12.0	9.4
62	未来	県民活動	31 芸術文化の振興	9.7	10.5	8.8	10.1	9.2	12.0	7.9
-		人づくり	63 子ども	40.9	36.8	44.6	40.7	40.6	50.9	35.3
-		人づくり	64 若者	33.3	29.6	36.7	31.5	36.8	33.3	33.8
-		人づくり	65 働きざかり	29.1	25.7	32.3	27.6	30.3	34.3	30.9
-		人づくり	66 女性	25.2	21.7	28.3	25.6	26.4	28.7	21.6
-		人づくり	67 高齢者	25.9	24.1	27.3	26.5	26.8	25.0	23.7

※県平均（全体）より高い項目は網かけ

「きわめて重要である」とした割合について、年齢別にみると、上位5項目ともに、若い世代の方が高い傾向にある。

また、「29歳以下」は「62 消費生活の安全の確保」が50.0%、「57 雪に強いまちづくり」が48.6%、「28 大学教育・学術研究・科学技術の振興」が38.6%と他の年代に比べて高くなっている。

「30～39歳」は「25 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成」が68.5%、「9 雇用の確保と人材の育成」が50.0%と高くなっている。

「40～49歳」は「27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進」が61.6%、「26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進」が57.3%と高くなっている。

「50～59歳」は「19 快適で活力ある魅力的なまちづくり」が25.6%と他の年代に比べて高くなっている。

「60～69歳」は全般的に「きわめて重要である」と回答した人が少ない傾向にある。

「70歳以上」は「4 産学官連携によるものづくり産業の高度化」が32.1%、「10 環日本海・アジアなど海外ビジネス展開の促進」が22.6%と他の年代に比べて高くなっている。

図表 「きわめて重要である」とした割合（年齢別）

（単位：％）

順位	区分	領域	項目	全体	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
1	未来	子育て・教育	25 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	56.4	60.0	68.5	65.9	49.4	49.8	56.2
2	未来	子育て・教育	24 家庭・地域・職場における子育て支援	55.9	67.1	65.7	62.7	53.9	49.5	50.4
3	未来	子育て・教育	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	49.2	61.4	59.3	61.6	44.4	41.1	43.1
4	安心	健康・福祉	44 医療提供体制の充実	46.8	55.7	56.5	55.1	46.1	41.1	36.5
5	未来	子育て・教育	26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	45.9	50.0	53.7	57.3	45.6	38.1	40.1
6	安心	健康・福祉	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	40.9	52.9	46.3	43.2	44.4	35.8	34.3
7	活力	交流・物流	14 北陸新幹線の整備促進	40.8	50.0	38.0	35.7	41.7	39.1	47.4
8	安心	健康・福祉	46 高齢者福祉の充実	38.6	50.0	41.7	41.1	39.4	32.8	38.7
9	活力	産業	1 景気対策	38.1	28.6	45.4	35.7	36.1	36.5	46.7
9	安心	安全・安心	55 生活交通の確保	38.1	50.0	37.0	41.6	40.6	31.8	38.0
11	活力	産業	9 雇用の確保と人材の育成	37.7	41.4	50.0	43.8	40.6	30.1	32.1
12	安心	安全・安心	58 県土保全の推進	36.9	41.4	38.0	40.5	30.0	38.1	35.8
12	安心	安全・安心	60 地震防災対策の充実	36.9	47.1	40.7	35.7	36.1	33.4	39.4
14	安心	健康・福祉	45 健康づくりと疾病対策の推進	36.8	50.0	41.7	43.2	36.7	30.8	29.9
14	安心	安全・安心	61 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり	36.8	51.4	43.5	42.7	31.7	30.1	38.0
16	安心	環境	52 生活環境の保全	35.9	48.6	37.0	40.0	33.3	33.8	30.7
17	活力	産業	13 水産業の振興	35.6	38.6	42.6	35.7	35.6	32.8	35.8
18	安心	環境	53 水資源の保全と活用	33.1	32.9	33.3	35.1	27.8	32.8	38.0
19	安心	安全・安心	62 消費生活の安全の確保	31.3	50.0	37.0	34.6	30.6	25.4	26.3
20	安心	健康・福祉	48 食の安全確保と地産地消・食育の推進	30.1	38.6	37.0	34.1	31.7	26.8	19.7
21	安心	健康・福祉	47 障害者福祉の充実	29.6	32.9	38.0	31.4	30.6	26.1	26.3
21	安心	安全・安心	59 防災・危機管理体制の充実	29.6	42.9	35.2	30.3	24.4	26.4	31.4
23	未来	県民活動	33 若者の自立促進とチャレンジ支援	29.5	38.6	32.4	31.9	30.0	26.4	25.5
24	活力	まちづくり・観光	23 富山のブランド力アップ	28.4	38.6	25.0	33.0	25.6	27.4	25.5
25	安心	安全・安心	57 雪に強いまちづくり	27.2	48.6	29.6	35.1	22.8	23.7	17.5
26	安心	環境	50 循環型社会と低炭素社会づくりの推進	26.3	30.0	25.0	22.7	25.6	28.4	27.0
27	安心	環境	54 多様化、効率化を通じたエネルギー需給の安定確保	26.1	25.7	22.2	26.5	27.2	25.1	29.9
28	活力	産業	11 農業生産の振興	25.4	30.0	35.2	23.2	27.8	22.1	23.4
29	活力	交流・物流	15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり	24.9	34.3	27.8	30.3	25.6	19.4	21.2
30	安心	安全・安心	56 住生活の向上	24.8	34.3	30.6	27.6	26.7	18.7	21.9

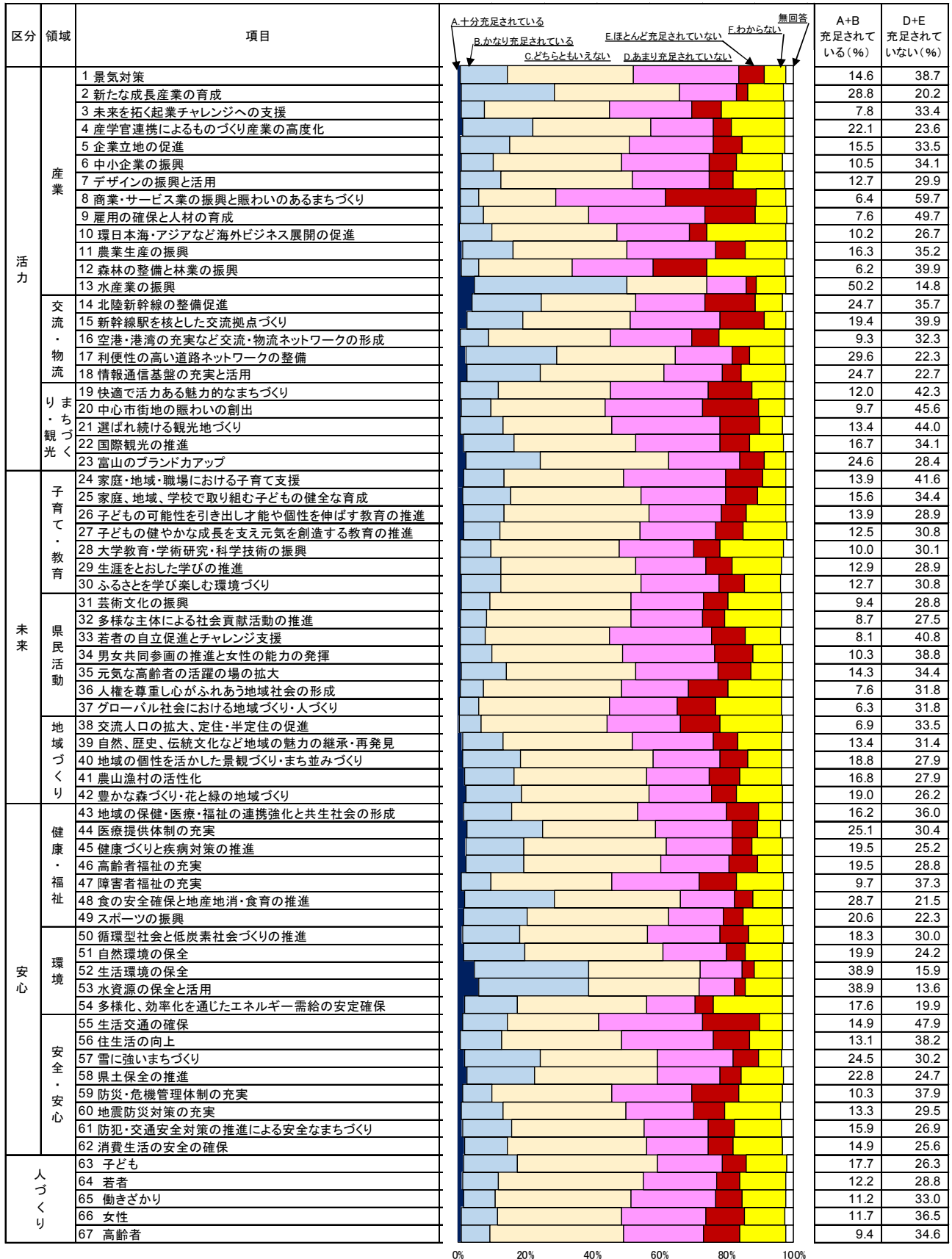
順位	区分	領域	項目	全体	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
31	安心	環境	51 自然環境の保全	24.6	37.1	25.0	25.4	20.0	25.8	20.4
32	活力	産業	2 新たな成長産業の育成	23.4	30.0	24.1	21.6	20.0	22.4	29.2
33	未来	県民活動	36 人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成	23.0	37.1	32.4	26.5	22.2	16.4	19.7
34	未来	地域づくり	41 農山漁村の活性化	22.1	24.3	27.8	22.7	20.6	18.7	25.5
35	活力	産業	6 中小企業の振興	21.8	21.4	25.9	24.9	20.6	19.4	22.6
36	未来	県民活動	35 元気な高齢者の活躍の場の拡大	21.3	37.1	26.9	24.3	18.9	15.4	20.4
37	活力	まちづくり・観光	21 選ばれ続ける観光地づくり	21.1	20.0	26.9	25.9	20.6	18.7	16.1
38	活力	産業	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	21.0	25.7	23.1	23.8	19.4	19.1	20.4
38	未来	県民活動	34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮	21.0	32.9	29.6	22.2	18.3	18.1	16.1
40	未来	子育て・教育	28 大学教育・学術研究・科学技術の振興	20.5	38.6	17.6	28.1	16.1	16.1	18.2
41	活力	まちづくり・観光	19 快適で活力ある魅力的なまちづくり	20.3	21.4	17.6	22.7	25.6	15.4	22.6
42	活力	産業	4 産学官連携によるものづくり産業の高度化	20.1	20.0	15.7	16.8	18.3	19.7	32.1
42	活力	産業	5 企業立地の促進	20.1	15.7	21.3	21.1	21.1	17.7	24.8
44	活力	交流・物流	18 情報通信基盤の充実と活用	19.7	18.6	17.6	21.6	22.8	18.7	17.5
45	活力	交流・物流	17 利便性の高い道路ネットワークの整備	19.6	24.3	16.7	21.6	20.6	18.4	18.2
46	未来	地域づくり	40 地域の個性を活かした景観づくり・まち並みづくり	19.2	21.4	27.8	16.8	20.6	16.7	18.2
47	活力	まちづくり・観光	22 国際観光の推進	18.5	24.3	19.4	17.8	17.8	17.4	19.0
48	活力	まちづくり・観光	20 中心市街地の賑わいの創出	16.0	17.1	21.3	15.1	17.8	11.7	19.7
49	未来	地域づくり	42 豊かな森づくり・花と緑の地域づくり	15.8	20.0	20.4	16.2	15.0	13.4	16.1
50	未来	地域づくり	39 自然、歴史、伝統文化など地域の魅力の継承・再発見	15.7	14.3	24.1	16.8	13.9	13.0	16.1
51	未来	子育て・教育	30 ふるさとを学び楽しむ環境づくり	15.3	17.1	15.7	16.8	12.2	14.4	17.5
52	未来	子育て・教育	29 生涯をとらした学びの推進	15.0	24.3	15.7	19.5	12.8	11.0	15.3
53	安心	健康・福祉	49 スポーツの振興	14.8	18.6	17.6	16.8	10.0	14.0	16.1
54	活力	産業	12 森林の整備と林業の振興	14.4	15.7	14.8	14.6	14.4	12.7	17.5
55	活力	産業	10 環日本海・アジアなど海外ビジネス展開の促進	13.7	10.0	14.8	10.8	13.3	12.0	22.6
56	活力	産業	7 デザインの振興と活用	13.6	17.1	13.0	16.8	15.0	10.0	14.6
57	未来	県民活動	37 グローバル社会における地域づくり・人づくり	12.6	22.9	13.9	17.3	11.1	8.4	10.2
58	未来	地域づくり	38 交流人口の拡大、定住・半定住の促進	12.4	14.3	13.0	14.1	11.1	12.4	10.2
59	活力	産業	3 未来を拓く起業チャレンジへの支援	12.3	11.4	11.1	14.1	12.2	9.0	18.2
60	未来	県民活動	32 多様な主体による社会貢献活動の推進	11.3	15.7	11.1	13.0	8.9	10.7	10.9
61	活力	交流・物流	16 空港・港湾の充実など交流・物流ネットワークの形成	10.9	11.4	6.5	8.1	11.1	10.7	17.5
62	未来	県民活動	31 芸術文化の振興	9.7	12.9	8.3	10.8	9.4	8.0	10.9
-		人づくり	63 子ども	40.9	47.1	42.6	39.5	40.6	39.1	43.1
-		人づくり	64 若者	33.3	41.4	37.0	35.1	33.9	29.4	32.1
-		人づくり	65 働きざかり	29.1	34.3	35.2	31.9	25.0	25.8	31.4
-		人づくり	66 女性	25.2	37.1	31.5	29.7	21.1	23.4	17.5
-		人づくり	67 高齢者	25.9	41.4	31.5	25.4	22.8	22.1	26.3

※県平均（全体）より高い項目は網かけ

3. 未充足度意識

項目別にどれほど充足されていると思うかについてグラフ化すると、下図のとおりである。

図表 項目別の充足感



(1) 得点の分布状況（領域別、項目別）

32 ページに記載のとおり、項目ごとに平均得点を求め、未充足度に関する県民の評価の指標（未充足度得点）とした。

項目別に未充足度について高いものから順位づけするとともに、前回との比較を行うと、下図のとおりである。

図表 未充足度順位と前回との比較

順位	区分	領域	項目	今回得点	前回得点	前回順位	前回との差
1	活力	産 業	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	3.79	3.41	11	0.38
2	活力	産 業	9 雇用の確保と人材の育成	3.56	3.64	3	▲ 0.08
3	活力	まちづくり・観光	20 中心市街地の賑わいの創出	3.52	3.61	4	▲ 0.10
4	安心	安 全 ・ 安 心	55 生活交通の確保	3.49	3.41	12	0.08
5	活力	産 業	12 森林の整備と林業の振興	3.48	3.15	42	0.33
6	未来	県 民 活 動	33 若者の自立促進とチャレンジ支援	3.43	3.29	22	0.14
7	活力	まちづくり・観光	19 快適で活力ある魅力的なまちづくり	3.43	3.67	2	▲ 0.25
8	活力	まちづくり・観光	21 選ばれ続ける観光地づくり	3.42	3.18	37	0.23
9	安心	安 全 ・ 安 心	59 防災・危機管理体制の充実	3.40	3.25	29	0.15
10	未来	県 民 活 動	34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮	3.39	3.22	34	0.17
11	未来	地 域 づ くり	38 交流人口の拡大、定住・半定住の促進	3.38	3.32	17	0.06
12	安心	健 康 ・ 福 祉	47 障害者福祉の充実	3.37	3.45	7	▲ 0.07
13	未来	子 育 て ・ 教 育	24 家庭・地域・職場における子育て支援	3.37	3.41	10	▲ 0.04
14	未来	県 民 活 動	37 グローバル社会における地域づくり・人づくり	3.37	3.25	29	0.12
15	未来	県 民 活 動	36 人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成	3.35	3.23	32	0.13
16	安心	安 全 ・ 安 心	56 住生活の向上	3.35	3.07	49	0.28
17	活力	産 業	3 未来を拓く起業チャレンジへの支援	3.34	3.55	5	▲ 0.21
18	活力	交 流 ・ 物 流	15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり	3.31	3.43	8	▲ 0.12
19	活力	産 業	1 景気対策	3.31	3.69	1	▲ 0.38
20	活力	産 業	6 中小企業の振興	3.30	3.33	14	▲ 0.03
20	活力	交 流 ・ 物 流	16 空港・港湾の充実など交流・物流ネットワークの形成	3.30	3.28	26	0.02
22	未来	県 民 活 動	35 元気な高齢者の活躍の場の拡大	3.30	—	—	—
23	安心	健 康 ・ 福 祉	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	3.28	3.29	23	▲ 0.01
24	未来	子 育 て ・ 教 育	28 大学教育・学術研究・科学技術の振興	3.27	3.25	31	0.02
25	未来	子 育 て ・ 教 育	25 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	3.27	3.31	19	▲ 0.05
26	活力	産 業	11 農業生産の振興	3.26	2.94	58	0.31
27	活力	産 業	5 企業立地の促進	3.25	3.48	6	▲ 0.22
28	未来	県 民 活 動	31 芸術文化の振興	3.25	3.08	47	0.17
29	未来	子 育 て ・ 教 育	30 ふるさとを学び楽しむ環境づくり	3.25	—	—	—
30	未来	子 育 て ・ 教 育	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	3.25	3.28	27	▲ 0.03

順位	区分	領域	項目	今回得点	前回得点	前回順位	前回との差
31	活力	まちづくり・観光	22 国際観光の推進	3.25	3.18	37	0.06
32	未来	県民活動	32 多様な主体による社会貢献活動の推進	3.24	3.15	40	0.09
32	未来	地域づくり	39 自然、歴史、伝統文化など地域の魅力の継承・再発見	3.24	3.04	52	0.20
34	安心	安全・安心	60 地震防災対策の充実	3.24	3.25	29	▲ 0.01
35	活力	産 業	7 デザインの振興と活用	3.23	3.31	19	▲ 0.08
36	未来	子育て・教育	29 生涯をとおした学びの推進	3.23	3.17	38	0.06
37	活力	交 流 ・ 物 流	14 北陸新幹線の整備促進	3.22	3.22	33	▲ 0.00
38	活力	産 業	10 環日本海・アジアなど海外ビジネス展開の促進	3.21	3.21	35	▲ 0.00
39	未来	子育て・教育	26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	3.21	3.28	27	▲ 0.07
40	安心	環 境	50 循環型社会と低炭素社会づくりの推進	3.19	3.06	50	0.13
41	未来	地域づくり	41 農山漁村の活性化	3.18	3.21	36	▲ 0.03
42	安心	安全・安心	61 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり	3.18	3.14	43	0.04
43	未来	地域づくり	40 地域の個性を活かした景観づくり・まち並みづくり	3.16	3.04	53	0.12
44	安心	安全・安心	62 消費生活の安全の確保	3.16	3.17	38	▲ 0.01
45	安心	健康・福祉	46 高齢者福祉の充実	3.15	3.33	13	▲ 0.18
46	未来	地域づくり	42 豊かな森づくり・花と緑の地域づくり	3.12	3.04	53	0.08
47	安心	安全・安心	57 雪に強いまちづくり	3.11	2.99	57	0.12
48	安心	健康・福祉	44 医療提供体制の充実	3.10	3.13	45	▲ 0.03
49	安心	健康・福祉	45 健康づくりと疾病対策の推進	3.09	3.08	48	0.01
50	活力	まちづくり・観光	23 富山のブランドカアアップ	3.08	3.29	24	▲ 0.21
51	安心	環 境	51 自然環境の保全	3.08	3.15	41	▲ 0.07
52	安心	環 境	54 多様化、効率化を通じたエネルギー需給の安定確保	3.06	3.06	50	0.00
53	安心	健康・福祉	49 スポーツの振興	3.06	3.05	51	0.01
54	安心	安全・安心	58 県土保全の推進	3.06	2.92	59	0.13
55	活力	産 業	4 産学官連携によるものづくり産業の高度化	3.05	3.27	28	▲ 0.23
56	活力	交 流 ・ 物 流	18 情報通信基盤の充実と活用	3.01	2.85	60	0.16
57	安心	健康・福祉	48 食の安全確保と地産地消・食育の推進	2.96	3.04	55	▲ 0.08
58	活力	交 流 ・ 物 流	17 利便性の高い道路ネットワークの整備	2.96	3.22	33	▲ 0.26
59	活力	産 業	2 新たな成長産業の育成	2.94	3.41	9	▲ 0.48
60	安心	環 境	52 生活環境の保全	2.76	3.09	46	▲ 0.33
61	安心	環 境	53 水資源の保全と活用	2.72	3.00	56	▲ 0.28
62	活力	産 業	13 水産業の振興	2.63	2.69	61	▲ 0.06
—	人づくり		63 子ども	3.14	—	—	—
—	人づくり		64 若者	3.22	—	—	—
—	人づくり		65 働きざかり	3.28	—	—	—
—	人づくり		66 女性	3.36	—	—	—
—	人づくり		67 高齢者	3.35	—	—	—

※網かけは前回との差で±0.2ポイント以上の差があった項目

未充足度の高い項目をみると、「8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり」が 3.79 と際立って高く、次いで「9 雇用の確保と人材の育成」が 3.56、「20 中心市街地の賑わいの創出」が 3.52、「55 生活交通の確保」が 3.49 の順となっている。

一方、未充足度の低かった（充足度の高かった）項目をみると、「13 水産業の振興」が 2.63、「53 水資源の保全と活用」が 2.72、「52 生活環境の保全」が 2.76 などとなっている。

未充足度の平均は生活領域別に未充足度得点を平均すると、最も得点の高い領域は「県民活動」の 3.33 であり、次いで「まちづくり・観光」が 3.32、「産業」と「子育て・教育」が 3.26 の順となっている。

一方、未充足度が低い（充足度が高い）領域は、「環境」が 2.96、「健康・福祉」が 3.14、「交流・物流」が 3.20 となっている。

「人づくり」においては、「女性」が 3.36、「高齢者」が 3.35 と未充足度が高くなっている。

- 「県民活動」では、「33 若者の自立促進とチャレンジ支援」が 3.43、「34 男女共同参画の推進」が 3.39 と高くなっている。
- 「まちづくり・観光」では、「20 中心市街地の賑わいの創出」が 3.52、「19 快適で活力ある魅力的なまちづくり」が 3.43 と高くなっている。
- 「産業」では、「8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり」が 3.79、「9 雇用の確保と人材の育成」が 3.56 と上位 2 位を占めている。
- 「子育て・教育」では、「24 家庭・地域・職場における子育て支援」が 3.37、「28 大学教育・学術研究・科学技術の振興」と「25 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成」が 3.27 と高くなっている。

図表 10 未充足度の区分別・領域別の平均値

	平均値		
全体	3.23		
【区分別】		【領域別】	
活力	3.25	産業	3.26
未来	3.28	交流・物流	3.16
安心	3.14	まちづくり・観光	3.34
人づくり	3.27	子育て・教育	3.26
		県民活動	3.33
		地域づくり	3.22
		健康・福祉	3.14
		環境	2.96
		安全・安心	3.25

(2) 前回調査との比較

前回と比較すると、全体平均では、平成22年度 3.23 → 今回 3.23 と変わらなかった。

項目別にみると、前回と比べて最も未充足度が高くなった項目は、「8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり」(+0.38)であり、次いで「12 森林の整備と林業の振興」(+0.33)、「11 農業生産の振興」(+0.31)、「56 住生活の向上」(+0.28)の順となっている。

一方、前回と比べて未充足度が低く(充足度が高く)なったのは「2 新たな成長産業の育成」(▲0.48)、「1 景気対策」(▲0.38)、「52 生活環境の保全」(▲0.33)、「53 水資源の保全と活用」(▲0.28)などである。

図表 未充足度が前回に比べて高くなった項目(上位10項目)

順位	区分	領域	項目	今回順位	今回得点	前回得点	前回順位	差
1	活力	産 業	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	1	3.79	3.41	11	0.38
2	活力	産 業	12 森林の整備と林業の振興	5	3.48	3.15	42	0.33
3	活力	産 業	11 農業生産の振興	26	3.26	2.94	58	0.31
4	安心	安 全・安 心	56 住生活の向上	16	3.35	3.07	49	0.28
5	活力	まちづくり・観光	21 選ばれ続ける観光地づくり	8	3.42	3.18	37	0.23
6	未来	地 域 づ くり	39 自然、歴史、伝統文化など地域の魅力の継承・再発見	33	3.24	3.04	52	0.20
7	未来	県 民 活 動	34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮	10	3.39	3.22	34	0.17
8	未来	県 民 活 動	31 芸術文化の振興	28	3.25	3.08	47	0.17
9	活力	交 流・物 流	18 情報通信基盤の充実と活用	56	3.01	2.85	60	0.16
10	安心	安 全・安 心	59 防災・危機管理体制の充実	9	3.40	3.25	29	0.15

図表 未充足度が前回に比べて低くなった項目(下位10項目)

順位	区分	領域	項目	今回順位	今回得点	前回得点	前回順位	差
60	活力	産 業	2 新たな成長産業の育成	59	2.94	3.41	9	▲ 0.48
59	活力	産 業	1 景気対策	19	3.31	3.69	1	▲ 0.38
58	安心	環 境	52 生活環境の保全	60	2.76	3.09	46	▲ 0.33
57	安心	環 境	53 水資源の保全と活用	61	2.72	3.00	56	▲ 0.28
56	活力	交 流・物 流	17 利便性の高い道路ネットワークの整備	58	2.96	3.22	33	▲ 0.26
55	活力	まちづくり・観光	19 快適で活力ある魅力的なまちづくり	7	3.43	3.67	2	▲ 0.25
54	活力	産 業	4 産学官連携によるものづくり産業の高度化	55	3.05	3.27	28	▲ 0.23
53	活力	産 業	5 企業立地の促進	27	3.25	3.48	6	▲ 0.22
52	活力	産 業	3 未来を拓く起業チャレンジへの支援	17	3.34	3.55	5	▲ 0.21
51	活力	まちづくり・観光	23 富山のブランドカアップ	50	3.08	3.29	24	▲ 0.21

(3) 県民属性からみた未充足度意識

属性別の未充足度をみていく。

男女別にみると、男性は「12 森林の整備と林業の振興」、「3 未来を拓く起業チャレンジへの支援」、「7 デザインの振興と活用」、「54 多様化、効率化を通じたエネルギー需給の安定確保」が女性に比べて未充足度が高くなっている。一方、女性は「58 県土保全の推進」、「56 住生活の向上」、「43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成」が男性に比べて未充足度が高くなっている。

地域別にみると、富山地域は他の地域に比べて「30 ふるさとを学び楽しむ環境づくり」と「23 富山のブランド力アップ」の未充足度が高く、「20 中心市街地の賑わいの創出」の未充足度が低く（充足度が高く）なっている。

高岡・射水地域は他の地域に比べて「20 中心市街地の賑わいの創出」、「15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり」の未充足度が高く、「17 利便性の高い道路ネットワークの整備」の未充足度が低く（充足度が高く）なっている。

新川地域は他の地域に比べて「51 自然環境の保全」、「50 循環型社会と低炭素社会づくりの推進」の未充足度が高く、「4 産学官連携によるものづくり産業の高度化」の未充足度が低く（充足度が高く）なっている。

砺波地域は他の地域に比べて「55 生活交通の確保」、「56 住生活の向上」の未充足度が高く、「14 北陸新幹線の整備促進」、「23 富山のブランド力アップ」の未充足度が低く（充足度が高く）なっている。

図表 属性別の未充足度（性別・地域別）

順位	区分	領域	項目	全体	男性	女性	富山地域	高岡・射水地域	新川地域	砺波地域
1	活力	産 業	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	3.79	3.84	3.76	3.81	3.79	3.74	3.81
2	活力	産 業	9 雇用の確保と人材の育成	3.56	3.61	3.53	3.59	3.54	3.56	3.53
3	活力	まちづくり・観光	20 中心市街地の賑わいの創出	3.52	3.55	3.49	3.42	3.67	3.67	3.48
4	安心	安 全・安 心	55 生活交通の確保	3.49	3.53	3.45	3.49	3.48	3.39	3.55
5	活力	産 業	12 森林の整備と林業の振興	3.48	3.60	3.39	3.50	3.44	3.47	3.52
6	未来	県 民 活 動	33 若者の自立促進とチャレンジ支援	3.43	3.41	3.43	3.44	3.36	3.50	3.43
7	活力	まちづくり・観光	19 快適で活力ある魅力的なまちづくり	3.43	3.46	3.41	3.42	3.47	3.40	3.40
8	活力	まちづくり・観光	21 選ばれ続ける観光地づくり	3.42	3.46	3.37	3.45	3.44	3.35	3.30
9	安心	安 全・安 心	59 防災・危機管理体制の充実	3.40	3.40	3.40	3.44	3.37	3.36	3.39
10	未来	県 民 活 動	34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮	3.39	3.41	3.37	3.43	3.36	3.44	3.31
11	未来	地 域 づ くり	38 交流人口の拡大、定住・半定住の促進	3.38	3.40	3.37	3.40	3.35	3.48	3.32
12	安心	健 康・福 祉	47 障害者福祉の充実	3.37	3.42	3.34	3.44	3.32	3.37	3.31
13	未来	子 育 て・教 育	24 家庭・地域・職場における子育て支援	3.37	3.40	3.33	3.42	3.32	3.47	3.20
14	未来	県 民 活 動	37 グローバル社会における地域づくり・人づくり	3.37	3.41	3.33	3.40	3.35	3.37	3.34
15	未来	県 民 活 動	36 人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成	3.35	3.37	3.34	3.36	3.34	3.36	3.37
16	安心	安 全・安 心	56 住生活の向上	3.35	3.32	3.38	3.34	3.37	3.28	3.42
17	活力	産 業	3 未来を拓く起業チャレンジへの支援	3.34	3.44	3.25	3.35	3.35	3.26	3.36
18	活力	交 流・物 流	15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり	3.31	3.39	3.23	3.26	3.43	3.36	3.20
19	活力	産 業	1 景気対策	3.31	3.29	3.31	3.35	3.31	3.27	3.19
20	活力	産 業	6 中小企業の振興	3.30	3.33	3.28	3.31	3.32	3.29	3.29
20	活力	交 流・物 流	16 空港・港湾の充実など交流・物流ネットワークの形成	3.30	3.36	3.25	3.29	3.26	3.39	3.32
22	未来	県 民 活 動	35 元気な高齢者の活躍の場の拡大	3.30	3.31	3.28	3.36	3.24	3.21	3.21
23	安心	健 康・福 祉	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	3.28	3.25	3.30	3.30	3.22	3.32	3.26
24	未来	子 育 て・教 育	28 大学教育・学術研究・科学技術の振興	3.27	3.32	3.23	3.29	3.21	3.36	3.23
25	未来	子 育 て・教 育	25 家庭・地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	3.27	3.27	3.27	3.30	3.21	3.42	3.14
26	活力	産 業	11 農業生産の振興	3.26	3.34	3.19	3.30	3.20	3.24	3.19
27	活力	産 業	5 企業立地の促進	3.25	3.32	3.20	3.23	3.33	3.14	3.28
28	未来	県 民 活 動	31 芸術文化の振興	3.25	3.27	3.24	3.26	3.25	3.27	3.22
29	未来	子 育 て・教 育	30 ふるさとを学び楽しむ環境づくり	3.25	3.30	3.19	3.32	3.20	3.21	3.15
30	未来	子 育 て・教 育	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	3.25	3.25	3.24	3.27	3.22	3.33	3.14

順位	区分	領域	項目	全体	男性	女性	富山地域	高岡・射水地域	新川地域	砺波地域
31	活力	まちづくり・観光	22 国際観光の推進	3.25	3.28	3.22	3.28	3.26	3.29	3.06
32	未来	県民活動	32 多様な主体による社会貢献活動の推進	3.24	3.30	3.19	3.28	3.18	3.32	3.18
32	未来	地域づくり	39 自然、歴史、伝統文化など地域の魅力の継承・再発見	3.24	3.27	3.22	3.28	3.20	3.25	3.20
34	安心	安全・安心	60 地震防災対策の充実	3.24	3.24	3.25	3.26	3.22	3.26	3.21
35	活力	産業	7 デザインの振興と活用	3.23	3.33	3.15	3.24	3.19	3.28	3.24
36	未来	子育て・教育	29 生涯をとおした学びの推進	3.23	3.28	3.19	3.25	3.25	3.26	3.11
37	活力	交流・物流	14 北陸新幹線の整備促進	3.22	3.23	3.21	3.26	3.22	3.28	3.00
38	活力	産業	10 環日本海・アジアなど海外ビジネス展開の促進	3.21	3.29	3.14	3.24	3.18	3.21	3.18
39	未来	子育て・教育	26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	3.21	3.25	3.17	3.22	3.19	3.27	3.15
40	安心	環境	50 循環型社会と低炭素社会づくりの推進	3.19	3.24	3.15	3.19	3.12	3.36	3.18
41	未来	地域づくり	41 農山漁村の活性化	3.18	3.22	3.15	3.20	3.10	3.26	3.23
42	安心	安全・安心	61 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり	3.18	3.16	3.19	3.17	3.19	3.19	3.18
43	未来	地域づくり	40 地域の個性を活かした景観づくり・まち並みづくり	3.16	3.20	3.12	3.20	3.12	3.23	3.04
44	安心	安全・安心	62 消費生活の安全の確保	3.16	3.18	3.15	3.17	3.12	3.18	3.14
45	安心	健康・福祉	46 高齢者福祉の充実	3.15	3.16	3.14	3.20	3.09	3.08	3.15
46	未来	地域づくり	42 豊かな森づくり・花と緑の地域づくり	3.12	3.17	3.08	3.14	3.08	3.24	3.09
47	安心	安全・安心	57 雪に強いまちづくり	3.11	3.09	3.13	3.13	3.11	3.02	3.11
48	安心	健康・福祉	44 医療提供体制の充実	3.10	3.10	3.10	3.11	3.09	3.11	3.05
49	安心	健康・福祉	45 健康づくりと疾病対策の推進	3.09	3.10	3.09	3.14	3.05	3.04	3.08
50	活力	まちづくり・観光	23 富山のブランドカアアップ	3.08	3.12	3.06	3.15	3.06	3.14	2.89
51	安心	環境	51 自然環境の保全	3.08	3.13	3.04	3.09	3.02	3.26	3.00
52	安心	環境	54 多様化、効率化を通じたエネルギー需給の安定確保	3.06	3.16	2.98	3.11	2.98	3.08	3.02
53	安心	健康・福祉	49 スポーツの振興	3.06	3.11	3.01	3.08	3.03	3.10	2.98
54	安心	安全・安心	58 県土保全の推進	3.06	2.97	3.13	3.03	3.04	3.09	3.09
55	活力	産業	4 産学官連携によるものづくり産業の高度化	3.05	3.14	2.97	3.08	3.07	2.81	3.05
56	活力	交流・物流	18 情報通信基盤の充実と活用	3.01	3.04	2.97	3.03	3.01	3.02	2.90
57	安心	健康・福祉	48 食の安全確保と地産地消・食育の推進	2.96	2.99	2.93	2.99	2.91	3.02	2.87
58	活力	交流・物流	17 利便性の高い道路ネットワークの整備	2.96	2.97	2.94	2.99	2.87	3.10	2.91
59	活力	産業	2 新たな成長産業の育成	2.94	2.99	2.89	2.98	2.87	2.92	2.87
60	安心	環境	52 生活環境の保全	2.76	2.79	2.73	2.75	2.75	2.76	2.75
61	安心	環境	53 水資源の保全と活用	2.72	2.74	2.70	2.71	2.69	2.81	2.70
62	活力	産業	13 水産業の振興	2.63	2.68	2.57	2.65	2.58	2.73	2.54
-		人づくり	63 子ども	3.14	3.17	3.10	3.19	3.01	3.23	3.13
-		人づくり	64 若者	3.22	3.23	3.22	3.22	3.19	3.39	3.18
-		人づくり	65 働きざかり	3.28	3.32	3.24	3.34	3.17	3.27	3.34
-		人づくり	66 女性	3.36	3.33	3.36	3.37	3.30	3.43	3.35
-		人づくり	67 高齢者	3.35	3.38	3.33	3.37	3.28	3.36	3.39

※県平均（全体）より高い項目は網かけ

年齢別にみると、「29歳以下」は他の年代に比べて「14 北陸新幹線の整備促進」、「25 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成」の未充足度が高く、「46 高齢者福祉の充実」の未充足度が低く（充足度が高く）なっている。

「30～39歳」は他の年代に比べて「50 循環型社会と低炭素社会づくりの推進」、「38 交流人口の拡大、定住・半定住の促進」の未充足度が高く、「26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進」の未充足度が低く（充足度が高く）なっている。

「40～49歳」は他の年代に比べて「5 企業立地の促進」、「9 雇用の確保と人材の育成」の未充足度が高く、「41 農山漁村の活性化」の未充足度が低く（充足度が高く）なっている。

「50～59歳」は他の年代に比べて「12 森林の整備と林業の振興」、「34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮」の未充足度が高く、「51 自然環境の保全」の未充足度が低く（充足度が高く）なっている。

「60～69歳」は他の年代に比べて「41 農山漁村の活性化」、「24 家庭・地域・職場における子育て支援」、「7 デザインの振興と活用」の未充足度が高く、「14 北陸新幹線の整備促進」の未充足度が低く（充足度が高く）なっている。

「70歳以上」は他の年代に比べて全体的に未充足度が低い（充足度が高い）傾向にあり、特に「8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり」、「9 雇用の確保と人材の育成」の未充足度が低く（充足度が高く）なっている。

図表 属性別の未充足度（年齢別）

順位	区分	領域	項目	全体	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
1	活力	産 業	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	3.79	3.71	3.83	3.94	3.92	3.78	3.50
2	活力	産 業	9 雇用の確保と人材の育成	3.56	3.40	3.60	3.75	3.62	3.57	3.29
3	活力	まちづくり・観光	20 中心市街地の賑わいの創出	3.52	3.46	3.45	3.66	3.50	3.54	3.41
4	安心	安 全・安 心	55 生活交通の確保	3.49	3.40	3.49	3.65	3.61	3.41	3.31
5	活力	産 業	12 森林の整備と林業の振興	3.48	3.21	3.38	3.44	3.61	3.54	3.48
6	未来	県 民 活 動	33 若者の自立促進とチャレンジ支援	3.43	3.34	3.46	3.52	3.53	3.35	3.31
7	活力	まちづくり・観光	19 快適で活力ある魅力的なまちづくり	3.43	3.23	3.39	3.55	3.55	3.37	3.37
8	活力	まちづくり・観光	21 選ばれ続ける観光地づくり	3.42	3.37	3.42	3.53	3.44	3.39	3.29
9	安心	安 全・安 心	59 防災・危機管理体制の充実	3.40	3.51	3.51	3.50	3.47	3.28	3.28
10	未来	県 民 活 動	34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮	3.39	3.30	3.39	3.44	3.46	3.35	3.34
11	未来	地 域 づ くり	38 交流人口の拡大、定住・半定住の促進	3.38	3.39	3.51	3.44	3.37	3.36	3.28
12	安心	健 康・福 祉	47 障害者福祉の充実	3.37	3.30	3.44	3.37	3.45	3.34	3.33
13	未来	子 育 て・教 育	24 家庭・地域・職場における子育て支援	3.37	3.23	3.39	3.40	3.36	3.40	3.31
14	未来	県 民 活 動	37 グローバル社会における地域づくり・人づくり	3.37	3.30	3.50	3.37	3.33	3.37	3.32
15	未来	県 民 活 動	36 人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成	3.35	3.26	3.41	3.31	3.43	3.37	3.26
16	安心	安 全・安 心	56 住生活の向上	3.35	3.14	3.27	3.42	3.41	3.35	3.35
17	活力	産 業	3 未来を拓く起業チャレンジへの支援	3.34	3.23	3.41	3.45	3.42	3.32	3.12
18	活力	交 流・物 流	15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり	3.31	3.31	3.32	3.33	3.36	3.29	3.23
19	活力	産 業	1 景気対策	3.31	3.27	3.39	3.47	3.40	3.23	3.08
20	活力	産 業	6 中小企業の振興	3.30	3.08	3.37	3.41	3.36	3.31	3.14
20	活力	交 流・物 流	16 空港・港湾の充実など交流・物流ネットワークの形成	3.30	3.29	3.39	3.36	3.28	3.30	3.19
22	未来	県 民 活 動	35 元気な高齢者の活躍の場の拡大	3.30	3.12	3.22	3.24	3.42	3.34	3.25
23	安心	健 康・福 祉	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	3.28	3.30	3.31	3.30	3.25	3.30	3.17
24	未来	子 育 て・教 育	28 大学教育・学術研究・科学技術の振興	3.27	3.23	3.34	3.36	3.35	3.23	3.12
25	未来	子 育 て・教 育	25 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	3.27	3.40	3.25	3.24	3.29	3.27	3.21
26	活力	産 業	11 農業生産の振興	3.26	3.09	3.23	3.29	3.33	3.31	3.12
27	活力	産 業	5 企業立地の促進	3.25	3.18	3.31	3.47	3.22	3.22	3.09
28	未来	県 民 活 動	31 芸術文化の振興	3.25	3.19	3.30	3.35	3.34	3.20	3.14
29	未来	子 育 て・教 育	30 ふるさとを学び楽しむ環境づくり	3.25	3.20	3.34	3.24	3.27	3.24	3.18
30	未来	子 育 て・教 育	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	3.25	3.17	3.26	3.32	3.25	3.22	3.21

順位	区分	領域	項目	全体	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
31	活力	まちづくり・観光	22 国際観光の推進	3.25	3.14	3.30	3.34	3.28	3.23	3.13
32	未来	県民活動	32 多様な主体による社会貢献活動の推進	3.24	3.10	3.31	3.28	3.28	3.21	3.24
32	未来	地域づくり	39 自然・歴史・伝統文化など地域の魅力の継承・再発見	3.24	3.33	3.27	3.28	3.25	3.27	3.05
34	安心	安全・安心	60 地震防災対策の充実	3.24	3.32	3.35	3.39	3.31	3.11	3.15
35	活力	産業	7 デザインの振興と活用	3.23	3.15	3.24	3.20	3.27	3.29	3.14
36	未来	子育て・教育	29 生涯をおとした学びの推進	3.23	3.21	3.17	3.40	3.26	3.19	3.12
37	活力	交流・物流	14 北陸新幹線の整備促進	3.22	3.44	3.43	3.26	3.35	3.05	3.07
38	活力	産業	10 環日本海・アジアなど海外ビジネス展開の促進	3.21	3.17	3.24	3.25	3.27	3.21	3.07
39	未来	子育て・教育	26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	3.21	3.16	3.09	3.32	3.24	3.19	3.17
40	安心	環境	50 循環型社会と低炭素社会づくりの推進	3.19	3.41	3.44	3.31	3.18	3.07	2.99
41	未来	地域づくり	41 農山漁村の活性化	3.18	2.94	3.15	3.10	3.22	3.30	3.15
42	安心	安全・安心	61 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり	3.18	3.12	3.19	3.23	3.26	3.15	3.07
43	未来	地域づくり	40 地域の個性を活かした景観づくり・まち並みづくり	3.16	2.93	3.11	3.11	3.25	3.22	3.12
44	安心	安全・安心	62 消費生活の安全の確保	3.16	3.02	3.18	3.10	3.27	3.17	3.11
45	安心	健康・福祉	46 高齢者福祉の充実	3.15	2.86	3.23	3.20	3.21	3.20	3.02
46	未来	地域づくり	42 豊かな森づくり・花と緑の地域づくり	3.12	3.03	3.03	3.10	3.23	3.17	3.02
47	安心	安全・安心	57 雪に強いまちづくり	3.11	3.19	3.10	3.21	3.18	3.07	2.95
48	安心	健康・福祉	44 医療提供体制の充実	3.10	3.03	3.12	3.21	3.16	3.06	2.97
49	安心	健康・福祉	45 健康づくりと疾病対策の推進	3.09	3.06	3.08	3.18	3.07	3.14	2.94
50	活力	まちづくり・観光	23 富山のブランドカアップ	3.08	3.03	3.20	3.13	3.07	3.08	3.00
51	安心	環境	51 自然環境の保全	3.08	3.07	3.23	3.08	3.01	3.12	2.99
52	安心	環境	54 多様化・効率化を通じたエネルギー需給の安定確保	3.06	3.02	3.10	3.11	3.06	3.02	3.09
53	安心	健康・福祉	49 スポーツの振興	3.06	3.01	3.05	3.13	3.14	3.04	2.91
54	安心	安全・安心	58 県土保全の推進	3.06	3.10	3.02	3.12	3.16	2.99	2.97
55	活力	産業	4 産学官連携によるものづくり産業の高度化	3.05	3.05	3.02	3.16	3.12	3.00	2.92
56	活力	交流・物流	18 情報通信基盤の充実と活用	3.01	3.03	3.03	3.01	3.03	2.99	2.95
57	安心	健康・福祉	48 食の安全確保と地産地消・食育の推進	2.96	2.90	3.10	2.99	2.90	2.98	2.85
58	活力	交流・物流	17 利便性の高い道路ネットワークの整備	2.96	3.03	3.00	2.92	2.89	2.99	2.94
59	活力	産業	2 新たな成長産業の育成	2.94	2.89	3.05	3.01	2.91	2.95	2.77
60	安心	環境	52 生活環境の保全	2.76	2.73	2.84	2.74	2.73	2.75	2.74
61	安心	環境	53 水資源の保全と活用	2.72	2.71	2.82	2.75	2.68	2.70	2.68
62	活力	産業	13 水産業の振興	2.63	2.51	2.59	2.69	2.58	2.67	2.57
-		人づくり	63 子ども	3.14	2.95	3.15	3.06	3.22	3.15	3.17
-		人づくり	64 若者	3.22	3.26	3.34	3.16	3.34	3.19	3.11
-		人づくり	65 働きざかり	3.28	3.16	3.32	3.25	3.31	3.32	3.24
-		人づくり	66 女性	3.36	3.33	3.45	3.35	3.39	3.35	3.25
-		人づくり	67 高齢者	3.35	3.36	3.43	3.34	3.33	3.34	3.33

※県平均（全体）より高い項目は網かけ

(4) 「ほとんど充足されていない」とした人の割合

未充足度における回答のうち、「ほとんど充足されていない」と答えた人の割合をみると、「8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり」が27.1%と際立って高く、次いで「55 生活交通の確保」が16.9%、「20 中心市街地の賑わいの創出」が16.8%、「12 森林の整備と林業の振興」が16.0%の順となっている。

男女別にみると、男女とも「8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり」が最も高くなっており、男性は「12 森林の整備と林業の振興」が20.6%で2位、女性は「59 防災・危機管理体制の充実」が14.7%で4位となっている。

地域別にみると、全地域で「8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり」が最も高くなっている。2位の項目をみると、富山地域で「9 雇用の確保と人材の育成」が18.4%、高岡・射水地域と新川地域で「20 中心市街地の賑わいの創出」がそれぞれ21.5%、20.4%、砺波地域で「55 生活交通の確保」が19.4%となっている。

図表 「ほとんど充足されていない」とした割合（性別・地域別）

（単位：％）

順位	区分	領域	項目	全体	男性	女性	富山地域	高岡・射水地域	新川地域	砺波地域
1	活力	産 業	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	27.1	29.4	25.0	27.4	25.7	25.0	29.5
2	安心	安 全 ・ 安 心	55 生活交通の確保	16.9	18.0	16.1	17.5	16.1	13.9	19.4
3	活力	まちづくり・観光	20 中心市街地の賑わいの創出	16.8	17.5	16.3	14.4	21.5	20.4	14.4
4	活力	産 業	12 森林の整備と林業の振興	16.0	20.6	11.9	16.6	14.6	14.8	16.5
5	活力	交 流 ・ 物 流	14 北陸新幹線の整備促進	15.2	16.0	14.5	16.2	14.9	18.5	10.8
6	活力	産 業	9 雇用の確保と人材の育成	15.1	17.3	13.0	18.4	11.1	11.1	12.9
7	安心	安 全 ・ 安 心	59 防災・危機管理体制の充実	14.0	13.4	14.7	16.0	13.0	12.0	11.5
8	活力	まちづくり・観光	19 快適で活力ある魅力的なまちづくり	13.3	13.4	13.2	13.8	13.4	12.0	12.9
9	活力	交 流 ・ 物 流	15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり	13.0	15.4	10.9	10.9	17.6	10.2	12.9
10	活力	まちづくり・観光	21 選ばれ続ける観光地づくり	11.9	14.0	9.9	11.4	13.8	12.0	9.4
11	未来	県 民 活 動	36 人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成	11.8	12.9	10.9	12.0	11.9	11.1	12.2
12	未来	地 域 づ くり	38 交流人口の拡大、定住・半定住の促進	11.6	12.1	11.3	12.3	10.3	13.9	10.1
13	未来	県 民 活 動	37 グローバル社会における地域づくり・人づくり	11.4	13.4	9.8	12.7	9.6	12.0	11.5
14	未来	県 民 活 動	34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮	11.2	11.2	11.3	11.2	11.9	11.1	11.5
14	安心	健 康 ・ 福 祉	47 障害者福祉の充実	11.2	12.1	10.3	12.5	9.2	15.7	6.5
16	未来	子 育 て ・ 教 育	24 家庭・地域・職場における子育て支援	11.0	11.8	9.9	12.5	9.2	14.8	5.0
17	安心	安 全 ・ 安 心	56 住生活の向上	10.7	10.3	11.1	11.8	10.3	8.3	10.8
18	未来	県 民 活 動	33 若者の自立促進とチャレンジ支援	10.2	10.5	9.8	10.5	6.1	16.7	12.2
19	未来	県 民 活 動	35 元気な高齢者の活躍の場の拡大	10.1	10.7	9.6	12.5	7.3	7.4	8.6
20	未来	子 育 て ・ 教 育	25 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	9.5	10.7	8.2	11.2	6.9	13.0	5.0
21	安心	健 康 ・ 福 祉	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	9.4	9.4	9.6	9.8	8.0	13.0	8.6
22	未来	地 域 づ くり	41 農山漁村の活性化	9.2	12.1	6.9	9.4	9.2	11.1	7.9
22	安心	安 全 ・ 安 心	60 地震防災対策の充実	9.2	8.8	9.8	9.8	8.4	11.1	8.6
24	活力	産 業	3 未来を拓く起業チャレンジへの支援	9.1	11.8	6.7	10.7	7.7	10.2	5.8
25	活力	まちづくり・観光	22 国際観光の推進	9.0	11.0	7.5	10.1	7.3	10.2	7.2
26	安心	健 康 ・ 福 祉	46 高齢者福祉の充実	8.6	9.6	7.8	10.9	6.1	12.0	3.6
26	安心	環 境	50 循環型社会と低炭素社会づくりの推進	8.6	9.2	8.0	10.1	5.0	13.9	5.8
28	活力	産 業	11 農業生産の振興	8.5	11.4	5.5	9.6	6.9	7.4	7.2
29	活力	産 業	5 企業立地の促進	8.4	10.7	6.3	8.8	8.8	6.5	7.2
29	未来	子 育 て ・ 教 育	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	8.4	9.2	7.5	8.5	6.9	12.0	5.8

順位	区分	領域	項目	全体	男性	女性	富山地域	高岡・射水地域	新川地域	砺波地域
31	未来	地域づくり	40 地域の個性を活かした景観づくり・まち並みづくり	8.2	9.4	7.3	9.0	7.7	10.2	6.5
32	活力	交流・物流	16 空港・港湾の充実など交流・物流ネットワークの形成	8.1	10.7	5.5	7.9	8.0	9.3	7.2
33	安心	安全・安心	61 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり	8.0	7.9	8.2	8.5	6.5	7.4	10.1
34	活力	産 業	6 中小企業の振興	7.9	9.0	7.1	9.0	6.9	7.4	7.2
35	未来	子育て・教育	28 大学教育・学術研究・科学技術の振興	7.8	9.0	6.7	9.4	4.6	11.1	4.3
35	未来	子育て・教育	29 生涯をととした学びの推進	7.8	9.6	6.1	8.1	8.4	9.3	5.0
37	未来	子育て・教育	26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	7.6	9.0	6.1	8.5	5.0	8.3	7.2
37	未来	子育て・教育	30 ふるさとを学び楽しむ環境づくり	7.6	9.6	5.7	9.0	6.9	11.1	2.2
37	安心	健康・福祉	44 医療提供体制の充実	7.6	8.1	7.3	7.9	6.9	10.2	5.8
40	安心	安全・安心	57 雪に強いまちづくり	7.5	7.2	7.8	8.3	7.3	5.6	7.2
41	活力	産 業	1 景気対策	7.4	7.9	6.9	11.2	3.4	4.6	3.6
41	未来	地域づくり	42 豊かな森づくり・花と緑の地域づくり	7.4	8.6	6.5	7.9	6.9	7.4	7.9
41	安心	安全・安心	62 消費生活の安全の確保	7.4	8.8	6.1	7.4	6.1	8.3	7.9
44	活力	まちづくり・観光	23 富山のブランドカアップ	7.3	8.6	6.3	9.0	6.9	5.6	4.3
45	活力	産 業	7 デザインの振興と活用	7.2	8.8	5.5	6.8	7.3	8.3	6.5
45	未来	地域づくり	39 自然、歴史、伝統文化など地域の魅力の継承・再発見	7.2	8.3	6.3	8.3	7.3	6.5	4.3
47	未来	県民活動	31 芸術文化の振興	7.1	7.5	6.7	8.3	5.0	8.3	5.8
48	未来	県民活動	32 多様な主体による社会貢献活動の推進	6.3	9.2	3.6	7.7	3.1	8.3	5.8
49	安心	安全・安心	58 県土保全の推進	6.2	4.4	7.8	5.9	5.7	6.5	7.9
50	安心	健康・福祉	49 スポーツの振興	6.0	6.8	5.2	6.8	5.0	4.6	4.3
51	安心	健康・福祉	45 健康づくりと疾病対策の推進	5.9	6.4	5.5	7.7	3.4	6.5	4.3
52	安心	環 境	54 多様化、効率化を通じたエネルギー需給の安定確保	5.7	7.5	4.2	6.8	3.8	6.5	3.6
53	安心	環 境	51 自然環境の保全	5.5	6.6	4.6	5.3	3.4	10.2	6.5
54	活力	交流・物流	18 情報通信基盤の充実と活用	5.4	7.5	3.4	5.7	5.4	7.4	2.9
54	安心	健康・福祉	48 食の安全確保と地産地消・食育の推進	5.4	5.7	5.0	4.8	6.1	9.3	2.2
56	活力	交流・物流	17 利便性の高い道路ネットワークの整備	5.3	5.9	4.6	5.7	4.2	8.3	3.6
57	活力	産 業	4 産学官連携によるものづくり産業の高度化	5.0	6.6	3.3	6.6	2.7	3.7	3.6
57	活力	産 業	10 環日本海・アジアなど海外ビジネス展開の促進	5.0	6.8	3.3	6.6	3.1	4.6	2.9
59	安心	環 境	52 生活環境の保全	3.6	5.3	1.9	3.3	2.3	4.6	4.3
60	活力	産 業	2 新たな成長産業の育成	3.2	3.9	2.5	3.5	2.7	2.8	2.2
61	安心	環 境	53 水資源の保全と活用	3.1	4.2	2.1	2.6	3.4	4.6	1.4
62	活力	産 業	13 水産業の振興	3.0	4.4	1.7	3.5	1.9	4.6	2.2
-		人づくり	63 子ども	7.0	7.2	6.7	8.3	4.2	11.1	5.0
-		人づくり	64 若者	6.9	7.5	6.5	7.0	5.7	13.0	5.0
-		人づくり	65 働きざかり	7.8	8.8	7.1	8.3	5.4	11.1	9.4
-		人づくり	66 女性	11.4	9.4	13.0	12.5	8.4	18.5	8.6
-		人づくり	67 高齢者	10.8	12.7	9.2	12.7	8.4	13.0	7.9

※県平均（全体）より高い項目は網かけ

年齢別にみると、「ほとんど充足されていない」とした割合は、各年代で「8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり」が最も高くなっている。また、「29歳以下」で「60 地震防災対策の充実」、「30～39歳」で「37 国際社会における地域づくり・人づくり」、「40～49歳」で「55 生活交通の確保」や「20 中心市街地の賑わいの創出」、「50～59歳」で「34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮」、「60～69歳」で「12 森林の整備と林業の振興」、「70歳以上」で「43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成」などが他の年代に比べて「ほとんど充足されていない」とした割合が高くなっている。

図表 「ほとんど充足されていない」とした割合（年齢別）

（単位：％）

順位	区分	領域	項目	全体	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
1	活力	産 業	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	27.1	25.7	29.6	34.6	30.0	25.1	16.1
2	安心	安 全 ・ 安 心	55 生活交通の確保	16.9	15.7	19.4	25.4	19.4	12.0	11.7
3	活力	まちづくり・観光	20 中心市街地の賑わいの創出	16.8	14.3	15.7	24.9	15.6	16.1	11.7
4	活力	産 業	12 森林の整備と林業の振興	16.0	10.0	12.0	15.1	17.8	19.1	13.9
5	活力	交 流 ・ 物 流	14 北陸新幹線の整備促進	15.2	18.6	18.5	15.7	17.8	12.0	13.9
6	活力	産 業	9 雇用の確保と人材の育成	15.1	7.1	16.7	22.2	17.8	13.4	8.0
7	安心	安 全 ・ 安 心	59 防災・危機管理体制の充実	14.0	15.7	16.7	18.4	14.4	11.7	10.2
8	活力	まちづくり・観光	19 快適で活力ある魅力的なまちづくり	13.3	5.7	8.3	20.5	13.9	12.0	13.1
9	活力	交 流 ・ 物 流	15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり	13.0	10.0	14.8	17.8	15.0	10.0	10.2
10	活力	まちづくり・観光	21 選ばれ続ける観光地づくり	11.9	11.4	8.3	18.4	13.3	10.7	6.6
11	未来	県 民 活 動	36 人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成	11.8	10.0	14.8	13.0	15.0	10.0	8.8
12	未来	地 域 づ くり	38 交流人口の拡大、定住・半定住の促進	11.6	10.0	17.6	13.0	10.6	11.4	8.0
13	未来	県 民 活 動	37 グローバル社会における地域づくり・人づくり	11.4	5.7	19.4	14.1	10.0	10.0	9.5
14	未来	県 民 活 動	34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮	11.2	5.7	13.0	12.4	15.0	10.0	8.8
14	安心	健 康 ・ 福 祉	47 障害者福祉の充実	11.2	5.7	9.3	15.7	12.2	11.0	8.0
16	未来	子 育 て ・ 教 育	24 家庭・地域・職場における子育て支援	11.0	7.1	15.7	11.4	10.0	11.4	8.0
17	安心	安 全 ・ 安 心	56 住生活の向上	10.7	4.3	9.3	13.5	10.0	10.7	12.4
18	未来	県 民 活 動	33 若者の自立促進とチャレンジ支援	10.2	4.3	15.7	11.4	14.4	6.7	8.8
19	未来	県 民 活 動	35 元気な高齢者の活躍の場の拡大	10.1	4.3	9.3	9.2	13.3	10.7	9.5
20	未来	子 育 て ・ 教 育	25 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	9.5	10.0	11.1	9.7	7.2	10.0	8.8
21	安心	健 康 ・ 福 祉	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	9.4	8.6	10.2	9.7	7.8	9.7	10.9
22	未来	地 域 づ くり	41 農山漁村の活性化	9.2	2.9	6.5	10.3	8.3	11.0	10.9
22	安心	安 全 ・ 安 心	60 地震防災対策の充実	9.2	12.9	10.2	13.5	7.8	7.4	7.3
24	活力	産 業	3 未来を拓く起業チャレンジへの支援	9.1	1.4	13.0	10.3	10.6	10.7	2.9
25	活力	まちづくり・観光	22 国際観光の推進	9.0	5.7	6.5	13.0	8.3	9.7	7.3
26	安心	健 康 ・ 福 祉	46 高齢者福祉の充実	8.6	2.9	9.3	9.7	10.6	9.0	6.6
26	安心	環 境	50 循環型社会と低炭素社会づくりの推進	8.6	10.0	14.8	11.9	8.9	5.7	4.4
28	活力	産 業	11 農業生産の振興	8.5	5.7	5.6	11.4	8.3	9.7	4.4
29	活力	産 業	5 企業立地の促進	8.4	2.9	10.2	16.2	7.2	6.7	4.4
29	未来	子 育 て ・ 教 育	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	8.4	8.6	10.2	11.4	8.3	6.0	7.3

順位	区分	領域	項目	全体	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
31	未来	地域づくり	40 地域の個性を活かした景観づくり・まち並みづくり	8.2	0.0	3.7	10.8	8.9	9.0	10.2
32	活力	交流・物流	16 空港・港湾の充実など交流・物流ネットワークの形成	8.1	5.7	9.3	13.0	6.7	7.7	3.6
33	安心	安全・安心	61 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり	8.0	8.6	6.5	13.5	6.7	7.7	4.4
34	活力	産 業	6 中小企業の振興	7.9	2.9	9.3	9.2	8.3	8.7	5.8
35	未来	子育て・教育	28 大学教育・学術研究・科学技術の振興	7.8	5.7	7.4	11.4	10.0	7.0	2.9
35	未来	子育て・教育	29 生涯をととした学びの推進	7.8	7.1	4.6	11.4	8.9	6.0	8.0
37	未来	子育て・教育	26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	7.6	4.3	5.6	10.3	8.9	6.0	8.0
37	未来	子育て・教育	30 ふるさとを学び楽しむ環境づくり	7.6	8.6	11.1	7.0	7.8	7.0	5.8
37	安心	健康・福祉	44 医療提供体制の充実	7.6	5.7	6.5	12.4	8.9	6.4	4.4
40	安心	安全・安心	57 雪に強いまちづくり	7.5	8.6	7.4	11.9	8.3	6.0	3.6
41	活力	産 業	1 景気対策	7.4	4.3	11.1	10.8	9.4	4.7	4.4
41	未来	地域づくり	42 豊かな森づくり・花と緑の地域づくり	7.4	7.1	4.6	7.6	8.9	8.0	6.6
41	安心	安全・安心	62 消費生活の安全の確保	7.4	4.3	8.3	8.1	7.8	6.7	8.0
44	活力	まちづくり・観光	23 富山のブランドカアアップ	7.3	10.0	8.3	10.3	6.1	6.4	5.1
45	活力	産 業	7 デザインの振興と活用	7.2	2.9	7.4	9.2	8.9	7.7	2.2
45	未来	地域づくり	39 自然、歴史、伝統文化など地域の魅力の継承・再発見	7.2	2.9	8.3	10.8	8.3	6.7	3.6
47	未来	県民活動	31 芸術文化の振興	7.1	4.3	10.2	7.6	9.4	5.7	5.1
48	未来	県民活動	32 多様な主体による社会貢献活動の推進	6.3	2.9	6.5	7.0	6.7	6.0	6.6
49	安心	安全・安心	58 県土保全の推進	6.2	10.0	6.5	9.2	7.2	4.0	3.6
50	安心	健康・福祉	49 スポーツの振興	6.0	7.1	5.6	8.6	6.1	5.0	3.6
51	安心	健康・福祉	45 健康づくりと疾病対策の推進	5.9	2.9	7.4	9.7	5.0	5.7	2.9
52	安心	環 境	54 多様化、効率化を通じたエネルギー需給の安定確保	5.7	2.9	5.6	7.6	6.7	4.7	5.8
53	安心	環 境	51 自然環境の保全	5.5	5.7	7.4	6.5	3.9	5.4	5.1
54	活力	交流・物流	18 情報通信基盤の充実と活用	5.4	2.9	8.3	7.6	5.0	4.3	3.6
54	安心	健康・福祉	48 食の安全確保と地産地消・食育の推進	5.4	2.9	9.3	9.2	3.9	4.7	1.5
56	活力	交流・物流	17 利便性の高い道路ネットワークの整備	5.3	0.0	8.3	4.9	3.9	6.7	4.4
57	活力	産 業	4 産学官連携によるものづくり産業の高度化	5.0	2.9	6.5	5.9	5.6	4.0	3.6
57	活力	産 業	10 環日本海・アジアなど海外ビジネス展開の促進	5.0	4.3	6.5	5.4	5.6	4.7	2.9
59	安心	環 境	52 生活環境の保全	3.6	4.3	4.6	3.2	2.2	3.0	5.1
60	活力	産 業	2 新たな成長産業の育成	3.2	1.4	3.7	4.3	3.3	3.7	0.7
61	安心	環 境	53 水資源の保全と活用	3.1	1.4	3.7	5.4	1.7	2.0	4.4
62	活力	産 業	13 水産業の振興	3.0	0.0	1.9	4.9	2.8	3.7	1.5
-		人づくり	63 子ども	7.0	5.7	12.0	3.8	8.3	6.4	7.3
-		人づくり	64 若者	6.9	10.0	10.2	4.9	6.7	7.4	5.1
-		人づくり	65 働きざかり	7.8	7.1	8.3	7.0	6.7	9.4	7.3
-		人づくり	66 女性	11.4	11.4	17.6	11.9	10.6	10.7	8.0
-		人づくり	67 高齢者	10.8	12.9	12.0	10.8	8.9	11.0	10.9

※県平均（全体）より高い項目は網かけ

4. ニーズ得点

(1) ニーズ得点順位

これまで、生活領域における重要度及び未充足度について、県民がどのように評価しているかをみてきたが、ここでは、両者を組み合わせて考えることによって、県民ニーズを探ってみる。

32 ページで示した県民ニーズ得点の算出方法に基づき、67 項目についてニーズ得点を算出し、それを県民ニーズとしてみていく。

図表 ニーズ得点

順位	区分	領域	項目	今回得点	前回得点	前回順位	前回との差
1	未来	子育て・教育	24 家庭・地域・職場における子育て支援	15.01	14.80	3	0.21
2	活力	産 業	9 雇用の確保と人材の育成	14.96	15.23	2	▲ 0.27
3	安心	安 全 ・ 安 心	55 生活交通の確保	14.72	13.54	11	1.18
4	未来	子育て・教育	25 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	14.58	13.52	12	1.05
5	活力	産 業	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	14.46	13.09	20	1.37
6	未来	子育て・教育	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	14.16	13.69	7	0.47
7	安心	健 康 ・ 福 祉	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	13.99	13.56	10	0.42
8	未来	県 民 活 動	33 若者の自立促進とチャレンジ支援	13.98	12.44	29	1.54
9	活力	産 業	1 景気対策	13.98	15.77	1	▲ 1.79
10	未来	子育て・教育	26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	13.87	13.69	7	0.18
11	安心	安 全 ・ 安 心	59 防災・危機管理体制の充実	13.70	13.49	13	0.21
12	安心	健 康 ・ 福 祉	47 障害者福祉の充実	13.63	13.66	8	▲ 0.03
13	安心	安 全 ・ 安 心	60 地震防災対策の充実	13.56	13.49	13	0.07
14	安心	健 康 ・ 福 祉	44 医療提供体制の充実	13.41	13.72	6	▲ 0.30
15	安心	安 全 ・ 安 心	61 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり	13.34	13.64	9	▲ 0.30
16	安心	健 康 ・ 福 祉	46 高齢者福祉の充実	13.31	13.77	5	▲ 0.46
17	安心	安 全 ・ 安 心	56 住生活の向上	13.26	12.33	30	0.93
18	活力	まちづくり・観光	19 快適で活力ある魅力的なまちづくり	13.23	14.07	4	▲ 0.84
19	活力	まちづくり・観光	21 選ばれ続ける観光地づくり	13.08	11.70	43	1.38
20	活力	交 流 ・ 物 流	14 北陸新幹線の整備促進	13.06	11.79	41	1.27
21	活力	産 業	11 農業生産の振興	13.03	11.96	39	1.07
22	安心	健 康 ・ 福 祉	45 健康づくりと疾病対策の推進	12.98	11.99	37	0.99
23	活力	産 業	6 中小企業の振興	12.93	13.12	18	▲ 0.19
24	活力	交 流 ・ 物 流	15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり	12.92	11.75	42	1.18
25	未来	県 民 活 動	36 人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成	12.91	13.12	19	▲ 0.21
26	未来	県 民 活 動	34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮	12.90	11.29	49	1.61
27	安心	安 全 ・ 安 心	62 消費生活の安全の確保	12.88	13.39	15	▲ 0.51
28	安心	安 全 ・ 安 心	58 県土保全の推進	12.80	11.68	45	1.11
29	未来	県 民 活 動	35 元気な高齢者の活躍の場の拡大	12.66	—	—	—
30	活力	まちづくり・観光	20 中心市街地の賑わいの創出	12.55	12.67	24	▲ 0.12

順位	区分	領域	項目	今回得点	前回得点	前回順位	前回との差
31	安心	環境	50 循環型社会と低炭素社会づくりの推進	12.52	12.66	26	▲ 0.14
32	活力	産業	5 企業立地の促進	12.44	13.24	17	▲ 0.79
33	未来	子育て・教育	28 大学教育・学術研究・科学技術の振興	12.44	12.24	32	0.20
34	活力	産業	12 森林の整備と林業の振興	12.43	12.03	34	0.40
35	安心	安全・安心	57 雪に強いまちづくり	12.42	12.10	33	0.32
36	活力	まちづくり・観光	23 富山のブランド力アップ	12.27	12.61	27	▲ 0.34
37	未来	地域づくり	41 農山漁村の活性化	12.23	11.53	47	0.70
38	安心	健康・福祉	48 食の安全確保と地産地消・食育の推進	12.12	11.90	40	0.21
39	安心	環境	51 自然環境の保全	12.04	11.98	38	0.06
40	未来	地域づくり	39 自然、歴史、伝統文化など地域の魅力の継承・再発見	12.02	10.78	56	1.24
41	安心	環境	54 多様化、効率化を通じたエネルギー需給の安定確保	12.01	12.66	26	▲ 0.65
42	未来	地域づくり	40 地域の個性を活かした景観づくり・まち並みづくり	11.94	11.14	51	0.80
43	活力	まちづくり・観光	22 国際観光の推進	11.91	11.70	43	0.21
44	未来	地域づくり	38 交流人口の拡大、定住・半定住の促進	11.89	10.52	58	1.37
45	未来	子育て・教育	29 生涯をとoshた学びの推進	11.88	11.69	44	0.19
46	未来	子育て・教育	30 ふるさとを学び楽しむ環境づくり	11.72	-	-	-
47	活力	産業	10 環日本海・アジアなど海外ビジネス展開の促進	11.69	11.05	52	0.64
48	活力	産業	4 産学官連携によるものづくり産業の高度化	11.66	12.25	31	▲ 0.59
49	活力	産業	3 未来を拓く起業チャレンジへの支援	11.65	12.90	22	▲ 1.25
50	活力	産業	7 デザインの振興と活用	11.65	10.98	54	0.67
51	未来	県民活動	37 グローバル社会における地域づくり・人づくり	11.65	11.18	50	0.47
52	活力	産業	2 新たな成長産業の育成	11.60	12.83	23	▲ 1.23
53	活力	交流・物流	16 空港・港湾の充実など交流・物流ネットワークの形成	11.55	11.53	46	0.02
54	安心	環境	52 生活環境の保全	11.53	13.44	14	▲ 1.92
55	未来	地域づくり	42 豊かな森づくり・花と緑の地域づくり	11.46	11.36	48	0.10
56	未来	県民活動	32 多様な主体による社会貢献活動の推進	11.43	11.00	53	0.43
57	活力	交流・物流	17 利便性の高い道路ネットワークの整備	11.38	11.79	41	▲ 0.40
58	活力	交流・物流	18 情報通信基盤の充実と活用	11.27	10.24	61	1.04
59	安心	環境	53 水資源の保全と活用	11.14	12.01	36	▲ 0.87
60	安心	健康・福祉	49 スポーツの振興	10.98	10.51	59	0.47
61	活力	産業	13 水産業の振興	10.98	10.67	57	0.31
62	未来	県民活動	31 芸術文化の振興	10.74	10.37	60	0.37
-	人づくり		63 子ども	13.31	-	-	-
-	人づくり		64 若者	13.29	-	-	-
-	人づくり		65 働きざかり	13.26	-	-	-
-	人づくり		66 女性	13.24	-	-	-
-	人づくり		67 高齢者	13.34	-	-	-

※網かけは前回との差で±1.0ポイント以上の差があった項目

ニーズ得点の高い項目をみると、「24 家庭・地域・職場における子育て支援」が 15.01 と最も高く、次いで「9 雇用の確保と人材の育成」が 14.96、「55 生活交通の確保」が 14.72、「25 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成」が 14.58、「8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり」が 14.46 の順となっている。

一方、重要度の低かった項目をみると、「31 芸術文化の振興」が 10.74、「13 水産業の振興」と「49 スポーツの振興」が 10.98 などとなっている。

重要度の平均は生活領域別に重要度得点を平均すると、最も得点の高い領域は「子育て・教育」の 13.38 であり、次いで「安心・安全」が 13.34、「健康・福祉」が 12.92 の順となっている。「人づくり」においては、「高齢者」が 13.34、「子ども」が 13.31、「若者」が 13.29 となっている。

- 「子育て・教育」では、「24 家庭・地域・職場における子育て支援」が 15.01、「25 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成」が 14.58、「27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進」が 14.16 と高くなっている。
- 「安全・安心」では、「55 生活交通の確保」が 14.72、「59 防災・危機管理体制の充実」が 13.70 と高くなっている。
- 「健康・福祉」では、「43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成」が 13.99、「47 障害者福祉の充実」が 13.63 と高くなっている。

図表 ニーズ得点の区分別・領域別の平均値

	平均値
全体	12.67
【区分別】	
活力	12.47
未来	12.60
安心	12.82
人づくり	13.29

【領域別】	
産業	12.57
交流・物流	12.04
まちづくり・観光	12.61
子育て・教育	13.38
県民活動	12.32
地域づくり	11.91
健康・福祉	12.92
環境	11.85
安全・安心	13.34

(2) 前回調査との比較

前回との比較では、全体平均では、平成22年度 12.39 → 今回 12.67 とやや高くなっている。

項目別にみると、前回と比べて最も得点が高くなった項目は、「34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮」(+1.61)であり、次いで「33 若者の自立促進とチャレンジ支援」(+1.54)、「21 選ばれ続ける観光地づくり」(+1.38)、「38 交流人口の拡大、定住・半定住の促進」(+1.37)、「8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり」(+1.37)の順となっている。

一方、前回と比べて得点が低くなったのは「52 生活環境の保全」(▲1.92)、「1 景気対策」(▲1.79)、「3 未来を拓く起業チャレンジへの支援」(▲1.25)、「2 新たな成長産業の育成」(▲1.23)、「53 水資源の保全と活用」(▲0.87)などとなっている。

図表 ニーズ得点が前回に比べて高くなった項目（上位10項目）

順位	区分	領域	項目	今回順位	今回得点	前回得点	前回順位	差
1	未来	県民活動	34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮	26	12.90	11.29	49	1.61
2	未来	県民活動	33 若者の自立促進とチャレンジ支援	8	13.98	12.44	29	1.54
3	活力	まちづくり・観光	21 選ばれ続ける観光地づくり	19	13.08	11.70	43	1.38
4	未来	地域づくり	38 交流人口の拡大、定住・半定住の促進	44	11.89	10.52	58	1.37
5	活力	産業	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	5	14.46	13.09	20	1.37
6	活力	交流・物流	14 北陸新幹線の整備促進	20	13.06	11.79	41	1.27
7	未来	地域づくり	39 自然、歴史、伝統文化など地域の魅力の継承・再発見	40	12.02	10.78	56	1.24
8	安心	安全・安心	55 生活交通の確保	3	14.72	13.54	11	1.18
9	活力	交流・物流	15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり	24	12.92	11.75	42	1.18
10	安心	安全・安心	58 県土保全の推進	28	12.80	11.68	45	1.11

図表 ニーズ得点が前回に比べて低くなった項目（下位10項目）

順位	区分	領域	項目	今回順位	今回得点	前回得点	前回順位	差
60	安心	環境	52 生活環境の保全	54	11.53	13.44	14	▲1.92
59	活力	産業	1 景気対策	9	13.98	15.77	1	▲1.79
58	活力	産業	3 未来を拓く起業チャレンジへの支援	49	11.65	12.90	22	▲1.25
57	活力	産業	2 新たな成長産業の育成	52	11.60	12.83	23	▲1.23
56	安心	環境	53 水資源の保全と活用	59	11.14	12.01	36	▲0.87
55	活力	まちづくり・観光	19 快適で活力ある魅力的なまちづくり	18	13.23	14.07	4	▲0.84
54	活力	産業	5 企業立地の促進	32	12.44	13.24	17	▲0.79
53	安心	環境	54 多様化、効率化を通じたエネルギー需給の安定確保	41	12.01	12.66	26	▲0.65
52	活力	産業	4 産学官連携によるものづくり産業の高度化	48	11.66	12.25	31	▲0.59
51	安心	安全・安心	62 消費生活の安全の確保	27	12.88	13.39	15	▲0.51

(3) 県民属性からみたニーズ得点

属性別のニーズ得点をみていく。

男女別にみると、男性は「10 環日本海・アジアなど海外ビジネス展開の促進」、「54 多様化、効率化を通じたエネルギー需給の安定確保」、「3 未来を拓く起業チャレンジへの支援」が女性に比べてニーズ得点が高くなっている。一方、女性は「58 県土保全の推進」、「43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成」、「56 住生活の向上」が男性に比べてニーズ得点が高くなっている。

地域別にみると、富山地域は「46 高齢者福祉の充実」、「4 産学官連携によるものづくり産業の高度化」が他の地域に比べて高くなっている。高岡・射水地域は「9 雇用の確保と人材の育成」が1位となっているほか、「20 中心市街地の賑わいの創出」、「15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり」が他の地域に比べて高くなっている。新川地域は「50 循環型社会と低炭素社会づくりの推進」、「51 自然環境の保全」、「42 豊かな森づくり・花と緑の地域づくり」が他の地域に比べて高く、砺波地域は「55 生活交通の確保」が1位となっているほか、「56 住生活の向上」が他の地域に比べてニーズ得点が高くなっている。

図表 属性別のニーズ得点（性別・地域別）

順位	区分	領域	項目	全体	男性	女性	富山地域	高岡・射水地域	新川地域	砺波地域
1	未来	子育て・教育	24 家庭・地域・職場における子育て支援	15.01	15.15	14.86	15.26	14.72	15.63	14.32
2	活力	産 業	9 雇用の確保と人材の育成	14.96	15.23	14.78	15.12	15.15	14.74	14.59
3	安心	安 全・安 心	55 生活交通の確保	14.72	14.74	14.76	14.76	14.82	14.13	15.08
4	未来	子育て・教育	25 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	14.58	14.37	14.81	14.79	14.25	15.34	14.16
5	活力	産 業	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	14.46	14.65	14.34	14.58	14.58	14.22	14.41
6	未来	子育て・教育	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	14.16	13.87	14.41	14.19	14.07	14.74	13.75
7	安心	健 康・福 祉	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	13.99	13.59	14.37	14.16	13.81	14.53	13.54
8	未来	県 民 活 動	33 若者の自立促進とチャレンジ支援	13.98	13.66	14.22	13.94	13.77	14.62	14.18
9	活力	産 業	1 景気対策	13.98	13.88	14.04	14.11	14.16	13.51	13.54
10	未来	子育て・教育	26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	13.87	13.96	13.83	13.93	13.76	14.30	13.73
11	安心	安 全・安 心	59 防災・危機管理体制の充実	13.70	13.55	13.91	13.95	13.62	13.70	13.57
12	安心	健 康・福 祉	47 障害者福祉の充実	13.63	13.61	13.72	13.96	13.46	13.98	12.98
13	安心	安 全・安 心	60 地震防災対策の充実	13.56	13.37	13.83	13.67	13.59	13.43	13.61
14	安心	健 康・福 祉	44 医療提供体制の充実	13.41	13.24	13.60	13.53	13.39	13.51	13.09
15	安心	安 全・安 心	61 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり	13.34	13.10	13.57	13.25	13.59	13.34	13.32
16	安心	健 康・福 祉	46 高齢者福祉の充実	13.31	13.12	13.48	13.67	12.93	13.05	13.20
17	安心	安 全・安 心	56 住生活の向上	13.26	12.91	13.61	13.21	13.43	12.86	13.61
18	活力	まちづくり・観光	19 快適で活力ある魅力的なまちづくり	13.23	13.40	13.13	13.32	13.49	13.01	12.85
19	活力	まちづくり・観光	21 選ばれ続ける観光地づくり	13.08	13.36	12.81	13.17	13.30	13.03	12.45
20	活力	交 流・物 流	14 北陸新幹線の整備促進	13.06	13.08	13.08	13.31	13.28	12.99	11.90
21	活力	産 業	11 農業生産の振興	13.03	13.21	12.88	13.29	12.82	12.96	12.75
22	安心	健 康・福 祉	45 健康づくりと疾病対策の推進	12.98	12.77	13.19	13.19	12.76	12.84	12.99
23	活力	産 業	6 中小企業の振興	12.93	13.15	12.79	13.07	13.17	12.49	12.70
24	活力	交 流・物 流	15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり	12.92	13.18	12.69	12.72	13.65	13.06	12.32
25	未来	県 民 活 動	36 人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成	12.91	12.96	12.90	12.85	13.02	12.91	13.18
26	未来	県 民 活 動	34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮	12.90	12.79	13.05	12.90	12.95	13.56	12.82
27	安心	安 全・安 心	62 消費生活の安全の確保	12.88	12.84	12.92	12.91	12.85	12.97	12.65
28	安心	安 全・安 心	58 県土保全の推進	12.80	12.32	13.21	12.74	12.73	13.02	12.91
29	未来	県 民 活 動	35 元気な高齢者の活躍の場の拡大	12.66	12.36	12.94	12.96	12.56	12.15	12.34
30	活力	まちづくり・観光	20 中心市街地の賑わいの創出	12.55	12.72	12.44	12.08	13.46	13.22	12.37

順位	区分	領域	項目	全体	男性	女性	富山地域	高岡・射水地域	新川地域	砺波地域
31	安心	環境	50 循環型社会と低炭素社会づくりの推進	12.52	12.45	12.57	12.49	12.18	13.64	12.53
32	活力	産業	5 企業立地の促進	12.44	12.84	12.12	12.48	12.87	11.88	12.04
33	未来	子育て・教育	28 大学教育・学術研究・科学技術の振興	12.44	12.65	12.29	12.58	12.33	12.98	11.89
34	活力	産業	12 森林の整備と林業の振興	12.43	12.81	12.17	12.48	12.29	12.41	12.65
35	安心	安全・安心	57 雪に強いまちづくり	12.42	12.17	12.71	12.63	12.47	11.64	12.58
36	活力	まちづくり・観光	23 富山のブランドカアップ	12.27	12.41	12.22	12.46	12.41	12.41	11.56
37	未来	地域づくり	41 農山漁村の活性化	12.23	12.35	12.16	12.26	12.04	12.79	12.18
38	安心	健康・福祉	48 食の安全確保と地産地消・食育の推進	12.12	12.15	12.06	12.24	11.98	12.64	11.54
39	安心	環境	51 自然環境の保全	12.04	12.05	12.03	11.97	11.86	12.94	11.99
40	未来	地域づくり	39 自然、歴史、伝統文化など地域の魅力の継承・再発見	12.02	11.88	12.14	12.14	11.76	12.19	12.04
41	安心	環境	54 多様化、効率化を通じたエネルギー需給の安定確保	12.01	12.53	11.61	12.13	11.79	12.17	11.91
42	未来	地域づくり	40 地域の個性を活かした景観づくり・まち並みづくり	11.94	12.01	11.92	12.05	11.72	12.59	11.64
43	活力	まちづくり・観光	22 国際観光の推進	11.91	12.15	11.73	11.90	12.02	12.54	11.22
44	未来	地域づくり	38 交流人口の拡大、定住・半定住の促進	11.89	12.07	11.78	11.92	11.68	12.65	11.97
45	未来	子育て・教育	29 生涯をおとした学びの推進	11.88	11.90	11.87	11.94	11.84	12.39	11.49
46	未来	子育て・教育	30 ふるさとを学び楽しむ環境づくり	11.72	11.91	11.60	11.92	11.51	12.18	11.47
47	活力	産業	10 環日本海・アジアなど海外ビジネス展開の促進	11.69	12.25	11.23	11.66	11.82	11.87	11.37
48	活力	産業	4 産学官連携によるものづくり産業の高度化	11.66	12.13	11.28	12.02	11.72	10.42	11.40
49	活力	産業	3 未来を拓く起業チャレンジへの支援	11.65	12.17	11.26	11.62	11.99	11.03	11.98
50	活力	産業	7 デザインの振興と活用	11.65	12.06	11.31	11.65	11.63	11.56	11.79
51	未来	県民活動	37 グローバル社会における地域づくり・人づくり	11.65	11.64	11.66	11.69	11.59	12.20	11.57
52	活力	産業	2 新たな成長産業の育成	11.60	11.99	11.27	11.82	11.55	11.32	11.16
53	活力	交流・物流	16 空港・港湾の充実など交流・物流ネットワークの形成	11.55	11.90	11.24	11.40	11.70	12.02	11.53
54	安心	環境	52 生活環境の保全	11.53	11.52	11.55	11.44	11.56	11.72	11.61
55	未来	地域づくり	42 豊かな森づくり・花と緑の地域づくり	11.46	11.54	11.41	11.51	11.30	12.30	11.27
56	未来	県民活動	32 多様な主体による社会貢献活動の推進	11.43	11.35	11.49	11.53	11.31	11.79	11.20
57	活力	交流・物流	17 利便性の高い道路ネットワークの整備	11.38	11.52	11.22	11.38	11.24	11.99	11.18
58	活力	交流・物流	18 情報通信基盤の充実と活用	11.27	11.61	10.97	11.32	11.49	11.30	10.76
59	安心	環境	53 水資源の保全と活用	11.14	11.24	11.08	11.18	10.98	11.65	10.92
60	安心	健康・福祉	49 スポーツの振興	10.98	11.12	10.88	11.07	10.99	11.25	10.58
61	活力	産業	13 水産業の振興	10.98	11.16	10.84	11.13	10.89	11.48	10.39
62	未来	県民活動	31 芸術文化の振興	10.74	10.65	10.85	10.71	10.64	11.37	10.74
-	人づくり		63 子ども	13.31	13.30	13.32	13.53	12.77	14.03	13.13
-	人づくり		64 若者	13.29	13.20	13.43	13.23	13.30	14.07	13.14
-	人づくり		65 働きざかり	13.26	13.26	13.35	13.44	12.92	13.49	13.71
-	人づくり		66 女性	13.24	12.87	13.53	13.36	13.03	13.52	13.27
-	人づくり		67 高齢者	13.34	13.24	13.42	13.45	13.09	13.24	13.55

※県平均（全体）より高い項目は網かけ

年齢別にみると、1位の項目は、「29歳以下」で「25 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成」、「30～59歳」で「9 雇用の確保と人材の育成」、「60～69歳」と「70歳以上」で「24 家庭・地域・職場における子育て支援」となっている。

「29歳以下」は「59 防災・危機管理体制の充実」、「14 北陸新幹線の整備促進」、「57 雪に強いまちづくり」が他の年代に比べて得点が高くなっている。

「30～39歳」は「1 景気対策」、「24 家庭・地域・職場における子育て支援」、「36 人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成」が他の年代に比べて得点が高くなっている。

「40～49歳」は「9 雇用の確保と人材の育成」、「26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進」、「55 生活交通の確保」が他の年代に比べて得点が高くなっている。

「50～59歳」は「47 障害者福祉の充実」、「11 農業生産の振興」、「19 快適で活力ある魅力的なまちづくり」が他の年代に比べて得点が高くなっている。

「60～69歳」は「41 農山漁村の活性化」、「7 デザインの振興と活用」、「42 豊かな森づくり・花と緑の地域づくり」が他の年代に比べて得点が高くなっている。

「70歳以上」は「12 森林の整備と林業の振興」、「30 ふるさとを学び楽しむ環境づくり」、「10 環日本海・アジアなど海外ビジネス展開の促進」が他の年代に比べて得点が高くなっている。

図表 属性別のニーズ得点（年齢別）

順位	区分	領域	項目	全体	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
1	未来	子育て・教育	24 家庭・地域・職場における子育て支援	15.01	14.80	15.49	15.38	14.92	14.89	14.57
2	活力	産 業	9 雇用の確保と人材の育成	14.96	14.36	15.58	16.18	15.64	14.58	13.45
3	安心	安 全・安 心	55 生活交通の確保	14.72	14.89	14.59	15.61	15.49	14.17	13.82
4	未来	子育て・教育	25 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	14.58	15.29	14.90	14.75	14.46	14.41	14.33
5	活力	産 業	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	14.46	14.22	14.27	15.21	14.99	14.36	13.42
6	未来	子育て・教育	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	14.16	14.27	14.58	14.95	13.95	13.84	13.76
7	安心	健 康・福 祉	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	13.99	14.64	14.26	14.11	14.04	13.92	13.40
8	未来	県 民 活 動	33 若者の自立促進とチャレンジ支援	13.98	14.12	14.40	14.62	14.33	13.43	13.35
9	活力	産 業	1 景気対策	13.98	13.31	14.83	14.56	14.49	13.52	13.17
10	未来	子育て・教育	26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	13.87	13.86	13.65	14.79	13.96	13.56	13.47
11	安心	安 全・安 心	59 防災・危機管理体制の充実	13.70	14.93	14.16	14.05	13.82	13.28	13.28
12	安心	健 康・福 祉	47 障害者福祉の充実	13.63	13.67	13.93	13.82	13.96	13.40	13.31
13	安心	安 全・安 心	60 地震防災対策の充実	13.56	14.31	14.23	14.08	13.94	12.92	13.15
14	安心	健 康・福 祉	44 医療提供体制の充実	13.41	13.51	13.94	14.11	13.70	13.10	12.51
15	安心	安 全・安 心	61 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり	13.34	13.65	13.63	13.88	13.56	12.99	12.77
16	安心	健 康・福 祉	46 高齢者福祉の充実	13.31	12.51	13.80	13.49	13.59	13.36	12.83
17	安心	安 全・安 心	56 住生活の向上	13.26	12.94	13.16	13.78	13.60	13.02	12.90
18	活力	まちづくり・観光	19 快適で活力ある魅力的なまちづくり	13.23	12.27	12.70	13.80	14.00	12.93	13.10
19	活力	まちづくり・観光	21 選ばれ続ける観光地づくり	13.08	12.84	13.44	13.78	12.93	12.95	12.45
20	活力	交 流・物 流	14 北陸新幹線の整備促進	13.06	14.26	13.24	13.02	13.83	12.38	12.92
21	活力	産 業	11 農業生産の振興	13.03	12.75	13.02	13.04	13.44	13.10	12.58
22	安心	健 康・福 祉	45 健康づくりと疾病対策の推進	12.98	13.37	13.13	13.67	12.88	12.93	12.11
23	活力	産 業	6 中小企業の振興	12.93	11.91	13.35	13.63	13.28	12.79	12.20
24	活力	交 流・物 流	15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり	12.92	13.22	12.83	13.42	13.34	12.54	12.49
25	未来	県 民 活 動	36 人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成	12.91	13.35	13.57	13.02	13.12	12.64	12.37
26	未来	県 民 活 動	34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮	12.90	13.59	13.48	12.95	13.08	12.66	12.42
27	安心	安 全・安 心	62 消費生活の安全の確保	12.88	12.98	13.33	12.80	13.28	12.68	12.51
28	安心	安 全・安 心	58 県土保全の推進	12.80	13.21	12.63	13.15	12.97	12.62	12.42
29	未来	県 民 活 動	35 元気な高齢者の活躍の場の拡大	12.66	12.85	12.53	12.49	13.06	12.52	12.67
30	活力	まちづくり・観光	20 中心市街地の賑わいの創出	12.55	12.84	12.50	12.77	12.47	12.51	12.44

順位	区分	領域	項目	全体	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
31	安心	環境	50 循環型社会と低炭素社会づくりの推進	12.52	13.56	13.06	12.55	12.43	12.24	12.21
32	活力	産業	5 企業立地の促進	12.44	11.75	12.64	13.20	12.61	12.18	12.06
33	未来	子育て・教育	28 大学教育・学術研究・科学技術の振興	12.44	13.00	12.45	13.18	12.23	12.17	12.07
34	活力	産業	12 森林の整備と林業の振興	12.43	11.56	11.99	12.28	12.70	12.53	13.01
35	安心	安全・安心	57 雪に強いまちづくり	12.42	13.61	12.12	13.08	12.74	12.22	11.48
36	活力	まちづくり・観光	23 富山のブランドカアップ	12.27	12.38	12.27	12.78	12.26	12.20	11.92
37	未来	地域づくり	41 農山漁村の活性化	12.23	11.32	12.04	12.15	12.26	12.59	12.23
38	安心	健康・福祉	48 食の安全確保と地産地消・食育の推進	12.12	11.99	12.70	12.41	12.14	12.12	11.33
39	安心	環境	51 自然環境の保全	12.04	12.66	12.55	12.01	11.56	12.28	11.50
40	未来	地域づくり	39 自然、歴史、伝統文化など地域の魅力の継承・再発見	12.02	12.14	12.13	12.15	12.01	12.11	11.45
41	安心	環境	54 多様化、効率化を通じたエネルギー需給の安定確保	12.01	12.12	11.84	12.17	12.08	11.94	12.05
42	未来	地域づくり	40 地域の個性を活かした景観づくり・まち並みづくり	11.94	11.46	11.67	11.65	12.38	12.17	11.75
43	活力	まちづくり・観光	22 国際観光の推進	11.91	11.73	12.29	12.32	11.60	11.88	11.73
44	未来	地域づくり	38 交流人口の拡大、定住・半定住の促進	11.89	12.04	12.08	12.21	11.93	11.81	11.53
45	未来	子育て・教育	29 生涯をとおした学びの推進	11.88	12.35	11.78	12.71	11.71	11.59	11.57
46	未来	子育て・教育	30 ふるさとを学び楽しむ環境づくり	11.72	11.43	11.82	11.70	11.39	11.81	12.19
47	活力	産業	10 環日本海・アジアなど海外ビジネス展開の促進	11.69	11.25	11.14	11.59	11.85	11.81	12.02
48	活力	産業	4 産学官連携によるものづくり産業の高度化	11.66	11.57	11.03	11.83	11.87	11.59	11.83
49	活力	産業	3 未来を拓く起業チャレンジへの支援	11.65	11.01	11.20	11.98	11.91	11.80	11.35
50	活力	産業	7 デザインの振興と活用	11.65	11.23	11.32	11.57	11.66	11.96	11.63
51	未来	県民活動	37 グローバル社会における地域づくり・人づくり	11.65	12.30	11.93	11.92	11.18	11.63	11.37
52	活力	産業	2 新たな成長産業の育成	11.60	11.46	11.81	11.67	11.38	11.74	11.24
53	活力	交流・物流	16 空港・港湾の充実など交流・物流ネットワークの形成	11.55	11.49	11.14	11.65	11.36	11.67	11.84
54	安心	環境	52 生活環境の保全	11.53	11.83	11.75	11.65	11.44	11.50	11.24
55	未来	地域づくり	42 豊かな森づくり・花と緑の地域づくり	11.46	11.43	11.30	11.37	11.58	11.64	11.25
56	未来	県民活動	32 多様な主体による社会貢献活動の推進	11.43	11.17	11.36	11.41	11.35	11.55	11.53
57	活力	交流・物流	17 利便性の高い道路ネットワークの整備	11.38	11.73	11.22	11.31	11.15	11.51	11.32
58	活力	交流・物流	18 情報通信基盤の充実と活用	11.27	11.01	11.11	11.56	11.70	11.09	10.86
59	安心	環境	53 水資源の保全と活用	11.14	11.13	11.36	11.34	10.88	11.05	11.26
60	安心	健康・福祉	49 スポーツの振興	10.98	11.46	10.84	11.30	10.97	10.96	10.55
61	活力	産業	13 水産業の振興	10.98	10.63	11.04	11.32	10.77	11.14	10.67
62	未来	県民活動	31 芸術文化の振興	10.74	10.85	10.17	10.93	10.81	10.75	10.77
-	人づくり		63 子ども	13.31	12.75	13.43	12.91	13.63	13.36	13.57
-	人づくり		64 若者	13.29	13.67	13.92	13.15	13.87	13.05	12.77
-	人づくり		65 働きざかり	13.26	12.99	13.57	13.36	13.05	13.43	13.32
-	人づくり		66 女性	13.24	14.11	13.81	13.40	13.25	13.07	12.38
-	人づくり		67 高齢者	13.34	14.02	13.82	13.34	13.20	13.12	13.25

※県平均（全体）より高い項目は網かけ

5. 重要度及び充足度との関係

(1) 重要度及び充足度との関係

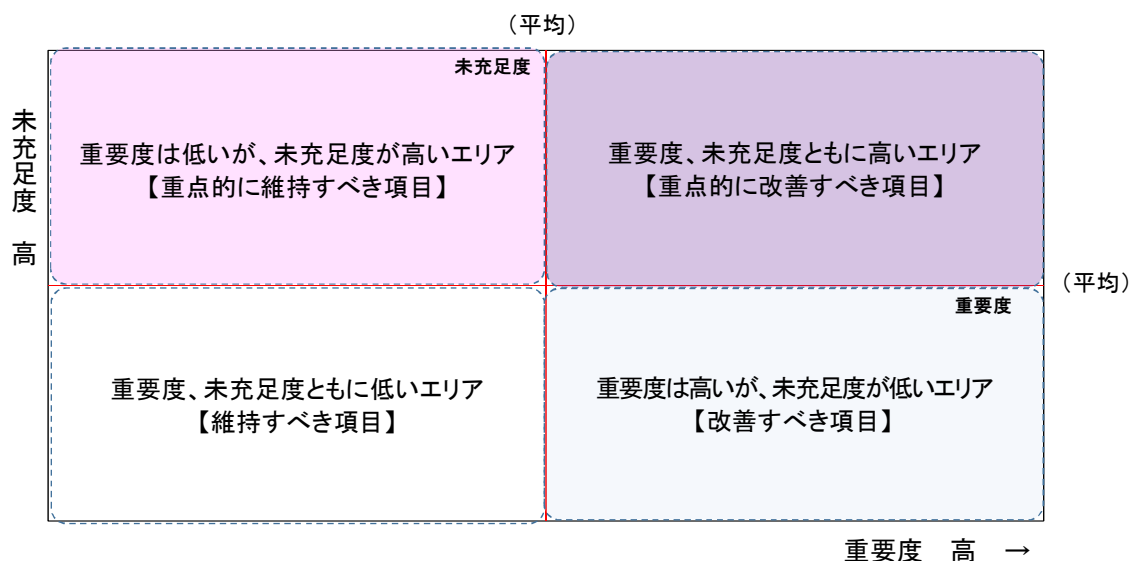
県が施策を展開するにあたっては、ニーズ得点による県民ニーズの高低が一つの目安となる。

加えて、重要度と未充足度との関係を、67項目の重要度、未充足度の平均得点ライン（座標軸）で次のように4つのエリアに区分することにより、県民ニーズに対応する施策の方向性を把握することができる。

重要度と未充足度の相関グラフは右に行くほど重要度が高く、上に行くほど未充足度が高いことを示しており、各象限の考え方は、概ね次の通りである。

- 重要度、未充足度ともに高いエリア 【重点的に改善すべき項目】
- 重要度は高いが、未充足度が低いエリア 【改善すべき項目】
- 重要度は低いが、未充足度が高いエリア 【重点的に維持すべき項目】
- 重要度、未充足度ともに低いエリア 【維持すべき項目】

図表 重要度と未充足度の捉え方



重要度と未充足度の相関グラフを作成し、エリアごとの項目数をみると、以下のとおりとなっている。

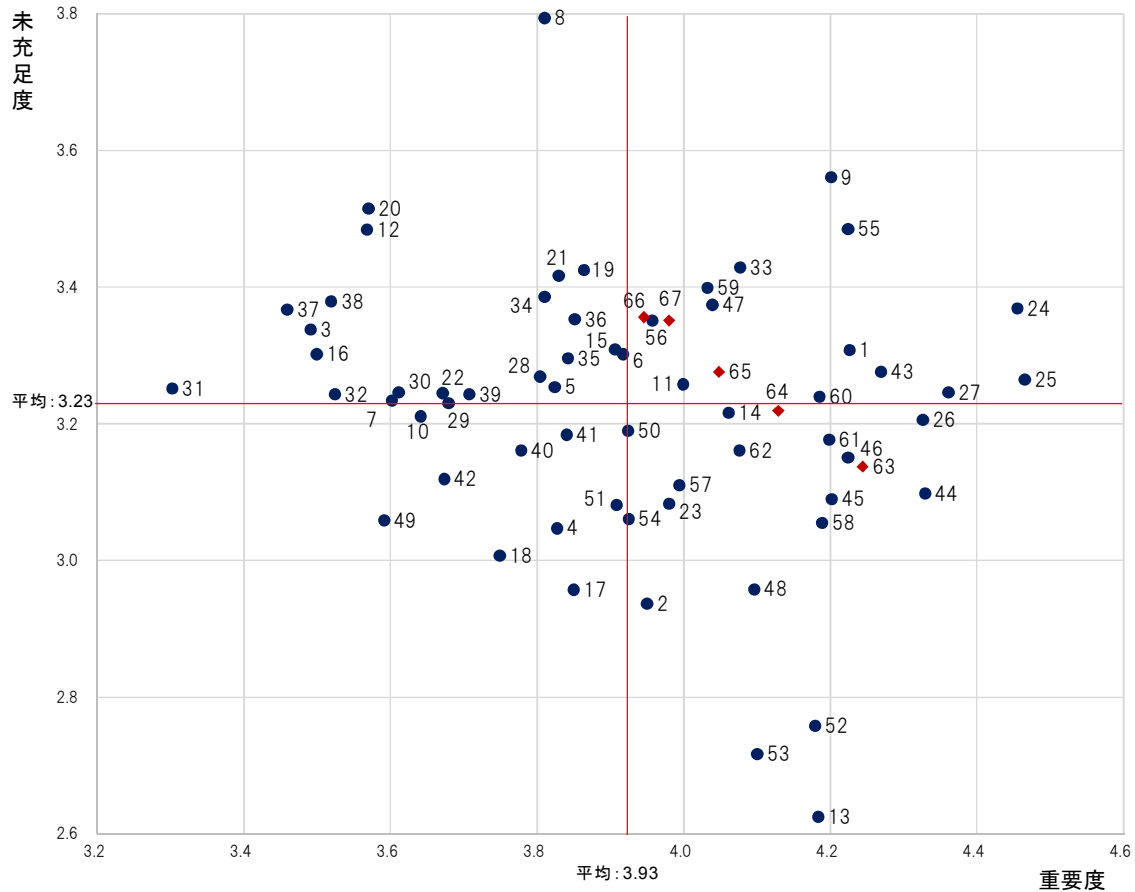
- ・ 重要度、未充足度ともに高いエリア (16項目)
- ・ 重要度は高いが、未充足度が低いエリア (17項目)
- ・ 重要度は低い、未充足度が高いエリア (23項目)
- ・ 重要度、未充足度ともに低いエリア (11項目)

4つのエリア内の各項目についてニーズ得点の順位と比較すると、ニーズ得点の高い項目はおおむね『重要度、未充足度ともに高いエリア』にある場合が多いが、今回調査では、ニーズ得点の上位10項目のうち、8項目がこのエリアに入っている。「26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進」（ニーズ得点10位）が『重要度は高いが、未充足度が低いエリア』に、「8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり」（ニーズ得点5位）が『重要度は低い、未充足度が高いエリア』に位置している。

一方、『重要度、未充足度ともに低いエリア』には、ニーズ得点の下位10項目のうち、4項目が含まれている。

- ・『重要度、未充足度ともに高いエリア』には子育てや子どもの教育、景気・雇用対策、防災対策に関する項目が目立つ。これらの項目は、県民が重要視している項目であり、かつ充足されていないと感じる項目であることから、重点的に改善していくことが求められる。
- ・『重要度は高いが、未充足度が低いエリア』には、健康・福祉や安全・安心などに関する項目が目立つ。これらの項目はある程度充足されているものの、今後も重要である項目であり、引き続き現在の水準を維持し、高めていくことが求められている。
- ・『重要度は低い、未充足度が高いエリア』には、産業やまちづくり・観光、県民活動に関する項目が目立つ。これらの項目については、重要度が高くはないが、充足度が低く、長期的展望のもとに取り組むことが求められている。特に、「8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり」については、未充足度が際立って高くなっていることから、対策の検討が求められる。

図表 重要度と未充足度の相関（項目別）



重要度、未充足度ともに高いエリア					重要度は高いが、未充足度が低いエリア				
得点 順位	項目	重要度	未充足度	ニーズ 得点	得点 順位	項目	重要度	未充足度	ニーズ 得点
1	24 家庭・地域・職場における子育て支援	4.46	3.37	15.01	10	26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	4.33	3.21	13.87
2	9 雇用の確保と人材の育成	4.20	3.56	14.96	14	44 医療提供体制の充実	4.33	3.10	13.41
3	55 生活交通の確保	4.22	3.49	14.72	15	61 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり	4.20	3.18	13.34
4	25 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	4.47	3.27	14.58	16	46 高齢者福祉の充実	4.22	3.15	13.31
6	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	4.36	3.25	14.16	20	14 北陸新幹線の整備促進	4.06	3.22	13.06
7	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	4.27	3.28	13.99	22	45 健康づくりと疾病対策の推進	4.20	3.09	12.98
8	33 若者の自立促進とチャレンジ支援	4.08	3.43	13.98	27	62 消費生活の安全の確保	4.08	3.16	12.88
9	1 景気対策	4.23	3.31	13.98	28	58 県土保全の推進	4.19	3.06	12.80
11	59 防災・危機管理体制の充実	4.03	3.40	13.70	35	57 雪に強いまちづくり	3.99	3.11	12.42
12	47 障害者福祉の充実	4.04	3.37	13.63	36	23 富山のブランドカアップ	3.98	3.08	12.27
13	60 地震防災対策の充実	4.19	3.24	13.56	38	48 食の安全確保と地産地消・食育の推進	4.10	2.96	12.12
17	56 住生活の向上	3.96	3.35	13.26	52	2 新たな成長産業の育成	3.95	2.94	11.60
21	11 農業生産の振興	4.00	3.26	13.03	54	52 生活環境の保全	4.18	2.76	11.53
-	67(高齢者)	3.98	3.35	13.34	59	53 水資源の保全と活用	4.10	2.72	11.14
-	65(働きざかり)	4.05	3.28	13.26	61	13 水産業の振興	4.18	2.63	10.98
-	66(女性)	3.95	3.36	13.24	-	63(子ども)	4.24	3.14	13.31
					-	64(若者)	4.13	3.22	13.29
重要度は低いが、未充足度が高いエリア					重要度、未充足度ともに低いエリア				
5	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	3.81	3.79	14.46	31	50 循環型社会と低炭素社会づくりの推進	3.92	3.19	12.52
18	19 快適で活力ある魅力的なまちづくり	3.86	3.43	13.23	37	41 農山漁村の活性化	3.84	3.18	12.23
19	21 選ばれ続ける観光地づくり	3.83	3.42	13.08	39	51 自然環境の保全	3.91	3.08	12.04
23	6 中小企業の振興	3.92	3.30	12.93	41	54 多様化、効率化を通じたエネルギー需給の安定確保	3.93	3.06	12.01
24	15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり	3.91	3.31	12.92	42	40 地域の個性を活かした景観づくり・まち並みづくり	3.78	3.16	11.94
25	36 人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成	3.85	3.35	12.91	47	10 環日本海・アジアなど海外ビジネス展開の促進	3.64	3.21	11.69
26	34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮	3.81	3.39	12.90	48	4 産学官連携によるものづくり産業の高度化	3.83	3.05	11.66
29	35 元気な高齢者の活躍の場の拡大	3.84	3.30	12.66	55	42 豊かな森づくり・花と緑の地域づくり	3.67	3.12	11.46
30	20 中心市街地の賑わいの創出	3.57	3.52	12.55	57	17 利便性の高い道路ネットワークの整備	3.85	2.96	11.38
32	5 企業立地の促進	3.82	3.25	12.44	58	18 情報通信基盤の充実と活用	3.75	3.01	11.27
33	28 大学教育・学術研究・科学技術の振興	3.80	3.27	12.44	60	49 スポーツの振興	3.59	3.06	10.98
34	12 森林の整備と林業の振興	3.57	3.48	12.43					
40	39 自然、歴史、伝統文化など地域の魅力の継承・再発見	3.71	3.24	12.02					
43	22 国際観光の推進	3.67	3.25	11.91					
44	38 交流人口の拡大、定住・半定住の促進	3.52	3.38	11.89					
45	29 生涯をとらした学びの推進	3.68	3.23	11.88					
46	30 ふるさとを学び楽しむ環境づくり	3.61	3.25	11.72					
49	3 未来を拓く起業チャレンジへの支援	3.49	3.34	11.65					
50	7 デザインの振興と活用	3.60	3.23	11.65					
51	37 グローバル社会における地域づくり・人づくり	3.46	3.37	11.65					
53	16 空港・港湾の充実など交流・物流ネットワークの形成	3.50	3.30	11.55					
56	32 多様な主体による社会貢献活動の推進	3.52	3.24	11.43					
62	31 芸術文化の振興	3.30	3.25	10.74					

(2) 前回調査との比較

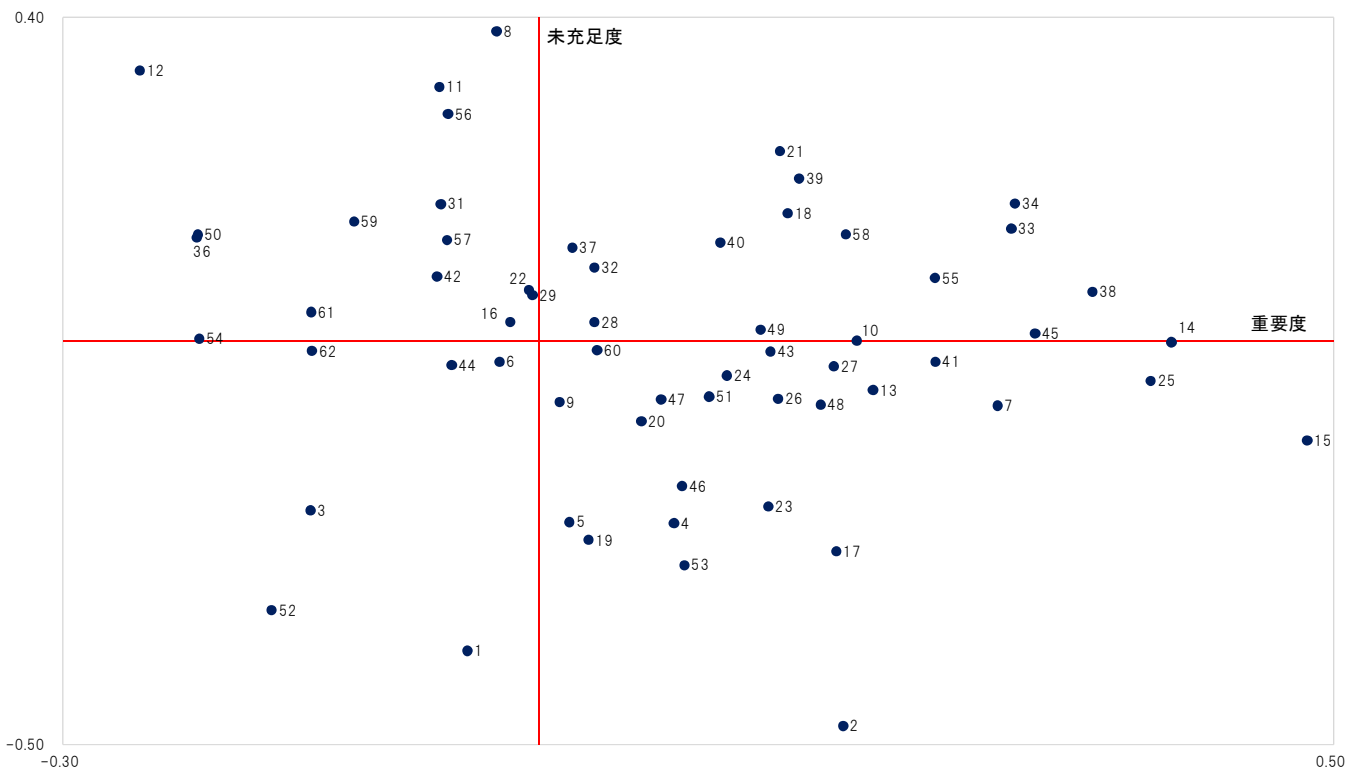
前回調査と比較して、重要度と未充足度がそれぞれどの程度、増減したかをみってみる。これを見ると、「33 若者の自立促進とチャレンジ支援」、「34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮」、「38 交流人口の拡大、定住・半定住の促進」、「21 選ばれ続ける観光地づくり」「39 自然、歴史、伝統文化など地域の魅力の継承・再発見」、「55 生活交通の確保」などが、重要度、未充足度ともに高くなっている。

「15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり」、「14 北陸新幹線の整備促進」、「25 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成」で、未充足度は高くなっていないものの、重要度が0.3ポイント以上高くなっている。

「8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり」、「12 森林の整備と林業の振興」、「11 農業生産の振興」で重要度は高くなっていないものの、未充足度が高まっている。

一方、「1 景気対策」、「52 生活環境の保全」などで重要度、未充足度ともに低くなっている。

図表 重要度と未充足度の前回との比較（今回－前回）



重要度、未充足度ともに高くなった項目				重要度が高く、未充足度が低くなった項目			
項目	重要度 (今回-前回)	未充足度 (今回-前回)	ニーズ得点 (今回-前回)	項目	重要度 (今回-前回)	未充足度 (今回-前回)	ニーズ得点 (今回-前回)
38 交流人口の拡大、定住・半定住の促進	0.35	0.06	1.37	15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり	0.48	-0.12	1.18
45 健康づくりと疾病対策の推進	0.31	0.01	1.00	14 北陸新幹線の整備促進	0.40	-0.00	1.27
34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮	0.30	0.17	1.61	25 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	0.38	-0.05	1.05
33 若者の自立促進とチャレンジ支援	0.30	0.14	1.54	7 デザインの振興と活用	0.29	-0.08	0.67
55 生活交通の確保	0.25	0.08	1.18	41 農山漁村の活性化	0.25	-0.03	0.70
58 県土保全の推進	0.19	0.13	1.11	13 水産業の振興	0.21	-0.06	0.31
39 自然、歴史、伝統文化など地域の魅力の継承・再発見	0.16	0.20	1.24	10 環日本海・アジアなど海外ビジネス展開の促進	0.20	0.00	0.64
18 情報通信基盤の充実と活用	0.16	0.16	1.04	2 新たな成長産業の育成	0.19	-0.48	-1.23
21 選ばれ続ける観光地づくり	0.15	0.23	1.38	17 利便性の高い道路ネットワークの整備	0.19	-0.26	-0.40
49 スポーツの振興	0.14	0.01	0.47	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	0.19	-0.03	0.47
40 地域の個性を活かした景観づくり・まち並みづくり	0.11	0.12	0.80	48 食の安全確保と地産地消・食育の推進	0.18	-0.08	0.21
28 大学教育・学術研究・科学技術の振興	0.03	0.02	0.20	26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	0.15	-0.07	0.18
32 多様な主体による社会貢献活動の推進	0.03	0.09	0.43	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	0.15	-0.01	0.42
37 グローバル社会における地域づくり・人づくり	0.02	0.12	0.47	23 富山のブランドカアップ	0.14	-0.21	-0.34
				24 家庭・地域・職場における子育て支援	0.12	-0.04	0.21
				51 自然環境の保全	0.11	-0.07	0.06
				53 水資源の保全と活用	0.09	-0.28	-0.87
				46 高齢者福祉の充実	0.09	-0.18	-0.46
				4 産学官連携によるものづくり産業の高度化	0.08	-0.23	-0.59
				47 障害者福祉の充実	0.08	-0.07	-0.03
				20 中心市街地の賑わいの創出	0.06	-0.10	-0.12
				60 地震防災対策の充実	0.04	-0.01	0.07
				19 快適で活力ある魅力的なまちづくり	0.03	-0.25	-0.84
				5 企業立地の促進	0.02	-0.22	-0.79
				9 雇用の確保と人材の育成	0.01	-0.08	-0.27
重要度が低く、未充足度が高くなった項目				重要度、未充足度ともに低くなった項目			
29 生涯をとおした学びの推進	-0.00	0.06	0.19	6 中小企業の振興	-0.03	-0.03	-0.19
22 国際観光の推進	-0.01	0.06	0.21	1 景気対策	-0.05	-0.38	-1.79
16 空港・港湾の充実など交流・物流ネットワークの形成	-0.02	0.02	0.02	44 医療提供体制の充実	-0.06	-0.03	-0.30
8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	-0.03	0.38	1.37	62 消費生活の安全の確保	-0.14	-0.01	-0.51
56 住生活の向上	-0.06	0.28	0.93	3 未来を拓く起業チャレンジへの支援	-0.14	-0.21	-1.25
57 雪に強いまちづくり	-0.06	0.12	0.32	52 生活環境の保全	-0.17	-0.33	-1.92
31 芸術文化の振興	-0.06	0.17	0.37				
11 農業生産の振興	-0.06	0.31	1.07				
42 豊かな森づくり・花と緑の地域づくり	-0.06	0.08	0.10				
59 防災・危機管理体制の充実	-0.12	0.15	0.21				
61 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり	-0.14	0.04	-0.30				
54 多様化、効率化を通じたエネルギー需給の安定確保	-0.21	0.00	-0.65				
50 循環型社会と低炭素社会づくりの推進	-0.21	0.13	-0.14				
36 人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成	-0.22	0.13	-0.21				
12 森林の整備と林業の振興	-0.25	0.33	0.40				

前回調査と比較して、エリアが変動した項目をみると、「31 芸術文化の振興」、「32 多様な主体による社会貢献活動の推進」、「33 若者の自立促進とチャレンジ支援」、「34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮」など、「県民活動」領域の項目における未充足度の高まりが目立つ。

図表 前回調査に比べてエリアが変動した項目（●：今回、△：前回）





項目	も重要 に高度 い、未 エリア 充足 度と	充重要 足度 度は 低高 いが り、 ア未	充重要 足度 度は 低高 いが り、 ア未	も重要 に低 い、未 エリア 充足 度と
2 新たな成長産業の育成		● ←	△	
4 産学官連携によるものづくり産業の高度化			△ →	●
6 中小企業の振興	△		●	
8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	△		●	
11 農業生産の振興	● ←	△		
12 森林の整備と林業の振興			● ←	△
14 北陸新幹線の整備促進		● ←		△
19 快適で活力ある魅力的なまちづくり	△		●	
21 選ばれ続ける観光地づくり			● ←	△
22 国際観光の推進			● ←	△
23 富山のブランドカアップ	△ →	●		
26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	△ →	●		
29 生涯をととした学びの推進			● ←	△
31 芸術文化の振興			● ←	△
32 多様な主体による社会貢献活動の推進			● ←	△
33 若者の自立促進とチャレンジ支援	● ←		△	
34 男女共同参画の推進			● ←	△
36 人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成		△ →	●	
39 自然、歴史、伝統文化など地域の魅力の継承・再発見			● ←	△
46 高齢者福祉の充実	△ →	●		
50 循環型社会と低炭素社会づくりの推進		△ →		●
54 多様化、効率化を通じたエネルギー需給の安定確保		△ →		●
56 住生活の向上	● ←	△		

(注) 平均値に近く、エリアの境界線周辺にある項目が変動している場合もある。また、前回調査から設問分岐している項目においては、一方の項目が変動し、他方は変動がない場合もある。

(3) 県民属性からみたニーズ

次に、県民の属性別に重要度と未充足度の関係を見ていく。重要度と未充足度の関係を表す散布図においては、各属性別の平均を基準としてエリア分けを行っている。

属性別で全体とは異なるエリアに変動した項目については、下記の通り網かけしている。

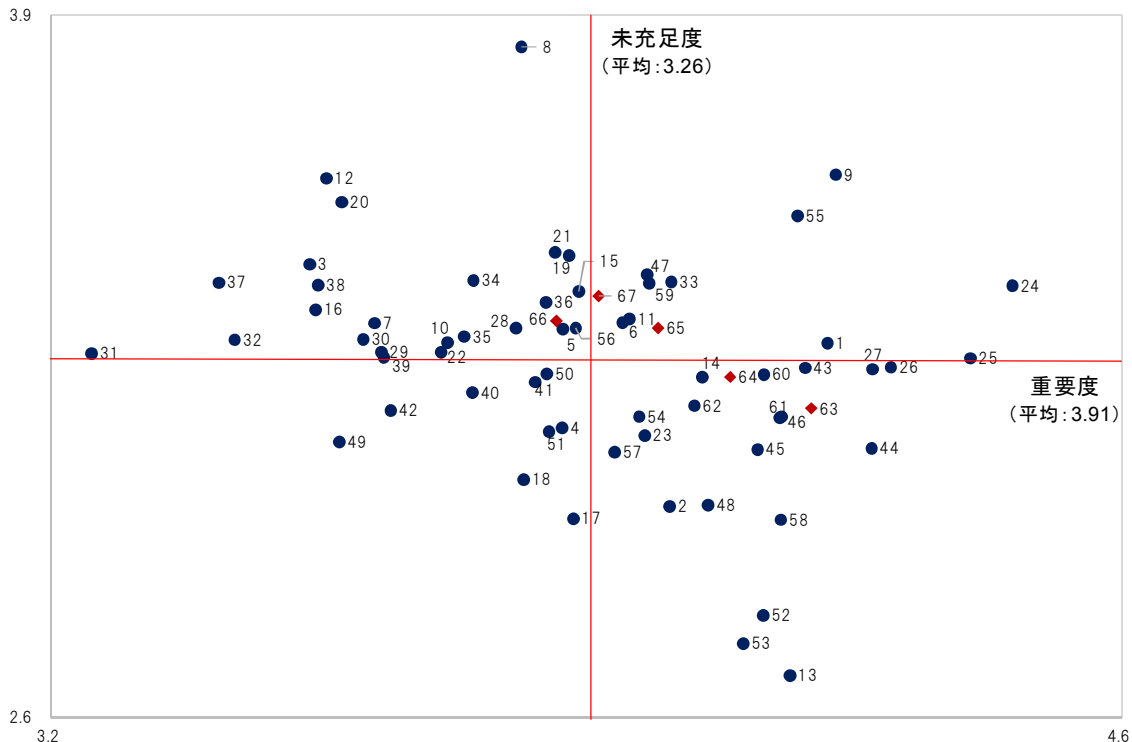
	全体では「重要度、未充足度ともに高いエリア」に属する項目
	全体では「重要度は高いが、未充足度が低いエリア」に属する項目
	全体では「重要度は低いが、未充足度が高いエリア」に属する項目
	全体では「重要度、未充足度ともに低いエリア」に属する項目

① 性別

男性は、「6 中小企業の振興」が『重要度は低い、未充足度が高いエリア』から『重要度、未充足度ともに高いエリア』になっている一方、「27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進」、「43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成」、「60 地震防災対策の充実」が『重要度、未充足度ともに高いエリア』から『重要度は高い、未充足度が低いエリア』となっている。

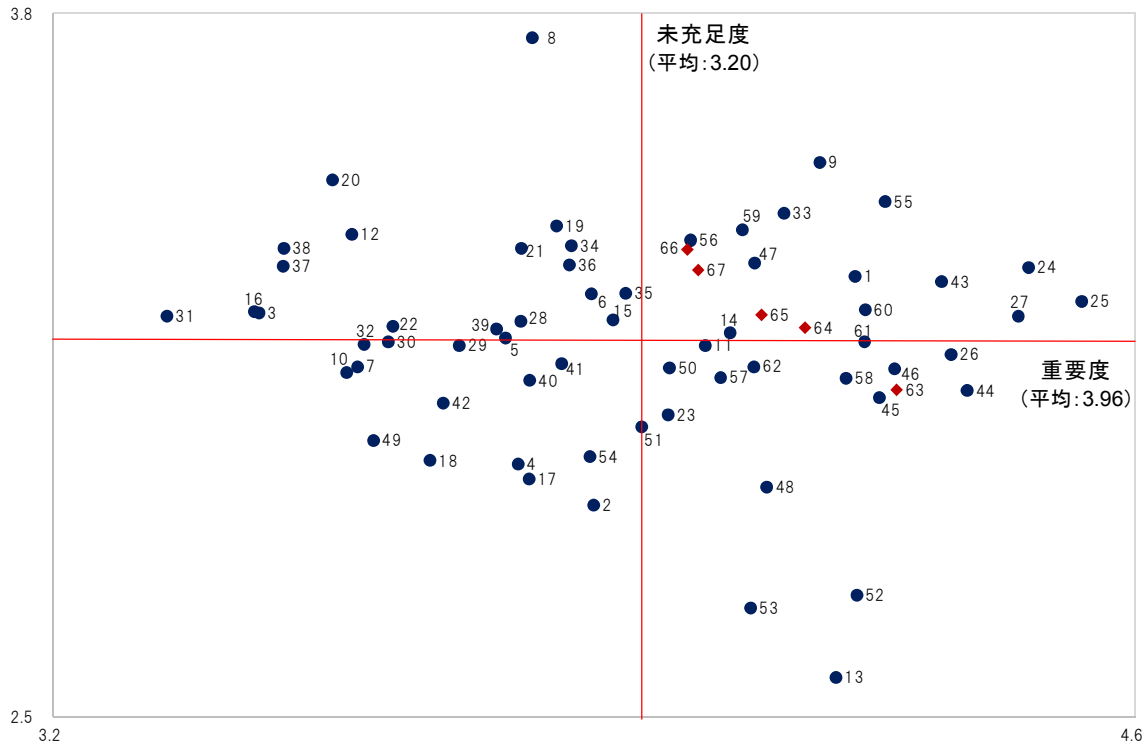
女性は、「14 北陸新幹線の整備促進」、「64 若者」が『重要度は高い、未充足度が低いエリア』から『重要度、未充足度ともに高いエリア』になっており、「50 循環型社会と低炭素社会づくりの推進」、「51 自然環境の保全」が『重要度、未充足度ともに低いエリア』から『重要度は高い、未充足度が低いエリア』となっている。

図表 重要度と未充足度の関係（男性）



重要度、未充足度ともに高いエリア				重要度は高いが、未充足度が低いエリア				
得点順位	項目	重要度	未充足度	得点順位	項目	重要度	未充足度	
1	9 雇用の確保と人材の育成	4.23	3.61	15.23	6	26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	4.30	3.25
2	24 家庭・地域・職場における子育て支援	4.46	3.40	15.15	8	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	4.27	3.25
3	55 生活交通の確保	4.18	3.53	14.74	11	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	4.19	3.25
5	25 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	4.40	3.27	14.37	14	60 地震防災対策の充実	4.13	3.24
7	1 景気対策	4.22	3.29	13.88	16	44 医療提供体制の充実	4.27	3.10
9	33 若者の自立促進とチャレンジ支援	4.01	3.41	13.66	20	46 高齢者福祉の充実	4.16	3.16
10	47 障害者福祉の充実	3.98	3.42	13.61	21	61 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり	4.15	3.16
12	59 防災・危機管理体制の充実	3.98	3.40	13.55	22	14 北陸新幹線の整備促進	4.05	3.23
17	11 農業生産の振興	3.96	3.34	13.21	26	62 消費生活の安全の確保	4.04	3.18
19	6 中小企業の振興	3.95	3.33	13.15	29	45 健康づくりと疾病対策の推進	4.12	3.10
-	65(働きざかり)	3.99	3.32	13.26	32	54 多様化、効率化を通じたエネルギー需給の安定確保	3.97	3.16
-	67(高齢者)	3.92	3.38	13.24	34	23 富山のブランドカアップ	3.98	3.12
				37	58 県土保全の推進	4.15	2.97	
				39	57 雪に強いまちづくり	3.94	3.09	
				42	48 食の安全確保と地産地消・食育の推進	4.06	2.99	
				48	2 新たな成長産業の育成	4.01	2.99	
				57	52 生活環境の保全	4.13	2.79	
				59	53 水資源の保全と活用	4.11	2.74	
				60	13 水産業の振興	4.17	2.68	
				-	63(子ども)	4.19	3.17	
				-	64(若者)	4.09	3.23	
重要度は低い、未充足度が高いエリア				重要度、未充足度ともに低いエリア				
4	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	3.82	3.84	14.65	33	50 循環型社会と低炭素社会づくりの推進	3.85	3.24
13	19 快適で活力ある魅力的なまちづくり	3.88	3.46	13.40	36	41 農山漁村の活性化	3.83	3.22
15	21 選ばれ続ける観光地づくり	3.86	3.46	13.36	43	4 産学官連携によるものづくり産業の高度化	3.87	3.14
18	15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり	3.89	3.39	13.18	46	51 自然環境の保全	3.85	3.13
23	36 人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成	3.85	3.37	12.96	47	40 地域の個性を活かした景観づくり・まち並みづくり	3.75	3.20
24	56 住生活の向上	3.89	3.32	12.91	54	18 情報通信基盤の充実と活用	3.82	3.04
25	5 企業立地の促進	3.87	3.32	12.84	55	42 豊かな森づくり・花と緑の地域づくり	3.64	3.17
27	12 森林の整備と林業の振興	3.56	3.60	12.81	56	17 利便性の高い道路ネットワークの整備	3.88	2.97
28	34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮	3.75	3.41	12.79	61	49 スポーツの振興	3.58	3.11
30	20 中心市街地の賑わいの創出	3.58	3.55	12.72				
31	28 大学教育・学術研究・科学技術の振興	3.81	3.32	12.65				
35	35 元気な高齢者の活躍の場の拡大	3.74	3.31	12.36				
38	10 環日本海・アジアなど海外ビジネス展開の促進	3.72	3.29	12.25				
40	3 未来を拓く起業チャレンジへの支援	3.54	3.44	12.17				
41	22 国際観光の推進	3.71	3.28	12.15				
44	38 交流人口の拡大、定住・半定住の促進	3.55	3.40	12.07				
45	7 デザインの振興と活用	3.62	3.33	12.06				
49	30 ふるさとを学び楽しむ環境づくり	3.61	3.30	11.91				
50	29 生涯をとおした学びの推進	3.63	3.28	11.90				
51	16 空港・港湾の充実など交流・物流ネットワークの形成	3.55	3.36	11.90				
52	39 自然、歴史、伝統文化など地域の魅力の継承・再発見	3.64	3.27	11.88				
53	37 グローバル社会における地域づくり・人づくり	3.42	3.41	11.64				
58	32 多様な主体による社会貢献活動の推進	3.44	3.30	11.35				
62	31 芸術文化の振興	3.25	3.27	10.65				
-	66(女性)	3.86	3.33	12.87				

図表 重要度と未充足度の関係（女性）



重要度、未充足度ともに高いエリア					重要度は高いが、未充足度が低いエリア				
得点順位	項目	重要度	未充足度	ニーズ得点	得点順位	項目	重要度	未充足度	ニーズ得点
1	24 家庭・地域・職場における子育て支援	4.46	3.33	14.86	12	26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	4.36	3.17	13.83
2	25 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	4.53	3.27	14.81	15	44 医療提供体制の充実	4.38	3.10	13.60
3	9 雇用の確保と人材の育成	4.19	3.53	14.78	16	61 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり	4.25	3.19	13.57
4	55 生活交通の確保	4.28	3.45	14.76	17	46 高齢者福祉の充実	4.29	3.14	13.48
5	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	4.45	3.24	14.41	18	58 県土保全の推進	4.23	3.13	13.21
6	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	4.35	3.30	14.37	19	45 健康づくりと疾病対策の推進	4.27	3.09	13.19
8	33 若者の自立促進とチャレンジ支援	4.15	3.43	14.22	24	62 消費生活の安全の確保	4.11	3.15	12.92
9	1 景気対策	4.24	3.31	14.04	26	11 農業生産の振興	4.04	3.19	12.88
10	59 防災・危機管理体制の充実	4.09	3.40	13.91	29	57 雪に強いまちづくり	4.06	3.13	12.71
11	60 地震防災対策の充実	4.25	3.25	13.83	31	50 循環型社会と低炭素社会づくりの推進	4.00	3.15	12.57
13	47 障害者福祉の充実	4.11	3.34	13.72	34	23 富山のブランドカアップ	4.00	3.06	12.22
14	56 住生活の向上	4.03	3.38	13.61	39	48 食の安全確保と地産地消・食育の推進	4.12	2.93	12.06
21	14 北陸新幹線の整備促進	4.08	3.21	13.08	40	51 自然環境の保全	3.96	3.04	12.03
-	66(女性)	4.02	3.36	13.53	48	52 生活環境の保全	4.24	2.73	11.55
-	64(若者)	4.17	3.22	13.43	58	53 水資源の保全と活用	4.10	2.70	11.08
-	67(高齢者)	4.04	3.33	13.42	62	13 水産業の振興	4.21	2.57	10.84
-	65(働きざかり)	4.12	3.24	13.35	-	63(子ども)	4.29	3.10	13.32
重要度は低い、未充足度が高いエリア					重要度、未充足度ともに低いエリア				
7	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	3.82	3.76	14.34	36	41 農山漁村の活性化	3.86	3.15	12.16
20	19 快適で活力ある魅力的なまちづくり	3.85	3.41	13.13	41	40 地域の個性を活かした景観づくり・まち並みづくり	3.82	3.12	11.92
22	34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮	3.87	3.37	13.05	42	29 生涯をとおした学びの推進	3.73	3.19	11.87
23	35 元気な高齢者の活躍の場の拡大	3.94	3.28	12.94	46	54 多様化、効率化を通じたエネルギー需給の安定確保	3.90	2.98	11.61
25	36 人権を尊重心がふれあう地域社会の形成	3.87	3.34	12.90	47	30 ふるさとを学び楽しむ環境づくり	3.63	3.19	11.60
27	21 選ばれ続ける観光地づくり	3.81	3.37	12.81	49	32 多様な主体による社会貢献活動の推進	3.60	3.19	11.49
28	6 中小企業の振興	3.90	3.28	12.79	50	42 豊かな森づくり・花と緑の地域づくり	3.71	3.08	11.41
30	15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり	3.93	3.23	12.69	51	7 デザインの振興と活用	3.59	3.15	11.31
32	20 中心市街地の賑わいの創出	3.56	3.49	12.44	52	4 産学官連携によるものづくり産業の高度化	3.80	2.97	11.28
33	28 大学教育・学術研究・科学技術の振興	3.81	3.23	12.29	53	2 新たな成長産業の育成	3.90	2.89	11.27
35	12 森林の整備と林業の振興	3.59	3.39	12.17	56	10 環日本海・アジアなど海外ビジネス展開の促進	3.58	3.14	11.23
37	39 自然、歴史、伝統文化など地域の魅力の継承・再発見	3.77	3.22	12.14	57	17 利便性の高い道路ネットワークの整備	3.82	2.94	11.22
38	5 企業立地の促進	3.79	3.20	12.12	59	18 情報通信基盤の充実と活用	3.69	2.97	10.97
43	38 交流人口の拡大、定住・半定住の促進	3.50	3.37	11.78	60	49 スポーツの振興	3.62	3.01	10.88
44	22 国際観光の推進	3.64	3.22	11.73					
45	37 グローバル社会における地域づくり・人づくり	3.50	3.33	11.66					
54	3 未来を拓く起業チャレンジへの支援	3.47	3.25	11.26					
55	16 空港・港湾の充実など交流・物流ネットワークの形成	3.46	3.25	11.24					
61	31 芸術文化の振興	3.35	3.24	10.85					

② 年齢別

「29歳以下」は、「14 北陸新幹線の整備促進」、「57 雪に強いまちづくり」、「64 若者」が『重要度は高いが、未充足度が低いエリア』から、「34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮」、「36 人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成」、「28 大学教育・学術研究・科学技術の振興」が『重要度は低いが、未充足度が高いエリア』から『重要度、未充足度ともに高いエリア』になっている。

「30～39歳」は、「36 人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成」、「34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮」、「21 選ばれ続ける観光地づくり」、「6 中小企業の振興」が『重要度は低いが、未充足度が高いエリア』から、「64 若者」が『重要度は高いが、未充足度が低いエリア』から『重要度、未充足度ともに高いエリア』になっている。

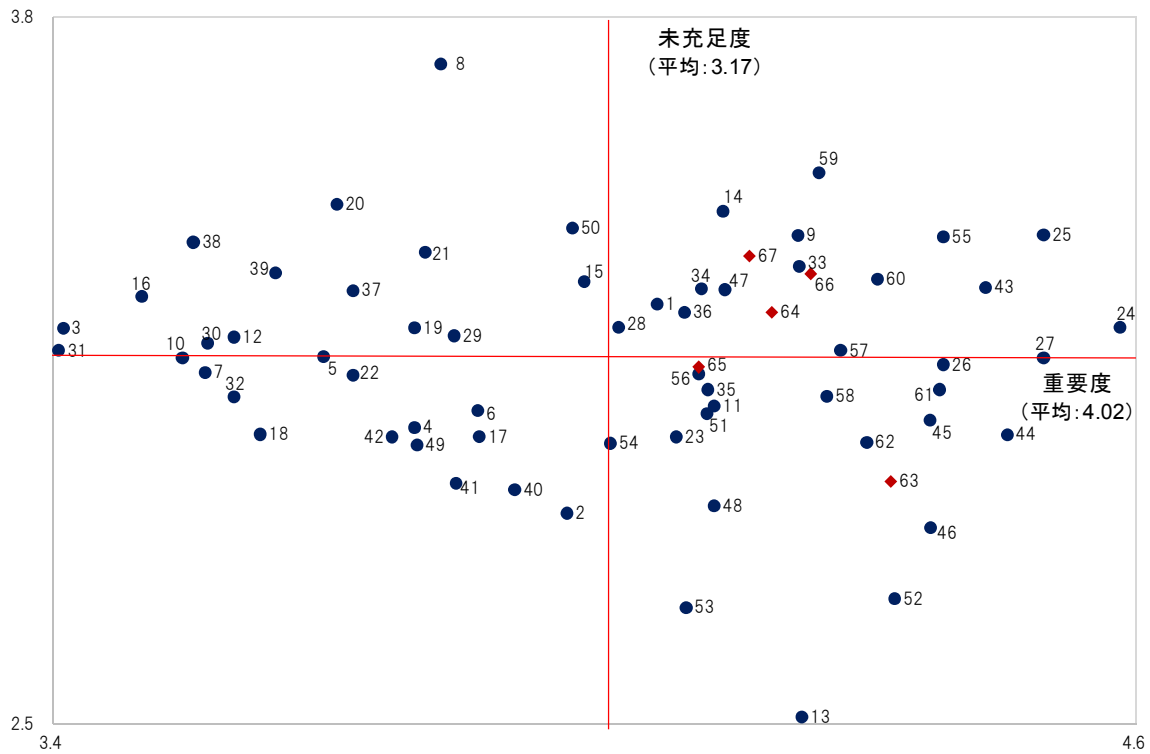
「40～49歳」は、「26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進」が『重要度は高いが、未充足度が低いエリア』から、「6 中小企業の振興」、「15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり」が『重要度は低いが、未充足度が高いエリア』から『重要度、未充足度ともに高いエリア』になっている。

「50～59歳」は、「14 北陸新幹線の整備促進」、「62 消費生活の安全の確保」、「64 若者」が『重要度は高いが、未充足度が低いエリア』から、「19 快適で活力ある魅力的なまちづくり」、「15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり」、「6 中小企業の振興」が『重要度は低いが、未充足度が高いエリア』から『重要度、未充足度ともに高いエリア』になっている。

「60～69歳」は、「51 自然環境の保全」、「50 循環型社会と低炭素社会づくりの推進」、「54 多様化、効率化を通じたエネルギー需給の安定確保」が『重要度、未充足度ともに低いエリア』から『重要度は高いが、未充足度が低いエリア』に、「41 農山漁村の活性化」、「40 地域の個性を活かした景観づくり・まち並みづくり」が『重要度、未充足度ともに低いエリア』から『重要度は低いが、未充足度が高いエリア』となっている。

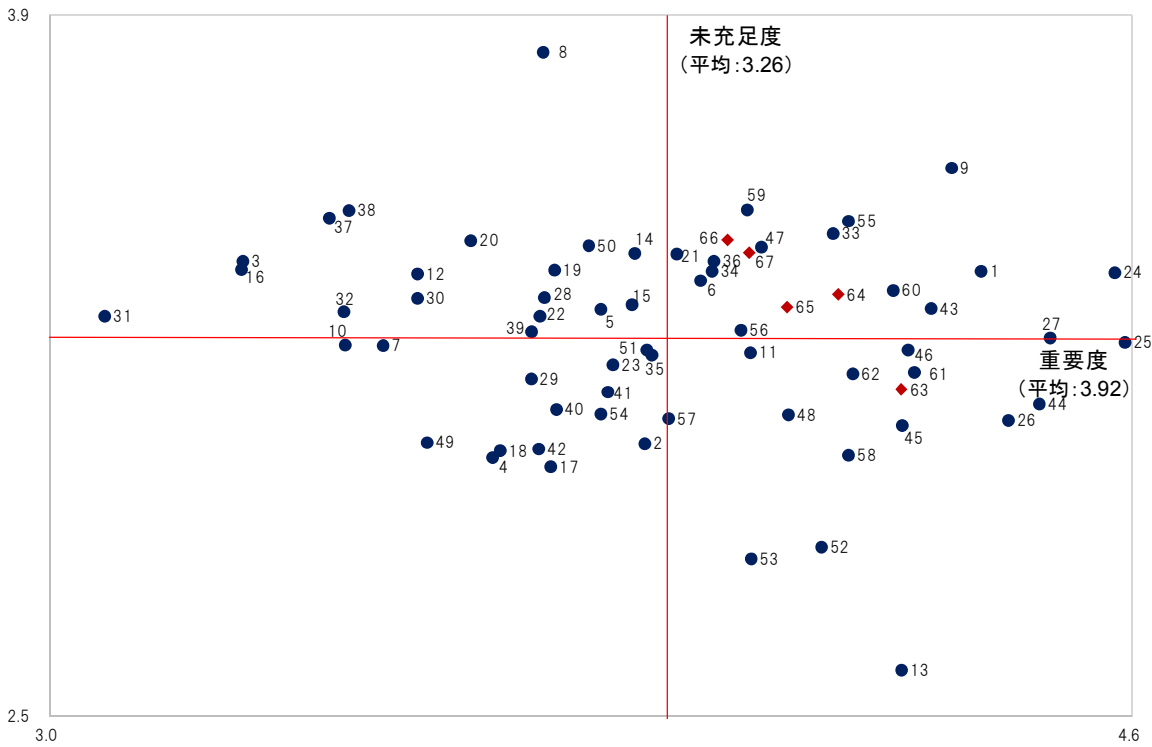
「70歳以上」は、「26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進」、「63 子ども」が『重要度は高いが、未充足度が低いエリア』から『重要度、未充足度ともに高いエリア』になっている。

図表 重要度と未充足度の関係 (29歳以下)



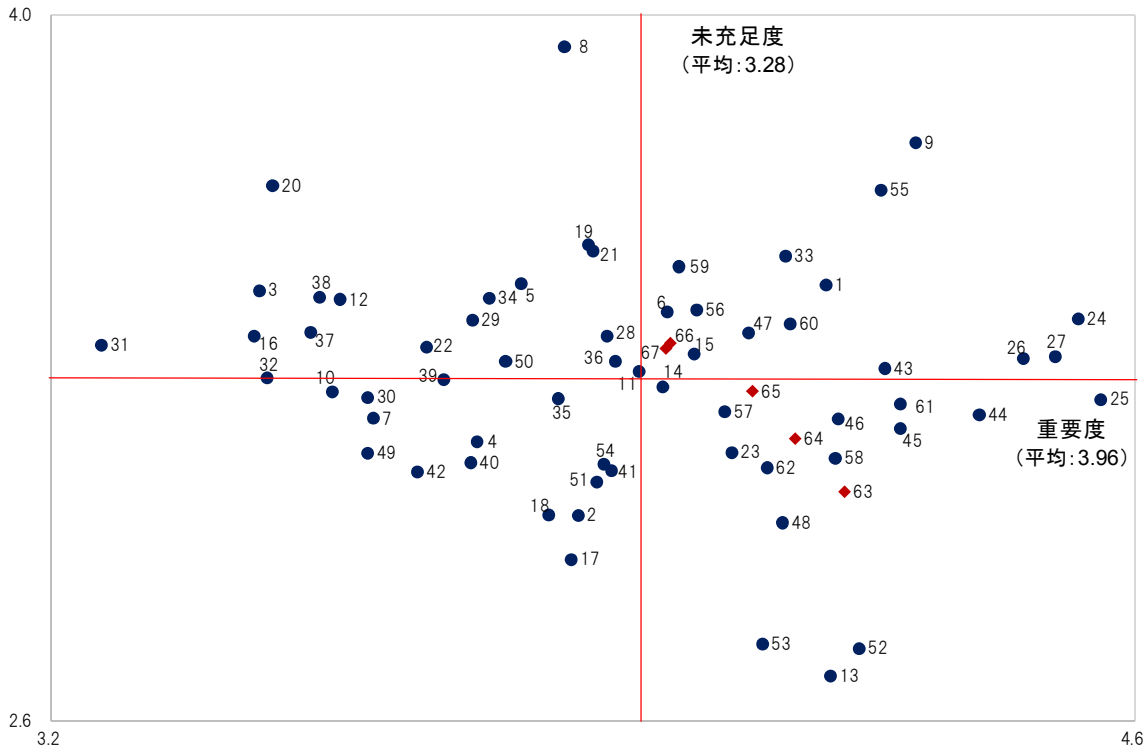
重要度、未充足度ともに高いエリア				重要度は高いが、未充足度が低いエリア					
得点順位	項目	重要度	未充足度	得点	得点順位	項目	重要度	未充足度	得点
1	25 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	4.50	3.40	15.29	12	26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	4.39	3.16	13.86
2	59 防災・危機管理体制の充実	4.25	3.51	14.93	14	61 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり	4.38	3.12	13.65
3	55 生活交通の確保	4.39	3.40	14.89	18	44 医療提供体制の充実	4.46	3.03	13.51
4	24 家庭・地域・職場における子育て支援	4.58	3.23	14.80	19	45 健康づくりと疾病対策の推進	4.37	3.06	13.37
5	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	4.43	3.30	14.64	23	58 県土保全の推進	4.26	3.10	13.21
6	9 雇用の確保と人材の育成	4.23	3.40	14.36	25	62 消費生活の安全の確保	4.30	3.02	12.98
7	60 地震防災対策の充実	4.31	3.32	14.31	26	56 住生活の向上	4.12	3.14	12.94
8	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	4.50	3.17	14.27	27	35 元気な高齢者の活躍の場の拡大	4.13	3.12	12.85
9	14 北陸新幹線の整備促進	4.14	3.44	14.26	30	11 農業生産の振興	4.13	3.09	12.75
11	33 若者の自立促進とチャレンジ支援	4.23	3.34	14.12	31	51 自然環境の保全	4.12	3.07	12.66
13	47 障害者福祉の充実	4.14	3.30	13.67	32	46 高齢者福祉の充実	4.37	2.86	12.51
15	57 雪に強いまちづくり	4.27	3.19	13.61	33	23 富山のブランドカアアップ	4.09	3.03	12.38
16	34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮	4.12	3.30	13.59	40	48 食の安全確保と地産地消・食育の推進	4.13	2.90	11.99
20	36 人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成	4.10	3.26	13.35	42	52 生活環境の保全	4.33	2.73	11.83
21	1 景気対策	4.07	3.27	13.31	58	53 水資源の保全と活用	4.10	2.71	11.13
24	28 大学教育・学術研究・科学技術の振興	4.03	3.23	13.00	62	13 水産業の振興	4.23	2.51	10.63
-	66(女性)	4.24	3.33	14.11	-	65(働きざかり)	4.12	3.16	12.99
-	67(高齢者)	4.17	3.36	14.02	-	63(子ども)	4.33	2.95	12.75
-	64(若者)	4.20	3.26	13.67					
重要度は低い、未充足度が高いエリア				重要度、未充足度ともに低いエリア					
10	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	3.83	3.71	14.22	38	54 多様化、効率化を通じたエネルギー需給の安定確保	4.02	3.02	12.12
17	50 循環型社会と低炭素社会づくりの推進	3.98	3.41	13.56	41	6 中小企業の振興	3.87	3.08	11.91
22	15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり	3.99	3.31	13.22	44	17 利便性の高い道路ネットワークの整備	3.87	3.03	11.73
28	21 選ばれ続ける観光地づくり	3.81	3.37	12.84	45	22 国際観光の推進	3.73	3.14	11.73
29	20 中心市街地の賑わいの創出	3.71	3.46	12.84	46	4 産学官連携によるものづくり産業の高度化	3.80	3.05	11.57
34	29 生涯をおとした学びの推進	3.84	3.21	12.35	49	40 地域の個性を活かした景観づくり・まち並みづくり	3.91	2.93	11.46
35	37 グローバル社会における地域づくり・人づくり	3.73	3.30	12.30	50	2 新たな成長産業の育成	3.97	2.89	11.46
36	19 快適で活力ある魅力的なまちづくり	3.80	3.23	12.27	51	49 スポーツの振興	3.80	3.01	11.46
37	39 自然、歴史、伝統文化など地域の魅力の継承・再発見	3.65	3.33	12.14	53	42 豊かな森づくり・花と緑の地域づくり	3.78	3.03	11.43
39	38 交流人口の拡大、定住・半定住の促進	3.56	3.39	12.04	54	41 農山漁村の活性化	3.85	2.94	11.32
43	5 企業立地の促進	3.70	3.18	11.75	56	7 デザインの振興と活用	3.57	3.15	11.23
47	12 森林の整備と林業の振興	3.60	3.21	11.56	57	32 多様な主体による社会貢献活動の推進	3.60	3.10	11.17
48	16 空港・港湾の充実など交流・物流ネットワークの形成	3.50	3.29	11.49	60	18 情報通信基盤の充実と活用	3.63	3.03	11.01
52	30 ふるさとを学び楽しむ環境づくり	3.57	3.20	11.43					
55	10 環日本海・アジアなど海外ビジネス展開の促進	3.54	3.17	11.25					
59	3 未来を拓く起業チャレンジへの支援	3.41	3.23	11.01					
61	31 芸術文化の振興	3.41	3.19	10.85					

図表 重要度と未充足度の関係 (30~39歳)



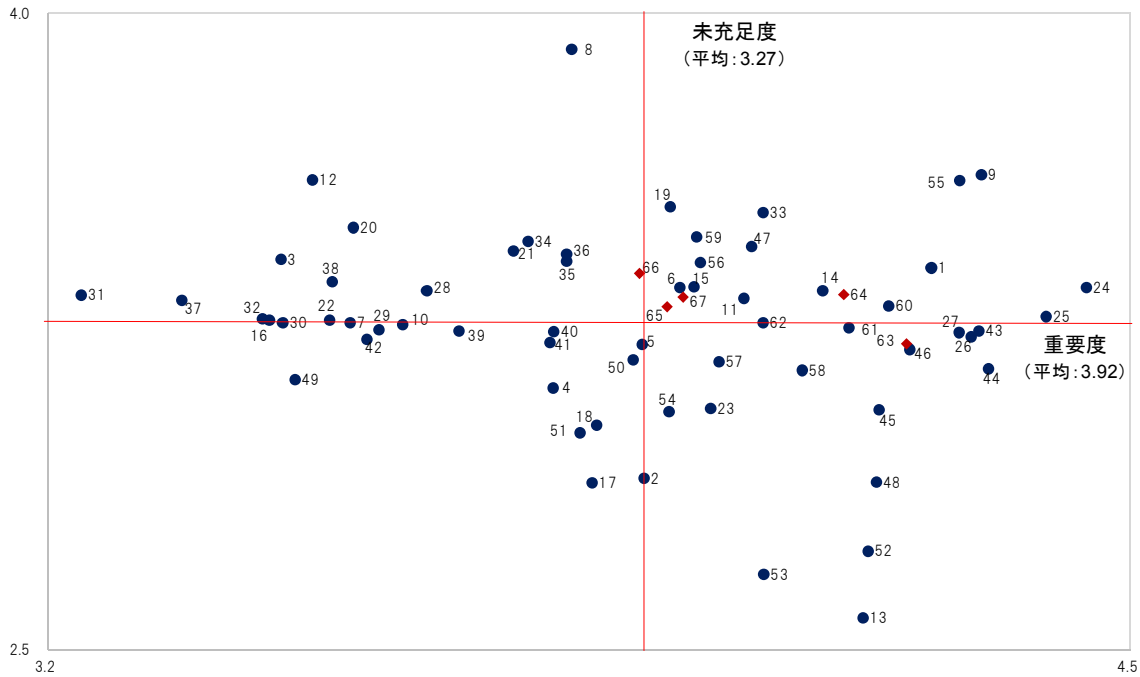
重要度、未充足度ともに高いエリア				重要度は高いが、未充足度が低いエリア					
得点順位	項目	重要度	未充足度	二�ズ得点	得点順位	項目	重要度	未充足度	二�ズ得点
1	9 雇用の確保と人材の育成	4.33	3.60	15.58	3	25 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	4.59	3.25	14.90
2	24 家庭・地域・職場における子育て支援	4.57	3.39	15.49	6	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	4.48	3.26	14.58
4	1 景気対策	4.38	3.39	14.83	12	44 医療提供体制の充実	4.46	3.12	13.94
5	55 生活交通の確保	4.18	3.49	14.59	14	46 高齢者福祉の充実	4.27	3.23	13.80
7	33 若者の自立促進とチャレンジ支援	4.16	3.46	14.40	15	26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	4.42	3.09	13.65
9	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	4.30	3.31	14.26	16	61 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり	4.28	3.19	13.63
10	60 地震防災対策の充実	4.25	3.35	14.23	21	62 消費生活の安全の確保	4.19	3.18	13.33
11	59 防災・危機管理体制の充実	4.03	3.51	14.16	24	45 健康づくりと疾病対策の推進	4.26	3.08	13.13
13	47 障害者福祉の充実	4.05	3.44	13.93	26	11 農業生産の振興	4.04	3.23	13.02
17	36 人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成	3.98	3.41	13.57	29	48 食の安全確保と地産地消・食育の推進	4.09	3.10	12.70
18	34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮	3.98	3.39	13.48	31	58 県土保全の推進	4.18	3.02	12.63
19	21 選ばれ続ける観光地づくり	3.93	3.42	13.44	48	52 生活環境の保全	4.14	2.84	11.75
20	6 中小企業の振興	3.96	3.37	13.35	50	53 水資源の保全と活用	4.04	2.82	11.36
23	56 住生活の向上	4.02	3.27	13.16	59	13 水産業の振興	4.26	2.59	11.04
-	-64(若者)	4.17	3.34	13.92	-	-63(子ども)	4.26	3.15	13.43
-	-67(高齢者)	4.03	3.43	13.82					
-	-66(女性)	4.00	3.45	13.81					
-	-65(働きざかり)	4.09	3.32	13.57					
重要度は低いが、未充足度が高いエリア				重要度、未充足度ともに低いエリア					
8	8 商業・サービスの振興と賑わいのあるまちづくり	3.73	3.83	14.27	32	51 自然環境の保全	3.88	3.23	12.55
22	14 北陸新幹線の整備促進	3.87	3.43	13.24	33	35 元氣な高齢者の活躍の場の拡大	3.89	3.22	12.53
25	50 循環型社会と低炭素社会づくりの推進	3.80	3.44	13.06	37	23 富山のブランド力アップ	3.83	3.20	12.27
27	15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり	3.86	3.32	12.83	39	57 雪に強いまちづくり	3.92	3.10	12.12
28	19 快適で活力ある魅力的なまちづくり	3.75	3.39	12.70	41	41 農山漁村の活性化	3.83	3.15	12.04
30	5 企業立地の促進	3.82	3.31	12.64	44	54 多様化、効率化を通じたエネルギー需給の安定確保	3.82	3.10	11.84
34	20 中心市街地の賑わいの創出	3.62	3.45	12.50	46	2 新たな成長産業の育成	3.88	3.05	11.81
35	28 大学教育・学術研究・科学技術の振興	3.73	3.34	12.45	47	29 生涯をおとした学びの推進	3.71	3.17	11.78
36	22 国際観光の推進	3.73	3.30	12.29	49	40 地域の個性を活かした景観づくり・まち並みづくり	3.75	3.11	11.67
38	39 自然、歴史、伝統文化など地域の魅力の継承・再発見	3.71	3.27	12.13	52	7 デザインの振興と活用	3.49	3.24	11.32
40	38 交流人口の拡大、定住・半定住の促進	3.44	3.51	12.08	53	42 豊かな森づくり・花と緑の地域づくり	3.72	3.03	11.30
42	12 森林の整備と林業の振興	3.54	3.38	11.99	54	17 利便性の高い道路ネットワークの整備	3.74	3.00	11.22
43	37 グローバル社会における地域づくり・人づくり	3.41	3.50	11.93	57	10 環日本海・アジアなど海外ビジネス展開の促進	3.44	3.24	11.14
45	30 ふるさとを学び楽しむ環境づくり	3.54	3.34	11.82	58	18 情報通信基盤の充実と活用	3.67	3.03	11.11
51	32 多様な主体による社会貢献活動の推進	3.44	3.31	11.36	60	4 産官連携によるものづくり産業の高度化	3.66	3.02	11.03
55	3 未来を拓く起業チャレンジへの支援	3.29	3.41	11.20	61	49 スポーツの振興	3.56	3.05	10.84
56	16 空港・港湾の充実など交流・物流ネットワークの形成	3.28	3.39	11.14					
62	31 芸術文化の振興	3.08	3.30	10.17					

図表 重要度と未充足度の関係 (40~49歳)



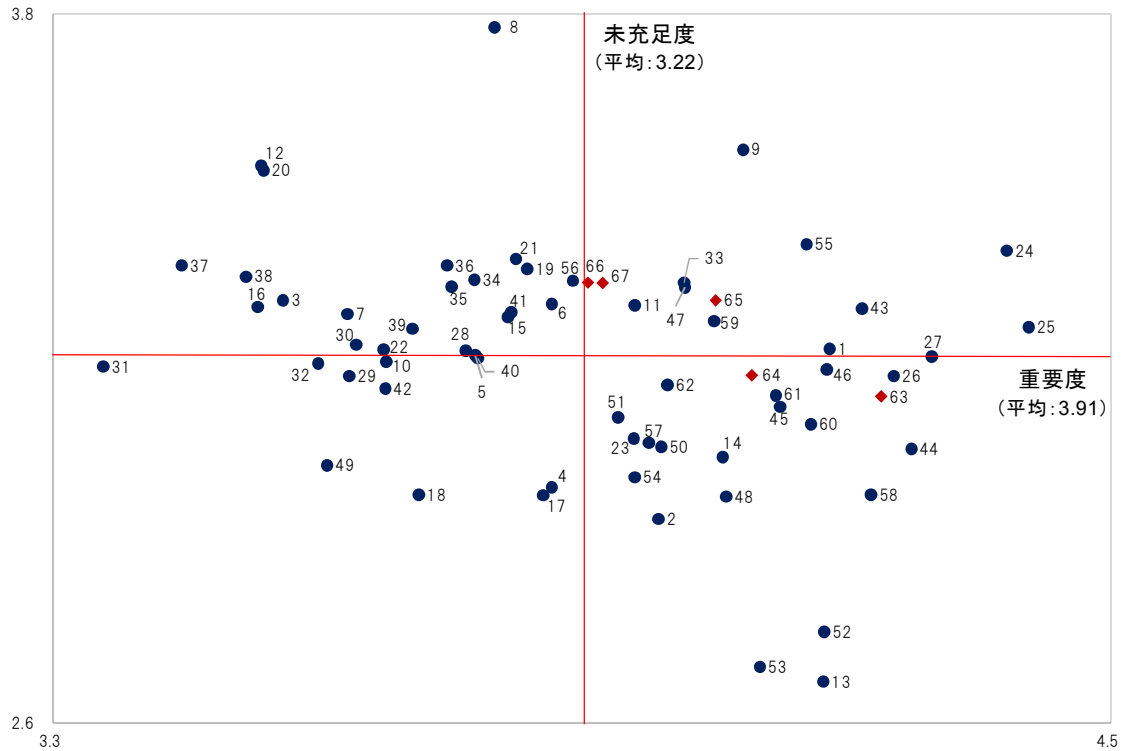
重要度、未充足度ともに高いエリア					重要度は高いが、未充足度が低いエリア				
得点 順位	項目	重要度	未充足度	ニーズ 得点	得点 順位	項目	重要度	未充足度	ニーズ 得点
1	9 雇用の確保と人材の育成	4.32	3.75	16.18	7	25 家庭・地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	4.56	3.24	14.75
2	55 生活交通の確保	4.27	3.65	15.61	11	44 医療提供体制の充実	4.40	3.21	14.11
3	24 家庭・地域・職場における子育て支援	4.53	3.40	15.38	14	61 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり	4.30	3.23	13.88
5	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	4.50	3.32	14.95	19	45 健康づくりと疾病対策の推進	4.30	3.18	13.67
6	26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	4.46	3.32	14.79	21	46 高齢者福祉の充実	4.22	3.20	13.49
8	33 若者の自立促進とチャレンジ支援	4.15	3.52	14.62	25	58 県土保全の推進	4.21	3.12	13.15
9	1 景気対策	4.20	3.47	14.56	26	57 雪に強いまちづくり	4.07	3.21	13.08
10	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	4.28	3.30	14.11	29	14 北陸新幹線の整備促進	3.99	3.26	13.02
12	60 地震防災対策の充実	4.16	3.39	14.08	31	62 消費生活の安全の確保	4.13	3.10	12.80
13	59 防災・危機管理体制の充実	4.01	3.50	14.05	32	23 富山のブランドカアップ	4.08	3.13	12.78
15	47 障害者福祉の充実	4.10	3.37	13.82	37	48 食の安全確保と地産地消・食育の推進	4.15	2.99	12.41
17	56 住生活の向上	4.03	3.42	13.78	52	52 生活環境の保全	4.24	2.74	11.65
20	6 中小企業の振興	4.00	3.41	13.63	58	53 水資源の保全と活用	4.12	2.75	11.34
22	15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり	4.03	3.33	13.42	59	13 水産業の振興	4.21	2.69	11.32
27	11 農業生産の振興	3.96	3.29	13.04	-	63(子ども)	4.23	3.06	12.91
-	-66(女性)	4.00	3.35	13.40	-	64(若者)	4.16	3.16	13.15
-	-67(高齢者)	3.99	3.34	13.34	-	65(働きざかり)	4.11	3.25	13.36
重要度は低い、未充足度が高いエリア					重要度、未充足度ともに低いエリア				
4	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	3.86	3.94	15.21	36	35 元気な高齢者の活躍の場の拡大	3.86	3.24	12.49
16	19 快適で活力ある魅力的なまちづくり	3.89	3.55	13.80	41	54 多様化、効率化を通じたエネルギー需給の安定確保	3.91	3.11	12.17
18	21 選ばれ続ける観光地づくり	3.90	3.53	13.78	42	41 農山漁村の活性化	3.92	3.10	12.15
23	5 企業立地の促進	3.81	3.47	13.20	44	51 自然環境の保全	3.91	3.08	12.01
24	28 大学教育・学術研究・科学技術の振興	3.92	3.36	13.18	47	4 産学官連携によるものづくり産業の高度化	3.75	3.16	11.83
28	36 人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成	3.93	3.31	13.02	48	30 ふるさとを学び楽しむ環境づくり	3.61	3.24	11.70
30	34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮	3.77	3.44	12.95	49	2 新たな成長産業の育成	3.88	3.01	11.67
33	20 中心市街地の賑わいの創出	3.49	3.66	12.77	50	40 地域の個性を活かした景観づくり・まち並みづくり	3.74	3.11	11.65
34	29 生涯をとおした学びの推進	3.74	3.40	12.71	53	10 環日本海・アジアなど海外ビジネス展開の促進	3.56	3.25	11.59
35	50 循環型社会と低炭素社会づくりの推進	3.79	3.31	12.55	54	7 デザインの振興と活用	3.62	3.20	11.57
38	22 国際観光の推進	3.69	3.34	12.32	55	18 情報通信基盤の充実と活用	3.84	3.01	11.56
39	12 森林の整備と林業の振興	3.57	3.44	12.28	57	42 豊かな森づくり・花と緑の地域づくり	3.67	3.10	11.37
40	38 交流人口の拡大、定住・半定住の促進	3.55	3.44	12.21	60	17 利便性の高い道路ネットワークの整備	3.87	2.92	11.31
43	39 自然、歴史、伝統文化など地域の魅力の継承・再発見	3.71	3.28	12.15	61	49 スポーツの振興	3.61	3.13	11.30
45	3 未来を拓く起業チャレンジへの支援	3.47	3.45	11.98					
46	37 グローバル社会における地域づくり・人づくり	3.54	3.37	11.92					
51	16 空港・港湾の充実など交流・物流ネットワークの形成	3.46	3.36	11.65					
56	32 多様な主体による社会貢献活動の推進	3.48	3.28	11.41					
62	31 芸術文化の振興	3.27	3.35	10.93					

図表 重要度と未充足度の関係 (50~59歳)



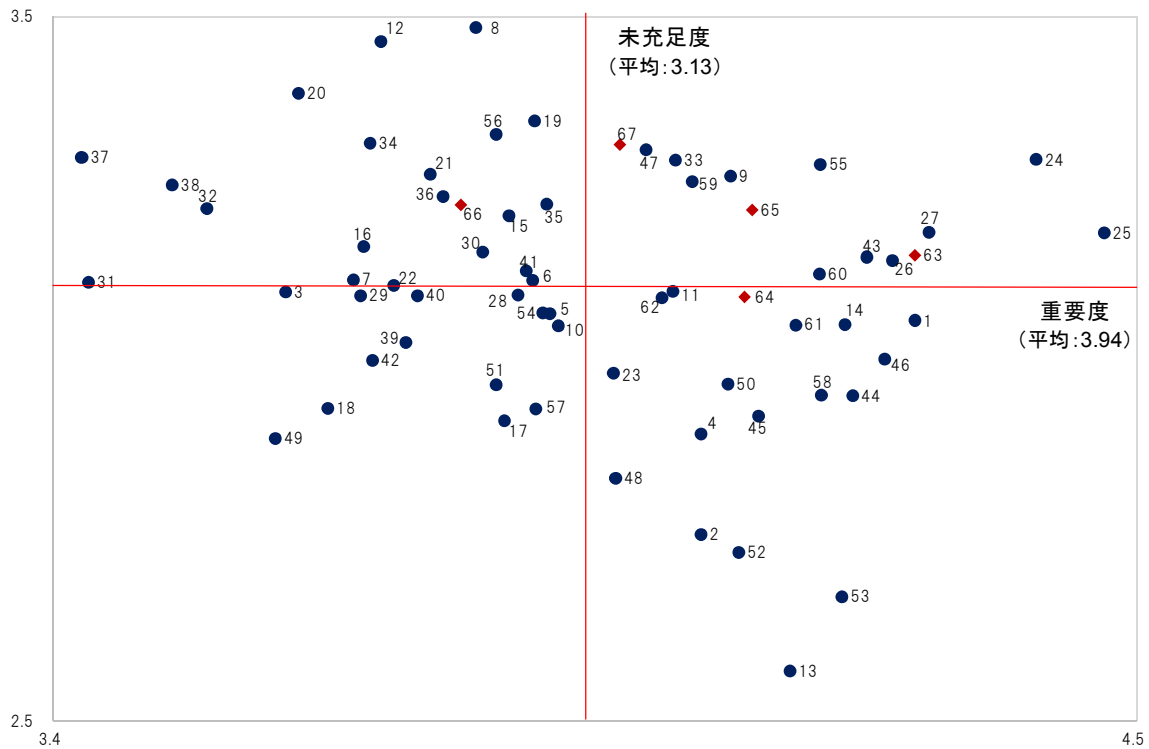
重要度、未充足度ともに高いエリア				重要度は高いが、未充足度が低いエリア					
得点順位	項目	重要度	未充足度	ニーズ得点	得点順位	項目	重要度	未充足度	ニーズ得点
1	9 雇用の確保と人材の育成	4.32	3.62	15.64	8	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	4.32	3.25	14.04
2	55 生活交通の確保	4.30	3.61	15.49	11	26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	4.31	3.24	13.96
4	24 家庭・地域・職場における子育て支援	4.45	3.36	14.92	12	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	4.29	3.25	13.95
5	1 景気対策	4.26	3.40	14.49	16	44 医療提供体制の充実	4.33	3.16	13.70
6	25 家庭・地域・学校で取り組む子どもの健全な育成	4.40	3.29	14.46	18	46 高齢者福祉の充実	4.24	3.21	13.59
7	33 若者の自立促進とチャレンジ支援	4.06	3.53	14.33	19	61 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり	4.16	3.26	13.56
9	19 快適で活力ある魅力的なまちづくり	3.95	3.55	14.00	27	58 県土保全の推進	4.11	3.16	12.97
10	47 障害者福祉の充実	4.05	3.45	13.96	29	45 健康づくりと疾病対策の推進	4.20	3.07	12.88
13	60 地震防災対策の充実	4.21	3.31	13.94	30	57 雪に強いまちづくり	4.01	3.18	12.74
14	14 北陸新幹線の整備促進	4.13	3.35	13.83	36	23 富山のブランド力アップ	4.00	3.07	12.26
15	59 防災・危機管理体制の充実	3.98	3.47	13.82	39	48 食の安全確保と地産地消・食育の推進	4.20	2.90	12.14
17	56 住生活の向上	3.98	3.41	13.60	40	54 多様化、効率化を通じたエネルギー需給の安定確保	3.95	3.06	12.08
20	11 農業生産の振興	4.04	3.33	13.44	52	52 生活環境の保全	4.19	2.73	11.44
21	15 新幹線を核とした交流拠点づくり	3.98	3.36	13.34	60	53 水資源の保全と活用	4.06	2.68	10.88
22	6 中小企業の振興	3.96	3.36	13.28	62	13 水産業の振興	4.18	2.58	10.77
23	62 消費生活の安全の確保	4.06	3.27	13.28	-	63(子ども)	4.23	3.22	13.63
-	64(若者)	4.16	3.34	13.87					
-	65(働きざかり)	3.94	3.31	13.05					
-	67(高齢者)	3.96	3.33	13.20					
重要度は低い、未充足度が高いエリア				重要度、未充足度ともに低いエリア					
3	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	3.83	3.92	14.99	32	5 企業立地の促進	3.91	3.22	12.61
24	36 人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成	3.82	3.43	13.12	34	50 循環型社会と低炭素社会づくりの推進	3.90	3.18	12.43
25	34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮	3.78	3.46	13.08	35	40 地域の個性を活かした景観づくり・まち並みづくり	3.81	3.25	12.38
26	35 元気な高齢者の活躍の場の拡大	3.82	3.42	13.06	37	41 農山漁村の活性化	3.80	3.22	12.26
28	21 選ばれ続ける観光地づくり	3.76	3.44	12.93	41	39 自然、歴史、伝統文化など地域の魅力の継承・再発見	3.69	3.25	12.01
31	12 森林の整備と林業の振興	3.52	3.61	12.70	44	4 産学官連携によるものづくり産業の高度化	3.81	3.12	11.87
33	20 中心市街地の賑わいの創出	3.57	3.50	12.47	45	10 環日本海・アジアなど海外ビジネス展開の促進	3.63	3.27	11.85
38	28 大学教育・学術研究・科学技術の振興	3.66	3.35	12.23	46	29 生涯をとおした学びの推進	3.60	3.26	11.71
42	38 交流人口の拡大、定住・半定住の促進	3.54	3.37	11.93	47	18 情報通信基盤の充実と活用	3.86	3.03	11.70
43	3 未来を拓く起業・チャレンジへの支援	3.48	3.42	11.91	50	42 豊かな森づくり・花と緑の地域づくり	3.58	3.23	11.58
48	7 デザインの振興と活用	3.56	3.27	11.66	51	51 自然環境の保全	3.84	3.01	11.56
49	22 国際観光の推進	3.54	3.28	11.60	54	2 新たな成長産業の育成	3.92	2.91	11.38
53	30 ふるさとを学び楽しむ環境づくり	3.48	3.27	11.39	58	17 利便性の高い道路ネットワークの整備	3.85	2.89	11.15
55	16 空港・港湾の充実など交流・物流ネットワークの形成	3.47	3.28	11.36	59	49 スポーツの振興	3.50	3.14	10.97
56	32 多様な主体による社会貢献活動の推進	3.46	3.28	11.35					
57	37 グローバル社会における地域づくり・人づくり	3.36	3.33	11.18					
61	31 芸術文化の振興	3.24	3.34	10.81					
-	66(女性)	3.91	3.39	13.25					

図表 重要度と未充足度の関係 (60~69歳)



重要度、未充足度ともに高いエリア					重要度は高いが、未充足度が低いエリア				
得点順位	項目	重要度	未充足度	ニーズ得点	得点順位	項目	重要度	未充足度	ニーズ得点
1	24 家庭・地域・職場における子育て支援	4.38	3.40	14.89	26	子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	4.25	3.19	13.56
2	9 雇用の確保と人材の育成	4.08	3.57	14.58	12	46 高齢者福祉の充実	4.18	3.20	13.36
3	25 家庭・地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	4.41	3.27	14.41	15	44 医療提供体制の充実	4.27	3.06	13.10
5	55 生活交通の確保	4.16	3.41	14.17	17	61 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり	4.12	3.15	12.99
6	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	4.22	3.30	13.92	19	45 健康づくりと疾病対策の推進	4.13	3.14	12.93
7	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	4.30	3.22	13.84	21	60 地震防災対策の充実	4.16	3.11	12.92
9	1 景気対策	4.18	3.23	13.52	23	62 消費生活の安全の確保	4.00	3.17	12.68
10	33 若者の自立促進とチャレンジ支援	4.02	3.35	13.43	26	58 県土保全の推進	4.23	2.99	12.62
11	47 障害者福祉の充実	4.02	3.34	13.40	32	14 北陸新幹線の整備促進	4.06	3.05	12.38
13	59 防災・危機管理体制の充実	4.05	3.28	13.28	33	51 自然環境の保全	3.94	3.12	12.28
14	11 農業生産の振興	3.96	3.31	13.10	34	50 循環型社会と低炭素社会づくりの推進	3.99	3.07	12.24
-	65(働きざかり)	4.05	3.32	13.43	35	57 雪に強いまちづくり	3.98	3.07	12.22
-	67(高齢者)	3.92	3.34	13.12	36	23 富山のブランドカアップ	3.96	3.08	12.20
					40	48 食の安全確保と地産地消・食育の推進	4.06	2.98	12.12
					43	54 多様化、効率化を通じたエネルギー需給の安定確保	3.96	3.02	11.94
					49	2 新たな成長産業の育成	3.99	2.95	11.74
					57	52 生活環境の保全	4.18	2.75	11.50
					58	13 水産業の振興	4.17	2.67	11.14
					60	53 水資源の保全と活用	4.10	2.70	11.05
					-	63(子ども)	4.24	3.15	13.36
					-	64(若者)	4.09	3.19	13.05
重要度は低い、未充足度が高いエリア					重要度、未充足度ともに低いエリア				
得点順位	項目	重要度	未充足度	ニーズ得点	得点順位	項目	重要度	未充足度	ニーズ得点
4	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	3.80	3.78	14.36	45	10 環日本海・アジアなど海外ビジネス展開の促進	3.68	3.21	11.81
16	56 住生活の向上	3.89	3.35	13.02	51	42 豊かな森づくり・花と緑の地域づくり	3.68	3.17	11.64
18	21 選ばれ続ける観光地づくり	3.83	3.39	12.95	53	4 産学官連携によるものづくり産業の高度化	3.87	3.00	11.59
20	19 快適で活力ある魅力的なまちづくり	3.84	3.37	12.93	54	29 生涯をとおした学びの推進	3.64	3.19	11.59
22	6 中小企業の振興	3.87	3.31	12.79	55	32 多様な主体による社会貢献活動の推進	3.60	3.21	11.55
24	34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮	3.78	3.35	12.66	56	17 利便性の高い道路ネットワークの整備	3.86	2.99	11.51
25	36 人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成	3.75	3.37	12.64	59	18 情報通信基盤の充実と活用	3.72	2.99	11.09
27	41 農山漁村の活性化	3.82	3.30	12.59	61	49 スポーツの振興	3.61	3.04	10.96
28	15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり	3.82	3.29	12.54	62	31 芸術文化の振興	3.36	3.20	10.75
29	12 森林の整備と林業の振興	3.54	3.54	12.53					
30	35 元気な高齢者の活躍の場の拡大	3.75	3.34	12.52					
31	20 中心市街地の賑わいの創出	3.54	3.54	12.51					
37	5 企業立地の促進	3.78	3.22	12.18					
38	28 大学教育・学術研究・科学技術の振興	3.77	3.23	12.17					
39	40 地域の個性を活かした景観づくり・まち並みづくり	3.78	3.22	12.17					
41	39 自然、歴史、伝統文化など地域の魅力の継承・再発見	3.71	3.27	12.11					
42	7 デザインの振興と活用	3.63	3.29	11.96					
44	22 国際観光の推進	3.68	3.23	11.88					
46	30 ふるさとを学び楽しむ環境づくり	3.64	3.24	11.81					
47	38 交流人口の拡大、定住・半定住の促進	3.52	3.36	11.81					
48	3 未来を拓く起業チャレンジへの支援	3.56	3.32	11.80					
50	16 空港・港湾の充実など交流・物流ネットワークの形成	3.53	3.30	11.67					
52	37 グローバル社会における地域づくり・人づくり	3.45	3.37	11.63					
-	66(女性)	3.91	3.35	13.07					

図表 重要度と未充足度の関係（70歳以上）



重要度、未充足度ともに高いエリア				重要度は高いが、未充足度が低いエリア			
得点順位	項目	重要度	未充足度	得点順位	項目	重要度	未充足度
1	24 家庭・地域・職場における子育て支援	4.40	3.31	12	1 景気対策	4.28	3.08
2	25 家庭・地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	4.47	3.21	16	14 北陸新幹線の整備促進	4.20	3.07
3	55 生活交通の確保	4.18	3.31	18	46 高齢者福祉の充実	4.24	3.02
4	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	4.29	3.21	19	61 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり	4.15	3.07
5	26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	4.25	3.17	21	11 農業生産の振興	4.03	3.12
6	9 雇用の確保と人材の育成	4.09	3.29	22	44 医療提供体制の充実	4.21	2.97
8	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	4.23	3.17	23	62 消費生活の安全の確保	4.02	3.11
9	33 若者の自立促進とチャレンジ支援	4.03	3.31	27	58 農土保全の推進	4.18	2.97
10	47 障害者福祉の充実	4.00	3.33	31	50 循環型社会と低炭素社会づくりの推進	4.09	2.99
11	59 防災・危機管理体制の充実	4.05	3.28	34	45 健康づくりと疾病対策の推進	4.12	2.94
13	60 地震防災対策の充実	4.18	3.15	39	23 富山のブランドカアアップ	3.97	3.00
-	63(子ども)	4.28	3.17	41	4 産学官連携によるものづくり産業の高度化	4.06	2.92
-	65(働きざかり)	4.11	3.24	53	48 食の安全確保と地産地消・食育の推進	3.97	2.85
-	67(高齢者)	3.98	3.33	55	53 水資源の保全と活用	4.20	2.68
				57	2 新たな成長産業の育成	4.06	2.77
				58	52 生活環境の保全	4.10	2.74
				61	13 水産業の振興	4.15	2.57
				-	64(若者)	4.10	3.11
重要度は低いが、未充足度が高いエリア				重要度、未充足度ともに低いエリア			
7	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	3.83	3.50	35	28 大学教育・学術研究・科学技術の振興	3.87	3.12
14	19 快適で活力ある魅力的なまちづくり	3.89	3.37	36	5 企業立地の促進	3.90	3.09
15	12 森林の整備と林業の振興	3.73	3.48	37	54 多様化、効率化を通じたエネルギー需給の安定確保	3.90	3.09
17	56 住生活の向上	3.85	3.35	38	10 環日本海・アジアなど海外ビジネス展開の促進	3.91	3.07
20	35 元気な高齢者の活躍の場の拡大	3.90	3.25	42	40 地域の個性を活かした景観づくり・まち並みづくり	3.77	3.12
24	15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり	3.86	3.23	45	29 生涯をとおした学びの推進	3.71	3.12
25	21 選ばれ続ける観光地づくり	3.78	3.29	48	51 自然環境の保全	3.85	2.99
26	20 中心市街地の賑わいの創出	3.65	3.41	49	57 雪に強いまちづくり	3.89	2.95
28	34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮	3.72	3.34	50	39 自然、歴史、伝統文化など地域の魅力の継承・再発見	3.76	3.05
29	36 人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成	3.80	3.26	52	3 未来を拓く起業家チャレンジへの支援	3.64	3.12
30	41 農山漁村の活性化	3.88	3.15	54	17 利便性の高い道路ネットワークの整備	3.86	2.94
32	6 中小企業の振興	3.89	3.14	56	42 豊かな森づくり・花と緑の地域づくり	3.72	3.02
33	30 ふるさとを学び楽しむ環境づくり	3.84	3.18	59	18 情報通信基盤の充実と活用	3.68	2.95
40	16 空港・港湾の充実など交流・物流ネットワークの形成	3.72	3.19	62	49 スポーツの振興	3.63	2.91
43	22 国際観光の推進	3.75	3.13				
44	7 デザインの振興と活用	3.71	3.14				
46	38 交流人口の拡大、定住・半定住の促進	3.52	3.28				
47	32 多様な主体による社会貢献活動の推進	3.56	3.24				
51	37 グローバル社会における地域づくり・人づくり	3.43	3.32				
60	31 芸術文化の振興	3.44	3.14				
-	66(女性)	3.81	3.25				

③ 地域別

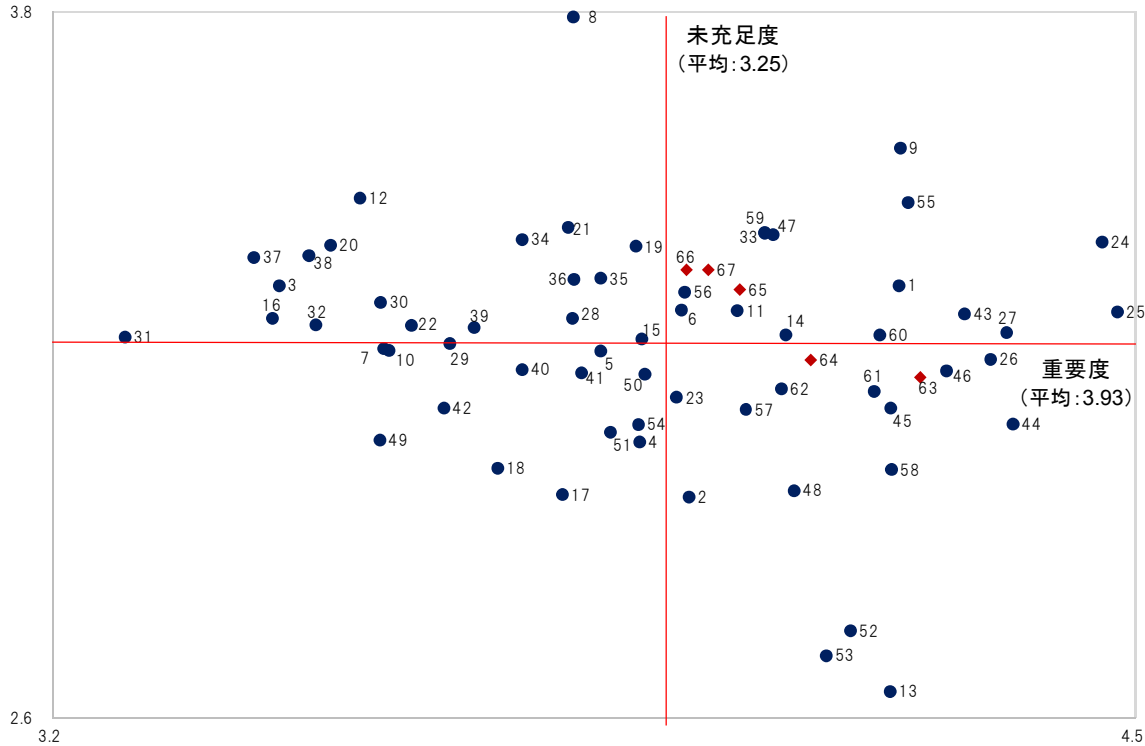
富山地域は、「14 北陸新幹線の整備促進」が『重要度は高いが、未充足度が低いエリア』から、「6 中小企業の振興」が『重要度は低いが、未充足度が高いエリア』から『重要度、未充足度ともに高いエリア』になっている。

高岡・射水地域は、「14 北陸新幹線の整備促進」が『重要度は高いが、未充足度が低いエリア』から、「15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり」、「6 中小企業の振興」が『重要度は低いが、未充足度が高いエリア』から『重要度、未充足度ともに高いエリア』になっている。

新川地域は、「26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進」、「14 北陸新幹線の整備促進」、「64 若者」が『重要度は高いが、未充足度が低いエリア』から、「50 循環型社会と低炭素社会づくりの推進」、「51 自然環境の保全」といった「環境」領域の項目が『重要度、未充足度ともに低いエリア』から『重要度、未充足度ともに高いエリア』になっている。

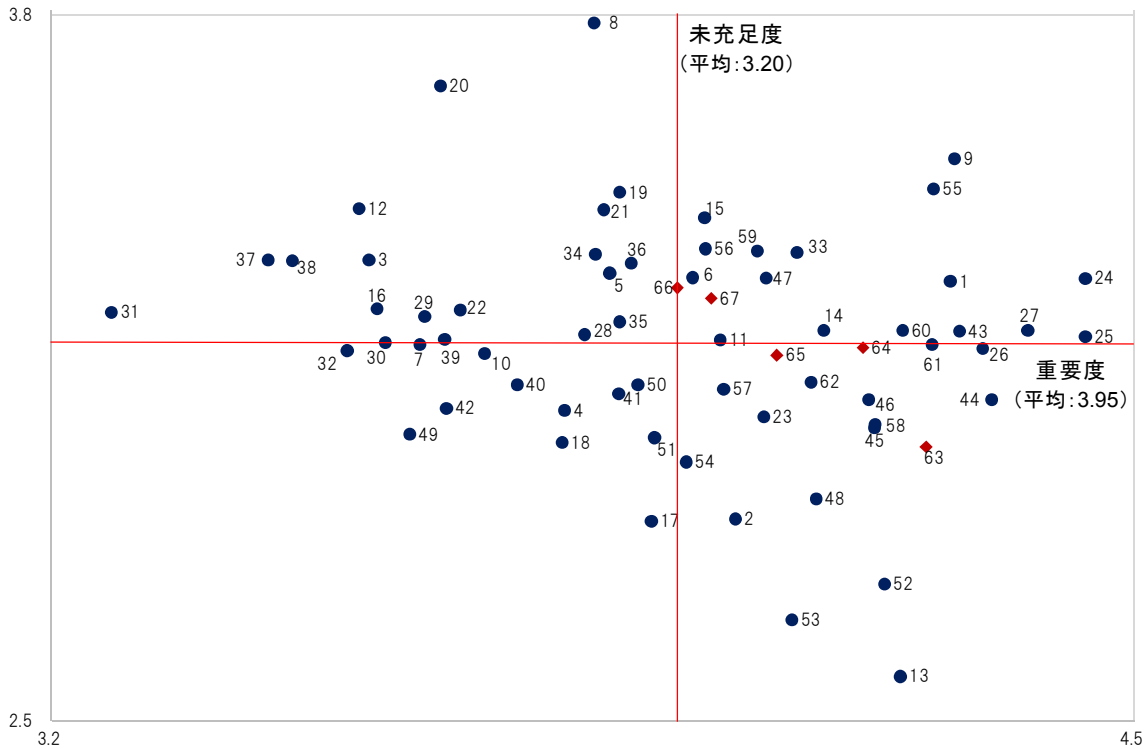
砺波地域は、「50 循環型社会と低炭素社会づくりの推進」、「51 自然環境の保全」、「54 多様化、効率化を通じたエネルギー需給の安定確保」といった「環境」領域の項目が『重要度、未充足度ともに低いエリア』から『重要度は高いが、未充足度が低いエリア』に、「41 農山漁村の活性化」が『重要度、未充足度ともに低いエリア』から『重要度は低いが、未充足度が高いエリア』になっている。

図表 重要度と未充足度の関係（富山地域）



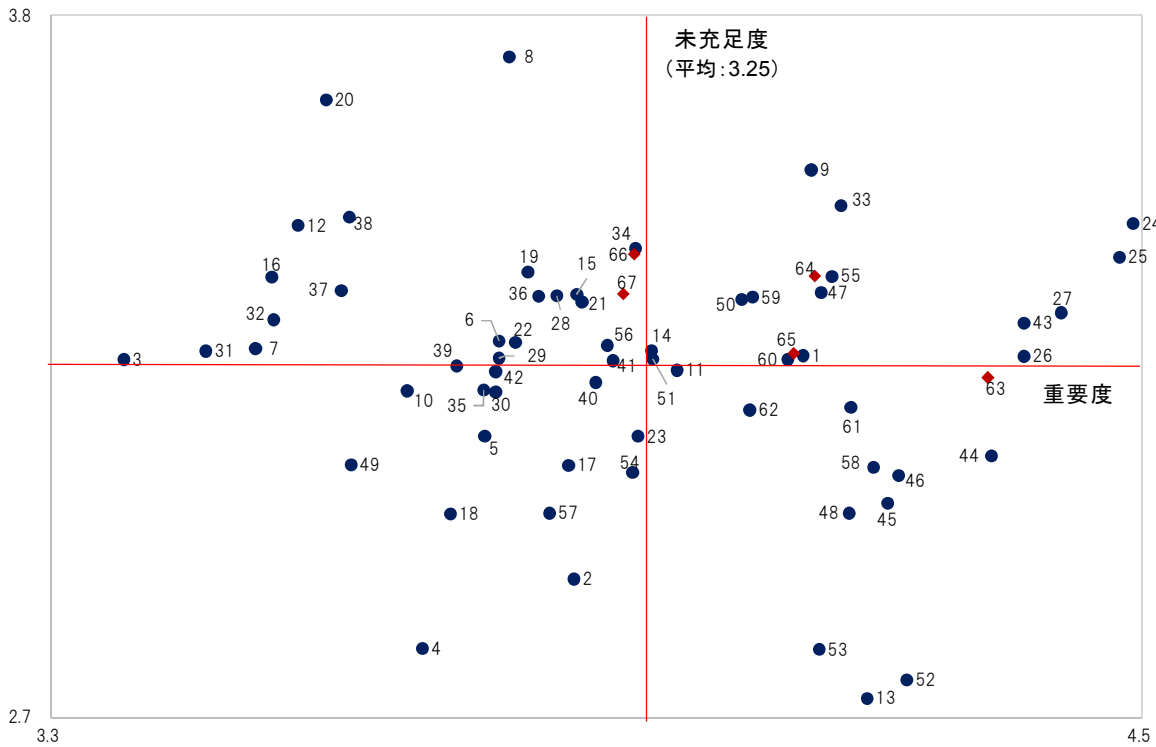
重要度、未充足度ともに高いエリア				重要度は高いが、未充足度が低いエリア			
得点順位	項目	重要度	未充足度	得点順位	項目	重要度	未充足度
1	24 家庭・地域・職場における子育て支援	4.46	3.42	12	26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	4.33	3.22
2	9 雇用の確保と人材の育成	4.22	3.59	13	46 高齢者福祉の充実	4.27	3.20
3	25 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	4.48	3.30	15	44 医療提供体制の充実	4.35	3.11
4	55 生活交通の確保	4.23	3.49	19	61 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり	4.19	3.17
6	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	4.35	3.27	21	45 健康づくりと疾病対策の推進	4.21	3.14
7	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	4.30	3.30	25	62 消費生活の安全の確保	4.08	3.17
8	1 景気対策	4.22	3.35	28	58 県土保全の推進	4.21	3.03
9	47 障害者福祉の充実	4.07	3.44	30	57 雪に強いまちづくり	4.03	3.13
10	59 防災・危機管理体制の充実	4.06	3.44	35	23 富山のブランドカアアップ	3.95	3.15
11	33 若者の自立促進とチャレンジ支援	4.06	3.44	37	48 食の安全確保と地産地消・食育の推進	4.09	2.99
14	60 地震防災対策の充実	4.19	3.26	48	2 新たな成長産業の育成	3.96	2.98
17	14 北陸新幹線の整備促進	4.08	3.26	55	52 生活環境の保全	4.16	2.75
18	11 農業生産の振興	4.02	3.30	59	53 水資源の保全と活用	4.13	2.71
20	56 住生活の向上	3.96	3.34	60	13 水産業の振興	4.21	2.65
23	6 中小企業の振興	3.96	3.31	-	63 (子ども)	4.24	3.19
-	65 (働きざかり)	4.03	3.34	-	64 (若者)	4.11	3.22
-	66 (女性)	3.96	3.37				
-	67 (高齢者)	3.99	3.37				
重要度は低い、未充足度が高いエリア				重要度、未充足度ともに低いエリア			
5	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	3.83	3.81	32	50 循環型社会と低炭素社会づくりの推進	3.91	3.19
16	19 快適で活力ある魅力的なまちづくり	3.90	3.42	34	5 企業立地の促進	3.86	3.23
22	21 選ばれ続ける観光地づくり	3.82	3.45	36	41 農山漁村の活性化	3.84	3.20
24	35 元気な高齢者の活躍の場の拡大	3.86	3.36	39	54 多様化、効率化を通じたエネルギー需給の安定確保	3.90	3.11
26	34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮	3.76	3.43	41	40 地域の個性を活かした景観づくり・まち並みづくり	3.76	3.20
27	36 人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成	3.83	3.36	42	4 産学官連携によるものづくり産業の高度化	3.91	3.08
29	15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり	3.91	3.26	43	51 自然環境の保全	3.87	3.09
31	28 大学教育・学術研究・科学技術の振興	3.82	3.29	44	29 生涯をおとした学びの推進	3.68	3.25
33	12 森林の整備と林業の振興	3.57	3.50	50	10 環日本海・アジアなど海外ビジネス展開の促進	3.60	3.24
38	39 自然、歴史、伝統文化など地域の魅力の継承・再発見	3.71	3.28	51	7 デザインの振興と活用	3.60	3.24
40	20 中心市街地の賑わいの創出	3.53	3.42	54	42 豊かな森づくり・花と緑の地域づくり	3.67	3.14
45	30 ふるさとを学び楽しむ環境づくり	3.59	3.32	57	17 利便性の高い道路ネットワークの整備	3.81	2.99
46	38 交流人口の拡大、定住・半定住の促進	3.51	3.40	58	18 情報通信基盤の充実と活用	3.73	3.03
47	22 国際観光の推進	3.63	3.28	61	49 スポーツの振興	3.59	3.08
49	37 グローバル社会における地域づくり・人づくり	3.44	3.40				
52	3 未来を拓く起業チャレンジへの支援	3.47	3.35				
53	32 多様な主体による社会貢献活動の推進	3.52	3.28				
56	16 空港・港湾の充実など交流・物流ネットワークの形成	3.46	3.29				
62	31 芸術文化の振興	3.29	3.26				

図表 重要度と未充足度の関係（高岡・射水地域）



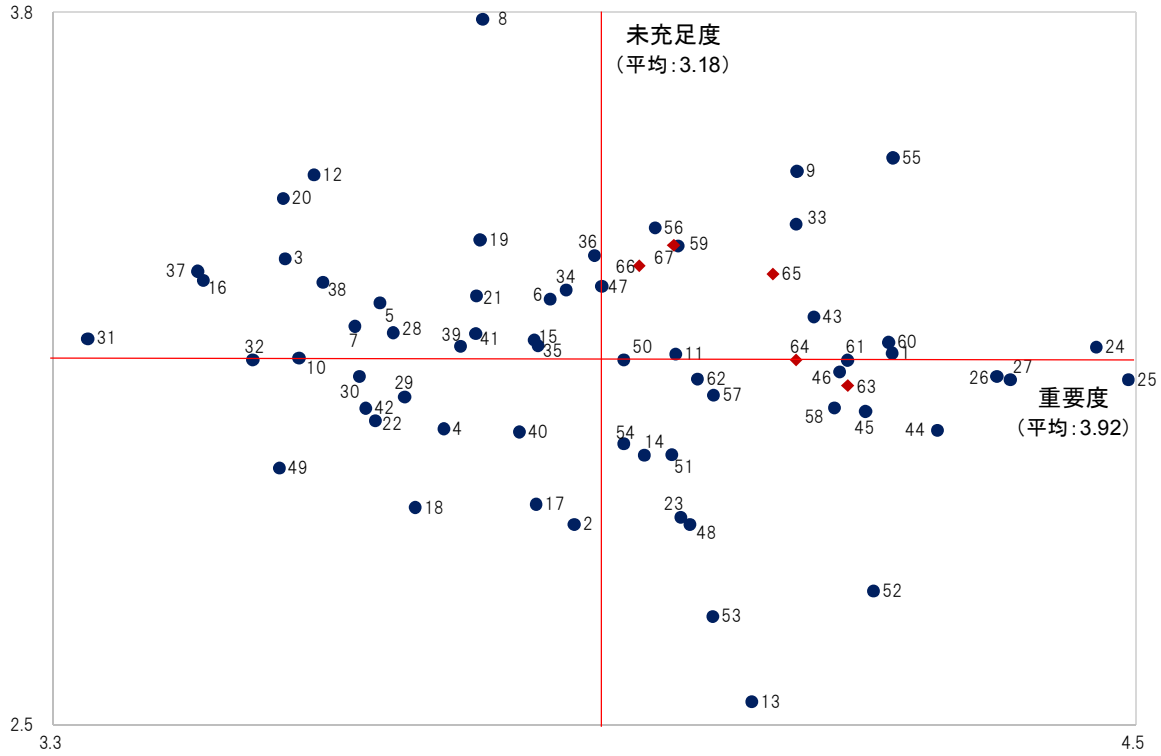
重要度、未充足度ともに高いエリア				重要度は高いが、未充足度が低いエリア					
得点順位	項目	重要度	未充足度	ニーズ得点	得点順位	項目	重要度	未充足度	ニーズ得点
1	9 雇用の確保と人材の育成	4.28	3.54	15.15	10	26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	4.32	3.19	13.76
2	55 生活交通の確保	4.26	3.48	14.82	13	61 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり	4.26	3.19	13.59
3	24 家庭・地域・職場における子育て支援	4.44	3.32	14.72	19	44 医療提供体制の充実	4.33	3.09	13.39
5	25 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	4.44	3.21	14.25	25	46 高齢者福祉の充実	4.18	3.09	12.93
6	1 景気対策	4.28	3.31	14.16	27	62 消費生活の安全の確保	4.11	3.12	12.85
7	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	4.37	3.22	14.07	29	45 健康づくりと疾病対策の推進	4.19	3.05	12.76
8	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	4.29	3.22	13.81	30	58 県土保全の推進	4.19	3.04	12.73
9	33 若者の自立促進とチャレンジ支援	4.10	3.36	13.77	32	57 雪に強いまちづくり	4.01	3.11	12.47
11	15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり	3.98	3.43	13.65	33	23 富山のブランドカアップ	4.06	3.06	12.41
12	59 防災・危機管理体制の充実	4.05	3.37	13.62	40	48 食の安全確保と地産地消・食育の推進	4.12	2.91	11.98
14	60 地震防災対策の充実	4.22	3.22	13.59	44	54 多様化、効率化を通じたエネルギー需給の安定確保	3.96	2.98	11.79
17	47 障害者福祉の充実	4.06	3.32	13.46	52	52 生活環境の保全	4.20	2.75	11.56
18	56 住生活の向上	3.99	3.37	13.43	53	2 新たな成長産業の育成	4.02	2.87	11.55
21	14 北陸新幹線の整備促進	4.13	3.22	13.28	60	53 水資源の保全と活用	4.09	2.69	10.98
22	6 中小企業の振興	3.97	3.32	13.17	61	13 水産業の振興	4.22	2.58	10.89
28	11 農業生産の振興	4.00	3.20	12.82	-	63(子ども)	4.25	3.01	12.77
-	67(高齢者)	3.99	3.28	13.09	-	64(若者)	4.17	3.19	13.30
					-	65(働きざかり)	4.07	3.17	12.92
重要度は低い、未充足度が高いエリア				重要度、未充足度ともに低いエリア					
4	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	3.85	3.79	14.58	36	50 循環型社会と低炭素社会づくりの推進	3.90	3.12	12.18
15	19 快適で活力ある魅力的なまちづくり	3.88	3.47	13.49	37	41 農山漁村の活性化	3.88	3.10	12.04
16	20 中心市街地の賑わいの創出	3.67	3.67	13.46	41	51 自然環境の保全	3.92	3.02	11.86
20	21 選ばれ続ける観光地づくり	3.86	3.44	13.30	43	10 環日本海・アジアなど海外ビジネス展開の促進	3.72	3.18	11.82
23	36 人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成	3.90	3.34	13.02	46	40 地域の個性を活かした景観づくり・まち並みづくり	3.76	3.12	11.72
24	34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮	3.85	3.36	12.95	47	4 産学官連携によるものづくり産業の高度化	3.82	3.07	11.72
26	5 企業立地の促進	3.87	3.33	12.87	50	7 デザインの振興と活用	3.64	3.19	11.63
31	35 元気な高齢者の活躍の場の拡大	3.88	3.24	12.56	54	30 ふるさとを学び楽しむ環境づくり	3.60	3.20	11.51
34	28 大学教育・学術研究・科学技術の振興	3.84	3.21	12.33	55	18 情報通信基盤の充実と活用	3.81	3.01	11.49
35	12 森林の整備と林業の振興	3.57	3.44	12.29	56	32 多様な主体による社会貢献活動の推進	3.56	3.18	11.31
38	22 国際観光の推進	3.69	3.26	12.02	57	42 豊かな森づくり・花と緑の地域づくり	3.67	3.08	11.30
39	3 未来を拓く起業チャレンジへの支援	3.58	3.35	11.99	58	17 利便性の高い道路ネットワークの整備	3.92	2.87	11.24
42	29 生涯をおとした学びの推進	3.65	3.25	11.84	59	49 スポーツの振興	3.63	3.03	10.99
45	39 自然、歴史、伝統文化など地域の魅力の継承・再発見	3.67	3.20	11.76					
48	16 空港・港湾の充実など交流・物流ネットワークの形成	3.59	3.26	11.70					
49	38 交流人口の拡大、定住・半定住の促進	3.49	3.35	11.68					
51	37 グローバル社会における地域づくり・人づくり	3.46	3.35	11.59					
62	31 芸術文化の振興	3.27	3.25	10.64					
-	66(女性)	3.95	3.30	13.03					

図表 重要度と未充足度の関係（新川地域）



重要度、未充足度ともに高いエリア					重要度は高いが、未充足度が低いエリア				
得点 順位	項目	重要度	未充足度	ニーズ 得点	得点 順位	項目	重要度	未充足度	ニーズ 得点
1	24 家庭・地域・職場における子育て支援	4.50	3.47	15.63	14	44 医療提供体制の充実	4.34	3.11	13.51
2	25 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	4.49	3.42	15.34	17	61 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり	4.19	3.19	13.34
3	9 雇用の確保と人材の育成	4.14	3.56	14.74	20	46 高齢者福祉の充実	4.24	3.08	13.05
4	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	4.42	3.33	14.74	22	58 県土保全の推進	4.21	3.09	13.02
5	33 若者の自立促進とチャレンジ支援	4.18	3.50	14.62	26	62 消費生活の安全の確保	4.08	3.18	12.97
6	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	4.38	3.32	14.53	27	11 農業生産の振興	3.99	3.24	12.96
7	26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	4.38	3.27	14.30	31	45 健康づくりと疾病対策の推進	4.23	3.04	12.84
9	55 生活交通の確保	4.17	3.39	14.13	34	48 食の安全確保と地産地消・食育の推進	4.19	3.02	12.64
10	47 障害者福祉の充実	4.15	3.37	13.98	52	52 生活環境の保全	4.25	2.76	11.72
11	59 防災・危機管理体制の充実	4.08	3.36	13.70	53	53 水資源の保全と活用	4.15	2.81	11.65
12	50 循環型社会と低炭素社会づくりの推進	4.07	3.36	13.64	56	13 水産業の振興	4.21	2.73	11.48
15	1 景気対策	4.13	3.27	13.51	-	63(子ども)	4.34	3.23	14.03
16	60 地震防災対策の充実	4.12	3.26	13.43					
24	14 北陸新幹線の整備促進	3.97	3.28	12.99					
28	51 自然環境の保全	3.97	3.26	12.94					
-	64(若者)	4.15	3.39	14.07					
-	65(働きざかり)	4.12	3.27	13.49					
重要度は低い、未充足度が高いエリア					重要度、未充足度ともに低いエリア				
8	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	3.81	3.74	14.22	35	40 地域の個性を活かした景観づくり・まち並みづくり	3.90	3.23	12.59
13	34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮	3.95	3.44	13.56	38	23 富山のブランドカアアップ	3.95	3.14	12.41
18	20 中心市街地の賑わいの創出	3.61	3.67	13.22	41	42 豊かな森づくり・花と緑の地域づくり	3.79	3.24	12.30
19	15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり	3.88	3.36	13.06	43	39 自然、歴史、伝統文化など地域の魅力の継承・再発見	3.75	3.25	12.19
21	21 選ばれ続ける観光地づくり	3.89	3.35	13.03	44	30 ふるさとを学び楽しむ環境づくり	3.79	3.21	12.18
23	19 快適で活力ある魅力的なまちづくり	3.83	3.40	13.01	45	54 多様化、効率化を通じたエネルギー需給の安定確保	3.95	3.08	12.17
25	28 大学教育・学術研究・科学技術の振興	3.86	3.36	12.98	46	35 元気な高齢者の活躍の場の拡大	3.78	3.21	12.15
29	36 人権を尊重心がふれあう地域社会の形成	3.84	3.36	12.91	48	17 利便性の高い道路ネットワークの整備	3.87	3.10	11.99
30	56 住生活の向上	3.92	3.28	12.86	49	5 企業立地の促進	3.78	3.14	11.88
32	41 農山漁村の活性化	3.92	3.26	12.79	50	10 環日本海・アジアなど海外ビジネス展開の促進	3.70	3.21	11.87
33	38 交流人口の拡大、定住・半定住の促進	3.63	3.48	12.65	54	57 雪に強いまちづくり	3.85	3.02	11.64
36	22 国際観光の推進	3.82	3.29	12.54	58	2 新たな成長産業の育成	3.88	2.92	11.32
37	6 中小企業の振興	3.80	3.29	12.49	59	18 情報通信基盤の充実と活用	3.74	3.02	11.30
39	12 森林の整備と林業の振興	3.57	3.47	12.41	60	49 スポーツの振興	3.63	3.10	11.25
40	29 生涯をとおした学びの推進	3.80	3.26	12.39	62	4 産学官連携によるものづくり産業の高度化	3.71	2.81	10.42
42	37 グローバル社会における地域づくり・人づくり	3.62	3.37	12.20					
47	16 空港・港湾の充実など交流・物流ネットワークの形成	3.55	3.39	12.02					
51	32 多様な主体による社会貢献活動の推進	3.55	3.32	11.79					
55	7 デザインの振興と活用	3.53	3.28	11.56					
57	31 芸術文化の振興	3.47	3.27	11.37					
61	3 未来を拓く起業チャレンジへの支援	3.38	3.26	11.03					
-	66(女性)	3.95	3.43	13.52					
-	67(高齢者)	3.94	3.36	13.24					

図表 重要度と未充足度の関係（砺波地域）



重要度、未充足度ともに高いエリア					重要度は高いが、未充足度が低いエリア				
得点順位	項目	重要度	未充足度	ニーズ得点	得点順位	項目	重要度	未充足度	ニーズ得点
1	55 生活交通の確保	4.25	3.55	15.08	6	25 家庭・地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	4.51	3.14	14.16
2	9 雇用の確保と人材の育成	4.14	3.53	14.59	7	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	4.38	3.14	13.75
4	24 家庭・地域・職場における子育て支援	4.48	3.20	14.32	8	26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	4.36	3.15	13.73
5	33 若者の自立促進とチャレンジ支援	4.14	3.43	14.18	14	61 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり	4.20	3.18	13.32
9	60 地震防災対策の充実	4.24	3.21	13.61	15	46 高齢者福祉の充実	4.19	3.15	13.20
10	56 住生活の向上	3.98	3.42	13.61	17	44 医療提供体制の充実	4.30	3.05	13.09
11	59 防災・危機管理体制の充実	4.00	3.39	13.57	18	45 健康づくりと疾病対策の推進	4.22	3.08	12.99
12	1 景気対策	4.25	3.19	13.54	20	58 県土保全の推進	4.18	3.09	12.91
13	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	4.16	3.26	13.54	26	62 消費生活の安全の確保	4.03	3.14	12.65
23	11 農業生産の振興	4.00	3.19	12.75	27	57 雪に強いまちづくり	4.04	3.11	12.58
-	65(働きざかり)	4.11	3.34	13.71	28	50 循環型社会と低炭素社会づくりの推進	3.94	3.18	12.53
-	66(女性)	3.96	3.35	13.27	36	51 自然環境の保全	4.00	3.00	11.99
-	67(高齢者)	4.00	3.39	13.55	39	54 多様化、効率化を通じたエネルギー需給の安定確保	3.94	3.02	11.91
					40	14 北陸新幹線の整備促進	3.97	3.00	11.90
					44	52 生活環境の保全	4.22	2.75	11.61
					46	23 富山のブランドカアアップ	4.01	2.89	11.56
					47	48 食の安全確保と地産地消・食育の推進	4.02	2.87	11.54
					58	53 水資源の保全と活用	4.04	2.70	10.92
					62	13 水産業の振興	4.09	2.54	10.39
					-	63(子ども)	4.20	3.13	13.13
					-	64(若者)	4.14	3.18	13.14
重要度は低い、未充足度が高いエリア					重要度、未充足度ともに低いエリア				
3	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	3.78	3.81	14.41	43	40 地域の個性を活かした景観づくり・まち並みづくり	3.83	3.04	11.64
16	36 人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成	3.91	3.37	13.18	49	29 生涯をおとした学びの推進	3.70	3.11	11.49
19	47 障害者福祉の充実	3.92	3.31	12.98	50	30 ふるさとを学び楽しむ環境づくり	3.65	3.15	11.47
21	19 快適で活力ある魅力的なまちづくり	3.78	3.40	12.85	51	4 産学官連携によるものづくり産業の高度化	3.74	3.05	11.40
22	34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮	3.88	3.31	12.82	52	10 環日本海・アジアなど海外ビジネス展開の促進	3.58	3.18	11.37
24	6 中小企業の振興	3.86	3.29	12.70	53	42 豊かな森づくり・花と緑の地域づくり	3.65	3.09	11.27
25	12 森林の整備と林業の振興	3.59	3.52	12.65	54	22 国際観光の推進	3.66	3.06	11.22
29	21 選ばれ続ける観光地づくり	3.78	3.30	12.45	55	32 多様な主体による社会貢献活動の推進	3.53	3.18	11.20
30	20 中心市街地の賑わいの創出	3.56	3.48	12.37	56	17 利便性の高い道路ネットワークの整備	3.84	2.91	11.18
31	35 元気な高齢者の活躍の場の拡大	3.84	3.21	12.34	57	2 新たな成長産業の育成	3.89	2.87	11.16
32	15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり	3.85	3.20	12.32	59	18 情報通信基盤の充実と活用	3.71	2.90	10.76
33	41 農山漁村の活性化	3.78	3.23	12.18	61	49 スポーツの振興	3.56	2.98	10.58
34	5 企業立地の促進	3.67	3.28	12.04					
35	39 自然、歴史、伝統文化など地域の魅力の継承・再発見	3.76	3.20	12.04					
37	3 未来を拓く起業家・学術研究・科学技術への支援	3.56	3.36	11.98					
38	38 交流人口の拡大、定住・半定住の促進	3.60	3.32	11.97					
41	28 大学教育・学術研究・科学技術の振興	3.68	3.23	11.89					
42	7 デザインの振興と活用	3.64	3.24	11.79					
45	37 グローバル社会における地域づくり・人づくり	3.46	3.34	11.57					
48	16 空港・港湾の充実など交流・物流ネットワークの形成	3.47	3.32	11.53					
60	31 芸術文化の振興	3.34	3.22	10.74					

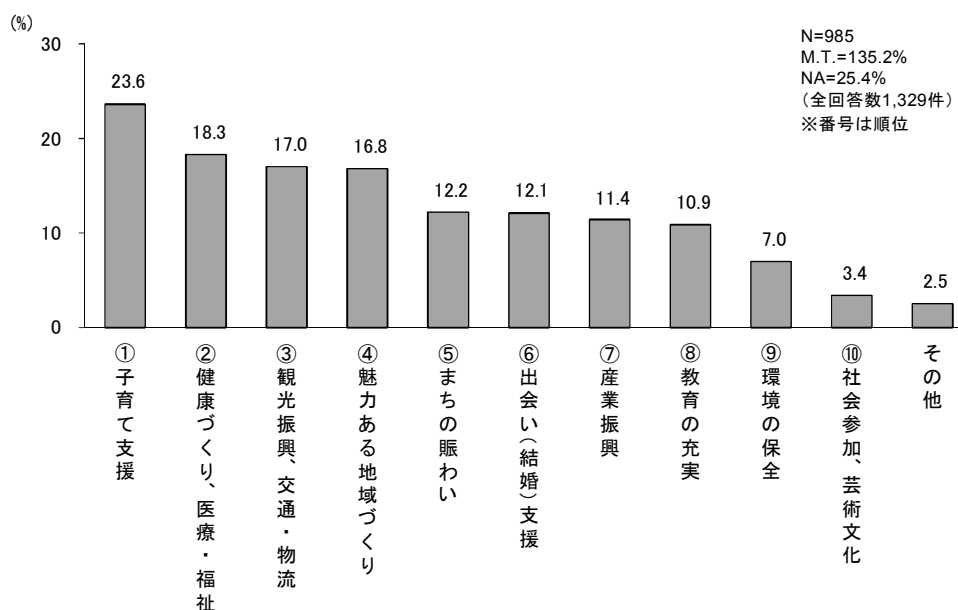
V 総合計画全般に対する意見

総合計画全般に対する意見

1 県が今後重視すべきこと

県が今後重視すべきことに対する自由意見の内容（下記の11項目から選択の上、記述）をみると、「子育て支援」を選択した者が23.6%と最も多く、次いで「健康づくり、医療・福祉」が18.3%、「観光振興、交流・物流」が17.0%、「魅力ある地域づくり」が16.8%の順となっている。

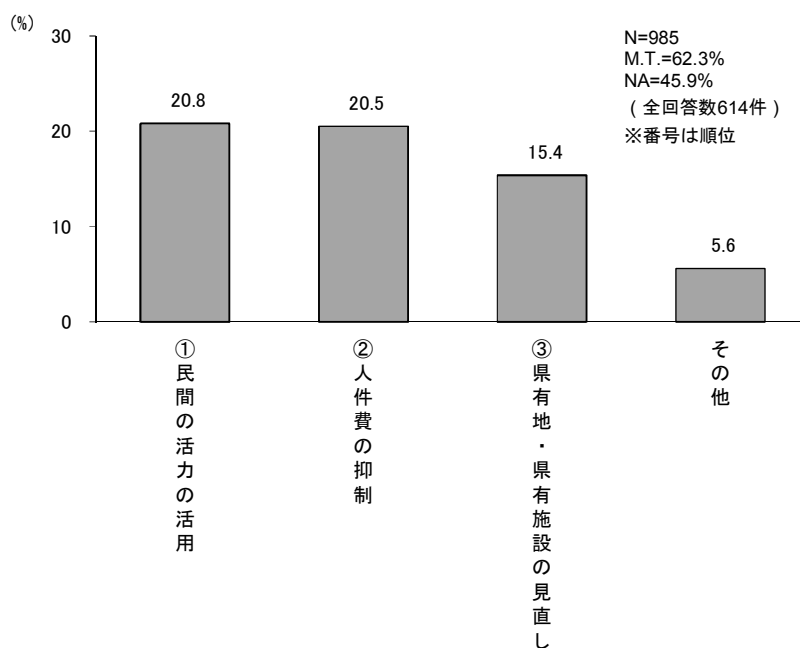
図表 意見の内容（県が今後重視すべきこと）



2 県の行財政改革について

県の行財政改革についての自由意見の内容（下記の4項目から選択の上、記述）をみると、「民間の活力の活用」を選択した者が20.8%と最も多く、次いで「人件費の抑制」が20.5%、「県有地・県有施設の見直し」が15.4%の順となっている。

図表 意見の内訳（県が今後重視すべきこと）



・自由記述の内容 ※記載内容が不明瞭なもの、個人・企業・市町村に対する意見などは除く。

1 県が今後重視すべきこと

① 子育て支援

居住地域	年代	内容
富山	29歳以下	子どもを育てやすい環境をつくっていくことが、将来的に人口増加や経済発展につながっていくと思う。
富山	29歳以下	子育て支援が充実していると住みやすく良いと思う。富山県を人々が評価することで、女性も仕事ができるようになり、魅力ある地域づくりや賑わいにつながる。
富山	29歳以下	女性が働きながら子育てができるように支援してほしい。延長保育や夜間保育など。
富山	29歳以下	人口増加のために、他県からの流入に期待するのではなく、出生率の増加やお金を気にせず子育てや教育を行える行政支援（直接給付を行わず、サービスを受ける時費用負担がない）が必要。
富山	29歳以下	男性の育児休業取得率を上げるため、県職員から積極的に取得し、子どもを産み育てやすい環境づくりをしてほしい。
富山	29歳以下	保育園、こども園等のさらなる充実を図り、子育て世代の就業への安心を高めてほしい。
富山	29歳以下	次世代教育と子育て支援を通じてもっと活気あふれる若い富山をつくるべきだと思う。
高岡・射水	29歳以下	子育てママが集まるイベントなどがあれば良い。
高岡・射水	29歳以下	子育ては地域で支えるように、県だけではなく周辺の隣人とともに行うべきである。もちろん県や市町村もしっかり予算をつけていく。子供は地域の宝。
新川	29歳以下	最近では保育所や幼稚園などの子育て支援の充実により、家庭の役割も施設で担っているように思う。子どもを育てていく基本は家庭であるため、より良い人材を育てていくためにも、子育て支援の在り方を見直していく必要がある。
砺波	29歳以下	富山市以外にも病児保育等のサービスや事業を充実させてほしい。病後児保育は制度としてはあるが、子どもが通園できるほどにならないと利用できないため意味がない。毎日々やみを言われ、「夫にも協力してもらいなさい」「お前の嫁は仕事だからとどうして男のお前に有休をとって休ませるんだ」などと、交互に休んでいるのにお互いに言われる。
砺波	29歳以下	女性が働きやすい環境ではない。まだまだ結婚や妊娠でやめる世の中である。マタニティハラスメントだらけで、子どもをこれ以上産む気になれない。
富山	30～39歳	働くことによって、子供が1人で行動しなければならぬことに不安を感じる。しかし働かざるを得ない。夕方は学童でも、朝はどうするか。
富山	30～39歳	保育所で土日祝日の保育を頼めるようにしたり、そのことで保護者を非難せず、理解を示してほしい。
富山	30～39歳	全てにおいて、人口減少を防がないことには何の政策も繁栄しない。結婚できない人や子どもを産めない人を考えたら、出生率2.5人以上になる政策を考えてほしい。
富山	30～39歳	子育てについて、現状任意の予防接種も補助が出ると良い。その他、いろいろな補助があるが、他県と違う富山独自のものがあれば、もっとPRした方が良い。何をしているのかあまり知られていない気がする。
富山	30～39歳	現在、時短勤務で子供が2人おり、保育園に預けて働いている。子供が好きなので、もう一人欲しいと考えているが、なかなか厳しいのかと思ってしまう。3人目からの子供には優遇が受けられる制度があれば嬉しい。また子供が体調を崩した時に代わりに病院に担当の方が連れて行ってくれ、親が迎えに行くまで預かってくれる制度を見たが、とても嬉しい制度で利用したい気持ちはあるが高額ではないか。
富山	30～39歳	子育てしやすい県にすれば自然と人口が増え、産業が発展し、経済が繁栄する。
高岡・射水	30～39歳	子育て支援を充実させることにより、若い人たちが地域に根付き、地域全体で子育てをしていく環境が整ってくれば、少子化にも歯止めがかかるのではと考える。子育てしやすいまちづくり、県づくりを平等に望む。
高岡・射水	30～39歳	天気が悪い時にも子どもを遊びにつれていける室内スペースをつくってほしい。教師の質を定期的にチェックし、資質がない教師は辞めさせるような制度をつくってほしい。
高岡・射水	30～39歳	子育ての支援はいろいろしていただいているが、働きながら育てるのはやはり難しい。結婚する人も減ってきている。就業時間も含めて、子どもを同居していなくても育てられる、育てやすい社会になってほしい。
高岡・射水	30～39歳	子育てでお金がかからないよう、高校大学でお金がかからないように。
新川	30～39歳	出産から小さいうちの子育て支援はかなり整ってきているように思うが、子供が中学、高校になっても子育ては続くので、この時期の子育て支援を充実させ、維持してほしい。安心して子育て、仕事、家庭の両立をして、家族みんながいきいきと暮らせるように考えていただきたい。

新川	30～39 歳	子育てしやすい環境の整備は必須だと感じる。特に共働きの多い富山県では助成金を出すよりも、家事代行や病児病後保育の充実など、とても大切だと思う。核家族も増えているので、サービスも増やしてほしい。
砺波	30～39 歳	まずは安心して働き家庭を築けるような経済的な基盤を若い世代が得られることが必要。若い人への期待はわかるが、経済的余裕がなければ、子育てや地域活動に意識が向かないと思う。特に中小企業への支援をしてほしい。
砺波	30～39 歳	若者が住みやすく子育てしやすい環境にするべき。県外に流出するのを食い止める。小児科病院が中心部だけでなく、広範囲の場所にあると良い。
記載なし	30～39 歳	子どもが増えているので、保育園をつくってもらいたい。
富山	40～49 歳	子どもの医療費を無料にしてほしい。
富山	40～49 歳	実際に子育て経験のある母親の視点が不可欠だと思うので、意見を多く聞き、政策を進めてほしい。そうでないと働き手としての女性の確保は難しいと思う。1つの大事な役割として安心して子育てできる環境を整えてほしい。時代環境が大きく異なるので、高齢の方や子育てには関わっていないような男性が中心になっていては、何も改善されないと思う。
富山	40～49 歳	高校無償化、医療費負担の格差をなくしてほしい。所得によって助成が違うというのは良くないことだと思う。
富山	40～49 歳	病児を親の代わりに保育園へ迎えに行き、受診し、迎えに行くまで預かってくれる事業があるが、タクシー代等を払うことを考えると、安い時給で働いている私はマイナスになると思う。事業としてはとてもありがたく必要だと思うが、金銭面で考えてしまふ。子供はとても可愛いし、未来を支える大切な存在だが、育てる上でお金がかかり、金銭面で次の子を諦めた。今の時代、大卒が当たり前になっているので大学卒業、医療も含め安心して子育てが出来たら良いと思う。政治的な制度がコロコロと変わり、安心できない。
富山	40～49 歳	共働き核家族のため、子どもが病気になった時、医療保育の充実。小学生も医療保育を受け入れてくれる病院施設が必要。
富山	40～49 歳	子育て支援なしにして、少子高齢化は解決しないと思う。行政の支援は大きい。
富山	40～49 歳	子育て支援に力を入れることは良いことだと思うが、子どもがない者にとっては40代での不妊治療費助成の打ち切りはつらい。若者の結婚率も低く、出産率は若い方が高いとのことなので、少しおかしいと思う。
富山	40～49 歳	子供を保育園に預けて女性が働ける環境を整備するより、働いていても働いていなくても、親とその子ができるだけ一緒にいられる時間、ふれあえる時間を増やす整備をしてほしい。
富山	40～49 歳	将来の富山県を担っていくのは子どもたち。そのためには子育てしやすい環境、社会が必要。
富山	40～49 歳	不登校児とその家族への支援の充実が必要。まずは先生がゆとりを持って子どもたちを教育できる体制づくりが急務。不登校であっても学力に応じた県立高校への入学を認めてほしい。内申点の必要性は理解できるが、不真面目でさぼって不登校とはなっていない、学校及び家庭での子どもたちのケア不足が不登校を招いていることもある。やる気のある者の県立高校への入学を認めてほしい。
富山	40～49 歳	保育園は7時～19時または20時まで子どもを預けることができるが、小学生になると学童保育に預けられる時間がかなり短くなり、母親がフルタイム勤務を続けることが非常に難しい。少子化はそのような面の環境や女性の雇用形態の多様化などを充実させたり、子育ても大事な役割と捉えて認めてもらえるよう、就業環境を整備すること抜きでは、防げないと思う。
富山	40～49 歳	共働きの多い富山では、子どもを19時くらいまで預けられる保育園やチャレンジクラブなどの充実と、費用負担が少なく済むようになれば良い。
高岡・射水	40～49 歳	高校3年生まで医療費無料にしてほしい。
高岡・射水	40～49 歳	共働きのため病児、病後児保育の拡張をすすめてほしい。
高岡・射水	40～49 歳	少子化社会でもあり、10年後も子育て支援を重点において活動してほしい。
高岡・射水	40～49 歳	少子化に歯止めを。
高岡・射水	40～49 歳	子どもたちが親の経済格差で進学できないことがないよう、支援を充実させてほしい。非正規労働者に対しても福利厚生を充実させ、時間給もその仕事に見合った額、継続年数などを加味して、頑張っている者に対しては評価してほしい。
新川	40～49 歳	市町村によって支援方法が違っているのはどうしてなのか。統一してはどうか。
新川	40～49 歳	次世代を担う子供達の心と体の健康と成長を考え、貧困の差が無く教育を受けさせてほしい。

砺波	40～49 歳	子育て支援は人によって支援してほしいことが違うが、預けるばかりでなく、親も仕事を休みやすくするよう、子どもと過ごす時間を持てるように少しでも多くしてほしい。
砺波	40～49 歳	市町村でのいろいろな活動は聞くが、県としてはあまりないのではないか。
富山	50～59 歳	社会の形成発展に重要なことは多々あると思うが、それも人がいてこそその問題だと思う。子どもを産み育てる世代の方々の子育ての意欲をかきたてる何かが必要だと思う。
富山	50～59 歳	住み良いまちなので、子育てにもっと力を入れるべきである。
富山	50～59 歳	母親が働きやすくするため、小中学校生徒の放課後に安心して預けられる施設をもっと増やしてほしい。 土日曜日に受診できる医療機関を増やしてほしい。
高岡・射水	50～59 歳	県内企業すべてが子育ての理解を深めてほしい。子育て支援を充実してほしい。
高岡・射水	50～59 歳	地域の学童はいつも定員オーバーで入会条件も厳しく預かってもらえないという声を耳にする。保育園から小学校へ移る時、放課後安心して子どもを預けられる場所が少ないと感じる。
新川	50～59 歳	出産に非常にお金がかかる。その後も3歳未満児保育料も高額である。富山県の一番の宝は自然でもなく、文化でもなく、「子どもです」と胸を張れる県になってほしい。
新川	50～59 歳	子育て支援組織の人材や設備を充実されることが重要だと思う。
新川	50～59 歳	これからの時代をつくる若い人たちが結婚し、家庭をもつにあたり、子どもの保育料の見直しや学童保育など、子育てしやすい環境を望む。
砺波	50～59 歳	まずは、子育てしやすい制度づくりから、育休もしっかりとれる環境づくりをお願いしたい。
砺波	50～59 歳	病児病後児保育の充実をしていただきたい。たとえば、病児専門の施設で看護師が世話をするなど。
砺波	50～59 歳	子育てと介護で富山型デイサービスを産んだ発祥の地を生かして、人と人が手を結ぶ県にする。
記載なし	50～59 歳	今後の人口減少が大問題だと思う。人手不足は深刻な状況であり、今まで対策をとってこなかった行政の責任は重い。
富山	60～69 歳	保育所を増やし希望者が全員入れるようにする。小学生が放課後、希望者全員が安心して過ごせる場所を確保する。
富山	60～69 歳	子どもが育たなければ続かない。
富山	60～69 歳	子供を産み育てながら安心して預けられ、職場の理解、地域の支援もきちんとしてもらいたい。時間延長や学事保育の充実（指導員確保）。
富山	60～69 歳	少子化のせいもあり、甘やかしが目立つ。親が子育て教育されてこそ、子どもがしっかりするのはと思う。父親母親がまずしっかりした子育て勉強会を県で実践されればと思う。
富山	60～69 歳	結婚しない若者。生活費のため子育てが難しい。そのため、子どもを産まない、負のシステム。何とか改善できないか。
富山	60～69 歳	地域で子育てするしくみの構築。小中学校での人権育成教育の充実が必要。
富山	60～69 歳	子供は未来の宝。小さい子供がいてお母さんが働いている人にはおじいさん、おばあさんが日中子守りをしてあげる施設をつくる（もちろんボランティアで）。
富山	60～69 歳	もっと元気な子どもたちの声が聞こえる世の中になってほしい。最近の若い人は結婚に臆病。適齢期の子の親が子供を大事にしすぎ。早いうちにもっと対策をお願いしたい。
富山	60～69 歳	中学校までの医療費無料化を県として対応してほしい。大学、高校に家庭が貧乏でも行けるように援助してほしい。中学、高校まで給食を各学校で行ってほしい。
高岡・射水	60～69 歳	国、県、市の支援は大切なことだが、見る限りそのことに甘えがあり、親としての自覚が不足している。自分のことばかりでがっかり。親の教育も必要だと思う。年上の知恵袋も必要だと思う。
高岡・射水	60～69 歳	人口減少で心配される中、安心して子供を産み育てる環境づくりが大切であり、県が積極的に関わってほしい。
新川	60～69 歳	子供は未来の宝。子育てが安心してできるように子育て支援をしっかりとお願いしたい。少子化の改善は大切なテーマだと思う。
砺波	60～69 歳	子育て支援のための手当のばらまきをやめて、義務教育中の給食費用や制服代など、全員に必要な費用を無料にする。
砺波	60～69 歳	子どもが一番。若い人に魅力のある県づくりを。
記載なし	60～69 歳	子どもが病気になるっても安心して預けて、仕事を続けられる環境がほしい。
富山	70 歳以上	核家族化を抑制、昔のように3世代同居を進めるべきである。

富山	70歳以上	育休について、産前産後1年でなく、2年にすれば良い。放課後の指導員の賃金が安い。
富山	70歳以上	発達障害の子どもや大人に対する支援や他障害者に対しても目を向けてほしい。
富山	70歳以上	高校の次期再編の早期発表を教育委員会に望む。長期化すると色んな意見が出てくる。
高岡・射水	70歳以上	母子家庭や父子家庭の方が多くいるが、籍を入れると医者代がかかるからと籍を入れず、男性と一緒に生活を何年もしていれば夫婦と同じだと思う。税金の無駄遣いだと思う。そういう人がたくさんいるので、調べる必要があると思う。
新川	70歳以上	どの子も高校まで無償で学べるようにしてほしい。
新川	70歳以上	少子化対策を真剣に考えていただきたい。その中で、学費の無償化が進んでいるが、進学したいがお金がなく諦める子たちを救う方策をお願いしたい。極論だが、お金持ちの方の無償化は必要だろうか。

② 健康づくり、医療・福祉

地域	年代	内容
富山	29歳以下	健康一番の富山県を目指して、「健康・安全」教育をしてほしい。
高岡・射水	29歳以下	高齢者がまだまだ多いので、介護や福祉に負担金が少なくなるようにしてほしい。行きたくても行けない状態はかわいそう。
高岡・射水	30～39歳	障害者支援について、重度はもちろんとして、軽度障害者への支援、サポートが不足していると感じる。進学、就業、結婚、子育て等、それぞれの段階で適切なアドバイスや支援が受けられる体制をつくってほしい。
新川	30～39歳	障害者に社会で働けるように十分な教育や支援をし、障害者への偏見がなくなるように取り組みながら、仕事を委託したりすることで、人手不足対策、経費削減にもなり、自己実現にもつながる。
富山	40～49歳	10年後の富山県はたぶん超高齢化社会となっている。その準備を今からすべきではないかと思う。山里に一人暮らしの方も多し。県の中心部だけでなく全体的なコミュニティが必要だと思う。
富山	40～49歳	障害者にとってはまだまだ福祉や生活の面では暮らしにくい県だと思う。10年後に障害者の親が安心して生きていける県になってほしい。
富山	40～49歳	医療を提供する立場が経営しやすい、提供しやすい環境づくり、こちらに対しての優しさが必要。医療現場の厳しさを分かってもらいたい。
富山	40～49歳	障害者にやさしいまちづくりを願う。点字ブロックの上に車が停めてあるのを見かけたり、駐車スペースも障害者の方が停められないのも度々見かける。モラルの問題もあるが、弱者目線での計画をお願いしたい。
富山	40～49歳	他県よりも障害者が安心して暮らせることも計画に入れてほしい。
富山	40～49歳	介護員と保育士の給与増額が望ましい。
富山	40～49歳	五福運動公園にサッカースタジアムを建設してほしい。
高岡・射水	40～49歳	今後は生産人口が減少し、高齢化による地域を支える人材も減り続けるので、健診等の予防医療と特にサービス業の生産性を向上させるべき。
高岡・射水	40～49歳	寿命が延び、高齢化がもっと進む。今後は若いころからの体力、健康に対する意識を高めていくことが大切。
高岡・射水	40～49歳	独居高齢者が多く、病気などで独居が困難になった時、引き取り手がなく、病院からなかなか退院できない。高齢者で病院のベッドがいっぱいになり、大変な現状。もっと施設があると良い。
新川	40～49歳	今後ますます高齢化が進み、将来介護に不安を感じる。安心して過ごせる社会に向けて福祉サービスの充実をお願いしたい。
砺波	40～49歳	急速な高齢化、特に団塊世代が本格的に介護対象となる人が大勢出てくるので、できるだけ元気に暮らせるように福祉の充実が必要。特養は今でさえ入居待ちなのに、今後どうなるのか。また、そこで働く人たちがいないといけなないので、給与賃金体制の見直しが必要。
砺波	40～49歳	先端医療技術を各医療機関で取り入れ、県民の健康維持の推進にさらなる支援が必要。
富山	50～59歳	10年後を考えられない。60歳で定年、同じ仕事で給料を下げられて頑張るしかない。65歳に定年延長してほしい。
富山	50～59歳	どの年齢でも赤ちゃんから老人まで各自健康に気をつける習慣をつけ、行動するよう、さらにいきいき富山、暮らしやすい富山、健康な富山になれるとよいと思う。
富山	50～59歳	近所に高齢夫婦の2人暮らしが多い。10年たつとどちらかがなくなって一人暮らしになっているかと思うと心配。福祉サービスの充実を希望する。
富山	50～59歳	超高齢化社会を迎えることになるが、その体制、人材確保、賃金引き上げを望む。

富山	50～59 歳	富山県は特に高齢者が多い県。元気な方も多いとは思いますが、現役世代としても将来のことが本当に心配。県、富山市として、だれもが家の近くで、手軽で安価に健康づくりや医療福祉相談を受けることのできる施設を増やしてほしい。交通手段の悪い土地柄なので、せめて身近な地域でいろいろ利用できる施設があれば良いと切実に思う。
富山	50～59 歳	健康づくりに力を入れ、町内でラジオ体操（夏休み）を進めるなどしてほしい。
富山	50～59 歳	障害者が自立して社会参加できるよう、相談できる場所やサービスが本人や家族にわかりやすく、支援を受けやすい、安心して暮らせる富山でお願いしたい。
新川	50～59 歳	年に2回、春と秋に住民が一堂に集まり、運動会以外で、ラジオ体操などを行う。
新川	50～59 歳	年金が削減され高齢者福祉サービス利用手続きにも時間がかかるなど、医療費も高くなっていて、将来の生活がとても不安。
砺波	50～59 歳	高齢化が進み、医療福祉問題が重要となる。定年後の働く人が増え、労働の力となっている。
富山	60～69 歳	シニア（シルバー）になっても元気な人は働ける場所またはボランティアとして活躍できる場所があることを望む。それにより健康が保て医療費削減につながる。寿命が延びているのに定年があるのはおかしい。
富山	60～69 歳	60代は、まだまだ隠居できず、体力をつけて県の活性化に頑張ってもらわなくてはいけない。県の運動施設でも率先して、健康教室を開いたり、運動習慣づけスタンプカードをつくったり、仲間づくりを勧めたりと、施設の職員がもっとサービスに専念してほしいと思う。お年寄りはお節介をしたがっている。またお年寄り相手には年寄りボランティア、アルバイト、シルバー会員などいても良いと思う。
富山	60～69 歳	他県のように高齢者になる前から、例えばいきいき体操を地域ごとに増やしてほしい。医療費の軽減にもつながるかもしれない。
富山	60～69 歳	福祉にも頼りつつ、自立して生活できる世の中になっていたらうれしい。
富山	60～69 歳	高齢化社会になっているので、病気になる前、ならないための健康づくりに力を入れ、医療費の負担がかからないようにしてほしい。高齢者が安心して暮らせる福祉の充実を願う。
富山	60～69 歳	今後年金生活で、生きていくことが心配。医療費用も上がり、福祉も介護制度も色んなことで大変になると聞いている。低所得の高齢者が安心して楽しく過ごせるようお願いします。
富山	60～69 歳	季節ごとやある程度の年齢での予防接種やワクチン接種の案内があるが、これが果たして健康維持に役に立つのか。周りではインフルエンザの予防接種者のほとんどがインフルエンザに感染している。
富山	60～69 歳	いくつもの美術館よりも福祉施設に予算をもっと使ってほしいと思う。もっと県民のだれもが利用できるものにしてもらいたいと思う。
富山	60～69 歳	高齢者対策は、大きな経済効果がある。民間任せでなく、県営の施設、職員も公務員を多くして、スウェーデンのような福祉立県に税金を使えば、全年齢の県民がいきいきと活動できると思う。
富山	60～69 歳	老人福祉施設の拡充、訪問医療の充実
高岡・射水	60～69 歳	高齢者の健康づくりのため、積極的に参加できる施設を増やしてほしい。
高岡・射水	60～69 歳	まずは体が健康でないと、色んなことができない。バランスの良い食生活と病気になりにくい身体づくりを多方面から推進してほしい。
高岡・射水	60～69 歳	公的機関だけでなく民間の事業者や住民ボランティアへの支援、援助が必要。
高岡・射水	60～69 歳	高齢者の一人住まいの福祉制度の充実
高岡・射水	60～69 歳	超高齢化社会に入り、健康寿命を伸ばす施策が望まれる。
新川	60～69 歳	介護施設や老人ホームが少ないと思うので、もっと増やしてほしい。
新川	60～69 歳	健康づくりイベントの頻度の拡大と県民へのPR
砺波	60～69 歳	高齢者や子ども、障害者が普通に日常生活、社会生活ができる県づくりを希望する。
富山	70 歳以上	24時間救急病院の拡充と診療科の充実。土日祝祭日の救急について、滑川地区の場合、富山広域圏であるため、富山市救急病院で診療すると言われた。魚津や黒部の病院で受診できないか。
富山	70 歳以上	医療の充実が何よりも大事だと思う。
富山	70 歳以上	治療より予防が大事だと思うので、年1回は健康診断を受けるよう、今まで以上に啓発活動を期待する。
富山	70 歳以上	精神患者の障害年金が納める年金が足りないためもらえず、苦しんでいる人が多い。足りない分を納入するなどで見直してほしい。弱者に目を向けてほしい。
富山	70 歳以上	高齢者の認知症が大きく問題化している。そのためには屋内に閉じ込めておくのではなく、外に出てもらうことだと思う。そうすることによって医療費を削減し、労働力として貢献もできると思う。県内の公的な各種、ミュージアムの割引制度や無料化もその一つと思う。まず土日祝日を除く日から始めてはどうか。

高岡・射水	70歳以上	介護研修に助成、定年退職者対象にそれぞれの地域で一定期間の介護研修に富山県として助成する。
高岡・射水	70歳以上	現状の介護職に対する認識不足、さらには各人がたどる人生の終末を現状の身内、女性中心、人手不足の介護職から、みんなの問題として取り組むべきである。そのためにも前途の介護研修に富山県としても早急に取り組み、退職後の体力のあるうちに2～3年間の地域での介護就業を義務付ける等「高齢化社会」に「介護先進県富山」。介護就業経験は、各人の意識を変えること間違いなしと思う。
高岡・射水	70歳以上	高齢者の免許の返納が言われているが、町内には公民館も公共施設もない。今はパークゴルフを頑張っているが、10年後は健康でいられるか。
新川	70歳以上	医療費削減の健康づくりと訪問医療の充実。
新川	70歳以上	住民健診の受診率向上や受診料の無料化。健康講座の充実。パートやボランティアにより元気な高齢者の活用。定年制の延長。
砺波	70歳以上	高齢者の就業も多くなっているが、ボランティアや老人クラブ活動、趣味など健康づくりやストレス解消に大いに役立ち、健康寿命の延伸につながっている。
記載なし	—	未病チェックシートなどを利用して、未病対策に取り組んでほしい。問題が発見されたら薬や病院に頼るといよりは生活習慣の改善に取り組むように指導してほしい。

③ 観光振興、交通・物流 ＜観光振興＞

地域	年代	内容
富山	30～39歳	せっかく北陸新幹線が開通し、都市部からの観光客が増えているのに、観光地へのアクセスが不便であったり、駅周辺の見所が少ないように感じる。また、駐車場不足のためか、市の中心部に県民が近付けるようになっていない。
富山	30～39歳	宇奈月温泉をもっとPRし、全国からお客さんが来るようにしてほしい。大きい温泉施設をつくってほしい。
富山	30～39歳	観光客が県内を効率よく回るには、交通手段の充実を図る。公共交通だけでなく、相乗り式のタクシーなど。
富山	30～39歳	食は充実しているが、家族や若者がにぎわう遊園地テーマパークが必要だと思う。
富山	30～39歳	新幹線が開通して東京まで2時間でいけるようになってから感じたが、高岡にはそれなりにあるのに、富山市には観光地があまりない。本県の魅力ある観光というのが、文化歴史の観点だけでなく、幅広い年齢層が一度に集まるような施設も富山の住み心地の良さをアピールできるのではと思う。
富山	30～39歳	富山の元気は観光と交通、物流での活性化しかない。
高岡・射水	30～39歳	自然体験プログラムや、ガラス、銅器、彫刻などの県内工芸の展示体験を行う複合施設の整備など、体験型観光を推進し、関東、東海、関西といずれも相互アクセス可能であることを活かし、海外観光客の「ついで観光」を狙って、富山空港の利用便を増やしていけないものか。
高岡・射水	30～39歳	富山をもっとアピールすべきではないか。新幹線が通っても、金沢ばかり人気があるような気がする。新高岡駅前で旅行者が途方に暮れていた。申し訳ない気持ちでいっぱいになった。
砺波	30～39歳	立山の室堂は外国人観光客が多く、山に求めるものは自然の美しさである。尾瀬や上高地のように立山の植生保護や登山道の整備にもっと力を入れてほしい。県外や外国の友人を案内する時、施設の老朽化が気になる。
砺波	30～39歳	アルペンルートなどをよく利用し、素晴らしい自然を体験する海外の方や関東からの観光客を目にすることがあったが、その後どこかへ観光となると個人の方だと車がないと交通網が若干不都合だと感じる。
富山	40～49歳	せっかく新幹線ができて富山市の中心部には観光で行くところがなく、駅がきれいになっても、金沢と比べると人がいないのがとても残念。
富山	40～49歳	新幹線や飛行機、市電などの交通機関がもっと利用されるようになると良い。国内外から沢山の観光客が来てくれるようになると富山県ももっと盛り上がるのではないかと思う。
富山	40～49歳	もっとSNSを活用して、観光客を受け入れられるように発信すべきである。台湾や韓国など近場だけでなく、富山の自然は水や緑の少ない国の人にとってとても魅力的だと思う。
富山	40～49歳	県外、海外からも訪れたいくなる、もっと若者に魅力のある観光地づくり。イベントも店も少なすぎ、交通手段もまだまだ不便である。
富山	40～49歳	47都道府県の中で富山県の知名度が低いと思う。

富山	40～49 歳	観光客の増加のため、無料等で招待するなどして、人を介した口コミでリピーターを増加させる。アニメの映画を開拓して、岐阜の「君の名は」のような作品を生み出すなどして、観光客の増加を図ることで活性化につながればと思う。
高岡・射水	40～49 歳	金沢のように強烈なインパクトがないように思う。もっと観光でにぎわえば地域も活性化するし、企業も活気づくのではないかな。
砺波	40～49 歳	富山県には他県より優れたものも多くあると思うが、PRが下手な県民性というか全国への発信があまりうまくいっていないように思う。
富山	50～59 歳	富山県民は、観光客に「おもてなし」が下手な県なので、富山駅をもっと工夫してほしい。
富山	50～59 歳	地域の特産品をふるさと納税商品化して知名度を高めるべき。観光者にモニタリング調査を行うことも重要。
高岡・射水	50～59 歳	海産物を中心とした賑わい市場、寿司屋横丁のような名所ができれば、観光振興になると思う。安くておいしい店が集積できると良い。
砺波	50～59 歳	高岡駅と新高岡駅のアクセスが不便で、高岡以西の観光に影響を及ぼしていると思う。外国人は「乗り継ぐ」ことも好きなようなので、電車でスムーズに乗り継げるように
砺波	50～59 歳	新幹線が開通してもメディアは金沢、金沢とうんざり。でも富山の良さを知っている人は知っている。
富山	60～69 歳	世界的な漫画家である藤子不二雄さんの出身地であることをもっとアピールしてドラえもんワールドのような遊園地をつくれれば、日本のみならず国際的にも観光客が増えると思う。
富山	60～69 歳	富山駅周辺総曲輪まで観光施設が少ない。子どもから大人まで遊んで食事できるところをもっとつくってほしい。
富山	60～69 歳	世界に誇れる豊かな自然環境資源、黒部ダム等観光振興のため、水素ガス利用の自動車促進に努め、県内に水素ガスステーション設置普及に努めてもらいたい。
富山	60～69 歳	全世界を相手に受け入れ体制をしっかりと
富山	60～69 歳	富山には山が多い。森を整備して県民がハイキング、山菜採り、バーベキュー等ができる場所をたくさんつくって家庭で遊べる場所を提供してほしい。
富山	60～69 歳	富山駅に着いた観光客、外国人に対して、バス乗り場、インフォメーションを、都会の看板のように、もっとわかりやすくした方が良い。 高齢者が車の運転ができなくなった場合、地域でタクシーの相乗りをするなど考えてほしい。若者が参加したくなる活動を増やしてほしい。
富山	60～69 歳	富山県の観光はどちらかというと「箱庭観光」であまりにもコンパクトに纏まり過ぎてはいないか。一度体験したらもう見なくてよい観光地域になってはいないか。 他県の観光地に行くと、その市内の民家や商店のウィンドウに、さりげなく民芸品やその地域の人形などが並べてある。富山県、富山市の商店の中にそのような客をもてなすような気持ちがないのではないかな。どちらかというと「今だけ、金だけ、自分だけ」の一見の客を相手にしているような感じが見受けられる。
富山	60～69 歳	岐阜県が道路にせせらぎ街道や、卯の花街道と名前をつけており、観光面で上手だと思う。
富山	60～69 歳	水と空気の美味しさ、景色の美しさをもっと世界中の人々に知ってもらい、来てもらいたい。名産物にも工夫、アイデア、企画PRいろいろと必要。
富山	60～69 歳	全国的に富山県のアピール度が低いと思う。いまだに秘境富山のイメージで、元気がなく、ブリ、ホタルイカ、立山、八尾のおわらのみ。水墨美術館やガラス工房、水族館も何十年も変わり映えしないし、ホタルイカミュージアムも1回行ったら二度と行かない、おもしろくない。富山県全体が元気がなく、おもしろくない。
富山	60～69 歳	富山県ふるさとの歌「ふるさとの空」はとても綺麗な曲だが全部歌える人が少ないように思う。デパートの大和以外の所でも流してほしいと思う。また富山を舞台とした演歌も沢山あるようだ。著作権の問題があるのかもしれないが、「富山県の歌コーナー」を設け自由に購入できたりすれば県民はもちろん観光客の方々にも楽しい。
富山	60～69 歳	北陸新幹線が開通し、県外、国外からの観光客が来ている。ある道の駅で、売り場の女子店員の態度がいかにも売ってあげているという接客が印象的だった。上司や会社のトップが見ていなくても、良い接客がみられるよう接遇に力を入れてほしい。
高岡・射水	60～69 歳	高岡 IC～北陸道までを無料にするべき。高岡～七尾 ICまで無料では、地元の人でさえ、石川県に泊まりに行く有様。ますます高岡、富山県の観光が廃れてしまう。
高岡・射水	60～69 歳	黒部ダムと長野大町の連携を深める。立山山麓の広域な場所での滞在型施設の充実。公共交通の整備により、富山市内の食べ歩きや富山城跡の充実と氷見の連携。
高岡・射水	60～69 歳	富山県を映画、ドラマのロケにもってきてほしい。2年前に映画ロケがあり、公開後たくさんの方が射水市内の観光に来られ、街が少し盛り上がったので、どんどんPRしてほしい。

高岡・射水	60～69 歳	外国人旅行者に対する案内があまりにも貧弱。
高岡・射水	60～69 歳	立山の美しさ、水のおいしさ、魚、米、食べ物のおいしさをもう少しアピールできたらと思う。観光客の方々のロコミは一番強いと思う。派手でなくても良いと思う。本当の良さがあれば、発展していくと思う。
新川	60～69 歳	お客様が来客されるとなれば、すみずみまで気配りし、「おもてなし」をする。この刺激が活力となりお客様にも気持ちが伝えられれば満足度も増し、リピーターになれるかもしれない。この良い循環が大切。
新川	60～69 歳	1 県に 3 つの新幹線駅は必要か。観光地の再発見がされていないように思う。
新川	60～69 歳	富山県は魚、果物など食べるもの、山や海、自然など、良いところがたくさんある。それを利用してもっと活発に地方にアピールし、観光や物流など頑張れば良い。
砺波	60～69 歳	観光客に対し県全体が迎合するのではなく、ありのままの富山県のファンづくりを進める方向性で、県外との関連性を深めていくように切り替えていくべきだと思う。
砺波	60～69 歳	高齢化社会に向けて公共交通の再構築が必要となってくるのでは。市町村に任せるのではなく、県や国がもっと地方の実情に応じた公共交通の整備を図ることが必要。
砺波	60～69 歳	空き家を手入れして県が管理し、長期滞在の外国人に、自転車や車をつけて貸出し、オフィシャルサイトで広告する。寂れた商店街は壁の色を同じにするなど、統一感を出す工夫をして演出する。見た目の美しさは観光には最重要。
富山	70 歳以上	富山県として特徴を生かした取組みが弱いと思う。各自バラバラに運営しており、発信力が弱いと思う。自分自身も観光地へ出かけたいと思わない。
富山	70 歳以上	立山連峰を眺められる雄大な大自然を利用できる休憩所の設置（国道沿い常願寺川堤防上にパネルなど）。道の駅が少ないので設置する。富山城址周辺にお土産店（ますのすし店、喫茶コーナーなど）。岩瀬周辺にもっと歴史的なものがほしい。
高岡・射水	70 歳以上	新幹線を活用した観光振興策で、富山で一泊してもらえようにする。周遊バス、旅館ホテル、食文化の充実を図り魅力あるまちづくりをしてほしい。
高岡・射水	70 歳以上	富山県のユネスコ「山、銚、屋台」行事を生かしたイベントを全国に PR。海王丸パーク周辺に宿泊施設の建設を。
砺波	70 歳以上	北陸新幹線開通で関東への、また関東方面からの観光客が増えたと思う。当局の努力、アピールも感じられる。

<公共交通機関の充実など>

地域	年代	内容
富山	29 歳以下	健全者、障害者に関わらず、行きたいところに行けるように、公共交通の充実を図るべき。
富山	29 歳以下	富山市中心部ばかり交通機関も発達しており、市郊外はバス運賃も高く、どんどん不便になっている。
富山	29 歳以下	地方は公共交通機関が発達しておらず、高齢者も自分の車に頼らざるを得ない状況である。ますます高齢化が進むが、近くにスーパーがないなど車を手放したくてもできない状況で、自分の周りでは深刻な問題である。
砺波	29 歳以下	若者がどんどん減り、祭り等賑わい行事が人で不足になってきている。また、交通の便が悪いため、定住もなく、観光客も減少している。安心して若者が住めるようになってほしい。
砺波	29 歳以下	交通不便。車を持ってない人や旅行者の移動手段がまだまだ整っていない。
富山	40～49 歳	交通機関がもう少し発達していれば利用しやすくなる。例えば、郊外から全く反対の方向にある郊外へのショッピングセンターへのバスなどの運行を行うなど。せめて高校がある地域の交通だけでももう少し便利になれば良いのではないかな。
富山	40～49 歳	町なかとその周辺の交通機関ばかり充実されていると思う。私の実家は富山市の南部で家からスーパーは遠いし駅も遠い。駅から富山駅までも運賃が高く利用しない。両親は高齢だが自分で運転するしかなく免許は返すことが難しい。
高岡・射水	40～49 歳	小杉駅ー呉羽駅を南北につなぐバスの拡充
高岡・射水	40～49 歳	市を超えた環状交通の整備。車社会からの脱却。車がないと生活できないというマイナスイメージをなくす。電車、サイクリング、船などいろいろな乗り物をつなぎ、移動プラスアルファの楽しさがあれば良いのではないかな。
高岡・射水	40～49 歳	関西方面に行く時、新幹線が不便すぎる。富山市でさえ金沢乗り換えで、他郡市はさらに不便。
高岡・射水	40～49 歳	城端線と北陸新幹線の乗り継ぎが悪すぎる。実家の大阪に帰省する時は、あえて城端線～高岡、あいの風で金沢まで行き、サンダーバードの往復。東京方面は乗り継ぎが良いのに、関西方面は不便。

記載なし	40～49 歳	この先、働き盛りの人口が減少し、高齢者が増えていく。県内の交通（バスやタクシー）の利便性を重視してもらいたい。高齢になっての運転は危ない。自分を含め、年離れた両親を見ていると常々思う。
富山	50～59 歳	北陸新幹線の大阪までの早期延伸。金沢での乗り換えは面倒臭い。
高岡・射水	50～59 歳	公共交通が充実しておらず、買い物等が不便。県外からは雪道を運転したくないので、北陸から北に行きたくないとよく聞く。離職率も雪国に配属された人が圧倒的に多い。
高岡・射水	50～59 歳	交通手段の利便化。関西中部方面に行く場合、新幹線開通前に日帰り（朝出発可）で行けたことができなくなった。金沢で朝一便に間に合うような交通手段、ダイヤの改正等お願いしたい。
新川	50～59 歳	魚津をサンダーバードの発車駅にしてほしい。
新川	50～59 歳	あいの風とやま鉄道になってから不便である。本数が少ない、金沢までの乗り換えが不便、定員が少ない、案内が不親切である。新幹線は、不要である。黒部宇奈月温泉駅は有効に利用されているのか。
新川	50～59 歳	JR の寝台車の復活について、県と話し合いはできないか。
富山	60～69 歳	高齢者の活動範囲を助けるために、公共交通を充実してほしい。
富山	60～69 歳	富山駅に着いた観光客、外国人に対して、バス乗り場、インフォメーションを、都会の看板のように、もっとわかりやすくした方がよい。 高齢者が車の運転ができなくなった場合、地域でタクシーの相乗りをするなど考えてほしい。
砺波	60～69 歳	高齢化社会に向けて公共交通の再構築が必要となってくるのでは。市町村に任せるのではなく、県や国がもっと地方の実情に応じた公共交通の整備を図ることが必要。
富山	70 歳以上	交通手段は車がほとんどだが、富山市内の地鉄電車（不二越上滝線）など、もっと利用しやすいように県からの働きかけを期待している。
富山	70 歳以上	富山県は、鉄道（北陸新幹線）で東京まで行ける。飛行機では羽田、北海道千歳空港まで行けるが、定期的に沖縄へ行けると良い。船で富山新港から北海道函館間の定期運行に期待している。
高岡・射水	70 歳以上	北陸新幹線を核とした交流拠点の形成、かがやきを高岡停車へ。
新川	70 歳以上	現在 70 歳で、10 年後の交通手段が心配。
新川	70 歳以上	関西方面の電車利用の利便性の充実。サンダーバードの方が日帰りでき、使い勝手が良かった。

< 物流（道路） >

富山	60～69 歳	立山 IC～立山駅まで道路を整備するべき。年間 100 万人が通行する道路にしては貧弱。
富山	60～69 歳	県内の山間地の道路整備、冬期の交通の確保に万全を期すこと。
富山	70 歳以上	富山県のインフラに力を入れてほしい。
高岡・射水	70 歳以上	東海北陸自動車道の早期 4 車線化

④ 魅力ある地域づくり

地域	年代	内容
富山	29 歳以下	まちおこしと言っても結局発展、開発されていくのは富山駅周辺だけで、地域にまで配慮されておらず県全体に活気がないと思う。
富山	29 歳以下	若者の首都圏流出に歯止めをかけるため、富山の働きやすさや子育てのしやすさ、魅力をもっと PR していくべきだと思う。
富山	29 歳以下	富山に行きたい、残っていたいと思えるような魅力ある地域にしてほしい。
富山	29 歳以下	富山県の良いところをもっと全面的にアピールし、魅力ある地域づくりをしてほしい。富山に行きたい、ずっと住んでいたいと思えるように。
富山	29 歳以下	北陸新幹線の駅を通過駅にさせないような魅力的な地域にすべきである。県内外からの来客が楽しめる体験型観光を実施してみてもどうか。井波彫刻体験、ガラス作り体験、ますの寿し手作り体験、しろえびせんべい焼き体験、ジップライナーなど。
高岡・射水	29 歳以下	コンパクトなまちづくり。現状ある鉄道資産を有効活用して「まち」と「まち」をつなぎ、人の往来をしやすく。富山県は鉄道軌道が多い県だから多くの人に乗って活用しないと宝の持ちぐさになる。
富山	30～39 歳	災害の少ないまちで住みやすさをアピールし、都市部からの移住をどんどん促していけば良いと思う。
富山	30～39 歳	富山空港からもっと多くの場所に行けるようにしたら、県がにぎわう。

富山	30～39 歳	「食といやし」をテーマにして、目玉となる建物をつくってほしい。食ならテーマパーク、いやしなら温泉
高岡・射水	30～39 歳	富山県全体を一つの地域で考え、各市町村の個性を活かした魅力づくりが必要だと思う。県民一人ひとりがふるさと愛をもってもらうこと。人づくりが大切。
高岡・射水	30～39 歳	古くからの風習を絶やしてはいけない。富山らしさ、富山にしかないものをもっと大切にしていかなければならない。
高岡・射水	30～39 歳	空港の廃止
新川	30～39 歳	住みたいと思えるような周りの環境や支援を整えるべきだと思う。
富山	40～49 歳	現在の県内の政策は、市街地特に中心街へのものが中心に思える。市街地から離れた郊外にはほとんど目が向いていないような印象があり、その点が非常に寂しい。
富山	40～49 歳	魅力ある地域というのは全ての項目が高水準になれば、魅力ある地域と言われるのではないか。
富山	40～49 歳	コンサート、舞台、サーカスなど非日常を味わえることの出来る事が県外に行かなくてもできる富山県になったら良い。ドームやホールを造ると他県から集客も見込め、県内在住者もいきいきとできると思う。
高岡・射水	40～49 歳	若い人が県外に行かなくても良い環境づくり。
高岡・射水	40～49 歳	「歩いて暮らせるまちづくり」を全県的に進めてほしい。公共施設の集約、公共交通の利用促進、車に乗れない人の支援など。
高岡・射水	40～49 歳	他県にない生活上のメリットや魅力を高めること。
新川	40～49 歳	富山県の良いところ、特に食に関することを重視する。富山は水、魚がおいしい、野菜も地産地消でおいしい。富山県らしい、田舎だけど良いところがたくさんあるということを進めていくと良い。
記載なし	40～49 歳	スキー場など自然環境と一体化したスポーツ施設や、トライアスロン、ヒルクライムなどの大会などを行ってほしい。
記載なし	40～49 歳	過疎地域を活力あるものにするための方策を県も考えてほしい。
富山	40～49 歳	車のいらない社会づくりを目指してほしい。
高岡・射水	40～49 歳	例えば福井のようにドームを建設し、多くのイベントやライブを富山県で体験したい。新幹線も開通し、東京方面からのアクセスも良くなった。自然も多く食もおいしい富山をこういうイベントの際に寄ってもらえたら、多くの人、特に若者が富山を知ることができ、また来たいという気持ちになるのではないかと思う。また外への人口流出も少なくなると思う。
富山	50～59 歳	まずすべきことは人間性を高めることであり、自己中心の考え方や行動から、他者を思いやり行動する方向へと多くの人が転換できれば、おのずと活気や明るさ、やさしさが広がって、住みやすくなる。
富山	50～59 歳	加速化する高齢化社会で安心安全で住み良い地域づくりを目指していただきたい。
富山	50～59 歳	人が訪れたい、住みたいと思えるまちづくり
富山	50～59 歳	美しい里山の保全と限界集落への対策を検討願いたい。
高岡・射水	50～59 歳	自動車がないと買い物にも行けない人が多いと思う。地域交通網を充実させれば、高齢者も外に出ることで、消費や社会参加、地域商店街のにぎわいなどの効果があると思う。
高岡・射水	50～59 歳	射水市で行っているタクシーの乗り合いが全県下であれば良いと思う。バス路線近くの住民は便利だが、少し外れると利用しにくく、特に足腰が都合悪くなった高齢者は利用できない。出張スーパーマーケットなども充実すると良い。
高岡・射水	50～59 歳	これまで以上に国際的な交流を図ることで、県の魅力のよりレベルアップにつなげていけるのではないか。
高岡・射水	50～59 歳	村中に毎年空き家が増えている。逆に担い手のなくなった田畑が埋め立てられ、新興住宅地になっている。20～30年前の新興住宅地の子も大人になり、別に家を建てた。農地が減っている。定年後に畑でもとと思って、町の人は農地を買えない。農地は地球の温暖化、食糧不足の解消からも大切だと思うが、担い手がない。
新川	50～59 歳	中山間地や山村部で限界集落が増える中、里山や山村が管理されないまま、荒れ果てて地滑り等の災害も懸念される。市街地への機能集約を進めるばかりでなく、中山間地や山村部の観光振興、定住促進と防災面の強化、アクセス道路や交通手段の整備をしっかりと進めてもらいたい。
富山	60～69 歳	一人ひとりが地域を活性化する気持ちを持つことが大切だと思う。
富山	60～69 歳	富山県が元気であるには高齢者から若者まで共存する事が重要。それには、働く場と富山県に魅力があることだと感じる。
富山	60～69 歳	高齢者を優先する政策を転換し、若者が集まるまちをつくるべきである。
富山	60～69 歳	山間地の克雪対策に力を入れ、住み良い地域づくりを目指すこと

富山	60～69 歳	若者を中心に、より賑わいのあるまちづくりのため、大学の誘致、プロスポーツの強化などに取り組んでほしい。
富山	60～69 歳	少子高齢化が進み、町内でも空き家が多くなり、商店街も空いている。創意工夫して県外から若者が移ってきたいと思う富山県にするため、家賃を安く、教育費の補助などを望む。
富山	60～69 歳	大学や専門学校等、教育機関を増やし、若い人を増やした方が良い。
富山	60～69 歳	富山ならではのブランドをさらに高めて、日本国内、中華圏、東南アジアへ発信する。
富山	60～69 歳	男女問わず働く場所、機会があり、若者が富山県で定住できる環境づくりが重要。人口減を最小限に食い止めることが重要と考える。
高岡・射水	60～69 歳	古くからの習慣的な行事がどんどんなくなっている。
新川	60～69 歳	当然のことながら、地域に活力があれば人々は集まり、ますます輝きを増す。コンパクトなまちの構築、それには今まで以上に県内で働きたいと思う企業が不可欠ではないか。
新川	60～69 歳	富山県で働き、生活することに魅力を感じることができるよう地域づくりが重要。
新川	60～69 歳	身近な低い山も県民にもっとアピールして低山を歩くことで健康にもコミュニティにも魅力ある地域づくりにもまた地域を誇れることにもなると思う。
富山	70 歳以上	各市町村の特徴が生かせる形での市町村の連携が進むことを誘発、奨励してほしい。住民の意思を尊重する方法、住民全体のまちづくり。
富山	70 歳以上	今、全国的に過疎化と人口減で、集落や自治体の存続が危ぶまれている。魅力ある地域づくりは、単独で成り得ることではない。子育て、教育、医療福祉が総合的に機能してはじめてそれが達成されると思う。そのためにはまず働く場所の確保ではなかるうかと思う。また、働く場所は、若者のみならず高齢者にも合った仕事を確保すべき。
富山	70 歳以上	山村地域が取り残されることのないよう、魅力ある地域づくりに力を入れてほしい。
富山	70 歳以上	富山県は住み良いまちだと思っている。
富山	70 歳以上	中心市街地に賑わいを持たせても、郊外は寂れるばかりで、残ったのは老人ばかり、交通手段もなく、社会参加、文化に触れようにも遠くて行けない。文化的施設がだんだん消えていく。生家の辺りは昔の面影が何もなくなって寂しい限り。
富山	70 歳以上	伝統行事等の保存には人材や経費の問題があるので、助成金を出してほしい。
富山	70 歳以上	地震が太平洋側に発生することを予想し、今こそ富山県への移住、転居策を積極的に打ち出すべきである。
高岡・射水	70 歳以上	県管理の道路、特に橋梁の修理補強の早期実施
新川	70 歳以上	各市町村がその地域にある特色を生かし、住民と企業が様々なイベントを通じて心豊かな地域づくり、物資双方の手助け。

⑤まちの賑わい

地域	年代	内容
富山	29 歳以下	富山市の中心である中央通りを活性化してほしい
富山	29 歳以下	富山駅周辺をただ単に高層ビルを建てるのではなく、富山独自のものをつくり、観光客の集約に努めるべきである。
富山	29 歳以下	中心市街地に駐車場が少なく、なかなか行く気にならない。新たな施設が増えているが、土日は空いているコインパーキングを探すか、付属の立体駐車場に停めるため、行列ができてきている状況。もっと安く気軽に停められる場所があると行くのだが。
富山	30～39 歳	中心地に人を取り込むだけでなく、郊外の人の流出も激しいので、郊外でもいかに地域がにぎわうかを考えるべき。
富山	30～39 歳	若者が富山でショッピングを楽しむ環境が全くない。特に中心部。
富山	30～39 歳	商店街のにぎわいづくり。地域で買い物し、暮らし、周りの人たちと交流する。当たり前でなくなった当たりの幸せを感じられるように、地域で生活できるような環境づくりを大切にしてほしい。
富山	30～39 歳	観光、福祉、芸術文化に関しては十分だと思うが、まちの賑わいに関しては感じない。
高岡・射水	30～39 歳	車に乗れない高齢者、子供などが、まちなかでも楽しめる場所などが増えると良い。今、いろいろなものが閉店し不便。
砺波	30～39 歳	北陸新幹線が開通して、金沢は古都としてにぎわっている気がするが、富山はそうでもない気がする。もっとおいしい食事、空気、水などをアピールしてほしい。また、観光地もまだまだ少なく、若者がデートする場所も少なく、金沢に流れている気がするので、県、市レベルからの底上げし、にぎわうまちづくりをしてほしい。
新川	30～39 歳	県の東西（高岡方面、新川方面）でまちの賑わい（ショッピングセンターなど）の差がある。市町村ごとで、支援が異なるため県である一定の規定、基準となるものを決めて取り組むと良いのではないか。

富山	40～49 歳	石川県は大学が多いため、大学生も多く、若者も多く、にぎわいがある。大学卒業後も県内に残り、就職、結婚、子育てしているため、出生数はあまり減少しておらず、富山県との特に若者年少人口の格差が広がっている。
富山	40～49 歳	市街地の活性化（総曲輪）に期待している。駐車場無料にすることで、行きやすくなる。
富山	40～49 歳	町内の人口減少と中心部の過疎化が進み、活性化が必要だと思う。イベントやブランド店などがもっと必要。
富山	40～49 歳	富山駅前に盛り上がりしてほしい。
富山	40～49 歳	産業、観光振興共に新幹線効果はそれほど伸びてきてないと思う。もっと明るい富山県をアピールして、たくさんの人が足を運んでくれるような賑わいが必要。産業＝観光＝物流だと思う。
富山	40～49 歳	あまりにも元気がなくなってしまった富山市の中央通りに何か良い方法を考えてほしい。中心地にマンションが多すぎるのではないかな。
富山	40～49 歳	マンションを中心部につくっても、周辺に買物や遊びに行くところがない。もっと県民の目線で見てほしい。買い物はいつもファボーレやイオン。他県から遊びに来た友人に連れていってあげるところが正直ない。
新川	40～49 歳	黒部宇奈月温泉駅周辺について、人が集まるにぎわいのまちをつくってほしい。
富山	50～59 歳	まちが賑わいを取り戻すために空き家を利用したリノベーションが必要である。都会ではどこにでもあるようなお店、あったら便利なお店やショップが必要。
富山	50～59 歳	昔の総曲輪通りの賑わいはどこかの街で必要だと思う
富山	50～59 歳	富山駅前や西町は少しずつ良くなってきているが、まだまだワクワク感がない。どうしても他県に行ってしまう。シニアになっても活気がほしいし、どうせならお金は富山県に落としたい。
富山	50～59 歳	若い人が富山に戻ってきて、生活したいと思えるような魅力的なまちづくりをしてほしい。息子は遊びに行ける所がもっとあれば良いのと言っている。
高岡・射水	50～59 歳	富山市市街地の活性化をさらに進めてほしい。万全とはいえないかもしれないかもしれませんが、安くておいしい店舗の集まるビル等は魅力的だと思う。
新川	50～59 歳	アーケード通りを明るく風通しを良くし、県外からの観光客を呼び込む。県内産の製品を一堂に集める。
新川	50～59 歳	若者が故郷に帰り、安心して働いて家庭も持てるよう、仕事も学校、病院、住宅と新しいものではなく、古い建物をリフォームして、富山県は住みやすいということを実践して全国に紹介できればと思う。
新川	50～59 歳	県西部は大型店が進出し、一時的ににぎわっているが、県東部はどうか。県全体がにぎやかになることを望む。
富山	60～69 歳	自然環境にも恵まれ、素晴らしい県民性を持つ富山に足りないものはやはり駅周辺の中途半端さ。もっと若い人たちが魅力を感じるまちづくりをしてほしい。
高岡・射水	60～69 歳	ネット社会の浸透に伴い、若者がまちなかへ出向くことが少なくなっており、昔の総曲輪、中央通りの賑わいを知る者にとって残念な時代になりつつある。ぜひ町中の賑わいを戻すべく、さまざまな施策を講じていただきたい。
高岡・射水	60～69 歳	高齢者の一人暮らしや増え続ける空き家、良い対策を考え、活力のある街になるよう望む。
高岡・射水	60～69 歳	高齢化が進み、まちのにぎわいがだんだんなくなっている。年配の方々の活気や活力が保たれるようなまちづくりがあれば良い。子育て支援は随分と目を向けられて、対策は取られているように思われる。
富山	70 歳以上	人口減が現実問題となり、インフラコスト削減が急務となると思うので、可能な限り人口を都心部に移動させる政策を立案すべきである。
富山	70 歳以上	大和が移転してから、総曲輪がもっと賑わうと期待したが、あまり変わらず残念に思う。総曲輪商店街の方がイベントなど計画されたらと思う。
富山	70 歳以上	安定した賃金の払える企業を誘致し、若い人の子育てをしっかりとできるまちづくりを目指せば、まちのにぎわい、商店も活気が出るのではと思う。何事も基礎に戻り、考えることが必要。
富山	70 歳以上	中心部のにぎわいと交通網の整備。並行して郊外地域の活性化。
高岡・射水	70 歳以上	富山市の賑わいも他の地方高岡、射水、小矢部など小都市の賑わいも大切。
砺波	70 歳以上	どの市でも土日の商店街の賑わいが無い。その賑わいを戻すためには、各商店の協力も必要だと思うが、必須事項だと思う。

⑥ 出会い（結婚）支援

地域	年代	内容
富山	30～39 歳	まず人が増えない事には何も始まらないと思うので、県内で住んでもらうために出会いの支援は必要と思われる。その次が子どもだと思う。
富山	30～39 歳	結婚して子どもを持つことが当たり前でなくなっている。人口増加を狙うのであれば、メリットを出す必要がある。例えば、25 歳までに結婚すれば独身とは明らかに違うほどの税金の優遇があるなど。また、子どもを持つことで新たな優遇枠を追加する。分母が増えれば将来的にはプラスになる。
富山	30～39 歳	少子化が進んでいるのも結婚しない若者が増えてきているからだと思う。人口減少に歯止めを。
高岡・射水	30～39 歳	もっと若い人が結婚したい、子どもを産みたいと思える環境が必要。給料が安くてそんな考えにはならず、思えた時には 30 代になってしまっている。
砺波	30～39 歳	若者の独身者が多くなる一方で、老人が増えているこの社会。少しでも良い出会いから子育てまで安心した県の取り組みをお願いしたい。
富山	40～49 歳	高校もしくは 20 代前半でライフプラン等を作成、結婚、子育て等具体的な目標となる目安を示し、自ら考え行動できる人材育成につなげられるようにしてはどうか。
砺波	40～49 歳	婚活イベントをもっと頻繁に開催してほしい。
砺波	40～49 歳	出会いの場がほとんどない状況（特に男性）で、30 代、40 代になってしまった人が多数いる。
砺波	40～49 歳	出会い支援を市町村、県全体でバックアップすることが大切だと思う。
富山	50～59 歳	娘になかなか出会いがなく、イベントを増やしてほしい。娘はスポーツが好きで、そのようなイベントもあったらうれしいと思う。あまり多人数でなく、男女合わせて 40～50 人くらいが良いと思う。
富山	50～59 歳	富山マラソンのような参加制限の緩いイベントを増やし、出会いの場や交流の場を増やしていくべきだと思う。小額の参加費をとり、イベントの質を上げるべき。
高岡・射水	50～59 歳	婚活事業に公的サービスを導入してほしい。（安心して個人情報の登録ができる）
砺波	50～59 歳	周りにも若い男女の出会いがないと 1 人である人が多い。出会いの場をつくってあげた方が良い。
富山	60～69 歳	「農家の長男」ということで独身の男性が多い。農業をもっと魅力のあるものに変えてほしい。
富山	60～69 歳	結婚して子どもができて人口が増えないことには全ての展望、計画が進行しないので、行政は特に出会い結婚支援を積極的に進めてほしい。
富山	60～69 歳	非婚を希望し、仕事をずっと続けていきたいとする女子大学生が 50%とのアンケート結果があった。男性が余るわけである。女性が活躍できて、婚活できる雰囲気づくりをお願いしたい。
富山	60～69 歳	未婚晩婚化の原因は非正規雇用に伴う低賃金、雇用不安等、経済的理由がある。結婚後の子どもの教育費を考えると、少子化にならざるを得ない。
高岡・射水	60～69 歳	今後の富山県づくりにおいてまず人口増加が重視されるべき。中高年、もしくは若い年代の独身者が多く、子供が少ない。県がもっと結婚支援に力を入れると並行して、子育て、教育支援に力を注ぐべきである。
高岡・射水	60～69 歳	子どもの男性の友人に独身の人が多い。なかなか出会いの場を見つけれないようだ。
高岡・射水	60～69 歳	社会生活の基盤は、経済であり、その裏付けは人口であり、今後の人口問題、少子化に深く関係するのは適正年齢までの結婚による丈夫で元気な子どもの出生である。
高岡・射水	60～69 歳	晩婚化が進んでいるので、おせっかいお婆さんが増えれば良いと思う。高齢化が進み、できるだけ健康寿命を伸ばせるように、いろんな工夫がされると良い。
新川	60～69 歳	結婚及び離婚に関する定期的なセミナーの開催。社会参加教育の充実（義務教育期間中に実施）。子育て支援（長時間保育の連携）。
砺波	60～69 歳	若い人の結婚支援活動。子育て問題をセットで。
砺波	60～69 歳	最近は婚期が遅くなり、子育てする夫婦の年齢が高くなっているの、育休も取りづらい年齢だと思う。子どもとのコミュニケーションがもっと取れる勤務体制が必要かと思う。
砺波	60～69 歳	周りにも未婚の人が多く。これが解決しないと人口増加にもつながらない。
砺波	60～69 歳	出会いの機会を多くつくれば良いというものでもない。結婚に至るまでお見合いの成果が出るよう、お見合い学校をやり、相性が合う相手を見付けるためのコンピューター診断、きめ細かい結婚相談所の充実、結婚後の生活支援のための経済的支援など。総合的に施策を実施し結果としての結婚数の増大を目に見えて増やすことが必要。
砺波	60～69 歳	少子化の加速を食い止めるため婚活の事業化を促進（事業主体へ補助制度なども加える）。

砺波	60～69 歳	結婚したくない若者が増えていて、ひとり者がそのまま今度は親の介護などがのしかかり、さらに遠のいてしまう現実、これでは子どもも増えず、人口は増えない、まず結婚してもらいたい。
砺波	60～69 歳	子どもが結婚に興味がなく、婚期が遅れている。
富山	70 歳以上	今の若者の働き方はフリーターが多い。働く人の身分の保障がなく、生活の安定はない。出会いがないので子育てもない。少子高齢化の改善にならないのではないかな。
富山	70 歳以上	地域単位の中で校下ごとの出会い支援を目的としての情報収集会を開催して地域の特色をつかみ、特徴的なネタを探し出すことから発展させていけばどうか。
富山	70 歳以上	どんなに環境が変わっても若い人たちの教育、特に結婚しない独身者がだんだん増えていくと思う。まずは出会いに力を入れて1人でも多く子どもを産み育ててほしい。
高岡・射水	70 歳以上	40～50 代の未婚者が非常に多いと思う。機会をつくれればまとまるケースが多いと思う。ぜひ取り組んでほしい。
高岡・射水	70 歳以上	若者が集まる県になれば、結婚する人がいるのではないかな。わが町も若者はみな県外で生活している。
新川	70 歳以上	単身者が増加傾向にあり、高齢化して空き家となるケースがこの先多くなると思う。地域ぐるみで婚活に力を入れているが、効果的であるのなら、もっと力を入れて協力したい。

⑦ 産業振興

<各種産業の振興・企業誘致>

地域	年代	内容
富山	30～39 歳	経済が良くての生活と思っている。
富山	30～39 歳	高岡や井波などの伝統産業、医薬品製造など、全国や世界にアピールできる産業のますますの推進を。
富山	40～49 歳	産業振興で、生活の基盤が整わなければ次の課題に取り組めない。
富山	40～49 歳	地元大企業の調達先をもっと地元業者の割合を増やすよう、県からの指導等が必要。
富山	40～49 歳	郊外部への産業等にもっと力を入れてほしい。
高岡・射水	40～49 歳	多数のことを全て良くすることより、まずは景気回復により各家庭が潤えば、自ずと他のことも良い方向に行くのではないだろうか。その上で、悪い方向にいた部分を修復していけば良いと思う。個人的にすべてを満足いくものにするのは不可能だと思う。
砺波	40～49 歳	企業誘致をもっと進めてほしい。
砺波	40～49 歳	地場産業に支援を。
砺波	40～49 歳	もっと大学等の研究機関を活用し、中小企業が取り組みにくい次世代産業への参加のきっかけをつくるような仕事してもらいたい。
富山	50～59 歳	まずは景気に左右されない職域の確保と世帯収入の増加による経済好転につける。
富山	50～59 歳	特に若い方ややりたいことを仕事にするためのバックアップや支援体制を構築してほしい。必ずしも金銭的には上々といかなくても富山での暮らしが満足、充実した生活になるよう願っている。
富山	50～59 歳	まずは、産業振興をしっかりと行わなければ住民が集まらない。
富山	50～59 歳	産業発展及び農業が発展するような富山県になってほしい。自然にやさしい県になってほしい。
高岡・射水	50～59 歳	観光産業はどれだけ頑張っても、小京都金沢には勝てないので、わが県は商売で頑張った方が良い。そのためには、ロシアと仲良くならないと実現できない。
新川	50～59 歳	産業が活発であることが、若い人たちが集まり、街がにぎわい、魅力ある地域となるのではないかなと思う。
新川	50～59 歳	富山の農業は今後も深く密着して県内に付随していくべきものなので、全国の農学部（大学）の学生を活用した行政レベル、民間レベルの専門的な交流イベントを行うべき。
富山	60～69 歳	企業を富山県に呼び、人口を増加して、産業を活発にしてほしい。
富山	60～69 歳	工業に対する助成金が必要である。
富山	60～69 歳	産業を振興し、失業率を低下させ、税収を増やすことが独立県としての基本である。
富山	60～69 歳	企業誘致と起業家育成プログラムの充実を図る。
富山	60～69 歳	産業振興が一番。転出が転入より多いようでは問題。
富山	60～69 歳	県は第1次産業を、組合の活動を援助してきちんと成り立つようにすべきだと思う。
富山	60～69 歳	学歴重視だけでなく、個人の技術や技能等の汗を流して得た仕事を発掘し、若者に次世代の人々に継承してほしい。
高岡・射水	60～69 歳	特定の企業に資金援助はしてほしくない。今からどのような社会にしていけるか、またはなるかをみて先行投資してほしい。

富山	60～69 歳	中小企業で有望な会社を県として見極め、応援すべきである。
富山	60～69 歳	大きな企業やベンチャーも海外資本になりつつあり、富山県が首都圏に近くなっただけで、雇用は限られた職種にしかない。
富山	70 歳以上	他府県に負けない人口減少対策を重視し、基本的には産業振興が一番と考える。
富山	70 歳以上	高岡銅器等の PR と新製品開発。まずずし PR 新製品開発等に協力。
新川	70 歳以上	基本的に県民が満足できる働き場所があり産業振興することが大切である。就業可能性が増えるため、それに加えて、観光立県的に観光に力を入れていくべき。
新川	70 歳以上	新幹線を利用して、富山の住民が増えること、また企業が富山に多数参加するように考えた方がよい。そのために余っている土地を格安で提供するように土地対策を考えた方がよい。
富山	70 歳以上	農地転換がもっと自由になればよい。農地を委託したのに、用水費をいつまでも支払うのはおかしい。

<雇用・人材の育成など>

地域	年代	内容
富山	30～39 歳	勤めている人たちがいきいきと働ける職場づくり
富山	30～39 歳	実力のある若者が県外に出ていくのは問題だ。中小企業の未来が今は見えなくなっているような気がする。
富山	30～39 歳	適度な労働時間で働いても充実した生活が送れるような社会を実現してほしい。
富山	30～39 歳	若者の都市部への流出を防ぐために魅力ある雇用を増やすため産業に力を入れるべき。
富山	40～49 歳	雇用を増やして、最低賃金の底上げを図る。
富山	40～49 歳	雇用が安定すること、全てがそれから繋がると思う。非正規から正社員へ、非正規だと将来展望も持てず、結婚、出産もできない、明るい未来が見い出すことができない、色んなものを見据えるゆとりが持てない。将来への安心を期待したい。
富山	40～49 歳	農林水産業など、後継者不足の産業への支援、後継者育成に力を入れること。
新川	40～49 歳	若者が富山県に残ったり、戻ったりしてこられる環境、体制づくりが必要だと思う。
富山	50～59 歳	若者が元気に自立して毎日楽しく仕事ができるような会社環境を支援するような行政の取組みを期待している。
富山	60～69 歳	質の高い労働力を供給できる環境を整備するとともに、企業を誘致し、働く場所、雇用の確保により介在的に発展していくことが重要と思われる。
富山	60～69 歳	働きたくても働けない人や働かない人など、隠れた労働力を引き出して、労働力を向上して、人手不足を解消する方策をお願いしたい。
高岡・射水	60～69 歳	高齢化の進む富山なので、若い人がいついてくれるような県に。それにはやはり働くことが大事だと思う。
富山	60～69 歳	県内企業がものづくりの技術を生かして、若者が大学進学などで県外に行っても、県内に戻って仕事がしたい、県内の会社に勤めたいと思う環境が必要だと思う。
富山	70 歳以上	高等教育を受けた子どもたちの帰る場所がない。受け皿がなければ、人口の流出も止めることができない。
新川	70 歳以上	全国的にも富山県は住みやすい県と思うが、やはりもっと多様な働き場所が必要だと思う。高校を出て、都会の大学に行ったら、ふさわしい働き場所が少ないから帰って来なくなるのが困る。しかし、国際化の時代かなりの者が都会や海外で働く時代なので Uターンばかり求めるのも何とも言えないと思う。勤め（現役）が終わったら故郷へ帰りたくなるような県づくりが大切と思う。

⑧ 教育の充実

地域	年代	内容
富山	29 歳以下	先生方がもっとのびのびと子どもたちの教育に取り組めるようになると良い。新川地区の特別支援教育や卒後の支援がもっと充実すると良い。
高岡・射水	29 歳以下	未来をつくる子どもたち、中高生にもっと「個」を意識した教育をすべき。個人のレベルというのは仕方ないが、主体性を奪うような教育はやめるべき。
高岡・射水	29 歳以下	教育において学生が進んで勉強するような環境づくり
新川	29 歳以下	県内の大学機関で、専門的に音楽を学べる環境が必要である。
砺波	29 歳以下	貧困家庭の子どもがちゃんと自分が希望するところに進学できるような支援が必要だと思う。

新川	30～39 歳	子どもたちだけでなく、生涯学習したいと思えるような、環境づくりに取り組んでほしい。
新川	30～39 歳	私立高校の特色化への援助と授業料の無償化
砺波	30～39 歳	不登校になる子どもが多くなっている。働く親にも時間的に無理があるが、保育士、先生がオーバーワークになっている。負担により、子どものための時間が取れず悩みに気づかなかったり、相談する保護者がモンスターペアレンツとして扱われたりする。子どもがのびのび学べるよう、教員の立場を良くしてあげてほしい。
富山	40～49 歳	2～3 年すれば急激な少子化が進む。若者、子供にしっかり教育を進め、活躍してもらいたい。
富山	40～49 歳	教育の体罰問題。不祥事が多すぎる。教育者はしっかりしてほしい。
富山	40～49 歳	富山県でしかできない教育を。富山空港を利用したパイロット養成（県立大学航空学部など）
富山	40～49 歳	公立学校において児童数、生徒数が多い学校のクラスは少人数クラスにして、先生の指導や配慮が行き届くようにしてほしい。または T T 制（担任、副担任制）にして、子供達の個々にも目が向けられる学校にしてほしい。
高岡・射水	40～49 歳	とにかく人に対する投資
高岡・射水	40～49 歳	子育てとは何歳までの子どもが対象なのか。小さい子どもも大切だが、18 歳になると公共の助けはなくなる。20 歳になるまでは子ども。頑張ってはいるけれども収入が少ないので子どもたちは安心して進学できない状況だった。「学びたい」という心が尊重される富山県にしてほしい。
高岡・射水	40～49 歳	他県の教育レベルが上がっているため、富山県は相対的に学力が低下している。公教育のレベルを上げられないなら、多様な教育を受けられるようにしてほしい。
高岡・射水	40～49 歳	科学オリンピックや子どものものづくりの授業など、子どもたちが楽しくて育っていく教育面は充実していると思う。
新川	40～49 歳	人材の重要性、教育の重要性、経済状態の安定化がまず重要と思う。
新川	40～49 歳	体罰しないで済む方法を真剣に考えてマニュアル化してほしい。体罰をした教諭に対して、厳しい処分だけを行うことは簡単だが、人の心を踏みにじるようなことをしたなど、なぜ体罰に至ったかなどを掘り下げ、議論を重ねて、教育方法についてももう少し考えていく必要があると思う。障害児を持つ親のメンタルヘルスの体制強化をしてほしい。気持ちがなかなか前向きにならない。
砺波	40～49 歳	勉強だけでなく職場体験、子育て体験、社会体験を経験（学習）する機会を設けてあげると良い。
砺波	40～49 歳	女性の社会進出を進めるのであれば、子供の教育格差が少なくなるような政策を充実させてもらえると安心して働ける要素になると思う。
富山	50～59 歳	知識を詰め込むよりも、子どもたちが自分で考え自分で解決できる力を身につけられる教育を望む。
富山	50～59 歳	富山県の未来を担う子供達が一人ひとりの持つ能力を十分に発揮できるような富山県独自の教育システムがあれば良いと思う。
富山	50～59 歳	小中学校の校舎にクーラー設置をお願いしたい。
富山	50～59 歳	富山県は、公立の教育が充実しており教育費があまりかからず、質の高い教育を受けられると思う。教育費があまりかからず、質の高い教育が受けられることをもっとアピールした方が良いと思う。
富山	50～59 歳	学校教育で自由と利己主義の違いや社会保険等の仕組みなど、詳しく明確に教える必要があると思う。働く人で、年金手帳、雇用保険被保険者番号など、紛失してはいけないもの、一生変わらないものであるということを知っている人は本当に少ないのではないかな。
高岡・射水	50～59 歳	教育にもう少し予算をかけられたら良いと思う。1 クラスの児童生徒数が多く、先生の数も少なく、十分な教育がされているか心配。
高岡・射水	50～59 歳	県外進学で、そのままその地で就職する。そして家庭を持つから県内の人口が減少する。学校や就職するところが少ないからだと思う。
高岡・射水	50～59 歳	子どもたちの将来への選択肢が増えるよう、大学のレベルを向上しなければ、県外に流出し、そのまま県外で就職してしまうのではないかな。また、県内に就職したいと思う企業が少ない。
高岡・射水	50～59 歳	現在、財政的な理由により小中学校の統廃合が進められているが、いじめ対策や一人ひとりの能力を伸ばすためには少人数の教室や地域に分散した小中学校を維持する方が大切ではないかな。大規模になるほど、子どものいじめが増えるように思われる。
高岡・射水	50～59 歳	次世代を担う若い人たちの教育、人材育成は元気な富山県づくりのベースであると考えてる。
新川	50～59 歳	東京の大学に多くの人を送り、また東京の学生と富山が連携して活動を行うイベントを増やすべきで、これにより富山の活性化を図る。

新川	50～59 歳	教育力の低下がある。子供の教育的特徴が県にはない。県には特に魅力あるものが少ない。
富山	60～69 歳	教育の充実を図る以前の問題として教員のレベルアップが必要だと思う。意欲があり、生徒の手本となりうる人材に乏しいように思われる。
富山	60～69 歳	小中全学年 35 人学級の実現。個に応じた少人数指導教員の加配。正規教職員の配置を増やす。
富山	60～69 歳	全ては人材育成にかかっている。個人の多様な能力を発見し育てる教育者をどう配置できるか。
富山	60～69 歳	大学ばかりが教育ではない。職業教育に力を入れるべきである。高校を卒業し、職業教育を経た後に大学を希望する者は大学へと。
富山	60～69 歳	これからの子どもたちにもっと情操教育をしてほしい。高齢者社会になり、今後在宅医療に頼らなければならないので、心配。
富山	60～69 歳	学校教育に道徳時間が必要だと思う。思いやりの心、人の痛みの心等が薄れている現代社会であり、個人主義的な人々が増えていると思う。道徳の心は財産である。
高岡・射水	60～69 歳	不登校の低年齢化が懸念される。小学校にはスクールカウンセラーの常駐が望まれる。教員の中に発達障害者が少なくないため、対応策が必要。
高岡・射水	60～69 歳	教育に力を入れ、より良い人間を育てることが大切である。
高岡・射水	60～69 歳	少子化の時代に伴い、教育する立場の人は子ども一人ひとりに向き合って進路を考えてほしい。教師の立場から叱る罵るといった言葉は慎んで、子どもの目線に戻してほしい。
高岡・射水	60～69 歳	近頃、叫ばれている中学校の部活動の現状を把握してもっと本腰を入れるべき。退職者（65 才以上）の活力をもっと利用すべき。
高岡・射水	60～69 歳	幼・保・小で、気になる子が年々増加している。専門機関もいっぱい細やかな対応ができていないと思う。各市町村または、呉東呉西の真ん中にもう 1 ヶ所、増設すべきではないか。特別支援学級や学校の対応を求めたい。放課後児童クラブは各学級で受け入れ時間が違うが、短時間で行っている学級があり（9 時～17 時 30 分）、親の就労時間に支障がある。せめて、8 時～18 時 30 分であれば、就労時間に影響を与えない。受け入れ時間の拡大を望む。
砺波	60～69 歳	教員の大量定年退職者が出る時代を迎えるが、それに伴い、大量採用の時代になり、教員の質の低下が懸念される。有能な人材の確保のため、教員の職場条件を魅力あるものにすべきではないか。
富山	70 歳以上	大学の一般市民への開放により、誰でもいつでも好きな時間に好きな学科を学べる場があれば良い。
高岡・射水	70 歳以上	公立高校の授業料の無料化。奨学金返済免除の拡充により、卒業後に一定の期間その関係職につけば返済免除。特に介護分野は政策として早急にすべきである。。
新川	70 歳以上	初等中等教育の充実、将来の日本を左右する根幹であると考え。いじめのない、人に思いやりのある子どもを育てることが最も重要なことであると考え。
新川	70 歳以上	道徳教育の充実。社会人教育の充実。教員、教育者養成の充実。
新川	70 歳以上	学校教育の在り方について、偏差値の高い学校を目指して努力されている先生も多いと思うが、いじめや暴力、自殺、不登校など、問題を抱えている教育現場もあると考える。悩みや個々の思いを十分に聞いてあげる、信頼と安心できる教室へ登校できるような支援も担任の仕事なのではないかと思う。
砺波	70 歳以上	全ての人が自然の大切さを学ぶことが重要。経済優先にして、環境を破壊し、人間の体を壊すことは良くない。正しい教育が必要。
砺波	70 歳以上	ほとんどの子が大学に行く時代だが、学んだ教育に適した職業に就くことが出来ない現状がある。例えば、教育学科を学んでも先生にはなれないという現実。県離れはこういった実状もあると思う。各自に合った就業に必要な事を習得でき、確率の高い教育を受けられる大学も必要だと思う。

⑨ 環境の保全

地域	年代	内容
富山	40～49 歳	新幹線が開通し、県外からの人や外国人も増加すると思うので、美しい富山を印象に残してもらうため、街並みの整備、自然の整備などきれいな富山を目指してもらいたい。
富山	40～49 歳	地球温暖化に気を付けないといけないと思う。
富山	40～49 歳	県の間伐材を利用し、県内産割り箸の普及。水力発電の増設。電気自動車の助成拡大（新車、中古車）。
富山	40～49 歳	水質悪化の不安があるため、陸砂利採取の規制強化。洪水対策にもなるため、河川の土砂（堆積の多い箇所）の採取を認める。
砺波	40～49 歳	水資源を守るためにも森林の保全にもっと力を入れるべきだと思う。

記載なし	40～49 歳	企業を富山に呼ぶことは良いと思うが、公害や災害があった場合に安全か心配。
富山	50～59 歳	自宅融雪のための地下水のくみ上げ。下水管の本管があっても未接続の家。自己都合による環境破壊を取り締まるべきだと思う。一人一人が自分のできる事をやらなければいけないと思う。
富山	50～59 歳	10年後の元気な富山県、そしてシンガポールのようにきれいな富山県に。特に自宅の前の県道は、ポイ捨てがよくあり、拾っている。県民の意識を高めポイ捨てする人をなくすにはどうしたらよいものか。
富山	50～59 歳	石川県の原発をなくしてほしい。これをなくさないと何をやっても無駄だと思う。
富山	60～69 歳	災害に強く、自然を守る対策
富山	60～69 歳	素晴らしい環境や自然等が崩れてくることが必ず出てくる。厳しい条件をつくっていくのが最も重要。ふるさと富山の素晴らしさを確実に守っていくことが大切。学術研究やスポーツ文化等により力を入れるべきである。
富山	60～69 歳	恵まれたこの地に生活できることのありがたさに感謝している。これからもこの自然環境を守ってほしい。
富山	60～69 歳	地球の温暖化対策に真剣に取り組んでほしい。最近、特に異常気象が頻発している。もう火力発電はやめて化石燃料の使用はしない。再生エネルギーも心もとないので原子力発電所を早期に再開するように推進してほしい。
富山	60～69 歳	立山の環境保全はこれで良いのか。いろいろな国の人が立山に来られるのは良いが、昔に比べてマナーがとても悪くなっていると思う。野鳥や動物が生存するのに悪いのではないか。
富山	60～69 歳	各地域の特性を生かした政策が大事。エネルギーの多様な活用方法。原子力は廃棄物処理方法が確立されておらず、未来に禍根を残す。LED等、省エネ政策に投資する。
高岡・射水	60～69 歳	富山県の山、河川、田園などの恵まれた環境、少なくとも今日まで守られてきた環境を守り、維持していくこと。
高岡・射水	60～69 歳	地熱エネルギーの実現に期待している。
砺波	60～69 歳	100年計画で針葉樹から落葉樹を増やし、紅葉の見られる山にしてほしい。植林予算も植えるだけでなく、木が成長するための予算にも使って、豊かな森をつくってほしい。水ダムをつくる。河川工事も魚の住める川にし、自然の川にしてほしい。
砺波	60～69 歳	富山は他県に比べて美しい景観は優れていると思う。長期滞在型の観光を進めるのが良いと思うが、そのためには環境の保全が不可欠。ペンペン草が生えているようでは、景観が損なわれる。
砺波	60～69 歳	美しい景観が残っているところ、農村、都市部いずれも詳しく調査して、田、道路、歩道を美しく手入れするため、草刈りを徹底して行い、シルバーを活用して、花で飾り、自転車で走れるように整備する。
富山	70 歳以上	個人及び企業から公害を発生させない富山県を。例えば、除草剤のいない田地管理、ドジョウやタニシの泳ぐ田地づくりを。
富山	70 歳以上	環境の保全について、ボランティアの活用。山林の保全等、もっと積極的に参加しやすくする。登録団体は増えているが、名前だけのところが多いようである。
新川	70 歳以上	原発に頼らないエネルギー政策のもと、豊かな自然を有する富山県で、子どもを産み育て、平和が続くことを願う。
砺波	70 歳以上	県が進める地熱発電所計画の見直し。企業が進めるのは納得できるが、県が主体となるのは違和感がある。県の地形を利用した小水力発電を増やして対応できないものか。
富山	70 歳以上	ソーラー、風力、水力、地熱等の自然エネルギー、生物エネルギーのような循環型エネルギーの活用を推進すべき。その一つとして、利賀ダムを利用して水力発電なども検討してはどうか。

⑩ 社会参加、芸術文化

地域	年代	内容
富山	40～49 歳	スポーツやライブ等ができる大きなアリーナがあれば良い。
富山	40～49 歳	人づくり、文化の継承が重要。学力向上だけでは人として寂しい。文化のエッセンスが加わり、人として深みが生まれると思う。文化ではおカネを産みづらいが、豊かな人材が生まれる。豊かな人を育てることにより、地域の魅力が生まれ、そうすることで人が集まり、観光客への増加にもつながるのではないか。
高岡・射水	40～49 歳	教育は今のままではだめで、学校に頼り過ぎであり、家庭の余裕がほしい。地域サービスをNPOやボランティアが支えれば良いと思っている。
新川	40～49 歳	女性の社会進出は結構だが、男性の育児や家事など当然必要になってくるので、各企業と一体となって支援してほしい。イギリスでは義務化している。

富山	50～59 歳	家族間のつながりが希薄になっているのと同時に、他人との関わりがなくなってきた。このままでは自殺者が増えたり、孤独死が他人事ではなくなってくる。人間同士の接点を持てる集まりを積極的に広げる努力をしてほしい。
高岡・射水	50～59 歳	大伴家持生誕 1300 年、今年から来年にかけて、これをどのようなイベントで盛り上げていくか。高岡であり富山県の本当の実力が試されている。
高岡・射水	50～59 歳	女性が働きながらも健康でいきいきと生活できるようになったら良いと思う。まだまだ仕事でも家庭でも男尊女卑の傾向が多く見られると思う。
高岡・射水	50～59 歳	富山は共働きの家庭が多いが、子育て及び出産後の女性が正規社員として働ける場を求めている。国も同一労働同一賃金を考えている。共働きの多い富山県も考えてほしい。
砺波	50～59 歳	「社会参加、芸術文化」と併記する考え方ではなく、もっと芸術文化を重視すべき。
記載なし	50～59 歳	行政的に動かすのではなく、行政で流れを決め、後は県民が自分たちでいきいきと活動できるようにすると良いと思う。
富山	60～69 歳	元気な県づくりをするためには、それを支える人づくりが一番だと思う。富山のために何かしたいと思っている人はたくさんいるはずで、その人達を掘り起こすのが良い。
富山	60～69 歳	国民年金生活者でも気軽に参加できるようなリーズナブルな会合はほとんどない。
富山	60～69 歳	富山県美術館に期待している。金沢 21 世紀美術館のように建物自体がワクワクするような芸術作品になっていけば良いと思う。遊び心も大切。
富山	60～69 歳	郷土愛はすごくあるのだが、それを発揮する場がないと思う。もっと参加できる場をつくってほしい。
高岡・射水	60～69 歳	富山の人には人見知りが多く、他国や他県の人と笑顔で明るく話せない人が多いと思う。東京で若い人と話す機会があった時、富山のお勧めの所があるか質問された時にも、自信をもって多くの良いところを紹介したところ、ぜひ行ってみたいと言われ、うれしい気持ちになった。
高岡・射水	60～69 歳	生涯学習、文化活動の充実により、住み良い住みたくなる地域づくりにつながる。具体的には演劇やコンサートなどがもう少し充実すれば良いと思う。
砺波	60～69 歳	高齢になっても自ら考え、自ら解決するという気持ちが大切と考える。自立した高齢者の割合が多くなるような施策を期待する。
富山	70 歳以上	長野県のように、文化施設を郊外につくってほしい。
富山	70 歳以上	高齢者の経験をできるだけ活用することで、少しでも若い方々を育てることにならないだろうか。
富山	70 歳以上	産・学・官とくに県が中心になり、地域おこし、町おこしで、高齢者であっても今まで通り働ける場を提供し、その人に合った仕事を提供できる職場づくりが必要ではないかと思う。人は死ぬまで学習である。特に、中高齢者にとっては、頭を使うことによりボケ防止にもなる。
高岡・射水	70 歳以上	高齢化が進み、退職者が増えている。この高齢者が老後の生きがいにボランティア活動の参加を期待したい。

■その他

<安全・安心な暮らし>

新川	29 歳以下	空き巣に入られたが、犯人は分からず、犯罪に危険を感じる。
富山	40～49 歳	空き地、空き家対策。融雪装置等雪道の安全対策
高岡・射水	40～49 歳	冬になると融雪している道路としていない道路とものすごく差があるので、融雪装置が整っている道路になれば良いと思う。
富山	50～59 歳	高齢者が増えて、自動車事故も増加すると思う。免許返納した時に月 5 万円とかもらえたら、もっと外に出て安心して出かけられ、元気になると思う。
高岡・射水	50～59 歳	今後増えるであろう空き家への対策が必要。防犯の面や古くなった家の安全面について考慮していただきたい。
新川	50～59 歳	インターネットや TV ショップなど画面だけで買い物する傾向だが、専門店でのアドバイスを聞いて納得して安心してセレクトできる消費者が増えてくれれば良い。私も個人店ではネットで買ったクレームをお客様からよく言われる。人と人との会話、商品を手にとって確認できる安心だと思う。宅急便などいろんなトラブルもある。
富山	60～69 歳	空き家と老朽化した建物などの再調査と発掘により、ニーズに応じた活用をお願いしたい。
富山	60～69 歳	空き家が多く人口減少により町の乱れを感じる。ボランティア（町内）を使って、その家の管理を行うべきではないか。
富山	60～69 歳	高齢化、子育て支援、みんな重要なことだと思う。住みやすい富山県という土地そのものの環境を整えて安全に暮らせるようにありたいと願う。

富山	60～69 歳	高齢化に伴って、若手がおらず、冬場に除雪車が入っても、玄関前、車庫等まわりの除雪ができない困難を感じる。融雪装置等の設置、補助金を強く願う。
富山	60～69 歳	旧富山市外に通じる交通要点の交通渋滞の緩和施策として、交差点付近の道路整備を自然災害対策、交通安全対策として検討していただきたい。
富山	60～69 歳	災害時に県として被災者支援を迅速に対応してほしい。
新川	60～69 歳	新幹線の騒音がうるさくて毎日本当に大変。
新川	60～69 歳	文化やスポーツの向上よりも、県民の安心安全の確保に資金の注入、努力をしてほしい。
砺波	60～69 歳	核家族や一人暮らし、結婚しない人が自宅の近くでも多くなり、数年後には空き家も増えると思う。防犯も心配で、人口増加の対策をお願いしたい。
富山	70 歳以上	小中学校生徒の通学道路の整備が十分でない。歩道の除雪、除草等安全面に力を入れてほしい。
富山	70 歳以上	大災害、特に大地震が襲ってきた際の速やかな様々な連絡方法、応急対策等を一冊の冊子で配布できるような対策があれば良いと思う。大地震が起こってしまったから住民が右往左往するのは残念な結果となる。設問No.60 の重要度は大きいと思う。
富山	70 歳以上	避難場所について、家の近くにあるのに、なぜ遠くまで行く必要があるのか。指定の場所に着く前に死んでしまう。
富山	70 歳以上	県道消雪事業の促進。山間部の無人家屋撤去への補助促進
富山	70 歳以上	県内の用水路の安全対策は非常に不十分だと思う。安全対策への予算を充分に取り、高齢者等の事故を減らすよう努力してほしい。
高岡・射水	70 歳以上	道路の修理をされることは良いことだと思うが、アスファルトを少しずつ高くし、歩道の境目をきれいにし、段差がないようにしてほしい。自転車でも縁を走っていて、自動車が来た時、段差の所が本当に危なく、滑って転ぶ時がある。大人だけでなく、子どもも走行するので、検討してほしい。
砺波	70 歳以上	安全で住みよい地域を目標に努力をお願いしたい。例えば、道路通行については道路標識の充実、交差点の改良、改善など。工事が冬期に多い。予算の関係があると思うが、時期をずらして工事することをお願いしたい。

<スポーツ振興>

地域	年代	内容
高岡・射水	60～69 歳	富山県は進学県で有名だが、スポーツ関係はあまり関心がなく、特に陸上競技は弱い。都道府県女子駅伝では、テレビで応援したが、2年連続最下位で情けない。もっと力をつけるよう、強化施策を求めたい。
富山	70 歳以上	陸上、マラソン、水泳等、県の施設で補助員、トレーナーの常設、時間記録をとったり運動補助、助言したりする施設を設け、県内外の利用者を募る。
高岡・射水	40～49 歳	富山マラソンのメリットとデメリットの公表。関係していない業種は交通網が寸断され、営業すると極端に売り上げが下がり、赤字日になっているという話をよく聞く。

<県の将来像など>

地域	年代	内容
富山	40～49 歳	若者が遊べる、子どもたちが元気になる魅力ある地域になってほしい。
富山	40～49 歳	特に富山市郊外は高齢化が進み、若者が少ないため、不便になる上、学校も合併するなど、若者が離れていっている。
高岡・射水	40～49 歳	新しく取り組むことも必要だが、古い技術も残し、その大切さを若者に教えることも大事と考える。子どもたちがいろいろなことに興味を持って、大好きな富山県と言ってもらえるようになってほしい。
新川	40～49 歳	具体的には浮かばないが、富山県の未来や財政面に関して、漠然とした不安がある。高齢者の問題も大切だが、これからの子供達が未来に希望をもって暮らせる富山県になっていけたらと思う。
新川	40～49 歳	誰でも富山県が良い県になってほしいと願っていると思う。この様なモニターを通じて、小さな声を拾っていき大きな改革を起こしてほしい。一人一人が笑顔で暮らせますように。
砺波	40～49 歳	住みやすいイコール活性化ではないと思う。高齢者や子どもたちにやさしい社会であってほしい。そのためには少々の痛みは伴っても仕方ないと思う。
富山	50～59 歳	超高齢化社会が進行し、消滅都市が県内にも生じる。県全体のグランドデザインとして、パリやリヨンなどをモデルとしてほしい。危機感をもって行政を実行してほしい。具体的には農業地域、工業地域を完全に分けて、市街化調整区域を拡大して各駅周辺の居住区、商業区の集約化を行うべき。脱車社会を目指し、真の意味でのコンパクトな街区を形成して、鉄道または路面電車デュアルビークルを活用すべき。

高岡・射水	50～59 歳	地域の行事に参加する若者が少なくなり、行事より勉強という親が多くなってきた。勉強すれば大学、大学すなわち都会に行き、地域に若者はいなくなり、老人のまちなっていく。
高岡・射水	50～59 歳	人口の流出や減少に歯止めをかけるような対策にもっと税金を使ってほしい。予算を無駄に使い切る事を無くしてほしい。
新川	50～59 歳	若者の働く場所が少ない。優秀な人材が都会に行ってしまったは大変残念である。
富山	60～69 歳	1人暮らしの老人が生活していくのは大変で、町内会費でさえ払えないと言っている。
富山	60～69 歳	10年後、20年後、30年後を考え、色々な施策が必要と思う。私には2歳～10歳の孫が富山市にいますが、彼らが20代30代になった時もっともっと進化して住みよい働きよい世の中を望む。
富山	60～69 歳	一人ひとりが安心して安定できる活力ある社会になれば良い。
高岡・射水	60～69 歳	今後、人口減少が加速されていくと考えており、生活レベルを下げてでも心豊かな社会の実現を希望する。
高岡・射水	60～69 歳	今後ますます空き家や廃村等、富山県は過疎地、地域対策に取り組むが、過疎地域を集合させ、新たな集合体地域を整備すべき。
高岡・射水	60～69 歳	富山県は大変住み良く、環境の良いところ。しかし、若者が都会に出ていき、帰ってきてても仕事がないということで市街地には若者がいなくなっている現状が多々ある。もう少し広く目を向けてほしい。
新川	60～69 歳	最近近所でも空き家が多くなり、独居老人が目立っている。明るく元気な地域とは程遠く、子どもも少なく今後は心配。
新川	60～69 歳	私の同級生、優秀な人は、東京、名古屋、大阪からUターンしてくれない。実力のある人が富山に帰って、子育てができるように総合計画を実施してほしい。
砺波	60～69 歳	自宅の周囲は次世代の人がいない。そのため、これからは自らの努力でできるだけ生活していく社会になるのではと考えている。
富山	70 歳以上	中山間地の活力増進。今の中山間地は高齢化が進み、5～10年後には田畑は荒れて人がいなくなる集落が多くできると思われる。合併により都市部は発展するが、郊外は子どもの声も聞こえない。
高岡・射水	70 歳以上	新幹線の開業により、少しずつ県民の意識が変わってきたが、今後ストロー現象が起これ、東京への人口流出が進むかもしれない。豊かな富山県がもっと魅力を増して人口減を食い止めてほしい。
高岡・射水	70 歳以上	人口減少化への歯止め（対策）を検討してほしい。県外、国外流出防止の対策、婚活、出生率のUP等
新川	70 歳以上	地域に様々な企業を誘致するために、自然災害の安全性が高いことをアピールし、若者が自分の能力をいろいろな形で挑戦、勤労し、希望と安心をもって家族を構築できる地域づくりと社会整備
砺波	70 歳以上	何をおいても男は強く、女はやさしく。女性より男性の力が強くなれるように、仕事も社会もしていかなないと。
砺波	70 歳以上	育児や介護に関する家族やグループに大いに援助し、そこから共生社会への活性化を図り、魅力ある地域づくり、産業振興につなげるようにならないか。専門家の検討をお願いしたい。

< 県民性など >

地域	年代	内容
高岡・射水	40～49 歳	勤勉で「中の上」を志向する意識が大変強いので、そこからはみ出る層に対しては、とても冷たいと思う。ダイバーシティのある地域社会の実現を、お互いの長所を生かし、短所を補い合える寛容な県民性の育成を目指してほしい。
高岡・射水	40～49 歳	富山に住んで16年ほどになるが、何か欲しいものがある時は金沢に行ってしまう。医療やスーパーなどはとても充実しているが、豪華1点物がないように思う。何か「富山だけ」というものがあれば良いと思う。
高岡・射水	40～49 歳	富山は住みやすいとても良いところだと思う。今まで以上に良い富山になるよう願っている。
砺波	40～49 歳	真面目と言われる富山県民にもう少し遊び心を。
新川	40～49 歳	若い時、10～20代は富山に住みたくなって都会に住みたいという願望が常にあり、富山が嫌いだった。しかし、この年になり（40代）、富山は住みやすく、食もおいしく、地震も比較的少なく今は気に入っている。富山県なりの魅力が必ずあると思う。富山県らしいオリジナリティを打ち出していけば良いと思う。今の若者も、将来結婚して都会にいても、家族を連れて地元に戻ってくるようなまちづくり、故郷であってほしい。

高岡・射水	50～59 歳	全ての質問が重要であると思われ、充足感は本当のところあまりよくわからないところがある。富山港、立山連峰の美しさは誇りであり自慢。海のもの、山のもの、里のもの恵みは本当にありがたく、富山で生まれ育ち終えることができるのは幸せ。
高岡・射水	50～59 歳	東京にも金沢にもならず富山県らしさを維持して、住み良いまちをつつとっていくために、他の地域で成功した例を移植するのではなく、富山の中にあるものを見つけて育ててほしい。
新川	50～59 歳	富山県は全国的にみて住みよい県であるが福祉の充実度が低い。富山型デイがあっても県民の意識が低くなっている。働くことが県民の意識として優先しているが、企業が少ない。若者が都会へ流れていく理由も企業が少なくなることが上げられる。また富山県と言えば薬、魚だけというイメージが強い。
砺波	50～59 歳	富山県は住みやすい県ナンバーワンを目指して、ぜひお願いしたい。
富山	60～69 歳	北陸は全国的に保守性が高い地域だが、特に富山は保守的で古すぎる。新幹線も開業したことで、他県と比較される機会も増えて、自然、食以外評価が悪い気がする。
富山	60～69 歳	実施の県の行政に詳しいわけではないが、富山県民で良かったと思っている。
富山	60～69 歳	大都会ではないので、身の程を考え、見栄をはるな。
富山	60～69 歳	富山は全体的に住みやすいところ。私の住んでいるところはすごく良いと思う。5人家族で全員仲良く生活をしている。
高岡・射水	60～69 歳	富山県は輝きを増しているように感じる。知事さんの熱意も報道から伝わってくる。今後も富山県らしさを発揮し、誇れる田舎として、住みよい県になることを期待している。
新川	60～69 歳	全ての事柄について活気が感じられない。
富山	70 歳以上	富山県は住み良いと言われるように。
砺波	70 歳以上	地域の人口は10年後に半分以下になる。家族社会制度の推進を。家族で子育て、家族で介護や福祉。地域の環境保全が出来ない、若者がいない。出会いも家族、地域、親戚で考える。教育の場から考える、学力が中位以上は県外の学校で教育を受け地方には帰らない。
砺波	70 歳以上	私は、転勤族のため定年退職まで他の県で多く暮らしている。食品、文化、交通、医療、観光などの多くの面で恵まれて行政も行き届いている。反面、他から来る人の意見を認めたがらず長年の伝承ばかり守っている。意見を取り入れたくない人が多い。

<計画策定方法など>

地域	年代	内容
富山	29 歳以下	瞬間的に、ヒト・モノ・カネは2次元、時を加えて3次元。一番大切なのは、時間をかけて人をつくる努力を惜しまないこと。最も効果を実感できない施策が長い時を経て大きな成果を産むものだ。
高岡・射水	30～39 歳	どのような計画でも思い切った将来のビジョンを提示し、時間をかけて着実に推進してほしい。例えば、高岡の街もスポット的な整備ではなく、川越の街のように、10年単位の計画で街全体のテーマパーク化を行うくらいのことをやっても良いと思う。
砺波	30～39 歳	現行計画も、これからつくられる計画も県民への周知が不足していると思う。
砺波	30～39 歳	県がこんなに取り組みを頑張っておられるのに、それらの多くを県民（特に若者をはじめ私らの世代）は知らないのではないかと。もっと身近に県政に興味をもてるよう、子育て世代や結婚した夫婦に分かりやすいパンフレットやレジュメで知らせたり、イベントでクイズ形式の参加を募ったりすれば良いのではないかと。
富山	40～49 歳	10年後の富山県が今よりもっと住みやすく県民が心豊かに生きていれたら良いと思うので、いろんな提案や活動計画を分かりやすく提示してほしい。
富山	40～49 歳	富山を本当に発展させたいと思っている人達（若者）にもっと意見を聞いて変えてほしい。役所では期待がもてない。
高岡・射水	40～49 歳	なぜ「人づくり」に男性の項目はないのか。設問を見る限り女性が家事をすることが前提で、考え方が古い。
高岡・射水	40～49 歳	広く浅い政策より、狭く深い政策の方が県民はわかりやすいのでは。
新川	40～49 歳	元気な富山県づくりを進めるためには、まず県民が元気で笑顔で生活しお互いコミュニケーションを深め、しっかりと土台をつくって行く事が大事だと思う。学校や企業と連携したり若者にパワーをもらったりして視野を広げていきたい。
砺波	40～49 歳	よりよい富山にしていくためにも一人一人が自覚し、考えることが大切だと思った。いろんな問題が山積していると思うが、皆で考え意見を出し合って良い方向に向かうことを願っている。
富山	50～59 歳	他県で取り組んでいない事、今までの富山県で例がないことでも、思い切って計画に取り入れていく勇気を持っていただきたいと願っている。

富山	50～59 歳	富山県においては資源利用や豊富な土地開発、他のルート移動の通りの道的な位置にある目的やある程度の客数を見込める計画を組み、身になる結果を期待している。
富山	60～69 歳	少子高齢化を見据えてコンパクトな総合計画であるべき。県議会会議員の削減が大前提である。縦割行政を廃して合理的な行政運営が必要不可欠である。
富山	60～69 歳	あれもこれもではなく、着実に何事も進めていただきたい。予算の取り合いや全消化などないように。無駄遣いはしない、余れば翌年に回すなどしてほしい。無茶な要求はしない方が良い。足元を見ることが大事。
富山	60～69 歳	公務員のための計画にならないように要望する。
高岡・射水	60～69 歳	遠くない将来、道州制導入（県の統廃）も見通しての総合計画策定なのか、その方向への整合性は考慮されているのか。道州制に必ずしも賛成ではないが、経済活動などの広域化や政財界の方向性から、その視野も必要な課題と考える。
高岡・射水	60～69 歳	計画の前にはすることはあるのではないではないか。少し場違いの意見だろうが、心の声である。
高岡・射水	60～69 歳	他県にない恵まれた自然、地形、自然からの恵みに浮つくことなく、長い先を見据えた落ち着いた取り組み姿勢が求められる。観光客、生産力アップを他との競争力の名のもとにコストをかけているが、現代の情報通信による一過性のブームに終わる事例の多さを危惧している。
高岡・射水	60～69 歳	県や市町村の計画を行う部門の組織や人員の見直しが必要。固定観念で固まっている。
高岡・射水	60～69 歳	設問項目すべてで大切で重要。行政はできるところから実行してほしい。
新川	60～69 歳	グローバルな社会になった今、10年は長すぎ、もっと短い3年、5年でないと計画が古くなるのでは。担当者もどんどん代わってしまい誰も責任を取らなくなってしまう気がする。担当者は、10年変わらず実行できないのではないか。うまく伝えていけるのか。
砺波	60～69 歳	計画の実行と状況の変化に対応した見直し、修正が必要。
砺波	60～69 歳	人口減少時代に対応した計画にしてほしい。
砺波	60～69 歳	ただつくっただけの計画になってほしくない。特に重要な項目については後々評価ができ、次の目標に向かって進んでいけるよう実行性を持ったものとし、成果が目に見えるものとなるよう計画を立てていただきたい。
富山	70 歳以上	20代、30代から80代の望むことなど世代毎の希望、夢、課題など個分化して考えた方が良い。
富山	70 歳以上	2年または4年を単位として主たる業種の業界単位、組合単位で序列化して上位、下位選出し、定期的に計画性についての意見発表の機会をつくってみてはどうか。
新川	70 歳以上	調査項目はすべて重要であり、充足度は期待を込めて「かなり充足されている」と回答したが、正直わからないのが本音である。自分の10年後は無職、免許返納、健康面などからくる日々の生活を考えると不安の方が大きい、前向きに生きたいと思う。計画をまとめる時は、平面的な羅列ではなく、「8. 魅力ある地域づくり」をメインに「6. 教育の充実」が次にあり、その他の項目がその下にあるような、系統図を提案したい。

2 県の行財政改革について

①人件費の抑制

地域	年代	内容
富山	29歳以下	他の自治体でも言えることだが、民間企業は赤字や利益が少ない時は給与の減額や据え置きが当たり前だが、公務員は財政赤字でも微減程度であるので、減額の検討が必要。民間企業の平均をもとに支給されていると聞くと、優良大企業の平均に近いと思われるので、零細、中小、大企業の平均を参考に。
富山	29歳以下	抑制し過ぎだと思う。このままでは職員がやる気をなくしてしまう。物事はほどほどに。頑張っている県職員にはもっと恩典を。
富山	30～39歳	中小企業等と比べ、公務員給与がかなり高いと感じている。
富山	30～39歳	職員の給与が高すぎる。給与に見合った仕事を質量ともにすべきである。
富山	30～39歳	なぜ県職員の給与が一般よりあんなに高いのか。世間とずれている。
高岡・射水	30～39歳	天下り、一部の人間がいつまでも権力を握ってはいけぬ。
高岡・射水	30～39歳	仕事に眠っているような議員や職員の給料は下げてほしい。もっと働いた年数で給料が上がるのではなく、仕事内容をもっと評価すべきである。お金を使い切る議員は厳しくチェックしてほしい。
富山	40～49歳	不正なしでお願いしたい。
富山	40～49歳	少子高齢化が進む中、人件費をいかに少なくするかを考え、財源に限られるなかで無駄な予算を組まないようにしていただきたい。
富山	40～49歳	公務員給与がせめて民間企業並みにはならないか。あまりにも格差があるように感じる。
富山	40～49歳	県民の税金が必要のない人件費に多く使われていると感じることがある。見直していただきたい。
富山	40～49歳	公務員、特に役職付きの給与を民間の中小企業レベルに合わせて下げるべきである。また、退職金や年金等も財政を圧迫しないよう水準を大きく下げるべき。公務員の資質が低く、地域のことを考えず、自分のことしか考えていない人が本当に多い。資質の低い人をやめさせるようなシステムが必要。資質が低く、地域のことを考えていない人のために、税金を払いたくないし、県や国の借金として背負いたくない。新卒で世間を知らない人が公務員になるのではなく、社会人経験者のみを公務員とするシステムが必要。また、公務員が公務員の評価や査定、人事院勧告等してもお手盛りになるだけである。
富山	40～49歳	60歳の定年以降の年収が民間人との格差が大きいのでは。
富山	40～49歳	人件費の抑制は必要だが、人を減らし過ぎの感はある。ゆとりある対応ができていないのではないかと。サービスレベルの見直しが必要ではないかと。何でも当たり前となり、甘えもあるのではないかと。
高岡・射水	40～49歳	行政サービスを低下させないギリギリの人件費。新規の採用を減らす。
新川	40～49歳	去年議員の方々の不祥事が有名になり、議員人数の削減。議員人数はもっと少なくても良いのでは。
砺波	40～49歳	抑制しすぎずに良い人材を多くとってほしい。安かろう悪かろうではダメだと思う。
富山	50～59歳	人件費の抑制。県議会議員の数と職員の人件費を抑制する方向で進めてほしい。
富山	50～59歳	庶民の生活実態をわかっているのか。このようなアンケートをしても何もできるわけではないのに、無駄なことだと思う。行財政改革どうでも良い。
富山	50～59歳	負債を激減させ良かった。この努力の背景には人件費の手配カットがあったと聞いている（現在は復活）。県職員へのボーナス支払いの報道には注目している。
富山	50～59歳	税金の無駄遣いはやめる。天下りの人にお金を出すなら、若い人たちに使ってほしい
富山	50～59歳	県の職員が何人いるか全くわからず、何の仕事に何人必要かもわからないが、人件費を抑制していただき、それが私たちの払っている県民税に少しでも還元されたらと思う。
富山	50～59歳	県の外部団体（機構等）の無駄な助成金や人件費の見直しが必要。天下り先としか思えない。おしゃべりと居眠り団体である。職員の意識改革がとて必要。
富山	50～59歳	議員の人数が多すぎる。市町村、公務員の数が多すぎる。
高岡・射水	50～59歳	口だけの知識、行動が伴わない職員は減員、減給させる。
高岡・射水	50～59歳	サラリーマンの税負担が高すぎる。人件費を減らしてほしい。民間はとて少ない給料で、有休もほとんど使えない。
新川	50～59歳	ある程度高い給料でないと良い人材が集まらないと思うが、県も財政に余裕があるわけでもないし、見直しが必要ではないかと。
記載なし	50～59歳	人件費の抑制は必要ないと思う。公務員の給料が基本となって民間企業の給料もある程度決まると思う。

富山	60～69 歳	民間は1時間の最低賃金で働き、ボーナスや休みもなかなかもらえず、20、30代の子育て世代はギリギリの生活をしている。正社員も少なく、パートや派遣でやっと働き、正社員になれる希望を望みに頑張っているのに、行政はさっさと民間より先に賃金アップ、ボーナスも増額している。県民が頑張っている姿をわかっているのか。
富山	60～69 歳	特別職と県議員のボーナス引き上げは疑問に思える。県議の政務活動費の不正問題もあり、県民の税金が有効に使われていれば良いのだが。
富山	60～69 歳	中小企業従業員よりも給料が高いのはおかしい。税金から人件費が出ているのにあまりにも高給である。職員一人ひとりが県民からの給与査定を受けること。
富山	60～69 歳	県職員モラルの向上教育が必要。評価制度を取り入れ、人件費も評価に基づくものでなければならない。特に出先機関の職員のモラル低下は目に余る。
富山	60～69 歳	県の職員が何をし、どう活動しているのか一般市民には全く分からない。人件費の多い。県知事もマンネリ化し、給料が高いだけで、富山の発展はない。もっと若い県知事を。
富山	60～69 歳	県の行政の中で、市町村とのすみ分けがよく分からない。心の中でははっきりとしたすみ分けができていれば効率的になり、人件費の削減、県民へのサービスの向上につながると思う。
富山	60～69 歳	一番高くつくのは人件費。公務員は採用されれば、重大なことをしない限り民間のようにクビにならない。年数だけで仕事ができない人も高給をもらっている。税金泥棒のような人も知っている。運転手ももっと少なくていいし、仕事ができない人はいない。
富山	60～69 歳	サービス産業である。民間のノウハウを活用し、効率的でメリハリのある人材配置が必要。
富山	60～69 歳	議員の人数を検討してほしい。
富山	60～69 歳	人件費を抑制するため出来る事は民間に委託せよ。県有地、県有施設の紹介をしてはどうか。
富山	60～69 歳	正規職員を減らし非正規職員を増やすのであれば意味が無く、人事委員会勧告による報酬アップは見直すべきだ。
高岡・射水	60～69 歳	他県からみても公務員の給与は多くないと思う。東京都で働く教諭の給与を聞いてびっくりした。
高岡・射水	60～69 歳	一般企業に比べて「親方日の丸」の公務員は仕事に対する意欲が少ない。その上、特に教員（中学校）の部活動に占める割合が多く、土日も働き休みがない。ブラック企業と同じ。民間の優れた時間に余裕のある人材を指導者として雇うなど、もっと抜本的な改革をするべきだ。
新川	60～69 歳	人件費の抑制については、各自に目標をもってもらい達成できなかつたらカットし達成できれば満額手当があたるようにし、漠然と仕事をしなような仕組みが必要。
砺波	60～69 歳	頭の固そうなまたは能力のなさそうな議員が何人もいても富山は良くなりません。仕事をしない議員が多すぎる。県議員は必要なのか。お金をもっと生きたところに使ってほしい。富山市だけでなく、富山をもっと磨いてほしい。
砺波	60～69 歳	知事や議長以外で運転手があれば見直してほしいと思う。
砺波	60～69 歳	市や県の役場は電子化が進んでいて人手が多すぎるのではと思う。何でもコンピュータでできるのに人が多いのではないか。
砺波	60～69 歳	県議会議員の削減。現状のままでは問題。
富山	70 歳以上	人件費の抑制、削減と言われながら活用されない施設を建てて、天下りをしてとても許せることではない。
富山	70 歳以上	広域行政的な考え方を取り入れ、50%人件費削減を図るべきではなからうか。少なくとも現行の市町村制を見直し（廃止も含め）また、県市町村の重複事務を廃止し、広域行政を採用すべきではなからうか。
富山	70 歳以上	公務員の給与は、仕事の割に民間企業より多いと思う。
富山	70 歳以上	県内中小企業に比べ、一人当たりの人件費が高すぎる。一人当たりの単価を抑えて、その分で新たに増員して、役所サービスの充実を図るべきである。
富山	70 歳以上	県、市全体の無駄な部署、場所の見直しが必要
富山	70 歳以上	労働改革。公務員の中でも教職員の労働時間が長く、午後10時～11時までの時間外労働をする。近年働き方改革が叫ばれるなか、最低の職業である。部活動等で月80時間の時間外で、早急に改革が必要ではないか。
富山	70 歳以上	人口減に見合った人件費の抑制、施設の活用度向上
富山	70 歳以上	なぜ公務員ばかり高給取りで、小さな企業は仕事もなく（土木関係）、もっと公共工事の仕事を増やしてほしい。給料も最低である。
富山	70 歳以上	県の人間だから、一般職だからと県や市の公務員の年金ははるかに多い。平等にしてほしい。特に議員年金の見直しが必要。

高岡・射水	70歳以上	県や市と中小企業者の給料の差があり過ぎる。もう少し差をなくすよう、中小企業に豊かさを与え、活発に企業活動ができるよう支援してほしい。
新川	70歳以上	県議の不祥事があり、富山県も有名になってしまった。生活できないから賃上げするなんて、何を考えているのか全く話にならない。県議は職業なのか。貧乏人も要求すればお金をもらえるのか。議員の数を減らせば、目が覚めるのでは。
新川	70歳以上	機械化、コンピュータ化による人件費の削減。機構改革による人員削減。再雇用、ワークシェアなどで残業減。民営化は慎重に。
新川	70歳以上	人件費の抑制など財政改革が大切だが、新しい事業の展開などのため思い切った施策の実施のため抑制ばかりに力を入れすぎないことが大切。

②民間活力の活用

地域	年代	内容
富山	29歳以下	県だけで行えることにも限度があるし、身内で考え、行動していても、実りのある活動になっているのか分からないかもしれない。もっと民間と協力していけば、ニーズに合ったアイデアが出るし、民間の活力にもつながる。
富山	29歳以下	ボランティア等、意欲のある県民の人的資源をより活かせるよう、需給のマッチングがスムーズになると良い。
高岡・射水	29歳以下	まちづくりに民間の知恵を活用する。県などの機関はそれを支援していく。
富山	30～39歳	余剰としてある民間の力を使うことが良い。特に人件費などは全体に占める割合を小さくするくらいなら、アウトプットを各自増やす方が、かなり有意義かつ合理的である。
富山	30～39歳	県職員の削減が進んだ分、行政サービスの質の低下が起きないように、民間の活力を十分に活用していただきたい。行政サービスでもスクラップアンドビルドのスクラップも大事。
高岡・射水	30～39歳	起業希望者や予備軍の人たちへの支援を強化し、地域の活性化や県内移住者の増加に予算を充ててほしい。ただし、勉強会や補助金を実施するのではなく、例えば同じ地域に同業種を集めたり、空き家を利用して一軒家に数店舗は行っている家が複数集まっているなど、行政が計画的に集積地をつくっていかないと、継続的な起業活動は難しいと思う。
砺波	30～39歳	民間に委託したり力を借りたりすることで人件費のカットも可能になるだろう。
富山	40～49歳	図書館が活用されているようなので、とても良いと思う。
富山	40～49歳	官民の交流などがますます活発になれば良い。
砺波	40～49歳	民間の良いところは活用してバランスのとれた行財政改革を行っていただきたい。外部から意見交換等があると良い。
砺波	40～49歳	民間でできることは民間で。民間のベンチャーが県に活力を与える。
富山	50～59歳	将来的には多様な働き方が必要と思われる。例えば、県の仕事の一部を休職中の育児者や子育て中の母親が自宅にてアウトソーシングで県の仕事を行う。結果、外注より低コストで、雇用も確保できる。富山版アウトソーシングSOHO事業。
富山	50～59歳	不透明な部分があるので、もっと民間1人1人のために、有効に活用し、形のあるものを残してほしい。
富山	50～59歳	新しい空気を取り込むことにより、柔軟性が生まれるのではないかと。
高岡・射水	50～59歳	産業と官の共同研究をさらに推進して、実績を上げ、富山県のものづくり技術を全国にPRする。
高岡・射水	50～59歳	高齢者の定義が75歳以上になるとしたら、働く意欲のある元気な高齢者をボランティアだけでなく有償ボランティアも含め積極的に雇用するよう企業に働きかけてほしい（高齢者を一定の割合で雇用している企業には補助金を出すなど）。
新川	50～59歳	県の仕事を民間に委託し、経済的にも民間に回るようにすれば良い。
新川	50～59歳	民間に任せることを多くすべきである。
新川	50～59歳	製造業もマスコミもフリーの人材を多く活用している。ハローワークも職業相談に非職員を活用している。県の職員もかなりのウエイトでフリーランスを活用すべき。民間の人材をあなどってはいけない。
砺波	50～59歳	誰が何を決定しているのかを明確にし、責任を持たせるように。妙な人脈だけに頼って、物事を進め、リサーチ不足のままゴーサインが出ているのでは。
砺波	50～59歳	高価すぎる公用車をやめるべき。民間を活用し、新しい考えを取り入れ、公務員であっても費用対効果を考えるべき。
富山	60～69歳	予算の縮減ばかりでなく、民間活力の活用にも力を入れること
富山	60～69歳	役所は役所のやり方考え方が長年にわたり固定概念化しているところがある。新鮮な考え方、活力を注入し、活性化していく。
富山	60～69歳	役所が管理している所は自分達の考えで行うので、すべて無駄で失敗しているように思う。

富山	60～69 歳	民間には優れた人材がたくさんいると思うので、県が企画する案件には公募等により、幅広く登用するのも良いのではないかと。
富山	60～69 歳	適正、適切な民間の活力を選択する必要がある。計画性、方向性を持って事業を決定してほしい。身近で見ていて無駄な工事のやり直しをしているケースが多すぎる。
富山	60～69 歳	大学でも中小企業でも、県とタイアップして、富山ならではの商品が出来上がれば良い。
富山	60～69 歳	人件費の抑制＝サービスの低下。働ける若い世代が減少していく中で仕方がないことか。民間の力に期待する事が必要になるだろう。
富山	60～69 歳	財政改革について民間の経営手法を取り入れて、人の効率的な配置、運用を実行し、総体的に経費の圧縮を図る(人と人との交流を進める)。
富山	60～69 歳	今の県知事はよくやっておられると思うが、民間企業を経験した若いリーダーに県政を担ってほしい。
富山	60～69 歳	行政はすぐに民間活力というが、自分たちがもっと真剣に問題に取り組んでほしい。
富山	60～69 歳	民間に委託でき、価格の低い案件は積極的に利用すべきだと思う。本当に必要な施設は運用費がかかっても仕方がないと思うが、誰が見ても税金の無駄と言える物もあるのではないかと。
富山	60～69 歳	民間の活力の活用という、ボランティアと称し、県職員の負担を減らしているだけではないか。
富山	60～69 歳	産学官連携はどのように力を発揮しているのか。外部法人等を活用して、残業代が減少できないか。
高岡・射水	60～69 歳	年度ごとにテーマを決めてスローガンを明確にして、全県民の意識、意見集約の機会を設定してもらいたい。
高岡・射水	60～69 歳	県民が県政参画の働きかけをし、小さな声も聞いて反映していければボトムアップにつながるのではないかと。
高岡・射水	60～69 歳	営利事業(企業)の活力、知恵、資源のみではなく非営利民間事業、団体、NPO、ボランティア団体の能力、活力、経験を取り入れ、または官民協力や県の指導などにより行政の役割肥大化や財政負担を軽減すべきと思う。
高岡・射水	60～69 歳	さまざまな財政予算の活用の中に官民一体となった取り組みをお願いしたい。
新川	60～69 歳	富山には1兆円を超える本社企業がない。県の力添えてつくってほしい。
新川	60～69 歳	各地に児童館などがあるが、午前中空いているので、その間を高齢者の憩いの場にし活用すれば良いと思う。例えば、体操させたり、本を読み聞かせたり老人を楽しませたりしたら、健康寿命が長くなるのではないかと。
新川	60～69 歳	これからも官民の協力体制を推進して、見識と知恵の相乗効果により一層行政に反映されるように期待している。
砺波	60～69 歳	人件費の抑制、県有地の見直しはいずれも限度がある。民間の活力の活用は、少しずつ進んでいるもののまだ進めていく余地は充分にある。事例研究と積極的にPRし、意識力と導入を進めていただきたい。
砺波	60～69 歳	人件費の抑制ではなく、人件費にあった仕事をしてほしい。
砺波	60～69 歳	既成の概念に基づく行政専任の業務や領域を大幅に見直し、排除して民間の能力や機能を積極的に利用、活用して財政の効率化をより追求してほしい。
砺波	60～69 歳	事務費用を減らすため、納税額による保育費用の差別をやめる。育児手当、児童手当など、個人配分をやめて、育児教育費用の無料化を図る。人件費の抑制で園や学校などで、教育費など集金をやめたりして、種類や回数を減らす。
富山	70 歳以上	柔軟性やスピード感が乏しい。
高岡・射水	70 歳以上	官、民(企業)、教育機関が協力して、若者が定着したくなる衣、食、住の支援、充実を図ってほしい。
新川	70 歳以上	行政だけではできないところに民間の財力、知力を活用することができればと思う。
新川	70 歳以上	異業種企業間のような交流を盛んにし、知恵を出し合い、新たな商品の研究開発に精力的に取り組めるよう、講演の開催や助言を図ればどうか。
砺波	70 歳以上	小都市は優れた人材が不足しているため上からの事業にかなり依存している。このような小都市には上から指示する事業も良いと思う。
砺波	70 歳以上	使うべき人件費は惜しみなく使い、民間の活力も大いに活用すべきだと思う。

③ 県有地・県有施設の見直し

地域	年代	内容
富山	29 歳以下	使われていない施設の見直し。
富山	29 歳以下	図書館や公文書館等、優れた施設がつくられているが、市郊外に住んでいる我々にとっては駐車場もなく、非常に利用しづらい。交通手段の見直しを図ってほしい。
富山	30～39 歳	民間へ売却し双方が Win-Win の関係となるようにすべき。県庁の移転も含めて。
富山	30～39 歳	富山県美術館が環水公園へ移転するが、旧施設はどうなるのか。

富山	30～39 歳	富山駅の周辺の整備を急ぎ、さらに順路の表示もわかりやすくしなくては、観光客は増えないと思う。
富山	30～39 歳	スポーツ関連施設を増やして、県民の健康管理を促す。
高岡・射水	30～39 歳	各地域の役割、機能を明確にし、機能が重複する施設については見直しを図る。各市町村の連携を高め、効率化できることがあればしていく。
富山	30～39 歳	お金の使い方を考えてほしい。公共施設をつくっても子育て家族からすると意味が感じられないが多い。
富山	40～49 歳	障害者が自立して生活できるよう、県営住宅などを使用できるようになれば良い。県有施設で障害者の雇用を増やしてほしい。
富山	40～49 歳	道路や美術館ばかりつくらず、もっと富山に住んでいる人たちが行きたいものを造ってほしい。税金の無駄遣い。
高岡・射水	40～49 歳	不用な土地は民間に売却したり借りたりする方が良い。県有地・施設の見直しを考えることが重要だと思う。
高岡・射水	40～49 歳	コンサートなどを行うことができる大きな施設をつくってほしい。ジャニーズグループが来るようだと、他県から人が多く来県し、宿泊業界だけでもすごいようだ。
高岡・射水	40～49 歳	県有施設は仕様が贅沢過ぎないかと思う。施設数を含め、必要最小限で良い。
高岡・射水	40～49 歳	呉西地区にも県総合運動公園の室内競技場のような施設を造り、全县の人が平等に利用しやすくしてほしい。東京にはマラソンできるコース（皇居）が多くあるが富山は乏しい。
砺波	40～49 歳	類似施設の見直しで、施設数を減らし、維持管理費の見直しをさらに進める。指定管理者制度をさらに取り入れる。
砺波	40～49 歳	少子高齢化が進み、働いて税金を納める人が減るので、新たな施設はいらない。逆に固定や維持費がかかるので、売却なり壊すなりして、スリムにしてほしい。多少の反対はあっても取捨選択は必要。
富山	50～59 歳	なるべく民営化していくべきと考える。
富山	50～59 歳	県営施設の民営化検討すべき。有識者を限定せず、ICT 利用でも良いので、今回のように県民から意見を幅広く取り入れるシステムをつくるべき。
富山	50～59 歳	新しい県の施設を建てる時は、デザインよりも実用性を考えてほしい。北陸なので、オシャレな建物で特注品のガラス（窓）より、普通のサイズで間に合う材料でお金がかからないようにすべきだと思う。
富山	50～59 歳	富山は雨が多く、公園の遊具が十分に活用されていない。屋内型の子供向けの遊具が充実した体育館のようなものがあれば良い。プールも屋内型の太閤山ランドのプールがあれば良い。ゴミ処理場の廃熱を利用した温水レジャープールがあれば良い。
高岡・射水	50～59 歳	整備と破壊は紙一重なので、事業を行う際はよく検討すべき。
高岡・射水	50～59 歳	税金をたくさん払っている気がする。少しの給料なのに、税金や自動車税、固定資産税などとても高い。
新川	50～59 歳	単に人件費を抑制することには賛成しません。行政の管理のもと、無駄の排除など、適正に推し進めていただきたく、お願いしたい。
新川	50～59 歳	子供が遊べる場所を増やしてほしい。
新川	50～59 歳	県有地など宅地として開発してUターン、Iターン者に提供する。
砺波	50～59 歳	文化、運動施設の改修、増設を望む。
富山	60～69 歳	富岩運河に運航している船はエコと言っているが、バッテリー、アルミ船と高額で、メンテナンスに多額を費やしているのではないか。
富山	60～69 歳	箱モノばかりつくると、維持費ばかりかかるが、そのお金はどうするのか。
富山	60～69 歳	当初利用目的が終了している公共施設、例えば婦中大橋料金所施設等を洪水、自然水害発生時などに付近住民避難所、救難所施設として再利用することを検討してほしい。
富山	60～69 歳	中途半端なもの（ハコモノなど）をいくつもつくるのではなく、制約やボーダーラインを取り払って、県として立派なものをつくってほしい（日本に1つしかないもの、世界に誇れるもの）。
富山	60～69 歳	施設の有意義な活用
富山	60～69 歳	財政が赤字なのに、予算が毎年増えるのが分からない。どの家庭でも収入が減ったら支出も削るのに。特に箱物は赤字が多いはず。
富山	60～69 歳	好立地の場所を一般に払い下げ、または貸与して活力を生み出す方法は良いと思う。いろいろな面で無駄を省くのが最善と思う。
富山	60～69 歳	気軽に参加できる施設であってほしい。そして、その施設利用において費用も価格は抑えてほしい。
富山	60～69 歳	いろいろな施設が次々になくなり、寂しくなっている。少しでも元気な高齢者が活躍できるような場所があれば良いと思う。

富山	60～69 歳	人口減を見込んだ県有施設の見直しは必須。民間活力の活用はまだ拡大できると考える。行財政改革の取組みは高く評価している。
富山	60～69 歳	県有地・県有施設の見直し。どれだけの県有地や県有施設があるのか知らないが、それらの活用方法を公募してはどうか。
富山	60～69 歳	県立近代美術館の移転はどうしても必要だったのか。まだ 30 数年しかたつておらず、ホールやエントランスの仕様も美しく、親子トイレもとてもかわいくしており、私は気に入っていた。ハコモノの建造はくれぐれも慎重にお願いしたい。
高岡・射水	60～69 歳	人間の生きがいはコミュニケーションであり、SNS 一辺倒ではなく、フェイストゥフェイスのコミュニケーションを大切にするべく、公共施設、公有地を有効活用し、住民のコミュニケーションの場をつくる。
砺波	60～69 歳	利用率の悪いものや、市と県にもある重複する施設等はなくしてほしい。
砺波	60～69 歳	人口減の中、維持費のかかるものは整理し、身軽になること。
砺波	60～69 歳	高齢化に対応した公共交通の整備を進める必要がある。
富山	70 歳以上	富山県民会館の催し物は料金に上限などを設けたり、3 割引など利用しやすくすれば県民みんなの会館となる。
富山	70 歳以上	使用頻度の少ない施設などは早急に処分してほしい。
富山	70 歳以上	県有地、県有施設の見直し当該物件を短期（5 年以内）または長期（10 年以上）のレンタル物件として有償レンタルの形で活用。 例えば、大規模イベント用、集会所用（小規模の大きさで町内会等）など。
富山	70 歳以上	マンションが目立つ中心街。ここにもという感じ。皆が何気なく座れる建物があれば良い。
富山	70 歳以上	ゴンドラスキー場の問題は県としても実に恥ずかしい課題であり、現状を視察されてはどうか。
富山	70 歳以上	近代美術館の跡地はどうなるのか。今後のまちづくりに非常に利便性のある土地だと感じる。
高岡・射水	70 歳以上	今ある施設の運営やうまく利用されていない無駄な費用を使っているところなどを、現場の人たちの声を聞いて改められる所があれば良い。
高岡・射水	70 歳以上	県、市町村で重複している施設の見直し等
高岡・射水	70 歳以上	海王丸パーク周辺の県有地の早急な活用を。
高岡・射水	70 歳以上	高齢なのだが、施設が近くにない。
高岡・射水	70 歳以上	新しく施設を建てる時、後から使用しにくさなど、いろんなことが分かって、現場の人たちが不満とならないようにしてほしい。これから高齢者が増えるので、地域に小さくても必要な施設を利用できるよう、考慮してほしい。
新川	70 歳以上	魚津水族館をもう少し県がお金を出して、楽しくきれいに人がいっぱい来るところになると良い。
新川	70 歳以上	若い人たちが集まってくる楽しい県の施設が入善にも欲しい。
新川	70 歳以上	魚津に県立の良い施設がない。新川文化ホールは県がしっかり支え、利用料も応援してほしい。
砺波	70 歳以上	重要性の低い箱モノをつくらない。

④ 行財政改革（その他）

地域	年代	内容
富山	29 歳以下	不正さえなければ何でも良い。
富山	30～39 歳	民間でできることは民間でというが、企業は利益があつて成り立つものであり、公共福祉とは立場が違う。高齢化等で弱者が増えている中、どう対処するかが大切である。
富山	29 歳以下	必要な費用であれば、お金をかけて良いと思うが、無駄なものを削減し、削減したものを公表すれば市民に分かりやすいと思う。
富山	29 歳以下	行政サービスを受ける際の手続きが簡単になれば良い。いろんな支援があつても、サービスを利用する人が少ないのではないかと。若い人が関心を持てるようなアピール方法もこれから大切だと思う。デザイン性、おしゃれさ、税金の使い方はとても難しい。
富山	30～39 歳	期限を決めてやり抜くことが大事。とりあえずやり続けられる体制を。
富山	30～39 歳	無駄な公共施設はなくして、子育てしている家族への支援を手厚くしてほしい。
高岡・射水	30～39 歳	社会保障費の削減。子どもの医療費無償化の廃止。収入に合わせた子ども手当額に。
新川	30～39 歳	削れる財政は削る。
新川	30～39 歳	いらないうちにお金を使うのではなく、本当に必要なことに使してほしい。
砺波	30～39 歳	知事をはじめ、県職員が行財政への意識をしっかりとしてほしい。県民のために使うお金を確保するためにも、民間企業並みの事務費の削減を実行してほしい。
富山	40～49 歳	収入を増やすための施策の検討、実施

富山	40～49 歳	高齢化社会への対応として、病院施設等を充実させていくべき。
富山	40～49 歳	携わる方々の意識で良くも悪くもなると思う。自分の仕事を県民のためにと考えていただけだけでも変わっていくと思う。
富山	40～49 歳	空地、空家等の課税を
富山	40～49 歳	赤字をなくしてほしい。
富山	40～49 歳	今後、開けた財政政策は必要だと思う。大切な税金の使い道は、皆が気になってること。そういう姿勢がテレビなどを通じて、全県民に分かるように真面目に働いていただきたい。
高岡・射水	40～49 歳	分かりやすい透明な県政。自分の納めている税金がどのように使用されているか知りたい。不正をなくし、県民が皆幸せになれることに使ってほしい。
高岡・射水	40～49 歳	公共事業の拡大。インフラ整備。
高岡・射水	40～49 歳	石井県政になってからの借金減少は評価すべきだと思う。ただ、今後は人口減で国も含めて収入は減り続けることを前提として、多少の収入増などは、これを無いものとして財政を考えるべき。今後は、今までつくった老朽化したインフラ設備は更新する事として、今後は安易な新規道路や施設の建設は凍結すべき。
高岡・射水	40～49 歳	支出を減らす努力より、収入を増やす努力をするべき。そのためにも大胆な投資をして、富山は便利で楽しめる場所になれば良い。そうすれば企業も人も自然に集まると思う。
高岡・射水	40～49 歳	行財政改革は十分に組み込んでおられると思う。時代やビジョンに合わせた見直しをスピーディに行ってほしい。
新川	40～49 歳	建設業と保育士の賃上げ
砺波	40～49 歳	すべての項目について考慮してほしい。税金を上げるのではなく、現状の中で無駄を省く方向でお願いしたい。
富山	50～59 歳	人口減少、少子高齢化が進む中で、行財政改革は進めていかなければならない。税収は今後増える見込みはほとんどなく、予算が増える一方であれば、県と県との合併や道州制も考えるべきではないか。市町村は合併により数が減り、コストダウンを推進してきた。今後は県の番ではないか。県はプライドを捨てて、県民のことを考えて道州制を進めるべきである。
富山	50～59 歳	富山県や富山市にしても、富山駅を中心にまちづくりをされて、旧市中心部だけが重視されているように思う。
富山	50～59 歳	中心部の開発にばかり目がいつているようだ。郡部のインフラ整備を行ってほしい。
富山	50～59 歳	県民が心地良いと感じる行政サービスの維持。
富山	50～59 歳	富山県の年配の男性の社会性は低すぎる。もっと若手を活用すべき。不正を管理する部署をもっと強化すべき。
富山	50～59 歳	メリハリではないが、県民の大事なお金だという意識をもって、使っていただきたいと思う。開示を。
高岡・射水	50～59 歳	支出を抑えることも必要だが、県の収入を増やすために県が産業を育てて、県内での起業を促すことも必要ではないか。
新川	50～59 歳	ハコモロばかりに目を向けると、人間の方にはなかなか目が向かず、子どもは3人ほしいけど育てるのは無理と言って諦める。そこにお金をかけてはどうか。せめて、教育費、医療費、学用品など義務教育の間はお金の心配がいらぬ、安心して産める育てることにお金を使ってはどうか。その財源は大企業に大幅減税しているところから出せば、全て無料になるのではないか。
新川	50～59 歳	富山県のことしか知らないが、子育てが終わった今でも、無料の公園や雨でも遊べる場所など、安心して遊ばせられる場所が少ないと思う。
砺波	50～59 歳	民間は利益ベースなので、公にしかできない仕事もたくさんあると思うので、無駄遣いでなければ、税金を喜んで払いたいと思う。行財政改革は県職員の自助努力でなすべきだと思う。
記載なし	50～59 歳	健全な財政運営について、国、地方の借金が多く、国民、県民は不安に思っており、お金の使えないため、景気が良くなる。県民サービスも良いが、簡素な行政運営が必要である。富山県の借金を少なくしてほしい。
富山	60～69 歳	民間アパートが多すぎる。安くて住みやすい県営の住宅を増やして、若者が自立、結婚できるように支援してほしい。空き家対策も急がれる。
富山	60～69 歳	補助金の施策の見直し、すなわち名前が変わるだけで中身の変わらない補助金の運営は変えるべきである。
富山	60～69 歳	大型ダム工事や公共工事でなく、社会福祉、教育等にもっと税金を使ってほしい。
富山	60～69 歳	税収と支出のバランスをとり、将来世代に負の遺産を残さないこと。

富山	60～69 歳	行政の事業は、本来民間ベースには乗らないものが基本ではないかと思う。例えば道路や橋の補修や災害の予防、復旧等。何に最優先に行くか、メリハリをつけることが一番大事ではないか。
富山	60～69 歳	近隣の駐車場に県外ナンバーの車がたくさん停まっている。他県から移り住んでもなかなか変更登録をされないようだ。自動車税収入を増やすためにも変更登録手数料を県で負担してはどうか。
富山	60～69 歳	県と市の行政区分がわかりにくい。
富山	60～69 歳	県民から声を聞く会を年6回程度開催してはどうか。 時代の流れが必ず変化してくるので、対応しないと、他県に遅れる。
富山	60～69 歳	地域全体で取り組むような施策を考えて、地域の良い所や後世に残す残したい事項をお互いの各市町村で住民が一体となって取り組む政策を行ってほしいと思う。 そのためには、一つには民間の活力の活用が不可欠と思う。国が進めている地域創生推進交付金の活用を考えて財政面でのバックアップを取り入れていくことが大事ではないかと思う。
富山	60～69 歳	設問は全て重要な事だと思う。県民全体が十分に満足することができているかは問題。さらに貧富の差がついたりして支障がある。何事にも末端まで制度が行き渡るものにしてほしいと願う。
富山	60～69 歳	スローガンだけで終わらないようにPRに努めてほしい。
高岡・射水	60～69 歳	職員の資質が悪い。幹部の見直し、特に知事の交代が必要。
高岡・射水	60～69 歳	何をしなければならないのか、その目的を明確にすることが必要。
高岡・射水	60～69 歳	役所の人事が長年、なあなあになっている感があり、このままでは成長前達が望めないと思う。
高岡・射水	60～69 歳	全体を見渡せるような人員を確保してほしい。
高岡・射水	60～69 歳	子どもの給料を見ると、私たちの給料からの住民税、県民税がすごく高い。そのお金を湯水のごとく使われるのはすごく残念。もっとしっかりと管理してもらいたい。
新川	60～69 歳	県の管理職に女性を育て増やしてほしい。市町村にも女性管理職への指導をしてほしい。
砺波	60～69 歳	家の家計だったら、絶対に出費を抑えて将来の出来事に備える。優先順位をつけて今絶対必要なことに対応する。今必要なことに人やお金、ものを使ってほしい。
富山	70 歳以上	知事のタウンミーティング以外にも、県民の意見と意思を直接聞く機会をもっと増やしてほしい。若者が自主的に集って、何か事業を起こす場合、県民の中からそれに出資して協力したいと考える人も集まって、それぞれ協議する場合、中小企業や経産省、県の担当者がその事業の内容や手法についてアドバイスするようなくみをつくれないうか。 県が仲介して金融機関等が若者のためのファンドをつくり、投資する手法をつくれないうか。
富山	70 歳以上	予算をつけたらしっかり監査する。甘い。心の厳しさが不足しているように見え、昔の富山県人と違ってきているようだ。
富山	70 歳以上	農村、特に調整区域は地域の発展と関係なく、旧来のままの状況が続いており、その制度を削除したら良いと思う。制限があって発展しない。
富山	70 歳以上	富山県は山、川、谷等が豊富だが、近年の気候から洪水や地滑りが多く「真の安全第一の環境づくり」の富山県を今までよりも一層押し進めねばと考える。
富山	70 歳以上	県で行っている事業等があまり中身が知られていないので、もっとPRしてほしい。例えば民間活力の活用について、県がどのようにどの企業や個人等にどのような協力等しているのかわからない。
富山	70 歳以上	人口減対策と地方創生が課題となる中、これまでの発想を転換して、何の条件もなく県民からの要望を吸い上げる気持ちで取り組んでほしい。市民自治、住民自治を充実させて民主制度を向上させる機会でもあることを認識していただきたい。
新川	70 歳以上	地方が活性化しなければならない。また地方に余っている土地や空き家を活用する方法と新幹線との交通ネットワークがうまく回るように考えた方が良い（県外や外国から多くの人を呼び込む）。
記載なし	—	県関係のホームページなどを早めにスマホ対応にしてほしい。情報が見やすい方が人が集まると思う。限界集落に住んでいる高齢者等を適切にまちなかに移住させられれば全体として楽になると思うので、そのための住宅補助などの補助をしてほしい。

VI 使用した調査票

富山県の総合計画に向けての県民意識調査

平成29年1月

調査主体 富山県知事政策局

調査受託者 株式会社ラックス

調査ご協力をお願いについて

日頃より、富山県の施策にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申しあげます。

現在、県では平成38年度を目標年次とする、新たな計画の策定を進めているところです。この調査は、計画の見直しに県民の皆さんのご意見を反映させることを目的として行われるものです。

あなたを対象として選ばせていただいたのは、クジ引式による統計的な方法によるものです。この調査でお聞きしたことを、他の目的に使ったり、個人の名前を出したりすることは、絶対にありません。また、調査へのご協力に当たり、粗品（ボールペン）を同封させていただきますので、ご活用ください。

お忙しいところ恐縮ですが、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

ご記入方法について

- (1) 調査対象者ご自身をご記入いただきますようお願いいたします。
- (2) ご記入は黒の鉛筆またはボールペンでお願いします。
- (3) 該当する回答の数字を○で囲んでください。ご回答の○の数は、設問ごとに表示していますので、それに合わせてお選びください。

ご記入された調査票は、**平成29年2月8日（水）まで**に、返信用封筒（切手不要）に入れて、ポストに投函してください。

この調査票についてご不明な点などございましたら、下記までお問合せください。

【調査受託者】

株式会社 ラックス 担当：一瀬

〒930-0975 富山市西長江1丁目12-1 TEL：076-422-7478

※調査全般については

富山県知事政策局（総合計画・政策評価担当） 担当：竹部

〒930-8501 富山市新総曲輪1-7 TEL：076-444-9609

【1 意識調査】

問 10年後の県民生活のイメージについておたずねします。
2026年頃の県民生活は、どのようになるとお考えですか。次のそれぞれの項目について、あなたのお考えに最も近いものを右の欄の1～3の中から1つずつ選んで○をつけて下さい。

	1	2	3
	そ	思	わ
	う	わ	か
	思	な	ら
	う	い	ない
1 北陸新幹線や富山きときと空港、伏木富山港の機能の充実に伴い、国内外からビジネスや観光などで、人、モノが活発に行き来するなど県内経済が活性化している ……………	1	2	3
2 安心して働ける職場が確保されている ……………	1	2	3
3 女性・高齢者・障害者などが、自分にあった働き方を選択できる環境が整っている ……………	1	2	3
4 環日本海地域の拠点として、県内企業と海外企業との取引や交流が活発となり、多くの県内企業が海外へ進出している ……………	1	2	3
5 情報通信技術の活用により、生活関連情報や行政・災害関連情報などがいつでもどこでもだれでも入手し利用できるようになっている ……………	1	2	3
6 仕事と子育てが両立しやすいなど、安心して子どもを産み育てることができる社会となり、少子化に歯止めがかかっている ……………	1	2	3
7 基礎的な学力を身につける教育に加え、子どもの個性・創造性を伸ばす教育が行われている ……………	1	2	3
8 学術研究や科学技術、スポーツ、文化等の分野で国内外で活躍する人が増えている ……………	1	2	3
9 音楽会や演劇、美術展など、様々な文化を楽しむ機会が増えている……………	1	2	3
10 地域づくりや福祉、生涯学習、国際交流・協力などのボランティア、NPO（民間非営利組織）などの活動が盛んになっている ……………	1	2	3
11 医療・介護サービスの充実や年金の支給などにより、安定した老後の生活を送ることができる ……………	1	2	3
12 高齢者、障害者をはじめ誰もが住み慣れた地域で自立して生活できる社会が実現している ……………	1	2	3
13 環境に対する意識が高まり、環境にやさしいライフスタイルが定着している ……………	1	2	3
14 犯罪や消費者被害が減り、安心して暮らせる社会となっている ……………	1	2	3

【2 選好度調査】

問 次にあげる項目について、その重要度と充足度をおたずねします。

それぞれの項目の重要度と充足度について、右の欄の1～6の中からあなたのお考えに近いものをそれぞれ一つ選んで○をつけてください。

重 要 度						充 足 度					
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
き	か	ど	さ	全	わ	十	か	ど	あ	ほ	わ
わ	な	ち	ほ	く	か	分	な	ち	ま	と	か
め	り	ら	ど	重	ら	充	り	ら	り	ん	ら
て	重	と	重	要	な	足	重	と	充	ど	ら
重	要	も	い	で	い	さ	さ	も	足	ち	な
要	要	い	え	は	い	れ	れ	い	さ	足	い
である	である	え	え	い	い	ている	ている	ない	れて	されて	ない

【活力】

- | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 適切な景気対策により、県内経済が安定し、いきいきと働くことができる状況にあること …… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 2 高いものづくり技術などの本県の強みを活かして、県内企業が新たな成長産業への参入に挑戦していること …… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 3 多様な起業家が生まれ、成長し、国内外で意欲的に事業展開していること …… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 4 産業官共同研究や大学からの企業への技術移転により、新技術や新商品が数多く開発、実用化され、本県のものづくり技術が高度化していること …… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 5 企業の立地環境が充実し、成長性が高く地域経済の発展に貢献する企業が数多く本県に進出してきていること …… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 6 本県産業を支える中小企業が、新たなニーズに的確に対応し、活発に企業活動を展開していること …… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 7 デザイン性に優れ、高機能で、消費者の感性に合致した製品が数多く開発され、販路が開拓されていること …… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 8 地域の特徴を活かした魅力あふれる商店街が賑わっていると同時に、新しいニーズに対応したサービス業が活発に展開されていること …… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 9 意欲と能力に応じた多様な雇用の機会の確保と、本県産業の発展を支える人材の育成が図られ、誰もがいきいきと働いていること …… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |

重 要 度						充 足 度					
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
き	か	ど	さ	全	わ	十	か	ど	あ	ほ	わ
わ	な	ち	ほ	く	か	分	な	ち	ま	と	か
め	り	ら	ど	重	ら	充	り	ら	り	ん	ら
て	重	と	重	要	な	足	重	と	充	ど	い
重	要	も	い	で	い	さ	さ	も	足	ち	な
要	要	い	え	は	い	さ	さ	い	さ	ら	い
重	要	え	な	い	い	さ	さ	え	さ	ら	い
要	要	な	い	い	い	さ	さ	な	さ	ら	い
重	要	い	い	い	い	さ	さ	い	さ	ら	い
要	要	い	い	い	い	さ	さ	い	さ	ら	い
重	要	い	い	い	い	さ	さ	い	さ	ら	い
要	要	い	い	い	い	さ	さ	い	さ	ら	い
重	要	い	い	い	い	さ	さ	い	さ	ら	い
要	要	い	い	い	い	さ	さ	い	さ	ら	い

- | | | | | | | | | | | | | | |
|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 10 | 県内企業の環日本海・アジア地域などでのビジネス展開や販路開拓が進むとともに、幅広い分野で取引が活発になり、物流ネットワークや経済交流が拡大していること …………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 11 | 次世代を担う経営感覚の優れた担い手により、消費者ニーズに対応した安全で高品質な県産農産物や農産加工品が、安定して供給されていること …………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 12 | 地域林業の担い手により、持続可能な森林経営が行われているとともに、県産材等の林産物や木材製品が安定的に供給されていること …………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 13 | 富山湾及びその周辺海域の多様な水産資源が持続的に利用され、豊かな食生活を支える安全で良質な水産物が供給されていること …………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 14 | 北陸新幹線の金沢・敦賀間の早期開業、大阪までの全線整備が促進されていること …………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 15 | 北陸新幹線や新幹線駅からの交通ネットワークにより、新幹線駅を核とした交流拠点が形成され、人の交流が活発になっていること …………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 16 | 環日本海地域やアジアの交流・物流拠点として、空港・港湾機能やネットワークの充実が図られ、国内外との人、モノの交流が活発になっていること …………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 17 | 高速道路から身近な生活道路に至るまで、安全で快適な道路ネットワークが形成され、人、モノの交流が活発になっていること …………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 18 | あらゆる分野において情報通信技術を活用し、いつでもどこでも誰でも、情報の取得・発信や各種の手続き・取引が行え、様々なサービスを楽しむこと …………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |

重 要 度						充 足 度					
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
かなり重要である	かなり重要である	どちらともいえない	さほど重要とはいえない	全く重要ではない	わからない	十分充足されている	かなり充足されている	どちらともいえない	あまり充足されていない	ほとんど充足されていない	わからない

19	地域の個性を活かし、公共交通ネットワークが充実し、都市機能が適正に集積、配置された、快適で活力ある魅力的なまちが形成されていること……	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
20	中心市街地に、居住、商業、業務、文化、福祉など多様な機能が集積され、賑わいが創出されていること……	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
21	魅力ある観光資源を活かした観光地づくりやおもてなし環境の整備が進み、多くの観光客が繰り返し訪れ、滞在していること……	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
22	本県の観光の魅力が国際的に認識され、年間を通じて海外の様々な国・地域から、多くの観光客が訪れていること……	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
23	富山ならではの優れた商品・サービスや食の魅力が、「とやまブランド」として広く認知され、評価が高まっているとともに、地域のイメージや好感度が向上していること……	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
【未来】													
24	子どもを持ちたいと願うすべての人が、家庭や地域、職場の人々に支えられながら、安心して子どもを産み、育て、子どもを持つ喜びを実感できること……	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
25	子どもたちが、いじめなどを受けることなく、健やかに成長しているとともに、学校・家庭・地域の連携・協力のもと、基本的な生活習慣や社会性を身につけ、豊かな人間性を育てていること……	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
26	子どもたちが、知識・技能を身につけるとともに、それを基盤としながら自らの可能性を發揮して、未来を切り拓いていく力を育む教育が行われていること……	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
27	子どもたちが、豊かな心を身につけ、たくましく生きるための健やかな体を育む教育や、特別な支援が必要な子どもが、自立し、社会参加するための力を育む教育が行われていること……	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

重 要 度						充 足 度					
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
き	わ	か	ど	さ	全	十	か	ど	あ	ほ	わ
わ	め	な	ち	ほ	く	分	な	ち	ま	と	か
ら	て	ら	ら	ど	重	充	り	ら	り	ん	ら
め	重	と	と	重	要	足	充	と	充	ど	な
て	要	も	も	要	で	さ	足	も	足	と	い
重	要	い	い	は	は	さ	さ	い	さ	さ	い
要	要	え	え	い	な	れ	れ	え	れ	れ	い
で	あ	な	な	い	い	て	て	な	て	て	い
あ	る	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い

- 28 大学等の高等教育機関を中核として、個性豊かで創造的な人材育成の拠点や学術研究の拠点が形成されているとともに、高等教育機関と連携した地域振興の取組みが進められていること …… 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6
- 29 すべての世代の県民が、それぞれの目的、ニーズや社会の新たな課題に応じて、自由に学習の機会や場を選択して学ぶことができること …… 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6
- 30 県民一人ひとりがふるさとの自然、歴史・文化、産業等について学び、理解を深めることにより、ふるさとへの誇りと愛着を育んでいること …… 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6
- 31 県民一人ひとりが幅広く芸術文化に親しみ、身近な活動に参加するとともに、世界に誇ることのできる芸術文化が創造・発信されていること …… 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6
- 32 NPOやボランティアが幅広い人々の参加のもと、地域づくりや公共サービスの新たな担い手として、様々な分野において活発に活動していること …… 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6
- 33 若者が社会の一員として自立しているとともに、元気な職場づくり・地域社会づくりの中心となって、いきいきと活躍していること …… 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6
- 34 男女がともに、個性と能力を十分に発揮する機会が確保されるとともに、経済・社会の活性化に向けてあらゆる分野で女性が活躍していること …… 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6
- 35 元気な高齢者が、年齢にとらわれることなく、意欲と能力に応じて、生涯を通じて活躍することができ、職場や地域社会において積極的な役割を担っていること …… 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6
- 36 誰もが互いの人権や多様な価値観を尊重し、相互の信頼や連帯感のもと自立意識の高い地域社会が形成されていること …… 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6
- 37 外国人にとっても県民にとっても暮らしやすい地域づくりが進み、各国地域との幅広い交流・協力のもと、グローバルに活躍する人材が集い、育っていること …… 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6

重 要 度						充 足 度					
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
きわめて重要である	かなり重要である	どちらともいえない	さほど重要とはいえない	全く重要ではない	わからない	十分充足されている	かなり充足されている	どちらともいえない	あまり充足されていない	ほとんど充足されていない	わからない

- 38 首都圏をはじめとした大都市圏等との交流人口が拡大し、UIJターンなどの県内への移住や、季節滞在などの半定住（交流居住）が増大していること…………… 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6
- 39 県内各地において育まれてきた自然、歴史や伝統文化などの魅力を発掘、再発見するとともに、さらに磨き上げ、次の世代へ継承する活動が活発に行われていること…………… 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6
- 40 豊かで美しい自然景観や田園景観が守り育てられ、良好な都市景観づくりが行われているとともに、歴史や文化を活かしたまち並みづくりが進められていること…………… 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6
- 41 かけがえのない自然、新鮮で安全な食、伝統文化などの地域資源の活用や都市住民との交流などにより、個性豊かな魅力ある農山漁村が形成されていること…………… 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6
- 42 県民の参加により、豊かで多様な「とやまの森」が整備・保全されているとともに、四季折々の花と緑が満ちあふれた快適な生活環境が形成されていること…………… 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6

【安心】

- 43 高齢者、障害者、子どもなど県民だれもが、住み慣れた地域でいきいきと健康に生活でき、共に支え合う共生社会が形成されていること…………… 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6
- 44 すべての県民が、けがや病気の状況に応じて、必要ときに安心して質の高い、患者本位の医療を受けることができること…………… 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6
- 45 望ましい生活習慣の実践や適切な疾病対策などにより、県民一人ひとりが心身ともに健康な生活を送っていること…………… 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6
- 46 高齢者が健康で生きがいのある生活を送り、できるだけ住み慣れた地域で安心して暮らし続けられること…………… 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6

重 要 度						充 足 度					
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
き	わ	ど	さ	全	わ	十	か	ど	あ	ほ	わ
わ	か	ち	ほ	く	か	分	な	ち	ま	と	か
め	な	ら	ど	重	ら	充	り	ら	り	ん	ら
て	り	と	重	要	な	足	充	と	充	ど	な
重	重	も	と	で	い	さ	足	い	足	さ	い
要	要	い	は	は	な	れ	さ	え	さ	れ	な
で	で	え	い	な	い	て	れ	な	れ	い	い
る	る	な	え	い		い	い	い	い		
		い	な								
		な	い								
		い									

- 47 障害の有無にかかわらず、すべての人が相互に人格と個性を尊重しながら支え合うとともに、障害者一人ひとりが住み慣れた地域で自立した日常生活や社会生活を営んでいること …………… 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6
- 48 安全な食品が供給され、誰もが食品の安全性に関する情報を適時的確に入手することができ、県民自らが地場産食材を積極的に活用し、「食」に関する知識と理解を深めていること …………… 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6
- 49 県民一人ひとりが、それぞれの体力や年齢、興味、目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができるとともに、本県の選手が全国や世界の檜舞台で活躍していること …… 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6
- 50 県民一人ひとりが、廃棄物の排出抑制や循環的利用などに積極的に取り組むとともに、温室効果ガス排出量の削減に向けた行動を実践していること………… 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6
- 51 自然に対する理解が深まるとともに、生物多様性の確保や、人と自然との共生の取組みが進み、豊かで美しい自然が保全されていること …………… 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6
- 52 多くの県民の実践により、きれいでさわやかな大気、豊かで清らかな水など安全で健康的な生活環境が確保されていること …………… 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6
- 53 空から山、平野、川等を経て富山湾に至る水の循環と県民の諸活動との調和が図られ、水資源が有効に活用されるとともに、地域に根ざした水文化が継承されていること …………… 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6
- 54 豊かな県民生活や活発な産業経済活動を支えるため、多様なエネルギー源のベストミックス（最適な組み合わせ）や省エネルギー構造への転換により、エネルギー需給の安定が図られていること………… 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6

	重 要 度						充 足 度					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	き	か	ど	さ	全	わ	十	か	ど	あ	ほ	わ
	わ	な	ち	ほ	く	か	分	な	ち	ま	と	か
	め	り	ら	ど	重	ら	充	り	と	り	ん	ら
	て	重	と	重	要	な	足	重	も	充	ど	い
	重	要	も	い	で	い	さ	さ	い	足	え	い
	要	で	い	え	は	い	さ	さ	え	さ	え	い
	である	である	えない	えない	はない	わ	れている	れている	れている	れていない	でない	ない
55 県民の生活を支える身近な公共交通サービスが安定的に確保され、高齢者、障害者など誰もが安全で快適に移動できること ……	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
56 耐震性やバリアフリー性能等を備えた地球環境にやさしい住まいで、それぞれのライフステージに応じて安全で快適な住生活が営まれていること ……	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
57 降積雪時においても、県民生活に支障がなく、産業経済活動が円滑に進められるとともに、豊かな雪の文化が継承・創造されていること ……	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
58 水害や土砂災害などから県民の生命や財産を守るための施設等が整備され、災害に強い県土が形成されていること ……	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
59 県民一人ひとりが、高い防災意識を持ち、地域での防災力が向上しているとともに、火災や自然災害はもとより、大規模テロ等の新たな危機が万一発生した場合への備えが整えられていること ……	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
60 災害に備えた施設整備や体制づくりが進み、県民の生命、身体及び財産が守られているとともに、災害発生時には、速やかで的確な応急対策や復旧・復興対策が行われる体制が整備されていること ……	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
61 犯罪や交通事故が発生しにくく、万が一被害等に遭っても必要な支援が受けられる環境づくりが進み、県民が安全で安心して暮らすことのできる社会が実現していること ……	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
62 県民誰もが、消費者トラブルに巻き込まれず、また、医薬品の安全性などに不安を感じることなく、安心して生活を送っていること ……	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

重 要 度						充 足 度					
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
きわめて重要である	かなり重要である	どちらともいえない	さほど重要とはいえない	全く重要ではない	わからない	十分充足されている	かなり充足されている	どちらともいえない	あまり充足されていない	ほとんど充足されていない	わからない

【人づくり】

(子ども)

- 63 ふるさに誇りと愛着を持ち、家族や地域の絆を大切にする子どもが育成されていること …… 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6

(若者)

- 64 就業に必要な知識・技能の習得や起業へのチャレンジを支援することより、若者が職業的に自立し、活躍していること …… 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6

(働きざかり)

- 65 教育や子育て、まちづくり、介護や福祉、防災や防犯など、身近な分野でコミュニティを支え、地域活性化の中心となる人材が育成されていること …… 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6

(女性)

- 66 女性が仕事、家庭、地域生活など、多様な活動を自らの意欲と希望に応じた形で展開し、様々な分野でのチャレンジやキャリア形成が可能となっていること …… 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6

(高齢者)

- 67 高齢者と子ども・若者など異世代との交流を促進し、高齢者が長年培った知識や経験、技能が失われることなく次世代への継承が進んでいること …… 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6

【3 総合計画全般に対する意見】

(1) 10年後の元気な富山県づくりを進めるうえで、県が今後重視すべきことについてご意見がありましたら、右設問項目のいずれかに○を付け、自由にご記入ください。

- 1：産業振興
- 2：観光振興、交通・物流
- 3：まちの賑わい
- 4：子育て支援、
- 5：出会い（結婚）支援
- 6：教育の充実
- 7：社会参加、芸術文化
- 8：魅力ある地域づくり
- 9：健康づくり、医療・福祉
- 10：環境の保全
- 11：その他

(2) 県の行財政改革についてご意見がありましたら、右設問項目のいずれかに○を付け、自由にご記入ください。

- 1：人件費の抑制
- 2：民間の活力の活用
- 3：県有地・県有施設の見直し
- 4：その他

(3) これまでお尋ねしましたこと以外に、総合計画全般についてご意見がありましたら、自由にご記入ください。
